

感染症発生動向調査事業報告書

令和4年
(2022年)



東京都保健医療局

序

感染症発生動向調査事業は、感染症発生状況の把握・分析、情報提供による感染症の発生及びまん延防止を目的として行われており、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）」に基づく事前対応型の感染症対策として位置づけられています。

東京都健康安全研究センターでは、所内に東京都感染症情報センターを設置し、一類感染症から五類感染症、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症のうち全症例の届出が義務付けられている疾患や、定点医療機関からの届出対象となる五類感染症等について、都内の発生状況や病原体の検出状況等を迅速に把握し、解析・評価を行ったうえで都民や医療機関等に情報提供を行っています。

2022年の東京都における感染症の発生動向は概ね新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行前より低い水準で推移しているものが増えていますが、増加している感染症も見受けられます。

2021年には、梅毒が感染症法による全数把握対象疾患に定められて以来最多の発生数となりましたが（2,451件）、2022年はそれをさらに上回る3,677件の発生がありました。また、2022年7月にはWHOがエムボックス（旧名称：サル痘）について「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態（Public Health Emergency of International Concern : PHEIC）」を宣言する事態となりましたが、宣言直後の同年7月には東京都においてエムボックス患者の発生があり2022年には本例を含め5例が都内で報告されました。

COVID-19の世界的な流行から3年以上が経過し、2022年10月には海外からの旅行客の受入れ増加等、いわゆる「水際対策」の緩和措置が取られました。また、2023年3月にはマスクの着用の考え方が見直されるなど社会情勢はコロナ前の状況に戻りつつあります。これまで、発生数が少なく抑えられていた感染症も増加に転じることも予想されます。また、COVID-19は、2023年5月8日より新型インフルエンザ等感染症から五類感染症（定点把握疾患）に類型が移行するという転換期を迎えました。感染症の発生状況を把握し解析するという感染症発生動向調査事業はますます重要となると考えられます。

本報告書は、東京都感染症予防検討委員会における2022年の感染症発生情報の評価や予防策の検討の結果をまとめたものです。各疾患の発生動向につきまして、「小児科・内科疾患（インフルエンザ）」と「基幹定点における疾患」は桜山豊夫委員長に、「眼科疾患」は倉本慶子委員に執筆をお願いしました。また、「一、二、三、四、五類感染症（全数届出）」及び「性感染症」につきましては当センターの疫学情報担当が、「病原体情報」につきましては同じく微生物部が担当しました。

末筆になりましたが、感染症発生動向調査事業にご協力くださいました東京都医師会、定点医療機関および保健所等の関係者の皆様方に厚く御礼を申し上げます。

関係各位におかれましては、感染症対策の一助として本書を広くご活用くださいますようお願い申し上げます。

令和5年5月

東京都健康安全研究センター所長 吉村 和久

目 次

第1章 東京都感染症発生動向調査事業における患者情報

1 発生動向調査の概略

(1) 調査対象疾患	3
(2) 定点医療機関	3
表1 東京都感染症発生動向調査事業定点医療機関数	3
(3) 運営方法	3
(4) 情報発信	4

2 本年（2022年）の概況

(1) 一～四類、五類感染症（全数把握対象）等	4
(2) 五類感染症（定点把握対象）	6
(3) 疑似症	8
表2-1(1) 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数(一～四類、五類全数等)	9
表2-1(2) 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数(全数動物)	10
表2-2 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数(インフルエンザ定点・小児科定点)	11
表2-3 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数(眼科定点)	12
表2-4 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数(基幹定点週報告分)	12
表2-5 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数(基幹定点月報告分)	13
表2-6 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数(性感染症定点)	13

3 各疾患の動向

(1) 一～四類、五類感染症（全数把握対象）等	14
ア 一類感染症	14
イ 二類感染症	14
ウ 三類感染症	14
エ 四類感染症	16
オ 五類感染症（全数把握対象）	21
カ 新型インフルエンザ等感染症	33
表3-1 一～四類、五類感染症（全数把握対象）等 週別患者報告数	34
表3-2 一～四類、五類感染症（全数把握対象）等 保健所別患者報告数	37
表3-3 一～四類、五類感染症（全数把握対象）等 年齢階級別患者報告数	40
(2) 小児科・内科疾患	43
ア インフルエンザ	43
イ RSウイルス感染症	45
ウ 咽頭結膜熱	46
エ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	47
オ 感染性胃腸炎	48
カ 水痘	49
キ 手足口病	50

ク	伝染性紅斑	51
ケ	突発性発しん	52
コ	ヘルパンギーナ	53
サ	流行性耳下腺炎	54
シ	不明発しん症	55
ス	川崎病	56
(3)	眼科疾患	57
ア	急性出血性結膜炎	57
イ	流行性角結膜炎	58
(4)	基幹定点医療機関における週報告疾患	59
ア	細菌性髄膜炎	59
イ	無菌性髄膜炎	60
ウ	マイコプラズマ肺炎	61
エ	クラミジア肺炎（オウム病を除く）	62
オ	感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）	63
カ	インフルエンザ入院	64
(5)	基幹定点医療機関における月報告疾患	65
ア	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）感染症	65
イ	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	66
ウ	薬剤耐性緑膿菌感染症	67
(6)	性感染症	68
ア	性器クラミジア感染症	68
イ	性器ヘルペスウイルス感染症	69
ウ	尖圭コンジローマ	70
エ	淋菌感染症	71
オ	膺トリコモナス症	72
表 4-1	週別患者報告数（インフルエンザ・小児科・眼科・基幹）	73
表 4-2	週別定点当たり患者報告数（インフルエンザ・小児科・眼科・基幹）	75
表 5-1	保健所別患者報告数（インフルエンザ・小児科・眼科・基幹）	77
表 5-2	保健所別定点当たり患者報告数（インフルエンザ・小児科・眼科・基幹）	79
表 6	年齢階級別患者報告数（インフルエンザ・小児科・眼科・基幹）	81
表 7-1	二次医療圏別患者報告数（インフルエンザ・小児科・眼科・基幹）	82
表 7-2	二次医療圏別定点当たり患者報告数（インフルエンザ・小児科・眼科・基幹）	83
表 8-1	月別患者報告数（基幹）	84
表 8-2	月別定点当たり患者報告数（基幹）	84
表 8-3	月別・性別患者報告数（基幹）	84
表 8-4	性別・年齢階級別患者報告数（基幹）	85
表 9-1	月別患者報告数（性感染症）	85
表 9-2	月別定点当たり患者報告数（性感染症）	85
表 9-3	月別・性別患者報告数（性感染症）	86

表 9-4	月別・性別定点当たり患者報告数（性感染症）	86
表 9-5	保健所別、二次医療圏別患者報告数（性感染症）	87
表 9-6	保健所別、二次医療圏別定点当たり患者報告数（性感染症）	88
表 9-7	年齢階級別患者報告数（性感染症）	89
表 10	検査結果別報告数（基幹）	89
表 11	入院サーベイランス 入院時の状況	90

第2章 東京都感染症発生動向調査事業における病原体情報

1 ウイルス検査結果

(1)	小児科・内科・基幹病原体定点医療機関からの搬入検体	93
ア	インフルエンザ	93
イ	RSウイルス感染症	97
ウ	咽頭結膜熱	98
エ	感染性胃腸炎	99
オ	水痘	100
カ	手足口病	101
キ	伝染性紅斑	102
ク	突発性発しん	102
ケ	ヘルパンギーナ	103
コ	流行性耳下腺炎	104
サ	不明発しん症	105
シ	川崎病	106
ス	無菌性髄膜炎	106
(2)	眼科病原体定点医療機関からの搬入検体	107
ア	流行性角結膜炎	107
(3)	性感染症（STI）病原体定点医療機関からの搬入検体	107
ア	性器ヘルペスウイルス感染症	107
イ	尖圭コンジローマ	107
ウ	ウイルス性尿道炎	107
(4)	積極的疫学調査による搬入検体	108
ア	二類感染症	108
イ	四類感染症	108
ウ	五類感染症（全数把握疾患）	109
エ	指定感染症等	109

2 細菌検査結果

(1)	四類感染症の病原体検索	110
ア	レジオネラ症	110
(2)	五類感染症（全数把握対象）の病原体検索	110
ア	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	110

イ	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	110
ウ	侵襲性インフルエンザ菌感染症	111
エ	薬剤耐性アシネトバクター感染症	111
オ	侵襲性肺炎球菌感染症	111
カ	バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）感染症	112
キ	侵襲性髄膜炎菌感染症	112
(3)	五類感染症（定点把握対象）の病原体検索	112
ア	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	112
イ	感染性胃腸炎	112
ウ	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）感染症	112
エ	薬剤耐性緑膿菌感染症	112
(4)	性感染症（STI）病原体定点医療機関からの搬入検体	113
ア	クラミジア・トラコマチスおよび淋菌	113
イ	膣トリコモナス	113

第3章 資料

1	東京都感染症発生動向調査定点医療機関名簿	117
2	東京都感染症予防検討委員会委員名簿	135
3	東京都感染症発生動向調査事業の流れ	136
	東京都感染症発生動向調査事業実施要綱	137
	別表1 感染症法に基づく感染症の分類	150
	別表2 五類感染症（定点把握）の調査単位と報告時期	153
	別表3 疑似症の調査単位と報告時期	154
	別記様式一覧表	155
	別記様式10 梅毒発生届	156
	別記様式75 新型コロナウイルス感染症発生届	158

第 1 章

東京都感染症発生動向調査事業における患者情報

1 発生動向調査の概略

(1) 調査対象疾患

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」及び「感染症発生動向調査事業実施要綱」に定められている全数把握対象疾患及び定点把握対象疾患に加え、厚生労働省令で定める疑似症をサーベイランスの調査対象としている。また、東京都が独自に指定する調査対象疾患として、不明発しん症と川崎病を小児科疾患、膣トリコモナス症を性感染症に加えている。

(2) 定点医療機関

患者定点となる医療機関数は、小児科定点 264、内科定点 155、眼科定点 39、基幹定点 25、性感染症定点 55、疑似症定点 36 が設定され、このうち 70 医療機関が病原体定点を兼ねている。なお、小児科定点はインフルエンザ定点としての機能も果たしている。

表 1 東京都感染症発生動向調査事業定点医療機関数

(2022年12月31日現在)

定点種別(疾患数)	患者定点数	病原体定点数
小児科定点 (13)	264	26
内科定点 (1)	155	15
眼科定点 (2)	39	4
基幹定点 (9)	25	21
性感染症定点 (5)	55	4
疑似症定点	36	

(3) 運営方法

全数把握対象疾患は、診断後直ちに（五類感染症は7日以内、ただし侵襲性髄膜炎菌感染症、風しん及び麻しんは診断後直ちに）保健所に届出が行われるほか、小児科定点、内科定点、眼科定点及び基幹定点からの報告は週単位で、性感染症定点からの報告は月単位でなされる。ただし、基幹定点から報告される一部の疾患（薬剤耐性菌による感染症）については月単位となっている。

週単位で報告される疾患については、毎週月曜日から日曜日までに診断された患者を、小児科、内科、眼科の各定点医療機関は年齢別の患者数、基幹定点医療機関は年齢及び検出病原体名を所定の調査票に記入し保健所に送付する。

月単位で報告される疾患については、性感染症定点医療機関は当該月の年齢別患者数、基幹定点医療機関は当該月の患者の年齢、検体採取部位を所定の調査票に記入し保健所に送付する。

疑似症サーベイランスでは、疑似症定点医療機関において届出基準を参考とし、当該疑似症の患者と診察された場合に、所定の調査票を直ちに保健所に送付する。

医療機関から届いた情報は、保健所が感染症発生動向調査システムに入力する。東京都健康安全研究センター疫学情報担当（基幹地方感染症情報センター）（以下、疫学情報担当という）は、保健所からの情報を確認後、国へ報告する。

また、疑似症については、保健所は随時、福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課（以下、防疫・情報管理課という）へ報告する。保健所からの報告を受けた防疫・情報管理課は、疫学情報担当へ報告し、両者で検討の上、国へ報告する。

新型コロナウイルス感染症又は再興型コロナウイルス感染症の届出は、新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（HER-SYS）の入力により行われるが、当該システムへの入力環境が医療機関に無い場合には、予め定めた方法により届出を受理した保健所が当該システムへ入力する。

（４）情報発信

新型コロナウイルス感染症を除く患者情報は、全国の情報及び病原体定点で採取された検体からの病原体検出結果とともに、「感染症週報」として東京都感染症情報センターホームページで公開し、広く都民に情報還元を図っている。また、週報には、東京都医師会発行の情報誌から引用した「感染症豆知識」の記事を掲載し、感染症に関する情報発信に繋げている。

さらに、隔月第４木曜日を目途に開催される東京都感染症予防検討委員会において、直近２カ月分の情報について討議し、その情報は情報誌に「感染症だより」として掲載されている。

２ 本年（2022年）の概況

（１）一～四類、五類感染症（全数把握対象）等

ア 一類感染症

一類感染症の届出はなかった。

イ 二類感染症

急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、鳥インフルエンザ（H5N1）、鳥インフルエンザ（H7N9）の届出はなかった。結核については別途「東京都における結核の概況」として報告する。

ウ 三類感染症

コレラ：１件の届出があった。血清型はO1であった。推定感染地は国外であった。

細菌性赤痢：２件の届出があった。菌種は*flexneri*、*sonnei*各１件であった。推定感染地は国内、国外各１件であった。

腸管出血性大腸菌感染症：３５６件の届出があった。血清型・毒素型はO157 VT1・VT2が１１８件で最多であった。症状別では患者２３７人（うち溶血性尿毒症症候群１０人）、無症状病原体保有者１１９人で、推定感染地は国内２８２件、国外２件、不明７２件であった。

腸チフス：６件の届出があった。推定感染地は国外５件、不明１件であった。

パラチフス：４件の届出があった。推定感染地は全て国外であった。

エ 四類感染症

E型肝炎：１３１件の届出があった。推定感染地は国内１０２件、国外１件、不明２８件であった。

A型肝炎：６件の届出があった。推定感染地は国内４件、不明２件であった。推定感染経路は、経口感染３件、不明３件であった。

エキノコックス症：３件の届出があった。

オウム病：４件の届出があった。

サル痘：５件の届出があった。推定感染地は国内３件、国外２件であった。

重症熱性血小板減少症候群：１件の届出があった。

チクングニア熱：１件の届出があった。

つつが虫病： 14 件の届出があった。推定感染地は全て国内で、うち、東京都は 8 件（多摩地区 3 件、島しょ地区 4 件、不明 1 件）であった。

デング熱： 26 件の届出があった。推定感染地は全て国外であった。

ボツリヌス症： 1 件の届出があった。推定感染地は国内であった。

マラリア： 9 件の届出があった。病型は熱帯熱マラリア 7 件、卵型マラリア 2 件であった。

ライム病： 2 件の届出があり、推定感染地は国内、国外各 1 件であった。

レジオネラ症： 120 件の届出があった。病型は肺炎型 105 件、ポンティアック熱型 14 件、無症状病原体保有者 1 件で、死亡例は 1 人報告された。推定感染地は国内 105 件、国外 1 件、国内又は国外 1 件、不明 13 件であった。公共浴場施設（温泉を含む）での感染と推定されたのは 22 件であった。

レプトスピラ症： 5 件の届出があった。推定感染地は全て国内であった。

オ 五類感染症（全数把握対象）

アメーバ赤痢： 117 件の届出があり、うち、腸管アメーバ症 105 件、腸管外アメーバ症 5 件、腸管及び腸管外アメーバ症 7 件であった。推定感染地は国内 86 件、国外 10 件、国内又は国外 1 件、不明 20 件であった。

ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）： 35 件の届出があり、うち、B型肝炎 19 件、C型肝炎 8 件、エプスタイン・バール ウイルス（EBV）肝炎 5 件、サイトメガロウイルス（CMV）肝炎 3 件であった。

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症： 208 件の届出があった。推定感染地は国内 184 件、国外 1 件、不明 23 件であった。

急性弛緩性麻痺： 4 件の届出があった。推定感染地は全て国内であった。

急性脳炎： 28 件の届出があった。病原体は、新型コロナウイルス 5 件、ヘルペスウイルス 3 件、RS ウイルス、エンテロウイルス、水痘・帯状疱疹ウイルス各 2 件、アデノウイルス、リステリア・モノサイトゲネス、トキソプラズマ各 1 件、RS ウイルス及びライノウイルス、ライノウイルス及びパラインフルエンザウイルス 1 型各 1 件、不明 9 件であった。

クリプトスポリジウム症： 2 件の届出があった。推定感染地は国内、国外各 1 件であった。

クロイツフェルト・ヤコブ病： 18 件の届出があった。孤発性プリオン病・古典型クロイツフェルト・ヤコブ病（CJD）が 14 件、孤発性プリオン病・その他が 2 件、遺伝性プリオン病・家族性 CJD が 1 件、遺伝性プリオン病・家族性致死性不眠症（FFI）が 1 件であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症： 107 件の届出があった。血清群別では A 群 34 件、B 群 32 件、C 群 1 件、G 群 32 件、C 群及び G 群 2 件、不明 6 件であった。死亡例は 21 人報告された。

後天性免疫不全症候群： 288 件の届出があった。AIDS 患者 53 人、HIV 感染者 235 人（指標疾患以外の有症候者 26 人、無症候性キャリア 209 人）であった。推定感染地は国内 245 件、国外 16 件、不明 27 件であった。推定感染経路は、性的接触 265 件（同性間 204 件、異性間 34 件、両性間 12 件、性別不明 15 件）、静注薬物使用 1 件、母子感染 1 件、同性間又は静注薬物使用 1 件、不明 20 件であった。

ジアルジア症： 12 件の届出があった。

侵襲性インフルエンザ菌感染症： 19 件の届出があった。血清型は f 型 1 件、型別不能 16 件、検査未実施 2 件であった。ワクチン接種歴は 4 回 3 件、3 回 2 件、なし 5 件、不明 9 件であった。

侵襲性髄膜炎菌感染症： 1 件の届出があった。

侵襲性肺炎球菌感染症： 141 件の届出があった。死亡例は 10 人報告された。ワクチン接種歴は 4

回 18 件、3 回 10 件、2 回 3 件、1 回 5 件、なし 40 件、不明 65 件であった。

水痘（入院例）：49 件の届出があった。死亡例の報告はなかった。推定感染地は国内 43 件、不明 6 件であった。

梅毒：3,677 件の届出があった。早期顕症梅毒Ⅰ期 1,496 件、早期顕症梅毒Ⅱ期 1,351 件、晩期顕症梅毒 33 件、無症候 797 件であった。性別は男性 2,291 人、女性 1,386 人であった。推定感染地は国内 3,375 件、国外 10 件、国内又は国外 2 件、不明 290 件であった。推定感染経路は性的接触 3,509 件（同性間 614 件、異性間 2,458 件、両性間 17 件、性別不明 420 件）、母子感染 1 件、異性間又は静注薬物使用 2 件、同性間又は静注薬物使用 1 件、不明 164 件であった。

播種性クリプトコックス症：15 件の届出があった。推定感染地は国内 14 件、不明 1 件であった。

破傷風：6 件の届出があった。推定感染地は全て国内であった。

バンコマイシン耐性腸球菌感染症：8 件の届出があった。耐性遺伝子型は *vanA* 2 件、*vanB* 2 件、*vanD* 1 件、検査未実施 3 件であった。

百日咳：55 件の届出があった。ワクチン接種歴は 4 回 18 件、3 回 4 件、2 回 1 件、1 回 1 件、なし 1 件、不明 30 件であった。

風しん：4 件の届出があり、全て検査診断例（抗体検査）であった。

薬剤耐性アシネトバクター感染症：2 件の届出があった。菌種は全て *Acinetobacter spp.* であった。

カ 新型インフルエンザ等感染症

新型コロナウイルス感染症：2022 年 9 月 26 日以降は、発生届の対象者を、65 歳以上の者、入院を要する者、重症化リスクがあり、新型コロナ治療薬や酸素投与が必要と医師が判断する者、妊婦の 4 類型に限定されることとなった。2023 年 3 月 27 日現在、新型コロナウイルス感染症等情報把握・管理支援システム HER-SYS で、2022 年 9 月 25 日までの届出のうち保健所確認済となっている登録データ、及び 2022 年 9 月 26 日以降において、同システム上に日次報告として報告されたデータによると、2022 年に 3,369,318 件の届出・報告があった。

（２）五類感染症（定点把握対象）

ア 小児科・内科疾患

2022 年は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する予防行動が持続するなかで、五類感染症（定点把握対象）の小児科・内科疾患の多くが前年（2021 年）と同様に前年比減少傾向にあったが、いくつかの疾患が前年（2021 年）と比較して増加した。感染性胃腸炎、手足口病は、2020 年、2021 年と比較して報告数は大きく増加し、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行以前の例年並みの報告数に近づいた。いっぽう、RS ウイルス感染症は、前々年（2020 年）に流行がみられなかった影響で、前年（2021 年）は過去 10 年間の平均値の倍以上の報告があったが、それに比べて、2022 年は報告数が大きく減少し、例年並みの報告数となった。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）と同様の感染経路と考えられるインフルエンザは前年（2021 年）に比べ大きく増加したが、例年並みの流行は見られなかった。そのほか、ヘルパンギーナが前年の報告数を上回った。その他の疾患は前年（2021 年）の報告数を下回った。

【前年比減少疾患】

RS ウイルス感染症：2022 年の報告数は 7,564 人、定点当たり 29.40 人であった。前年比（定点当たり）は 0.47 であった。

咽頭結膜熱：2022年の報告数は1,420人、定点当たり5.52人であった。前年比（定点当たり）は0.89であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：2022年の報告数は2,094人、定点当たり8.14人であった。前年比（定点当たり）は0.52であった。

水痘：2022年の報告数は990人、定点当たり3.85人であった。前年比（定点当たり）は0.77であった。

伝染性紅斑：2022年の報告数は174人、定点当たり0.68人であった。前年比（定点当たり）は0.66であった。

突発性発しん：2022年の報告数は3,889人、定点当たり15.13人であった。前年比（定点当たり）は0.74であった。

流行性耳下腺炎：2022年の報告数は487人、定点当たり1.89人であった。前年比（定点当たり）は0.75であった。

不明発しん症：2022年の報告数は360人、定点当たり1.40人であった。前年比（定点当たり）は0.81であった。

川崎病：2022年の報告数は93人、定点当たり0.36人であった。前年比（定点当たり）は0.55であった。

【前年並みであった疾患】

報告数が例年に比べると大きく減少している疾患が多く、前年比で「前年並み」と判断される疾患はなかった。

【前年比増加疾患】

インフルエンザ：2022年の報告数は3,318人、定点当たり8.25人であった。前年比（定点当たり）は75.0であった。

感染性胃腸炎：2022年の報告数は63,709人、定点当たり248.04人であった。前年比（定点当たり）は1.41であった。

手足口病：2022年の報告数は16,911人、定点当たり65.92人であった。前年比（定点当たり）は6.71であった。

ヘルパンギーナ：2022年の報告数は4,423人、定点当たり17.23人であった。前年比（定点当たり）は1.72であった。

イ 眼科疾患

急性出血性結膜炎：2022年の報告数は3人、定点当たり0.08人、定点当たりの当年/前年比は1.60であった。

流行性角結膜炎：2022年の報告数は311人、定点当たり8.21人、定点当たりの当年/前年比は1.09であった。

ウ 基幹定点における週報告疾患

細菌性髄膜炎：2022年の報告数は17人、定点当たり0.68人であった。前年比（定点当たり）は0.71であった。

無菌性髄膜炎：2022年の報告数は18人、定点当たり0.72人であった。前年比（定点当たり）は

0.71 であった。

マイコプラズマ肺炎：2022 年の報告数は 7 人、定点当たり 0.28 人であった。前年比（定点当たり）は 0.37 であった。

クラミジア肺炎（オウム病を除く）：2022 年の報告数は 22 人、定点当たり 0.88 人であった。前年比（定点当たり）は 1.29 であった。

感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：2022 年の報告数は 4 人、定点当たり 0.16 人であった。前年比（定点当たり）は 1.00 であった。

インフルエンザ入院：2022 年の報告数は 26 人、定点当たり 1.04 人であった。前年比（定点当たり）は 13.0 であった。

エ 基幹定点における月報告疾患

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：2022 年の報告数は 731 人、定点当たり 29.24 人であった。前年比（定点当たり）は 0.90 であった。

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：2022 年の報告数は 40 人、定点当たり 1.60 人であった。前年比（定点当たり）は 0.95 であった。

薬剤耐性緑膿菌感染症：2022 年の報告数は 8 人、定点当たり 0.32 人であった。前年比（定点当たり）は 1.60 であった。

オ 性感染症

2022 年の定点当たり報告数は、性器ヘルペスウイルス感染症を除く 4 疾患で、前年と比較してわずかに増加した。

性器クラミジア感染症：2022 年の報告数は 2,261 人（定点当たり 41.78 人）で、前年比は 1.03 であった。男性の報告数は 1,330 人（前年比 1.00）、女性は 931 人（前年比 1.06）であった。

性器ヘルペスウイルス感染症：2022 年の報告数は 679 人（定点当たり 12.54 人）で、前年比は 0.95 であった。男性の報告数は 374 人（前年比 0.94）、女性は 305 人（前年比 0.97）であった。

尖圭コンジローマ：2022 年の報告数は 1,157 人（定点当たり 21.42 人）で、前年比は 1.11 であった。男性の報告数は 743 人（前年比 1.15）、女性は 414 人（前年比 1.04）であった。

淋菌感染症：2022 年の報告数は 1,041 人（定点当たり 19.26 人）で、前年比は 1.03 であった。男性の報告数は 745 人（前年比 0.99）、女性は 296 人（前年比 1.16）であった。

膣トリコモナス症：2022 年の報告数は 103 人（定点当たり 1.90 人）で、前年比は 1.09 であった。男性の報告数は 1 人（前年比 1.00）、女性は 102 人（前年比 1.09）であった。

（3）疑似症

4 件の報告があった。

表2-1(1) 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数

(一～四類、五類全数等)

		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	痘そう	-	-	-	-	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	ペスト	-	-	-	-	-	-	-
	マールブルグ病	-	-	-	-	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-	-	-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	-	-	-	-
	結核	2,340	2,213	1,970	1,810	1,589	1,429	集計中
	ジフテリア	-	-	-	-	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	-	-	-	-
	中東呼吸器症候群 *9	-	-	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H5N1) *1	-	-	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H7N9) *6	-	-	-	-	-	-	-
三类	コレラ	2	2	-	2	-	-	1
	細菌性赤痢	40	34	109	27	11	2	2
	腸管出血性大腸菌感染症	452	467	466	388	332	329	356
	腸チフス	18	8	11	3	2	1	6
	パラチフス	8	6	10	4	1	-	4
	E型肝炎	37	57	101	128	118	113	131
四類	ウエストナイル熱	-	-	-	-	-	-	-
	A型肝炎	65	65	421	143	24	14	6
	エキノкокクス症	-	1	-	-	-	1	3
	黄熱	-	-	-	-	-	-	-
	オウム病	2	-	2	3	1	-	4
	オムスク出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	回帰熱	-	2	-	-	-	-	-
	キャサナル森林病	-	-	-	-	-	-	-
	Q熱	-	-	2	-	-	1	-
	狂犬病	-	-	-	-	-	-	-
	コクシジオイデス症	2	1	-	-	3	-	-
	サル痘	-	-	-	-	-	-	5
	ジカウイルス感染症 *10	3	-	-	-	-	-	-
	重症熱性血小板減少症候群 *4	-	-	-	1	-	-	1
	腎症候性出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	西部ウマ脳炎	-	-	-	-	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	-	-	-	-
	炭疽	-	-	-	-	-	-	-
	チクングニア熱 *2	4	3	-	11	-	-	1
	つつが虫病	7	13	12	12	21	12	14
	デング熱	90	65	61	130	13	-	26
	東部ウマ脳炎	-	-	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)	-	-	-	-	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-
	日本紅斑熱	-	1	-	-	-	4	-
	日本脳炎	-	-	-	-	-	-	-
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	-	-	-	-
Bウイルス病	-	-	-	-	-	-	-	
鼻疽	-	-	-	-	-	-	-	
ブルセラ症	1	-	-	1	-	-	-	
ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	-	-	-	-	
ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	
発しんチフス	-	-	-	-	-	-	-	
ボツリヌス症	1	2	1	-	1	1	1	

		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
四 類	マラリア	18	27	14	22	6	11	9
	野兔病	-	-	-	-	-	-	-
	ライム病	-	1	1	1	1	-	2
	リッサウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-
	リフトバレー熱	-	-	-	-	-	-	-
	類鼻疽	-	1	1	-	1	-	-
	レジオネラ症	143	159	164	187	148	163	120
	レプトスピラ症	7	9	5	9	2	3	5
ロッキー山紅斑熱	-	-	-	-	-	-	-	
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢	222	219	163	155	116	97	117
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)	69	67	69	98	60	49	35
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症*7	190	212	233	237	171	210	208
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)*12			8	7	4	2	4
	急性脳炎	85	74	65	81	31	26	28
	クリプトスポリジウム症	2	2	3	4	-	-	2
	クロイツフェルト・ヤコブ病	16	19	25	19	17	12	18
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	65	72	87	126	101	85	107
	後天性免疫不全症候群	464	464	422	406	383	357	288
	ジアルジア症	17	24	19	12	8	8	12
	侵襲性インフルエンザ菌感染症*5	46	56	40	85	23	20	19
	侵襲性髄膜炎菌感染症*5	5	3	6	5	2	-	1
	侵襲性肺炎球菌感染症*5	356	390	401	382	163	128	141
	水痘(入院例)*7	56	55	61	80	50	32	49
	先天性風しん症候群	-	-	-	2	-	-	-
	梅毒	1,673	1,788	1,775	1,712	1,579	2,451	3,677
	播種性クリプトコックス症*7	20	15	18	12	18	14	15
	破傷風	4	9	8	8	8	4	6
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2	8	7	8	8	12	8
百日咳*11			2,434	1,340	262	69	55	
風しん*3	19	22	947	860	29	2	4	
麻しん*3	22	28	23	124	2	-	-	
薬剤耐性アシネトバクター感染症*8	1	6	4	2	-	1	2	
新型#	新型コロナウイルス感染症*13					68,506	295,833	3,369,318

*1 2008年5月12日より追加指定。

*2 2011年2月1日より追加指定。

*3 2008年1月1日より五類(定点把握対象)から五類(全数把握対象)に変更。

*4 2013年3月4日より追加指定。

*5 2013年4月1日より髄膜炎菌性髄膜炎に替わり指定。

*6 2013年4月26日より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更。

*7 2014年9月19日より追加指定。

*8 2011年2月1日より五類(定点把握対象)に追加指定、2014年9月19日に五類(全数把握対象)に変更。

*9 2014年7月26日より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更。

病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

*10 2016年2月15日より追加指定。

*11 2018年1月1日より五類(定点把握対象)から五類(全数把握対象)に変更。

*12 2018年5月1日より追加指定。

*13 2020年2月1日より指定感染症に追加指定、2021年2月13日より新型インフルエンザ等感染症に変更。

新型インフルエンザ等感染症

表2-1(2) 東京都感染症発生動向調査年別患畜報告数(全数動物)

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
エボラ出血熱のサル	-	-	-	-	-	-	-
マールブルグ病のサル	-	-	-	-	-	-	-
ペストのプレーリードッグ	-	-	-	-	-	-	-
重症急性呼吸器症候群のイタチアナグマ	-	-	-	-	-	-	-
重症急性呼吸器症候群のタヌキ	-	-	-	-	-	-	-
重症急性呼吸器症候群のハクビシン	-	-	-	-	-	-	-
結核のサル	-	-	-	-	-	-	-
中東呼吸器症候群のヒトコブラクダ*1	-	-	-	-	-	-	-

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
鳥インフルエンザ(H5N1又はH7N9)の鳥類	-	-	-	-	-	-	-
細菌性赤痢のサル	-	-	-	-	-	-	-
ウエストナイル熱の鳥類	-	-	-	-	-	-	-
エキノコックス症の犬	-	-	-	-	-	-	-

*1 2014年7月26日より追加指定

表2-2 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
(インフルエンザ定点・小児科定点)

上段:年間報告数
下段:定点当たり

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
小児科定点数	264	264	264	264	264	264	264	264	264	264
インフルエンザ定点数	419	419	419	419	419	419	419	419	419	419
インフルエンザ	75,328 181.11	152,421 367.55	59,435 145.11	125,207 302.31	129,813 314.14	137,262 331.57	148,861 361.04	33,424 81.86	43 0.11	3,318 8.25
RSウイルス感染症*1	6,058 23.48	6,183 23.70	7,197 27.82	7,021 27.06	8,838 34.47	7,830 30.49	8,682 34.00	570 2.20	16,189 62.94	7,564 29.40
咽頭結膜熱	6,184 23.89	5,607 21.54	5,385 20.77	5,026 19.38	7,322 28.21	4,671 17.96	4,405 17.04	1,506 5.84	1,596 6.19	1,420 5.52
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	24,801 95.29	27,581 105.60	35,039 134.57	31,211 120.13	30,664 117.71	32,120 123.25	29,223 112.95	13,314 51.33	4,014 15.58	2,094 8.14
感染性胃腸炎	102,987 395.81	84,091 322.84	91,052 350.13	110,239 423.72	84,981 326.63	79,282 304.52	77,421 299.71	40,036 154.79	45,400 176.04	63,709 248.04
水痘	11,452 44.22	10,314 39.69	6,765 26.04	5,541 21.34	5,135 19.73	4,515 17.35	5,739 22.25	2,591 10.05	1,287 4.99	990 3.85
手足口病	29,320 114.72	6,089 23.44	32,599 126.39	6,993 26.97	33,056 129.10	8,452 32.65	34,136 132.46	1,020 3.98	2,542 9.82	16,911 65.92
伝染性紅斑	1,608 6.19	5,069 19.44	10,174 39.08	2,485 9.57	1,311 5.04	10,733 41.36	6,071 23.60	465 1.80	265 1.03	174 0.68
突発性発しん	8,299 32.00	8,120 31.18	7,816 30.10	7,231 27.87	7,056 27.13	6,771 26.05	5,872 22.77	5,610 21.76	5,291 20.53	3,889 15.13
百日咳*2	91 0.35	158 0.61	300 1.15	181 0.70	113 0.44					
ヘルパンギーナ	8,480 33.06	15,874 61.25	7,200 27.91	13,094 50.69	6,812 26.54	8,188 32.01	10,341 40.26	674 2.61	2,595 10.03	4,423 17.23
流行性耳下腺炎	2,549 9.83	3,003 11.57	4,883 18.83	8,526 32.88	2,903 11.16	1,246 4.79	994 3.85	688 2.67	651 2.53	487 1.89
不明発しん症*3	1,094 4.24	1,158 4.45	1,312 5.06	983 3.79	1,101 4.25	1,073 4.14	817 3.17	492 1.91	443 1.72	360 1.40
川崎病*3	221 0.85	180 0.69	199 0.77	208 0.80	205 0.79	214 0.82	150 0.58	131 0.51	168 0.65	93 0.36

*1 2003年45週より実施

*2 2018年1月1日から全数把握対象疾患

*3 東京都独自疾患

表2-3 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
(眼科定点)

上段:年間報告数
下段:定点当たり

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
定点数	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39
急性出血性結膜炎	17 0.45	13 0.34	14 0.36	11 0.28	12 0.31	14 0.37	11 0.29	11 0.29	2 0.05	3 0.08
流行性角結膜炎	891 23.68	913 23.79	1,256 32.49	1,201 31.03	1,219 31.48	1,060 28.22	649 17.35	363 9.62	284 7.51	311 8.21

表2-4 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
(基幹定点週報告分)

上段:年間報告数
下段:定点当たり

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
定点数	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
細菌性髄膜炎	48 1.93	22 0.88	38 1.52	33 1.32	41 1.64	32 1.28	39 1.57	25 1.00	24 0.96	17 0.68
無菌性髄膜炎	126 5.06	102 4.09	73 2.92	77 3.08	39 1.56	33 1.32	48 1.93	32 1.28	25 1.01	18 0.72
マイコプラズマ肺炎	514 20.66	234 9.37	770 30.85	1,047 41.88	237 9.48	230 9.20	349 14.02	169 6.79	19 0.76	7 0.28
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	40 1.60	21 0.84	59 2.36	50 2.00	46 1.84	40 1.60	39 1.56	25 1.01	17 0.68	22 0.88
感染性胃腸炎 ^{*1} (ロタウイルスによる)	22 0.88	134 5.36	99 3.96	108 4.32	235 9.40	110 4.40	188 7.53	8 0.32	4 0.16	4 0.16
インフルエンザ入院 ^{*2}	518 20.89	735 29.40	486 19.44	649 25.96	902 36.08	1,113 44.52	1,511 60.49	357 14.28	2 0.08	26 1.04

*1 2013年42週より実施

*2 2011年36週より実施

表2-5 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
(基幹定点月報告分)

上段:年間報告数
下段:定点当たり

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
定点数	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	918 37.26	908 36.44	877 35.21	867 34.68	881 35.24	804 32.16	894 35.76	823 32.92	814 32.56	731 29.24
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	467 18.94	186 7.47	158 6.36	138 5.52	105 4.20	102 4.08	96 3.84	22 0.88	42 1.68	40 1.60
薬剤耐性緑膿菌感染症	32 1.29	21 0.84	28 1.12	22 0.88	3 0.12	9 0.36	8 0.32	7 0.28	5 0.20	8 0.32
薬剤耐性アシネト* バクター感染症	0 0.00	0 0.00								

* 2011年2月より2014年9月18日まで実施。

表2-6 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
(性感染症定点)

上段:年間報告数
下段:定点当たり

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
定点数	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55
性器クラミジア感染症	2,286 42.46	2,427 44.90	2,678 49.09	2,712 49.39	2,294 41.77	2,551 46.46	2,767 50.93	2,116 39.31	2,225 40.69	2,261 41.78
性器ヘルペスウイルス感染症	1,216 22.60	1,298 24.00	1,329 24.36	1,400 25.49	1,279 23.29	1,037 18.88	977 17.98	663 12.31	718 13.14	679 12.54
尖圭コンジローマ	959 17.84	986 18.22	1,237 22.68	1,321 24.06	1,021 18.58	1,051 19.14	1,564 28.81	956 17.72	1,056 19.31	1,157 21.42
淋菌感染症	1,070 19.87	1,259 23.31	1,394 25.55	1,528 27.82	1,109 20.20	1,104 20.11	1,185 21.81	876 16.25	1,018 18.62	1,041 19.26
膺トリコモナス症*	113 2.10	127 2.36	151 2.77	117 2.13	110 2.00	128 2.33	118 2.17	100 1.86	95 1.74	103 1.90
梅毒様疾患*	136 2.53	135 2.50	221 4.05							

* 東京都独自疾患、梅毒様疾患は2015年末で終了

3 各疾患の動向

(1) 一～四類、五類感染症（全数把握対象）等

ア 一類感染症

一類感染症（エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱）は届出がなかった。

イ 二類感染症

① 結核

結核の発生動向は別途、「東京都における結核の概況」で報告する。

② その他の二類感染症

急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、鳥インフルエンザ（H5N1）、鳥インフルエンザ（H7N9）は届出がなかった。

ウ 三類感染症

① コレラ

2022年は1件の届出があった。性別は男性1人で、年齢階級別は40～49歳であった。血清型はO1、抗原型、生物型ともに不明であった。推定感染地域はインドであった。推定感染経路は経口感染（生野菜喫食）であった。

② 細菌性赤痢

2022年は2件の届出があった。菌種は*flexneri* 1件、*sonnei* 1件であった。性別は男性1人、女性1人で、年齢階級別では20～29歳1人、80歳以上1人であった。推定感染地は国内1件、国外1件（インド）であった。推定感染経路は全て経口感染であった。

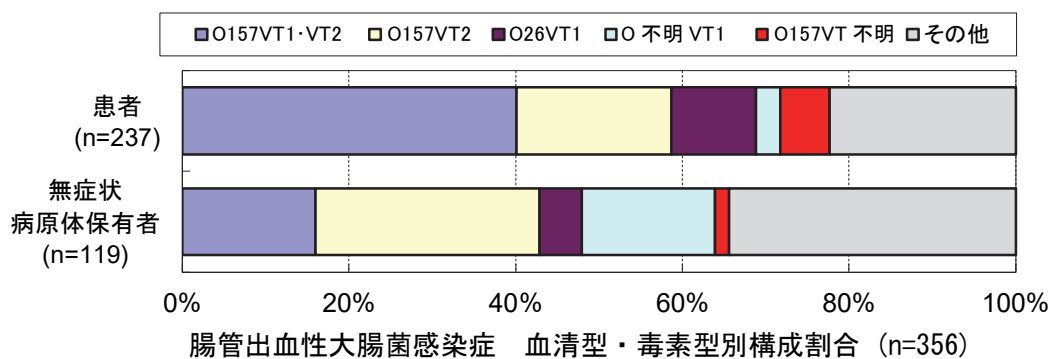
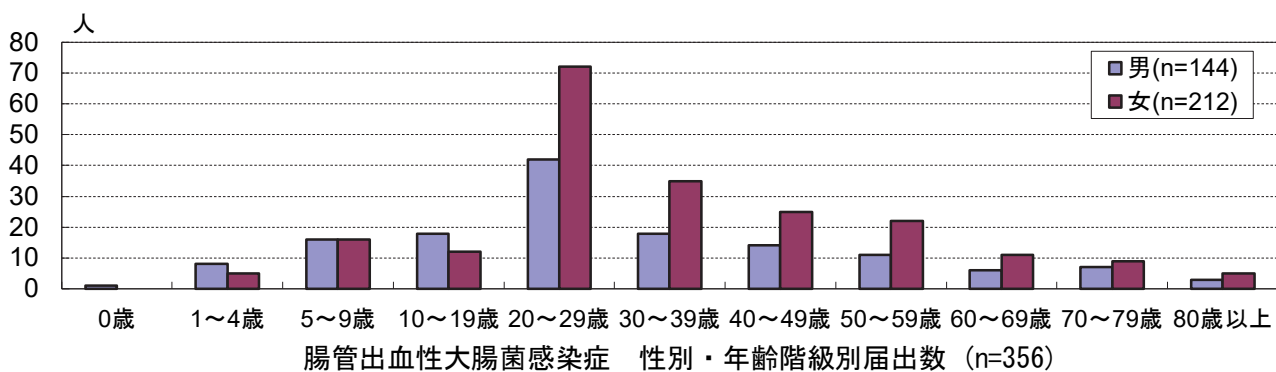
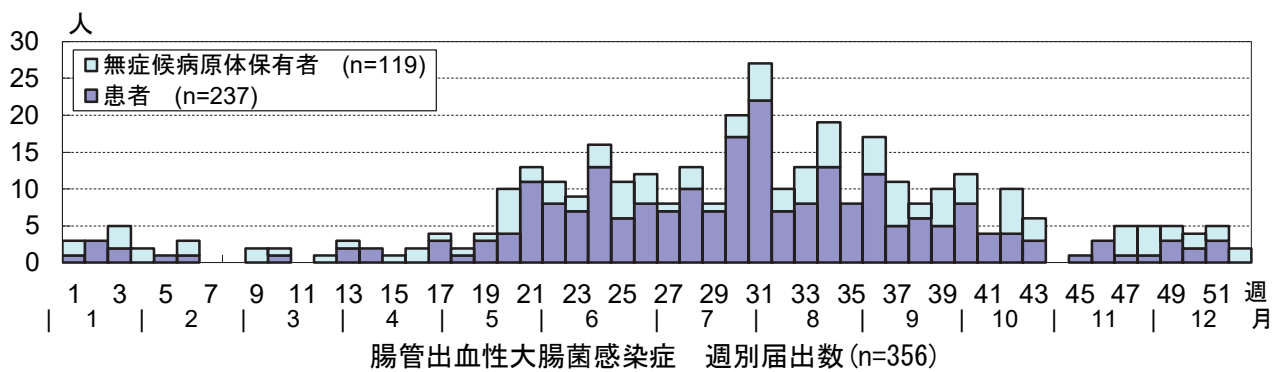
③ 腸管出血性大腸菌感染症

2022年は356件の届出があった。症状別では患者237人、無症状病原体保有者119人であった。届出はほぼ1年を通して見られたが、特に夏季に増加した。性別は男性144人、女性212人で、年齢階級別では10歳未満46人（うち5歳未満14人）、10～19歳30人、20～29歳114人、30～39歳53人、40～49歳39人、50～59歳33人、60～69歳17人、70～79歳16人、80歳以上8人であった。血清型・毒素型はO157 VT1・VT2が118件で最多であった。

推定感染地は国内282件、国外2件（全て韓国）、不明72件であった。

症例の集積は、第31週に同居家族4人が認められた。

溶血性尿毒症症候群（HUS）と判明しているものは10人おり、10歳未満5人（うち5歳未満3人）、10～19歳1人、20～29歳3人、30～39歳1人であった。



腸管出血性大腸菌感染症 血清型・毒素型別届出数 (n=360)

血清型	毒素型	人数	血清型	毒素型	人数
O1	不明	1	O111	VT1・VT2	4
O8	VT2	2	O115	VT1	1
O19	VT2	1	O128	VT2	1
	VT1	32	O145	VT1・VT2	1
O26	VT2	10	O145	VT1	1
	不明	2		VT1	6
O63	VT2	1	O157	VT2	76
O78	VT1・VT2	1		VT1・VT2	118
O91	VT1	3		不明	16
	VT2	3	O165	VT1・VT2	3
	VT1	16	O168	VT2	1
O103	VT2	1		VT1	26
	不明	1		VT2	13
O111	VT1	2	不明	VT1・VT2	10
	VT2	1		不明	6

4名の感染者で複数の血清型が検出されたため、本表の総数は検出された血清型の延べ数とする。

溶血性尿毒症症候群（HUS）発症例（n=10）

受理日	性別	年齢	血清型・毒素型	推定感染地	推定感染経路等
2/2	男	2	O157 毒素型不明	国内	不明
3/31	女	22	血清型・毒素型不明	国内	不明
6/18	女	20	O157 毒素型不明	国内	不明
8/1	男	1	O157 VT1VT2	国内	不明
8/3	女	31	血清型・毒素型不明	国内	経口感染（家庭で茹でた鶏肉摂取）
8/18	女	21	O157 VT1VT2	不明	経口感染（生食不明）
8/22	女	5	O157 毒素型不明	国内	経口感染（焼肉、野菜サラダ摂取）
9/27	男	3	O157 VT1VT2	国内	不明
10/6	男	13	血清型・毒素型不明	国内	経口感染（焼肉摂取）
10/19	男	9	血清型・毒素型不明	国内	経口感染（寿司など摂取）

④ 腸チフス

2022 年は 6 件の届出があった。性別は男性 2 人、女性 4 人で、年齢階級別では 10 歳未満 2 人（うち 5 歳未満 1 人）、10～19 歳 1 人、20～29 歳 2 人、40～49 歳 1 人であった。

ファージ型は E1 型、E9 型各 2 件、DVS 型、UVS4 型各 1 件であった。推定感染地は国外 5 件（インド 2 件、ネパール、バングラデシュ、ベトナム各 1 件）、不明 1 件であった。

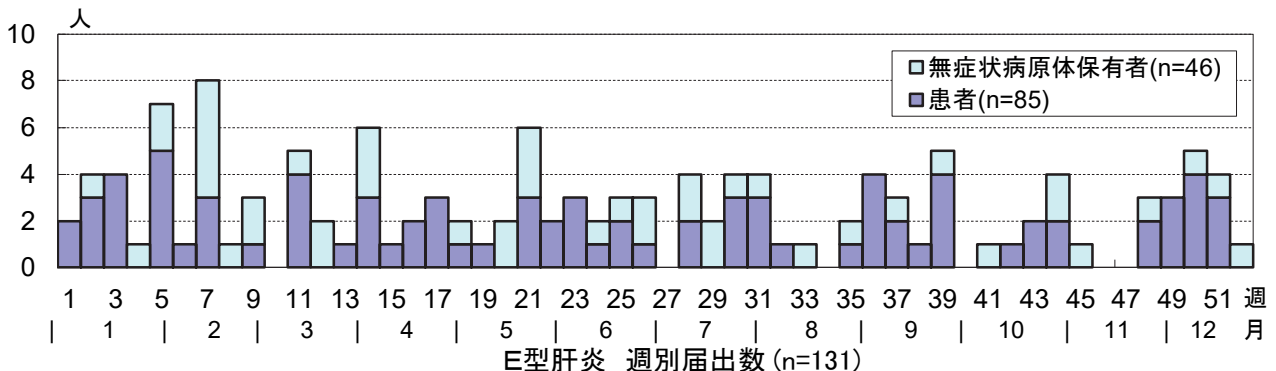
⑤ パラチフス

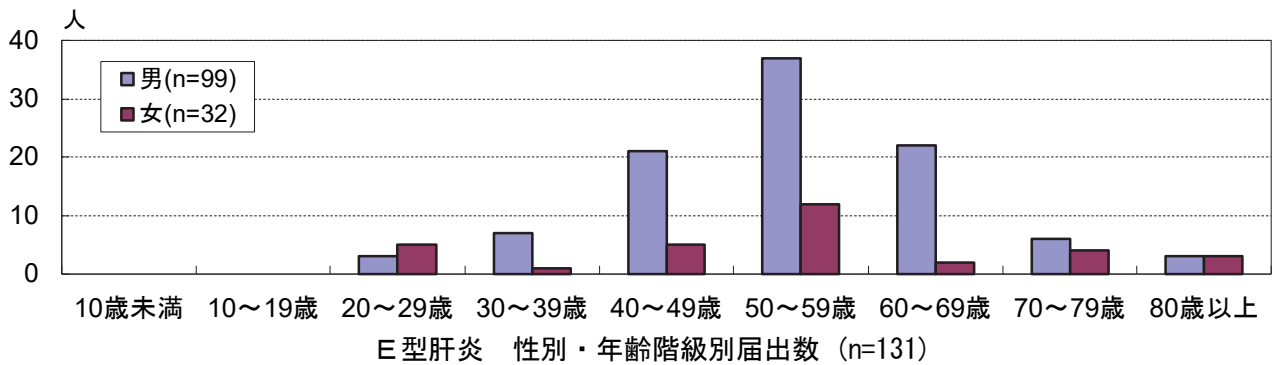
2022 年は 4 件の届出があった。性別は男性 2 人、女性 2 人で、年齢階級別では 5～9 歳 1 人、30～39 歳 2 人、50～59 歳 1 人であった。症例は 30 歳代の男性で、ファージ型は UT 型、1 型各 2 件であった。推定感染地は全て国外（インド）であった。

エ 四類感染症

① E 型肝炎

2022 年は 131 件の届出があった。性別は男性 99 人、女性 32 人、類型は患者 85 人、無症状病原体保有者 46 人、年齢階級別では 20～29 歳 8 人、30～39 歳 8 人、40～49 歳 26 人、50～59 歳 49 人、60～69 歳 24 人、70～79 歳 10 人、80 歳以上 6 人であった。推定感染地は国内 102 件、国外 1 件（タイ）、不明 28 件であった。推定感染経路は経口感染 65 件、不明 66 件であった。経口感染 65 件の推定原因食品は、肉類 40 件、魚介類 1 件、肉類又は魚介類 1 件、飲料 1 件、不明 22 件であった。

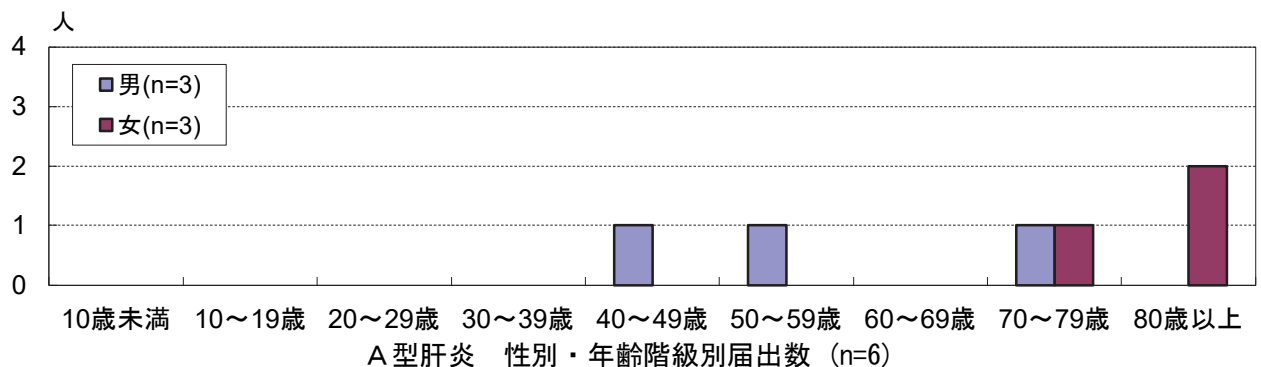
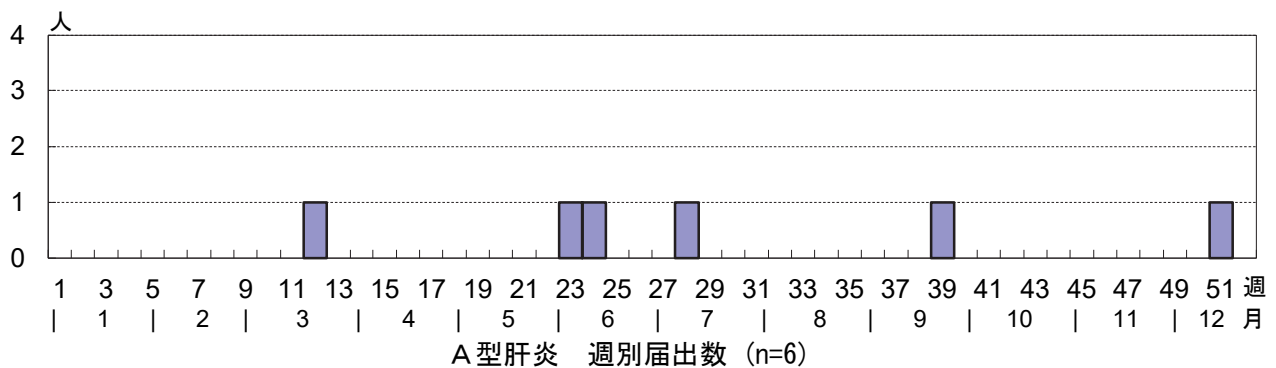




② A型肝炎

2022年は6件の届出があった。性別は男性3人、女性3人で、年齢階級別では40～49歳1人、50～59歳1人、70～79歳2人、80歳以上2人であった。

推定感染地は国内4件、不明2件であった。推定感染経路は飲食物を介した経口感染3件、不明3件であった。経口感染3件の推定原因食品は魚介類1件、生もの1件、不明1件であった。



③ エキノコックス症

2022年は3件の届出があった。性別は男性1人、女性2人で、年齢階級は20～29歳1人、30～39歳1人、60～69歳1人、であった。推定感染地は全て国内（北海道）、推定感染経路は経口感染1件、その他1件、不明1件であった。

④ オウム病

2022年は4件の届出があった。性別は男性1人、女性3人で、年齢階級は60～69歳2人、70～79歳2人であった。推定感染地は全て国内で、推定感染経路は鳥類との接触3件、不明1件であった。

⑤ サル痘

2022年は5件の届出があった。性別は全て男性で、年齢階級は30～39歳3人、40～49歳1人、60～69歳1人であった。推定感染地は国内3件、国外2件であった。推定感染原因は全て接触感染で、推定感染経路は性的接触3件、不明2件であった。

⑥ 重症熱性血小板減少症候群

2022年は1件の届出があった。性別は女性で、年齢階級別では70～79歳で死亡例であった。推定感染地は国内（岡山県）で、推定感染経路はマダニからの感染であった。

⑦ チクングニア熱

2022年は1件の届出があった。性別は女性で、年齢階級別では60～69歳であった。推定感染地は国外（インドネシア）で、推定感染経路は動物・蚊・昆虫等からの感染であった。

⑧ つつが虫病

2022年は14件の届出があった。性別は男性8人、女性6人であった。年齢階級別は20～29歳1人、30～39歳3人、40～49歳1人、50～59歳4人、60～69歳2人、70～79歳2人、80歳以上1人であった。推定感染地は全て国内で、東京都8件（多摩地区3件、島しょ地区4件、不明1件）、千葉県2件、神奈川県、長野県、宮崎県各1件、千葉県又は東京都（23区）1件であった。

つつが虫病届出例（n=14）

受理	性別	年齢	推定感染地	媒介動物との接触状況
1/4	女	31	東京都（島しょ）	山中でキョン捕獲。
1/24	男	83	東京都（島しょ）	
6/7	女	72	長野県	野山でダニに咬まれた。
10/24	男	35	宮崎県	山林等の出入り。
11/21	男	31	東京都（不明）	
11/24	女	60	東京都（島しょ）	飼い猫。
11/28	女	52	東京都（多摩）	
12/1	男	62	東京都（島しょ）	飼い猫。
12/2	男	22	千葉県	林間学校。
12/9	女	56	東京都（多摩）	溪谷の遊歩道で歩行者の誘導作業。
12/14	男	51	千葉県	左前腕に刺し口あり、虫体なし。
12/17	男	50	東京都（多摩）	外で猫を飼育。ハクビシン、アナグマが頻出。
12/19	女	49	神奈川県	
12/21	男	74	千葉県又は東京都（23区）	墓参（野生動物が頻出）、又は自宅の庭ですだちを収穫。

⑨ デング熱

2022年は26件の届出があり、病型は全てデング熱であった。性別は男性16人、女性10人、年齢階級別は10～19歳1人、20～29歳6人、30～39歳8人、40～49歳6人、50～59歳3人、60～69歳1人、70～79歳1人であった。血清型は12件報告されており、その内訳は1型5件、2型4件、3型3件であった。

推定感染地は全て国外（ネパール8件、ベトナム5件、インドネシア、インド各3件、フィリピン

ン、タイ、シンガポール、バングラデシュ各1件、タイ又はベトナム、タイ又はラオス、タイ又はネパール各1件)であった。

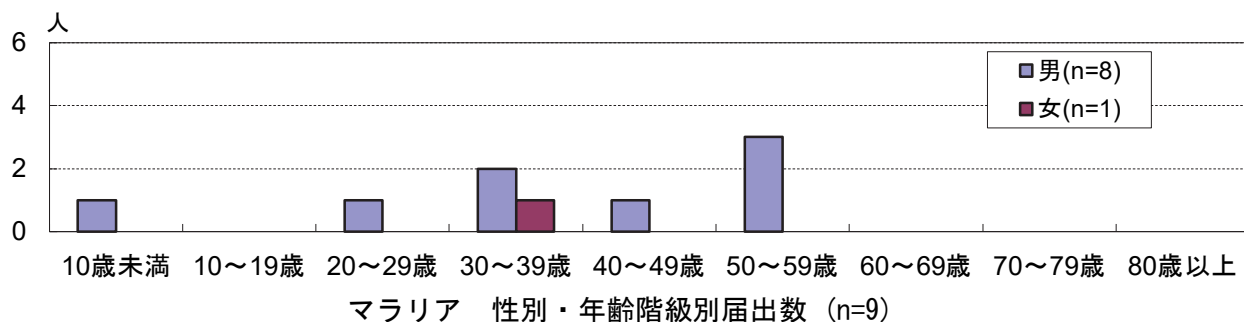
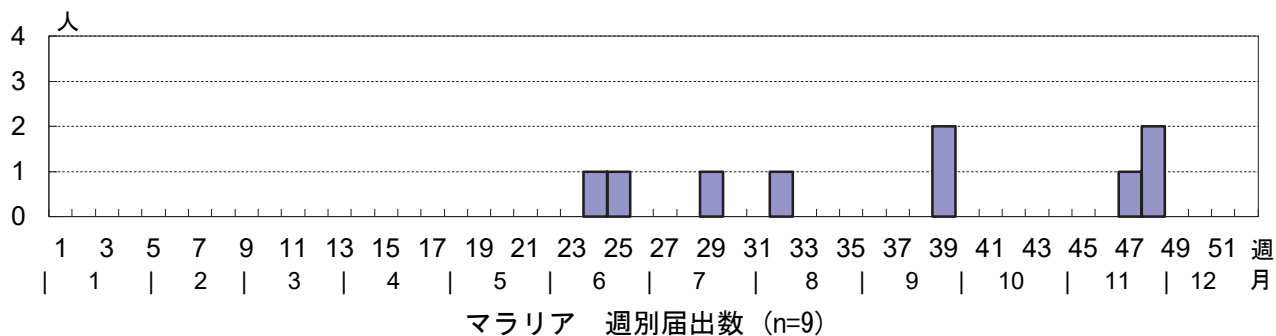
⑩ ボツリヌス症

2022年は1件の届出があった。性別は女性、年齢階級は60～69歳であった。推定感染地は国内であった。推定感染経路は経口感染(なれ寿司)で、毒素型はE型であった。

⑪ マラリア

2022年は9件の届出があった。病型は、熱帯熱マラリア7件、卵型マラリア2件であった。性別は男性8人、女性1人、年齢階級別は5歳未満1人、20～29歳1人、30～39歳3人、40～49歳1人、50～59歳3人であった。

病型別推定感染地は、熱帯熱7件はカメルーン2件、ウガンダ、タンザニア、ナイジェリア、スーダン、南スーダン各1件、卵型2件はギニア、ナイジェリア各1件であった。



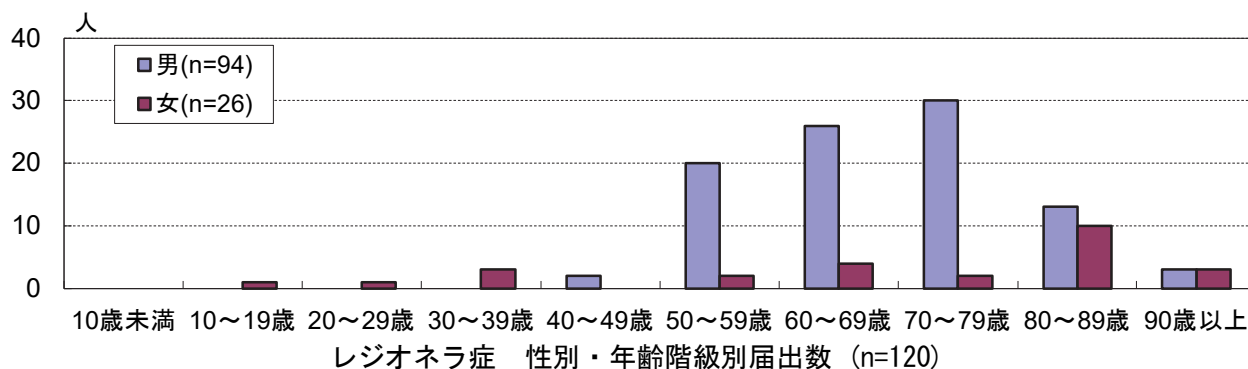
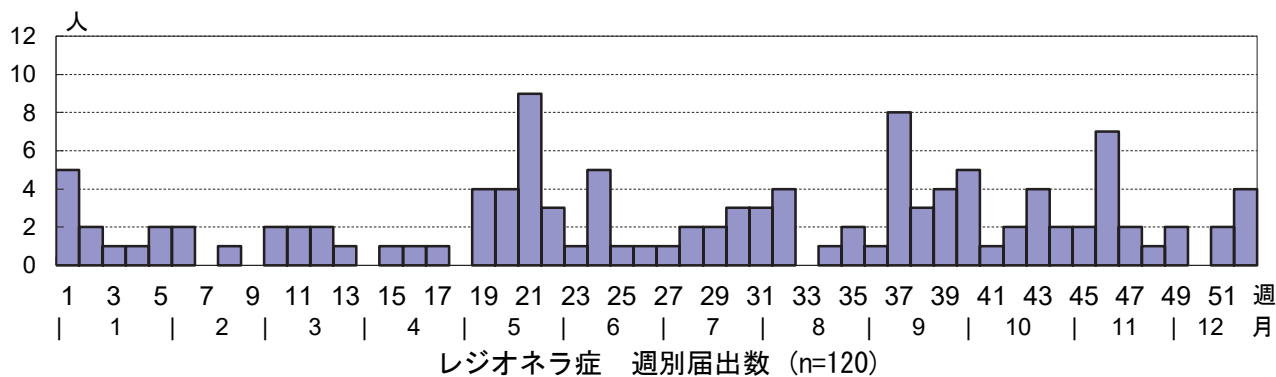
⑫ ライム病

2022年は2件の届出があった。性別は全て男性で、年齢階級別は50～59歳1人、70～79歳1人であった。推定感染地は国内1件、国外(米国)1件、推定感染経路はいずれも動物・蚊・昆虫等からの感染であった。

⑬ レジオネラ症

2022年は120件の届出があった。病型は肺炎型105件、ポンティアック熱型14件、無症状病原体保有者1件であった。死亡例は1人報告された。性別は男性94人、女性26人で、年齢階級別は10～19歳1人、20～29歳1人、30～39歳3人、40～49歳2人、50～59歳22人、60～69歳30人、70～79歳32人、80～89歳23人、90歳以上6人であった。

推定感染地は国内 105 件、国外 1 件（フィリピン）、国内又は国外 1 件（ベトナム）、不明 13 件であった。推定感染経路は、水系感染 37 件、塵埃感染 4 件、その他 3 件、水系感染又は塵埃感染 2 件、不明 74 件であった。水系感染のうち、公共浴場施設（温泉を含む）での感染と推定されたのは 22 件であった。



⑭ レプトスピラ症

2022 年は 5 件の届出があった。死亡例は 1 人報告された。性別は全て男性で、年齢階級別は 5～9 歳 1 人、40～49 歳 1 人、60～69 歳 2 人、70～79 歳 1 人であった。推定感染地は全て国内であった。

レプトスピラ症届出例 (n=5)

受理日	性別	年齢	地域	感染原因・感染経路(内容)
6/3	男	69	国内（東京都）	ネズミ
9/9	男	49	国内（沖縄県）	水系感染（カヤックで下肢に傷）
9/20	男	9	国内（沖縄県）	水系感染（川下り）
9/28	男	61	国内（東京都）	ネズミが出る工場でのゴミ仕分
12/28	男	74	国内（都道府県不明）	清掃業務

⑮ その他の四類感染症

以下の疾患は届出がなかった。

ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）、黄熱、オムスク出血熱、回帰熱、キャサナル森林病、Q 熱、狂犬病、コクシジオイデス症、ジカウイルス感染症、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ（H5N1 及び H7N9 を除く）、ニパウイルス感染

症、日本紅斑熱、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、Bウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、野兎病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、ロッキー山紅斑熱

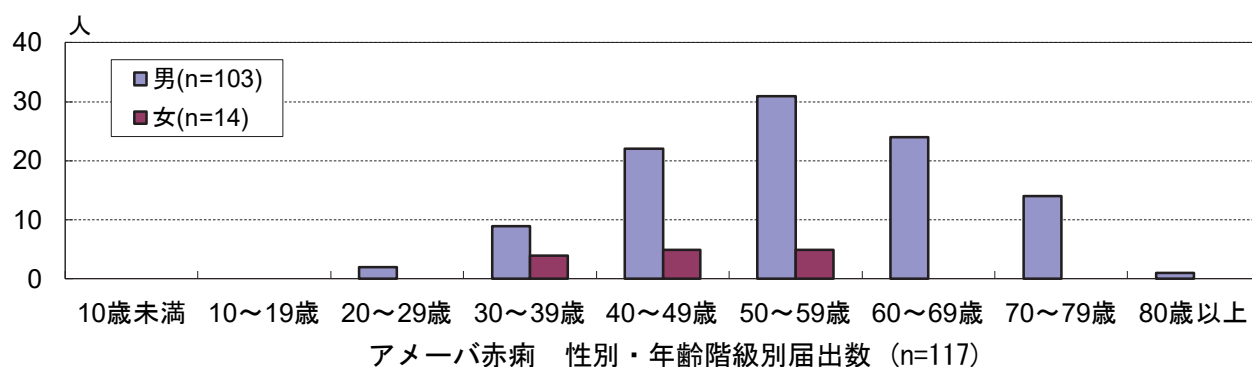
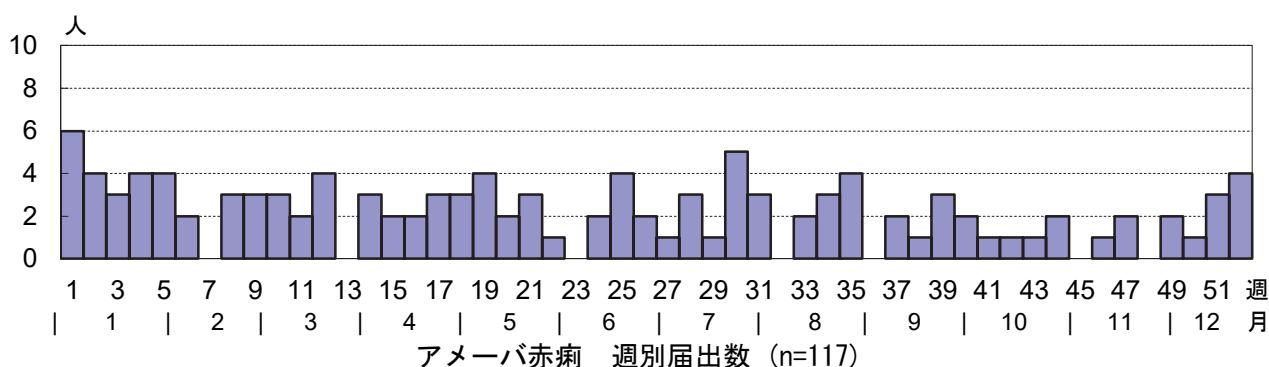
オ 五類感染症（全数把握対象）

① アメーバ赤痢

2022年は117件の届出があった。腸管アメーバ症105件、腸管外アメーバ症5件、腸管及び腸管外アメーバ症7件であった。性別は男性103人、女性14人で、年齢階級別では20～29歳2人、30～39歳13人、40～49歳27人、50～59歳36人、60～69歳24人、70～79歳14人、80歳以上1人であった。

推定感染地は国内86件、国外10件（中国、香港、ベトナム、タイ、ベルギー各1件、タイ又はシンガポール又はグアム、タイ又はインドネシア又はウクライナ、ハワイ又はグアム各1件、渡航先不明2件）、国内又は国外（タイ又はベトナム）1件、不明20件であった。

推定感染経路は性的接触43件（同性間19件、異性間15件、性別不明9件）、飲食物による経口感染11件、経口感染又は性的接触2件（異性間、性別不明各1件）、不明61件であった。



② ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）

2022年は35件の届出があった。内訳は、B型肝炎19件、C型肝炎8件、エプスタイン・バーウイルス（以下、EBV）肝炎5件、サイトメガロウイルス（以下、CMV）肝炎3件であった。

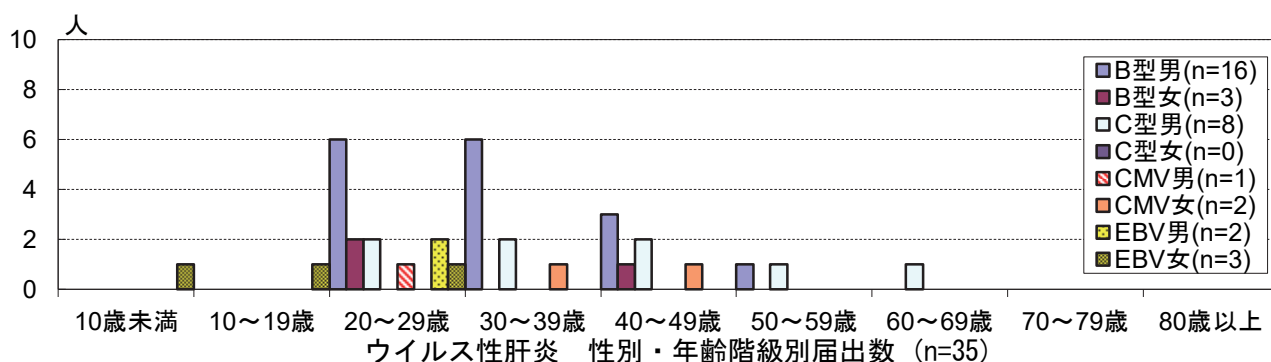
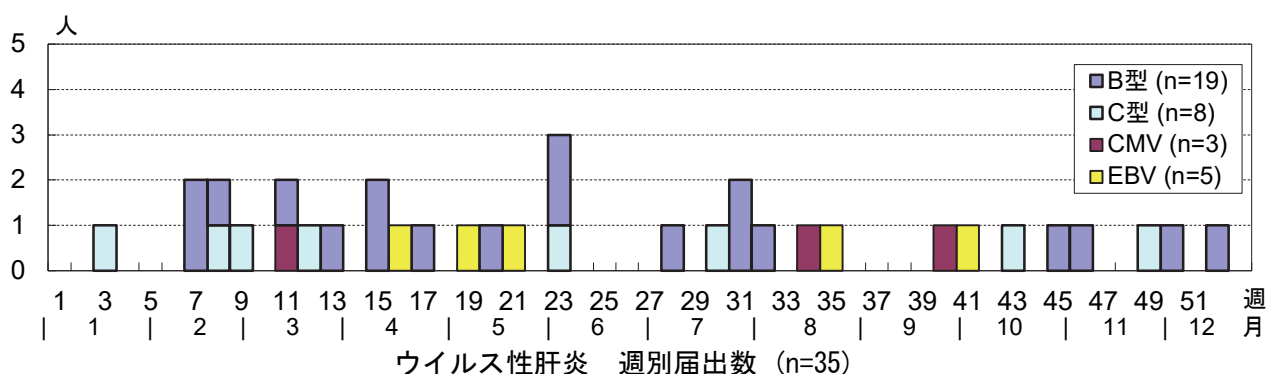
B型肝炎は19件の届出があった。性別は男性16人、女性3人で、年齢階級別では20～29歳8人、30～39歳6人、40～49歳4人、50～59歳1人であった。推定感染地は全て国内、推定感染経路は性的接触16件（同性間9件、異性間5件、性別不明2件）、針等の鋭利なものの刺入又は性的接触（異性間）1件、不明2件であった。

C型肝炎は8件の届出があった。性別は全て男性で、年齢階級別は20～29歳2人、30～39歳2人、

40～49歳2人、50～59歳1人、60～69歳1人であった。推定感染地は国内7件、不明1件、推定感染経路は性的接触7件（全て同性間）、不明1件であった。

EBV肝炎は5件の届出があった。性別は男性2人、女性3人で、年齢階級は10歳未満1人、10～19歳1人、20～29歳3人であった。推定感染地は全て国内、推定感染経路はその他1件、不明4件であった。

CMV肝炎は3件の届出があった。性別は男性1人、女性2人で、年齢階級別では20～29歳、30～39歳、40～49歳各1人であった。推定感染地は全て国内、推定感染経路は性的接触（同性間）1件、不明2件であった。



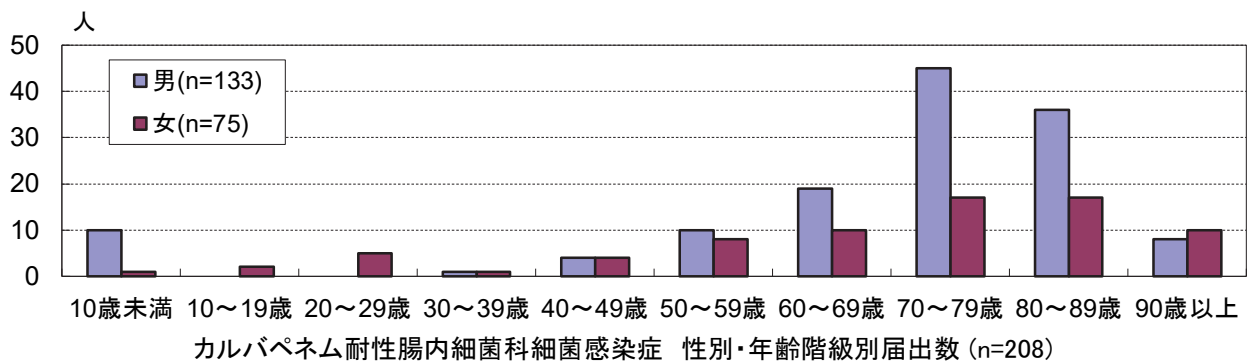
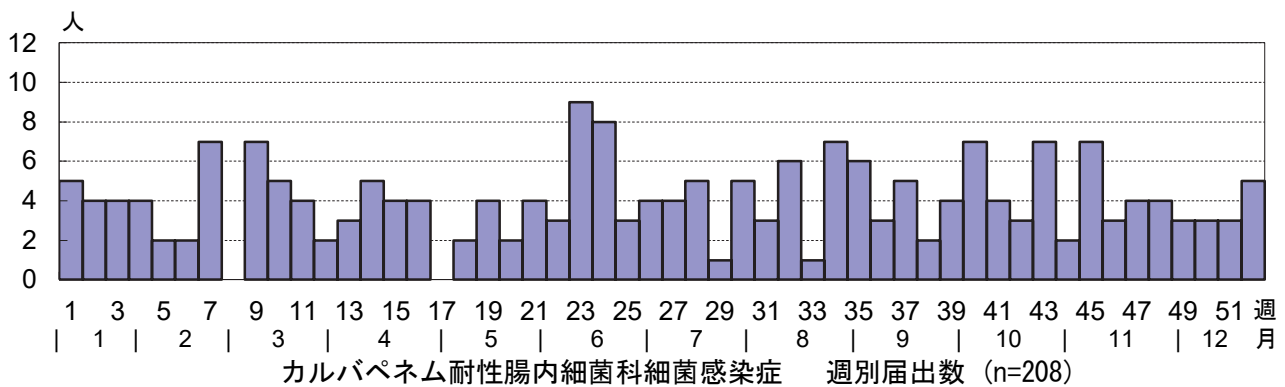
③ カルバペナム耐性腸内細菌科細菌感染症

2022年は208件の届出があった。性別は男性133人、女性75人で、年齢階級別では10歳未満11人（うち5歳未満9人）、10～19歳2人、20～29歳5人、30～39歳2人、40～49歳8人、50～59歳18人、60～69歳29人、70～79歳62人、80～89歳53人、90歳以上18人であった。死亡例は7人（50～59歳1人、60～69歳1人、70～79歳3人、80～89歳1人、90歳以上1人）報告された。

推定感染地は国内184件、国外1件（中国）、不明23件であった。

分離された菌種は、*Klebsiella aerogenes* 87件、*Enterobacter cloacae* complex 63件、*Klebsiella pneumoniae* 20件、*Serratia marcescens* 11件、*Escherichia coli* 10件、*Citrobacter freundii* complex 7件、*Enterobacter* sp. 3件、*Citrobacter braakii* 2件、*Citrobacter koseri*、*Enterobacter asburiae*、*Enterobacter bugandensis*、*Morganella morganii*、*Providencia rettgeri* 各1件であった。

Enterobacter cloacae complexに含まれる複数の菌種と *Enterobacter cloacae* は生化学的性状のような一般的な検査室での同定検査では区別できないので、集計項目のうち *Enterobacter cloacae* を廃止し、*Enterobacter cloacae* complex に含めた。



④ 急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。）

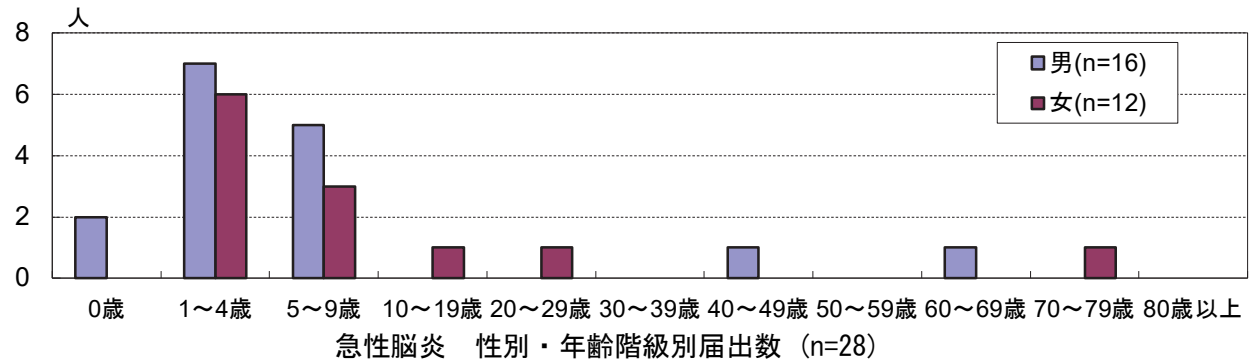
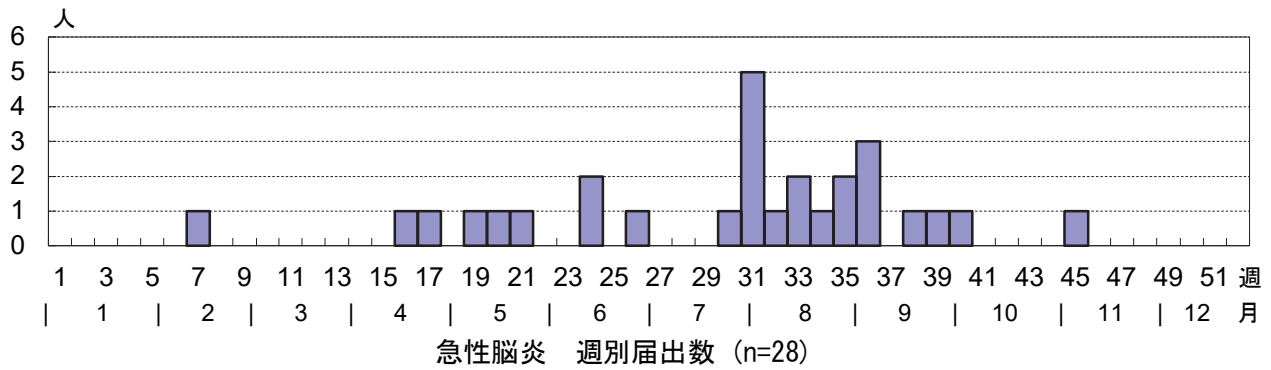
2022年は4件の届出があった。性別は男性3人、女性1人で、年齢階級別では、10歳未満3人（うち5歳未満1人）、10～19歳1人であった。推定感染地は全て国内、病原体は全てエンテロウイルスであった。ポリオワクチン接種歴は、4回2件、3回、2回各1件であった。

⑤ 急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）

2022年は28件の届出があった。原因と推定された病原体は、SARS-CoV-2（新型コロナウイルス）5件、ヘルペスウイルス3件（ヒトヘルペスウイルス6型、ヒトヘルペスウイルス7型、ヒトヘルペスウイルス6型及び単純ヘルペスウイルス1型各1件）、RSウイルス、エンテロウイルス、水痘・帯状疱疹ウイルス各2件、アデノウイルス、リステリア・モノサイトゲネス、トキソプラズマ各1件、RSウイルス及びライノウイルス、ライノウイルス及びパラインフルエンザウイルス1型各1件、不明9件であった。

性別は男性16人、女性12人で、年齢階級別では10歳未満23人（5歳未満15人）、10～19歳1人、20～29歳1人、40～49歳1人、60～69歳1人、70～79歳1人で、死亡例は3人報告された。

推定感染地は国内27件、不明1件であった。推定感染経路は飛沫・飛沫核感染12件、接触感染6件、その他2件、不明8件であった。



⑥ クリプトスポリジウム症

2022年は2件の届出があった。性別は全て男性で、年齢階級別は30～39歳2人であった。推定感染地は国内、国外（ウガンダ）各1件で、経口感染1件、性的接触（同性間）1件であった。

⑦ クロイツフェルト・ヤコブ病

2022年は18件の届出があった。性別は男性9人、女性9人で、年齢階級別では10～19歳1人、50～59歳1人、60～69歳6人、70～79歳8人、80歳以上2人であった。

孤発性プリオン病・古典型クロイツフェルト・ヤコブ病（以下、CJD）が14件（ほぼ確実8件、疑い6件）、孤発性プリオン病・その他が2件（疑い）、遺伝性プリオン病・家族性CJDが1件（ほぼ確実）、遺伝性プリオン病・家族性致死性不眠症（FFI）が1件（ほぼ確実）であった。

孤発性プリオン病16件の進行性認知症以外の症状は、記憶障害13件、ミオクローヌス11件、精神・知能障害10件、錐体路症状、無動性無言状態各7件、錐体外路症状、視覚異常、筋強剛各5件、小脳症状3件、臨床的に頑固な不眠2件、その他1件であった。

遺伝性プリオン病2件の症状は、精神・知能障害2件、小脳症状、記憶障害、臨床的に頑固な不眠、異常感覚、筋強剛各1件であった。

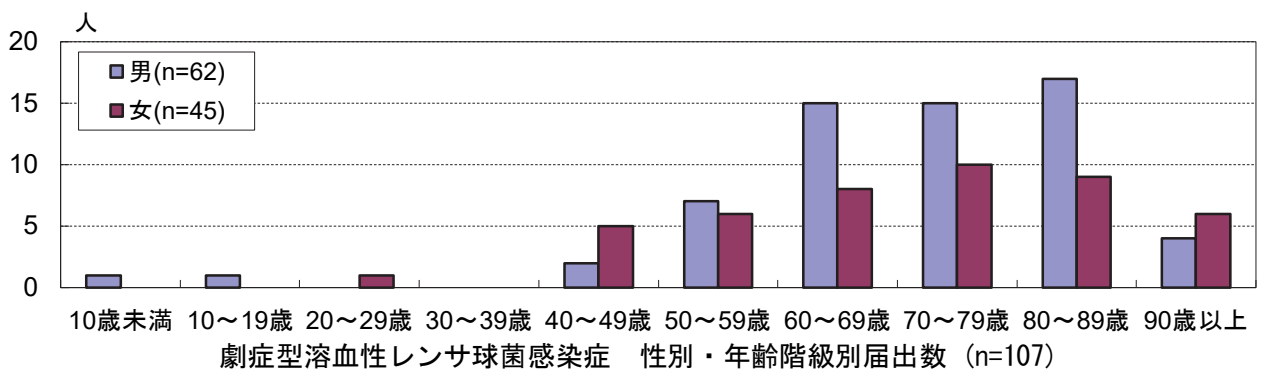
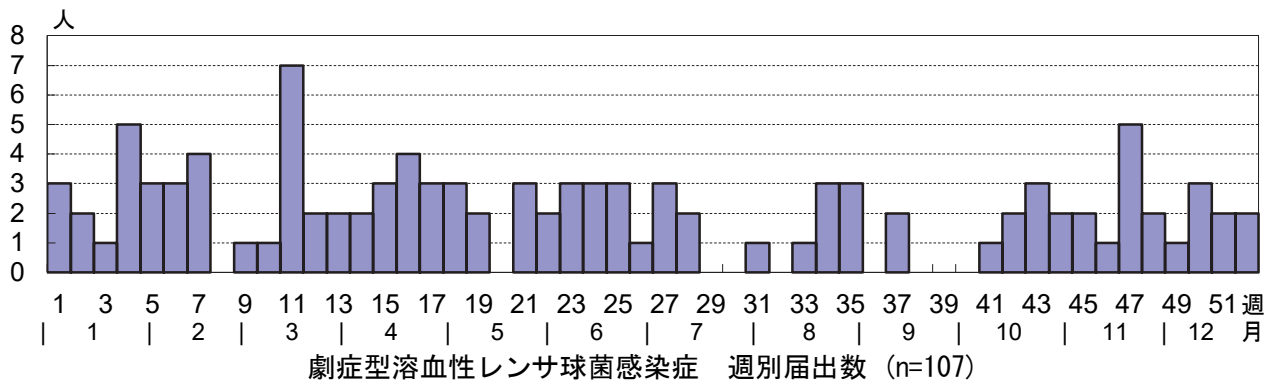
⑧ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

2022年は107件の届出があった。性別は男性62人、女性45人で、年齢階級別では5歳未満1人、10～19歳1人、20～29歳1人、40～49歳7人、50～59歳13人、60～69歳23人、70～79歳25人、80～89歳26人、90歳以上10人であった。死亡例は21人（5歳未満1人、50～59歳4人、60～69歳1人、70～79歳5人、80～89歳6人、90歳以上4人）報告された。

推定感染地は国内100件、国外1件（シンガポール）、不明6件であった。推定感染経路は、創傷感染36件、飛沫・飛沫核感染7件、接触感染2件、経口感染1件、接触感染又は創傷感染1件、その他5件、

不明 55 件であった。

血清群は、A 群 34 件、B 群 32 件、C 群 1 件、G 群 32 件、C 群及び G 群 2 件、不明 6 件であった。



⑨ 後天性免疫不全症候群

2022 年は 288 件の届出があり、AIDS 患者 53 人、HIV 感染者 235 人（指標疾患以外の有症状者 26 人、無症候性キャリア 209 人）であった。

AIDS 患者 53 人の内訳は全て男性で、年齢階級別では 20～29 歳 8 人、30～39 歳 20 人、40～49 歳 10 人、50～59 歳 14 人、70～79 歳 1 人であった。

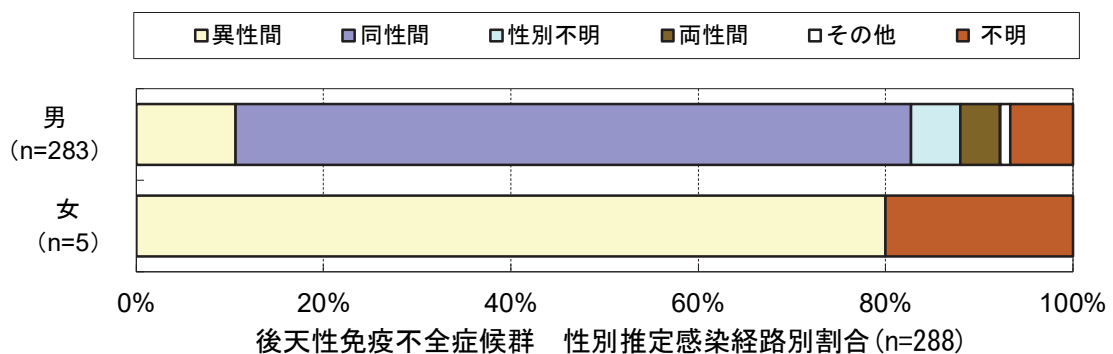
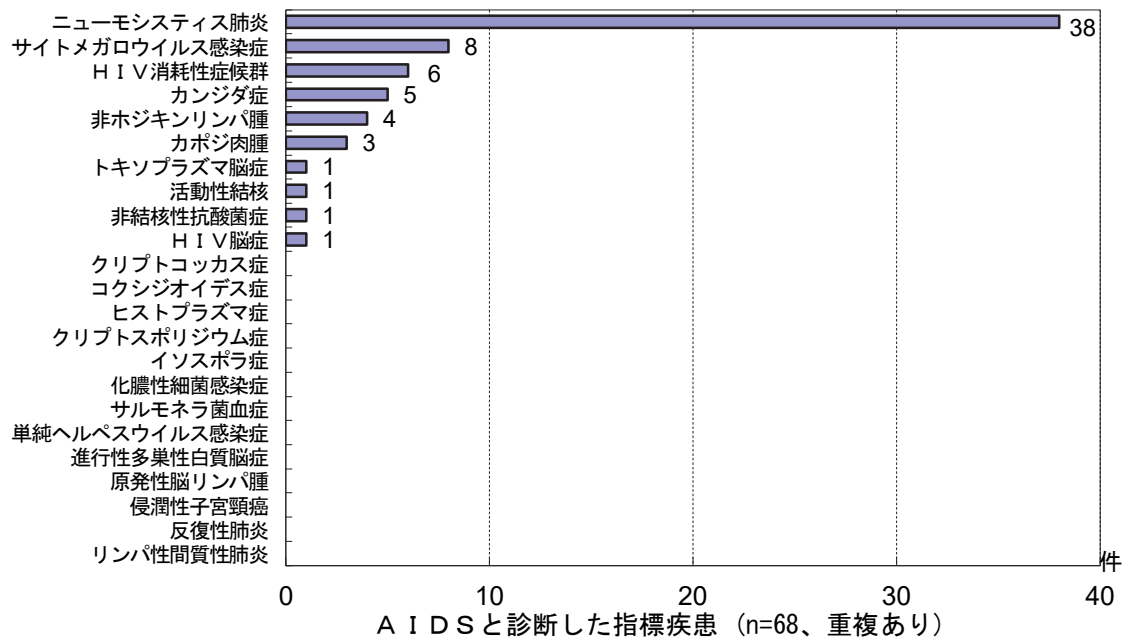
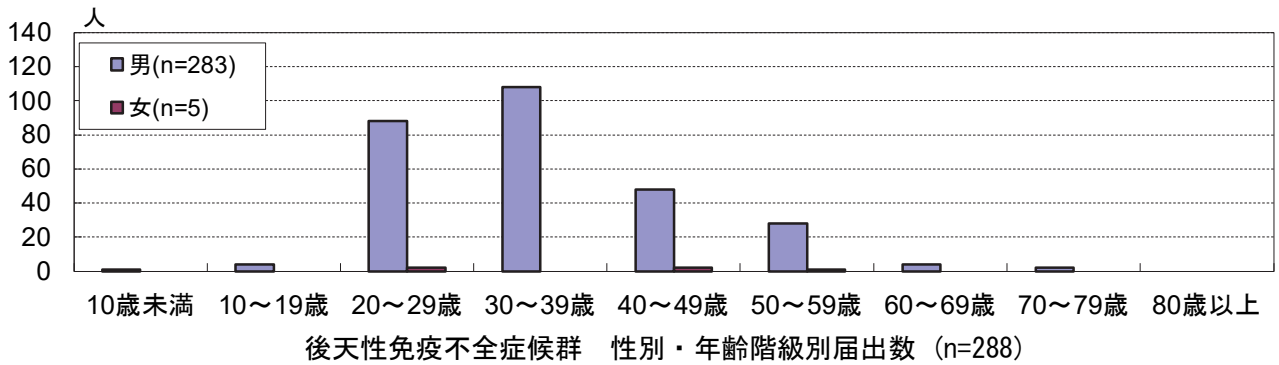
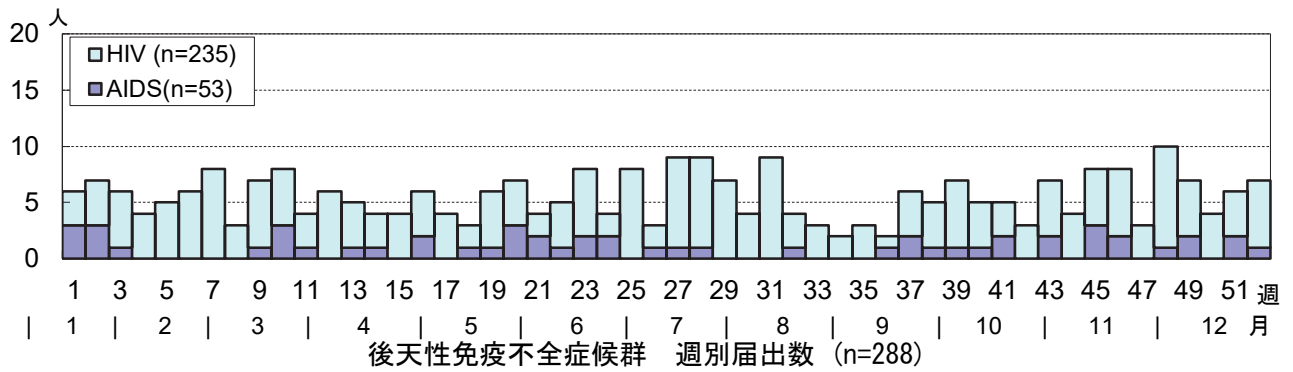
AIDS 指標疾患の患者では、ニューモシスティス肺炎（38 件）が最多で、次にサイトメガロウイルス感染症（8 件）、HIV 消耗性症候群（6 件）が多かった。

HIV 感染者のうち無症候性キャリアの 209 人の内訳は男性 205 人、女性 4 人で、年齢階級別では 5 歳未満 1 人、10～19 歳 4 人、20～29 歳 75 人、30～39 歳 81 人、40～49 歳 33 人、50～59 歳 10 人、60～69 歳 4 人、70～79 歳 1 人であった。5 歳未満 1 人は母親が HIV 感染者であった。

推定感染地は国内 245 件、国外 16 件（中国 3 件、フィリピン 2 件、台湾、カンボディア、タイ、ラオス、ミャンマー、ウガンダ、カナダ各 1 件、タイ又はバングラデシュ 1 件、その他（アフリカ北）1 件、渡航先不明 2 件）、不明 27 件であった。

届出のうち外国籍は 44 人で、AIDS 患者 5 人、HIV 感染者 39 人（指標疾患以外の有症者 2 人、無症候性キャリア 37 人）であった。

推定感染経路は性的接触 265 件（同性間 204 件、異性間 34 件、両性間 12 件、性別不明 15 件）、静注薬物使用 1 件、母子感染 1 件、同性間又は静注薬物使用 1 件、不明 20 件であった。



⑩ ジアルジア症

2022年は12件の届出があった。性別は男性8人、女性4人で、年齢階級別では5～9歳1人、20～29歳1人、30～39歳4人、40～49歳3人、60～69歳1人、70～79歳2人であった。

推定感染地は国内6件、国外6件（マリ3件、インド2件、インドネシア1件）であった。推定感染経路は経口感染4件、経口感染又は水系感染3件、性的接触3件（全て同性間）、不明2件であった。

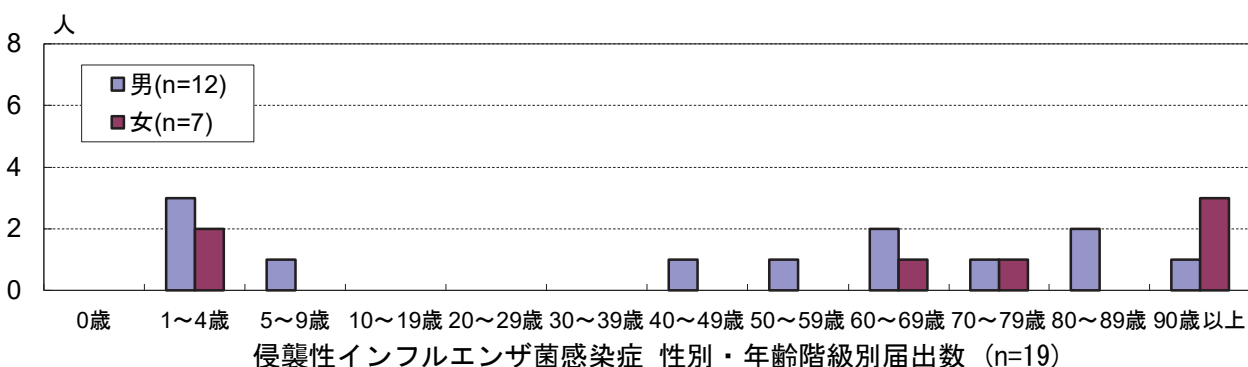
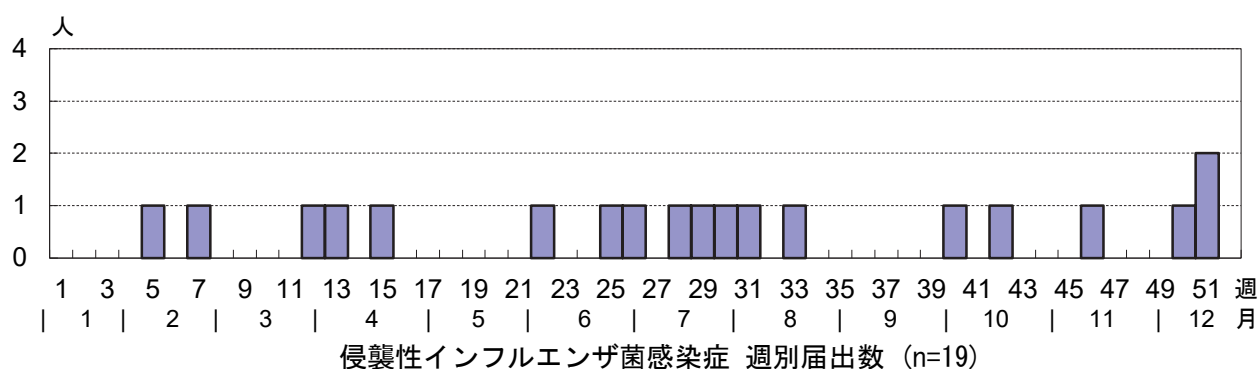
⑪ 侵襲性インフルエンザ菌感染症

2022年は19件の届出があった。性別は男性12人、女性7人で、年齢階級別では10歳未満6人（うち5歳未満5人）、40～49歳1人、50～59歳1人、60～69歳3人、70～79歳2人、80～89歳2人、90歳以上4人で、死亡例は2人（5歳未満5人、80～89歳1人）の報告があった。

血清型はf型1件、型別不能16件、検査未実施2件であった。

推定感染地は、国内14件、国外1件（ベトナム）、不明4件であった。推定感染経路は飛沫・飛沫核感染2件、不明17件であった。

Hib ワクチン接種歴は4回3件（5歳未満）、3回2件（5歳未満）、なし5件、不明9件であった。



⑫ 侵襲性髄膜炎菌感染症

2022年は1件の届出があった。性別は男性で、年齢階級別では70～79歳であった。血清型は検査未実施であった。推定感染地は国内で、推定感染経路は不明であった。ワクチン接種歴は不明であった。

⑬ 侵襲性肺炎球菌感染症

2022年は141件の届出があった。性別は男性87人、女性54人であった。年齢階級別では5歳未満28人（0歳6人、1～4歳22人）、10～19歳1人、20～29歳1人、30～39歳4人、40～49歳11人、50～59歳11人、60～69歳18人、70～79歳36人、80～89歳26人、90歳以上5人で、死亡例は10人報告

された。推定感染地は国内 123 件、不明 18 件であった。推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 38 件、接触感染 2 件、その他 6 件、飛沫・飛沫核感染又は接触感染 1 件、不明 94 件であった。

ワクチン接種歴は 4 回 18 件、3 回 10 件、2 回 3 件、1 回 5 件、なし 40 件、不明 65 件であった。

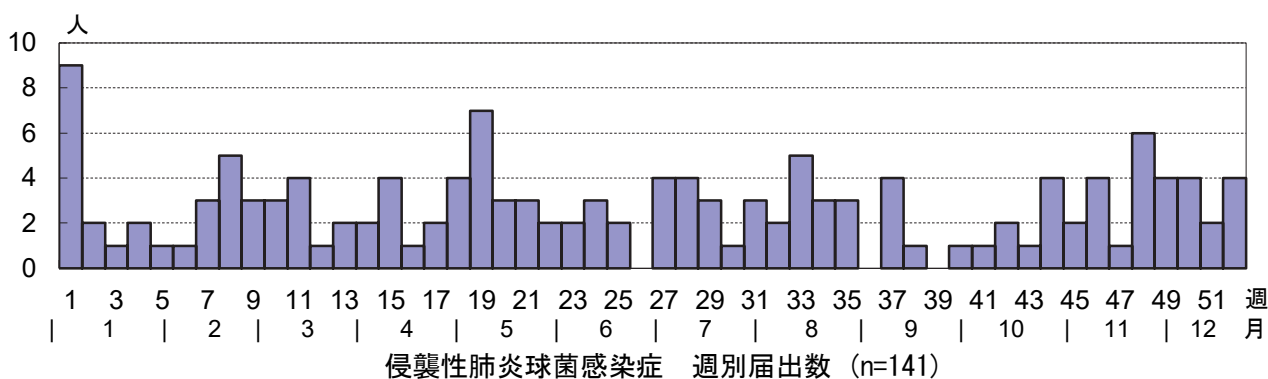
届出のうち、血清型別検査を実施したのは 53 件で、全て血清型が判明した。最も多い血清型は 3 型、10A 型、35B 型各 7 件で、24F 型 5 件、15C 型、23A 型各 4 件、15A 型、24B 型各 3 件、6C 型、19A 型各 2 件、6D 型、7C 型、14 型、15B 型、20 型、22F 型、23B 型、33F 型、35F 型各 1 件であった。

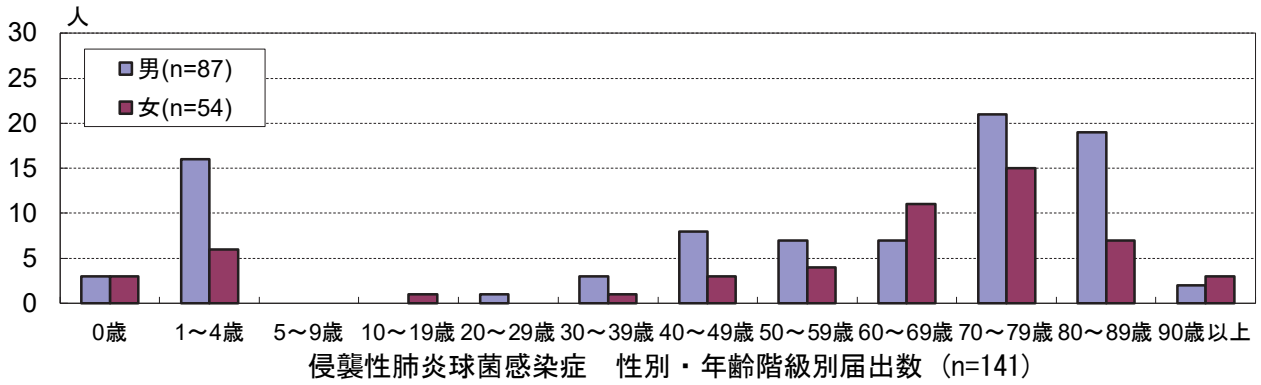
年齢階級別・種類別ワクチン接種歴 (n=141)

	13 価		13 価+ 価数不明		23 価	7 価+ 13 価		価数不明		接種歴 なし	接種歴 不明	総計
	3 回	4 回	3 回	2 回		4 回	1 回	2 回	3 回			
5 歳未満	7	13	1			1	1	1	4			28
10~64 歳	1					1				15	18	35
65 歳以上				1		4	1			25	47	78
合 計	8	13	1	1	1	5	2	1	4	40	65	141

侵襲性肺炎球菌感染症 血清型 (n=53)

血清型	届出数	血清型	届出数	血清型	届出数	血清型	届出数
3 型	7	14 型	1	20 型	1	24F 型	5
6C 型	2	15A 型	3	22F 型	1	33F 型	1
6D 型	1	15B 型	1	23A 型	4	35B 型	7
7C 型	1	15C 型	4	23B 型	1	35F 型	1
10A 型	7	19A 型	2	24B 型	3		



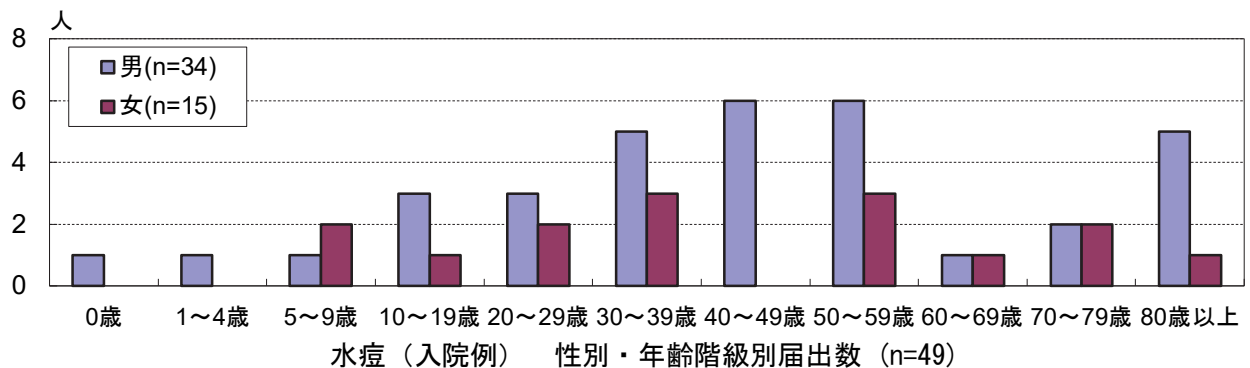
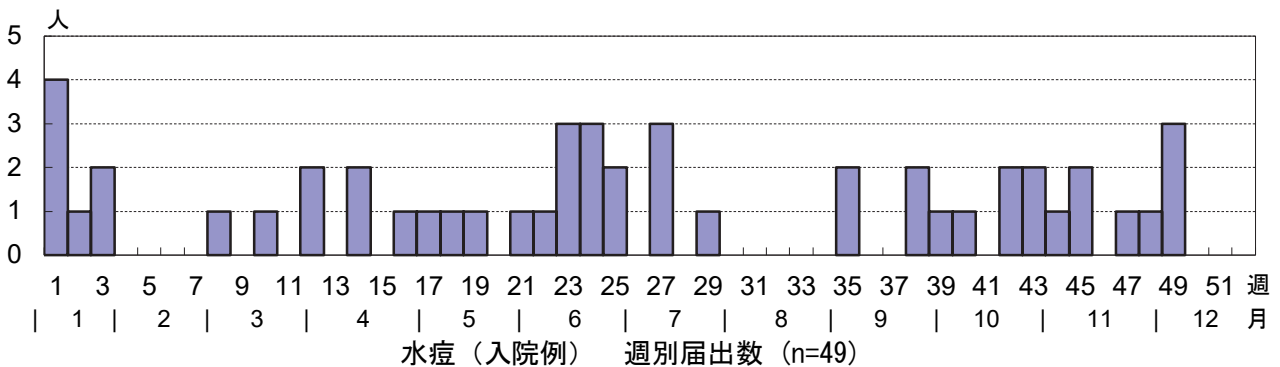


⑭ 水痘（入院例）

2022年は49件の届出があった。性別は男性34人、女性15人で、年齢階級別では5歳未満2人、5～9歳3人、10～19歳4人、20～29歳5人、30～39歳8人、40～49歳6人、50～59歳9人、60～69歳2人、70～79歳4人、80歳以上6人であった。死亡例の報告はなかった。

推定感染地は国内43件、不明6件で、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染17件、院内感染、接触感染各3件、飛沫・飛沫核感染又は接触感染3件、その他2件、不明21件であった。

ワクチン接種歴は2回、1回各3件、無し12件、不明31件であった。



⑮ 梅毒

2022年は3,677件の届出があった。病型は、早期顕症梅毒Ⅰ期1,496件、早期顕症梅毒Ⅱ期1,351件、晩期顕症梅毒33件、無症候797件であった。性別は男性2,291人、女性1,386人であった。年齢階級別では10～19歳113人、20～29歳1,494人、30～39歳844人、40～49歳660人、50～59歳406人、60～

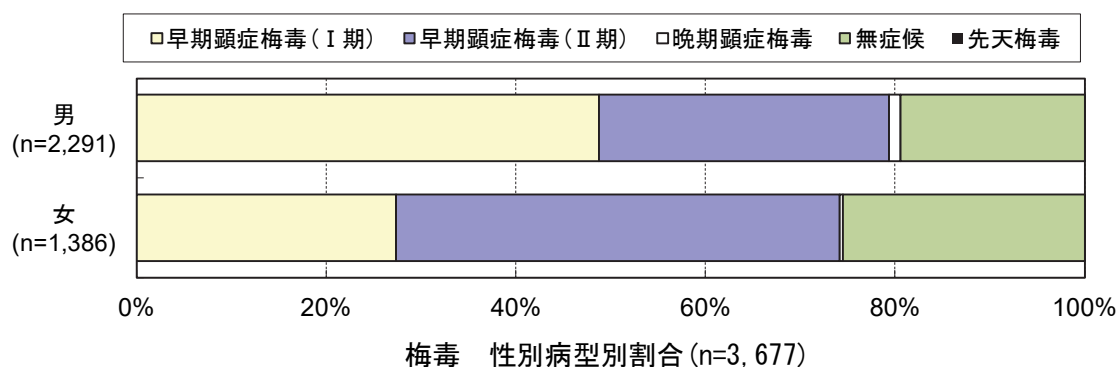
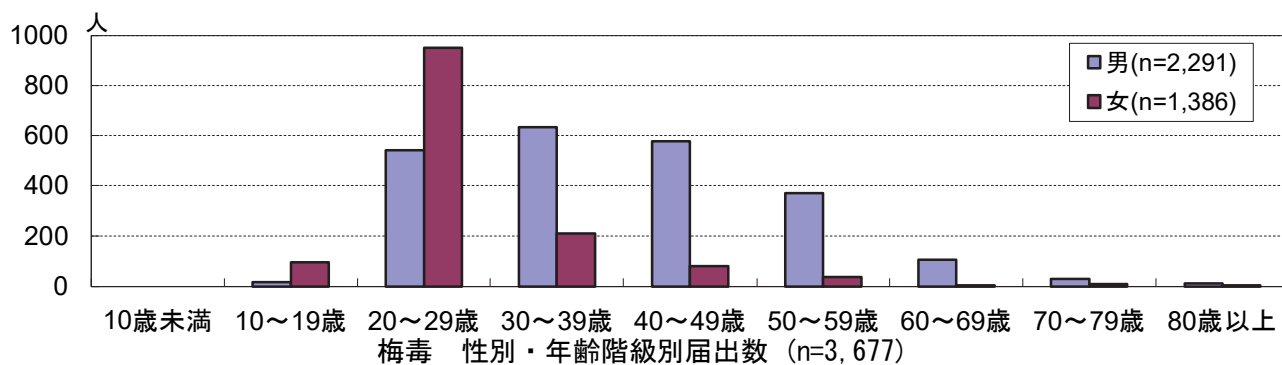
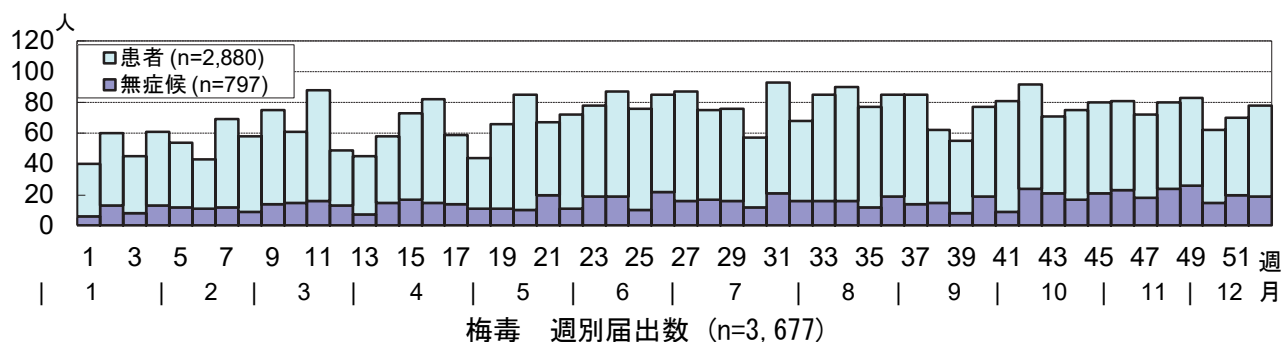
69歳110人、70～79歳37人、80歳以上13人で、20～49歳の男性が1,757人で男性全体の76.7%を占めた。妊娠可能年齢の女性（15～49歳）は1,337人で女性全体の96.5%を占めた。

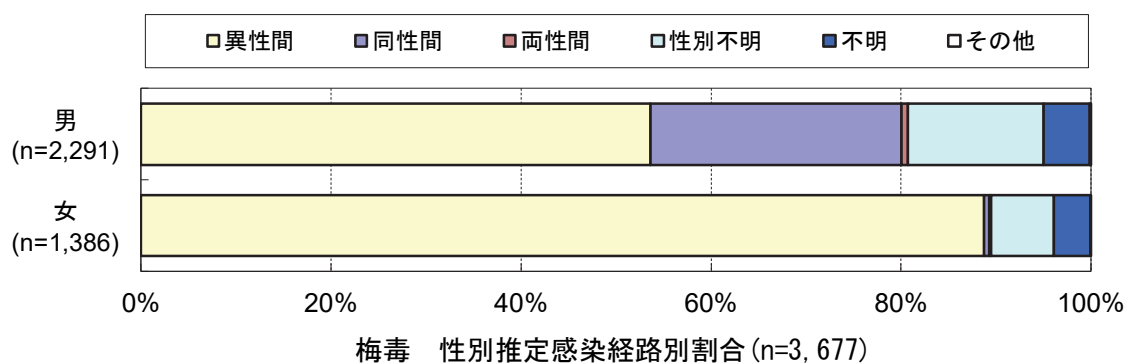
推定感染地は国内3,375件、国外10件（中国5件、台湾、フィリピン、インドネシア、フランス、渡航先不明各1件）、国内又は国外2件（韓国、渡航先不明各1件）、不明290件であった。

推定感染経路は性的接触3,509件（同性間614件、異性間2,458件、両性間17件、性別不明420件）、母子感染1件、異性間又は静注薬物使用2件、同性間又は静注薬物使用1件、不明164件であった。

HIV感染症合併の有無は353件（男性351件、女性2件）が合併有り、推定感染経路は、男性は性的接触343件（同性間309件、異性間6件、両性間4件、性別不明24件）、異性間又は静注薬物使用1件、不明7件で、女性は異性間性的接触1件、性別不明1件であった。

梅毒治療歴有りは559件（男性428件、女性131件）であった。妊娠中は62件であった。直近6か月の性風俗産業の従事者は768件（男性29件、女性739件）で、利用者は677件（男性663件、女性14件）であった。





⑯ 播種性クリプトコックス症

2022年は15件の届出があった。性別は男性8人、女性7人で、年齢階級別では60～69歳3人、70～79歳6人、80歳以上6人であった。死亡例は3人報告された。

推定感染地は国内14件、不明1件であった。

推定感染原因は、免疫不全11件、鳥類の糞又は免疫不全1件、不明3件であった。免疫不全11件のうち、基礎疾患のあるものは9件（重症節無力症2件、ANCA関連血管炎、ネフローゼ症候群（膜性腎症）、ホジキンリンパ腫、下腿蜂窩織炎及び甲状腺機能亢進症、菌状息肉症、腎移植及び膀胱癌、多発性骨髄腫各1件）であった。基礎疾患のあるもの9件のうち5件はステロイド投与中であった。

⑰ 破傷風

2022年は6件の届出があった。性別は男性5人、女性1人で、年齢階級別では60～69歳1人、70～79歳3人、80歳以上2人であった。

推定感染地は全て国内（東京都5件、都道府県不明1件）で、推定感染経路は創傷感染4件、針等の鋭利なものへの刺入による感染2件であった。破傷風含有ワクチン接種歴は、不明4件、なし2件であった。

⑱ バンコマイシン耐性腸球菌感染症

2022年は8件の届出があった。性別は男性5人、女性3人で、年齢階級別では30～39歳1人、40～49歳1人、50～59歳1人、70～79歳3人、80歳以上2人であった。菌種は全て *Enterococcus faecium* で、耐性遺伝子は *vanA* 2件、*vanB* 2件、*vanD* 1件、検査未実施3件であった。

推定感染地は国内5件、不明3件であった。推定感染経路は、飛沫・飛沫核感染1件、その他2件、不明5件であった。

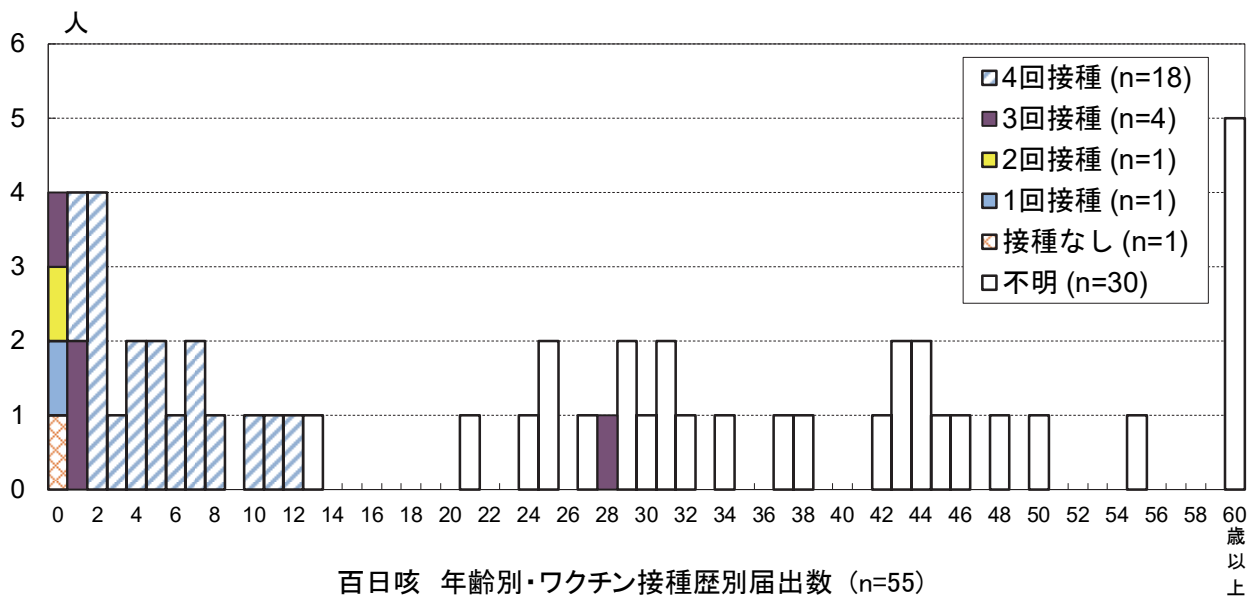
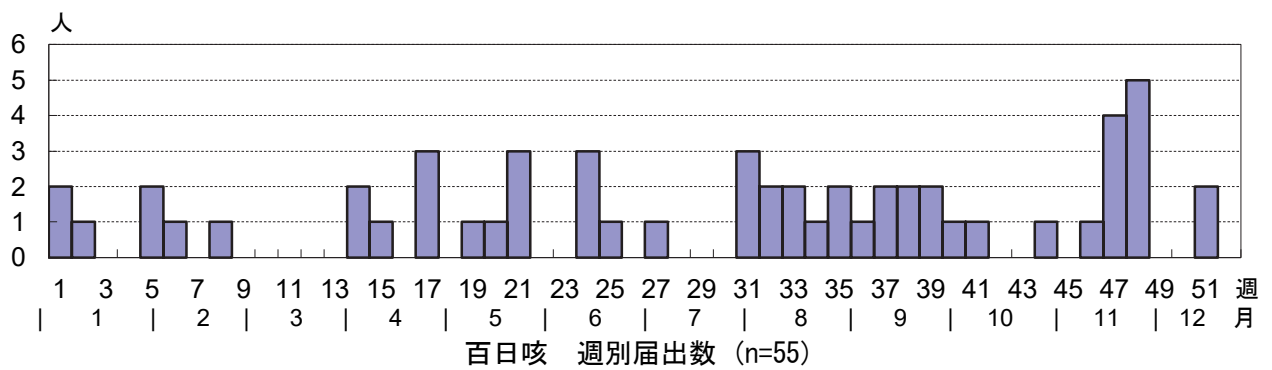
⑲ 百日咳

2022年は55件の届出があった。性別は男性20人、女性35人で、年齢階級別では10歳未満21人（うち5歳未満15人）、10～19歳4人、20～29歳8人、30～39歳7人、40～49歳8人、50～59歳2人、60～69歳2人、70～79歳2人、80歳以上1人であった。

推定感染地は国内45件、不明10件であった。

百日咳含有ワクチン接種歴は、4回18件、3回4件、2回1件、1回1件、なし1件、不明30件であった。

診断方法は、抗体検査33件、抗原検査20件、遺伝子検査（PCR法）2件であった。



⑳ 風しん

2022年は4件の届出があり、全て検査診断例（抗体検査）であった。

性別は男性1人、女性3人で、年齢階級別は10～19歳、20～29歳、30～39歳、50～59歳各1人であった。

推定感染地は国内3件、不明1件で、推定感染経路は飛沫感染1件、不明3件であった。

風しん含有ワクチン接種歴は、2回2件、1回1件、不明1件であった。

風しん届出例 (n=4)

受理日	性別	年齢	推定感染地	推定感染経路	ワクチン接種歴
6/23	女	28	不明	不明	不明
8/29	男	57	国内	不明	1回
11/1	女	31	国内	飛沫感染	2回
12/19	女	19	国内	不明	2回

㉑ 薬剤耐性アシネトバクター感染症

2022年は2件の届出があり、性別は男性、女性各1人で、年齢階級別では50～59歳、70～79歳各1人であった。推定感染地はいずれも国内であった。症状は、肺炎、膿胸各1件であった。

菌種は全て *Acinetobacter* spp.であった。

② その他の五類感染症

先天性風しん症候群、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、麻しんの届出はなかった。

カ 新型インフルエンザ等感染症

① 新型コロナウイルス感染症(病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。)であるものに限る。)

2022年9月26日以降は、発生届の対象者を、65歳以上の者、入院を要する者、重症化リスクがあり、新型コロナ治療薬や酸素投与が必要と医師が判断する者、妊婦の4類型に限定されることとなった。2023年3月27日現在、新型コロナウイルス感染症等情報把握・管理支援システムHER-SYSで、2022年9月25日までの届出のうち保健所確認済となっている登録データ、及び2022年9月26日以降において、同システム上に日次報告として報告されたデータによると、2022年に3,369,318件の届出・報告があった。

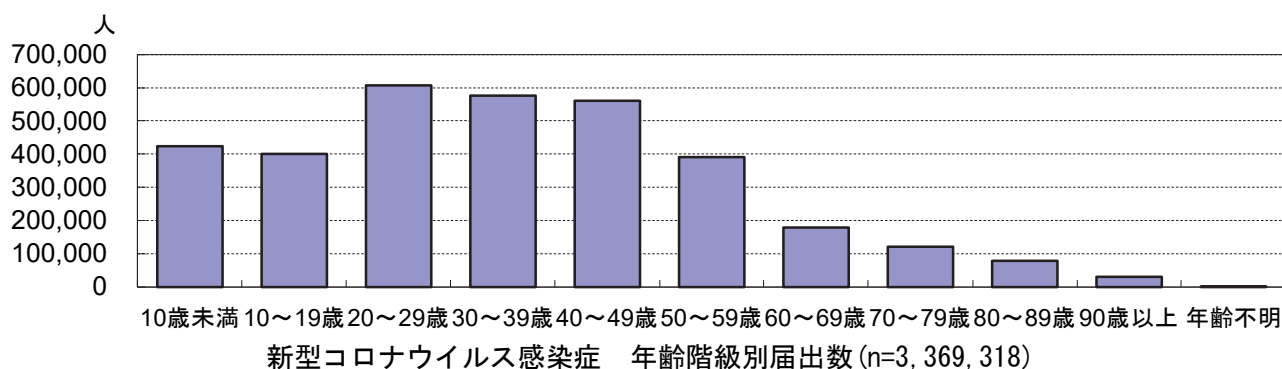
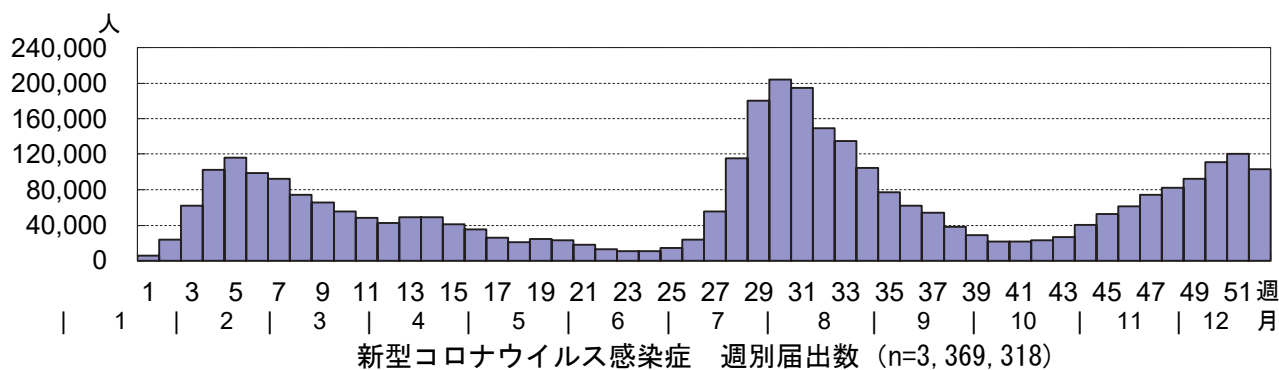


表3-1(1) 一、二、三類感染症 週別患者報告数

2022年第1週～2022年第52週

週	期 間	一 類							二 類						三 類					
		エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核*	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	中東呼吸器症候群	鳥インフルエンザ (H5N1)	鳥インフルエンザ (H7N9)	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス
1	1. 3～ 1. 9																	3		
2	1. 10～ 1. 16																	3		
3	1. 17～ 1. 23																	5		
4	1. 24～ 1. 30																	2		
5	1. 31～ 2. 6																	1		
6	2. 7～ 2. 13																	3		
7	2. 14～ 2. 20																			
8	2. 21～ 2. 27																			
9	2. 28～ 3. 6																	2		
10	3. 7～ 3. 13																	2		
11	3. 14～ 3. 20																			
12	3. 21～ 3. 27																	1		
13	3. 28～ 4. 3																	3		
14	4. 4～ 4. 10																	2		
15	4. 11～ 4. 17																	1	1	
16	4. 18～ 4. 24																	2		
17	4. 25～ 5. 1																	4		
18	5. 2～ 5. 8																	2		
19	5. 9～ 5. 15																	4		
20	5. 16～ 5. 22																	10		
21	5. 23～ 5. 29																	13		1
22	5. 30～ 6. 5																	11		
23	6. 6～ 6. 12																	9		
24	6. 13～ 6. 19																	16	1	
25	6. 20～ 6. 26																	11		
26	6. 27～ 7. 3																	12	1	
27	7. 4～ 7. 10															1		8		
28	7. 11～ 7. 17														1			13		
29	7. 18～ 7. 24																	8		
30	7. 25～ 7. 31																	20		
31	8. 1～ 8. 7																	27		
32	8. 8～ 8. 14																	10		
33	8. 15～ 8. 21															1		13		
34	8. 22～ 8. 28																	19		
35	8. 29～ 9. 4																	8	1	1
36	9. 5～ 9. 11																	17		
37	9. 12～ 9. 18																	11		
38	9. 19～ 9. 25																	8		
39	9. 26～ 10. 2																	10		
40	10. 3～ 10. 9																	12	1	1
41	10. 10～ 10. 16																	4		
42	10. 17～ 10. 23																	10		
43	10. 24～ 10. 30																	6		
44	10. 31～ 11. 6																		1	
45	11. 7～ 11. 13																	1		
46	11. 14～ 11. 20																	3		
47	11. 21～ 11. 27																	5		
48	11. 28～ 12. 4																	5		
49	12. 5～ 12. 11																	5		
50	12. 12～ 12. 18																	4		
51	12. 19～ 12. 25																	5		1
52	12. 26～ 1. 1																	2		
	合 計														1	2	356	6	4	

* 結核については、別途「東京都における結核の概況」として報告する。

表3-1(2) 四類感染症 週別患者報告数

2022年第1週～2022年第52週

週	期 間	四 類													
		E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	サル痘	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	ボツリヌス症	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症
1	1. 3～1. 9	2												5	
2	1. 10～1. 16	4		1										2	
3	1. 17～1. 23	4												1	
4	1. 24～1. 30	1							1					1	
5	1. 31～2. 6	7												2	
6	2. 7～2. 13	1												2	
7	2. 14～2. 20	8													
8	2. 21～2. 27	1									1			1	
9	2. 28～3. 6	3													
10	3. 7～3. 13													2	
11	3. 14～3. 20	5												2	
12	3. 21～3. 27	2	1							1				2	
13	3. 28～4. 3	1			1									1	
14	4. 4～4. 10	6		1											
15	4. 11～4. 17	1												1	
16	4. 18～4. 24	2												1	
17	4. 25～5. 1	3												1	
18	5. 2～5. 8	2													
19	5. 9～5. 15	1								1				4	
20	5. 16～5. 22	2								1				4	
21	5. 23～5. 29	6		1										9	
22	5. 30～6. 5	2												3	1
23	6. 6～6. 12	3	1							1				1	
24	6. 13～6. 19	2	1								1			5	
25	6. 20～6. 26	3									1			1	
26	6. 27～7. 3	3							1					1	
27	7. 4～7. 10									1				1	
28	7. 11～7. 17	4	1											2	
29	7. 18～7. 24	2									1			2	
30	7. 25～7. 31	4				2				1				3	
31	8. 1～8. 7	4										2		3	
32	8. 8～8. 14	1								1		1		4	
33	8. 15～8. 21	1													
34	8. 22～8. 28													1	
35	8. 29～9. 4	2								1				2	
36	9. 5～9. 11	4								1				1	1
37	9. 12～9. 18	3					1							8	
38	9. 19～9. 25	1			1	1				2				3	1
39	9. 26～10. 2	5	1			1				1		2		4	1
40	10. 3～10. 9					1				1				5	
41	10. 10～10. 16	1								1				1	
42	10. 17～10. 23	1								2				2	
43	10. 24～10. 30	2							1	4				4	
44	10. 31～11. 6	4								2				2	
45	11. 7～11. 13	1								3				2	
46	11. 14～11. 20													7	
47	11. 21～11. 27				1					2		1		2	
48	11. 28～12. 4	3								3	1	2		1	
49	12. 5～12. 11	3			1					1				2	
50	12. 12～12. 18	5								2					
51	12. 19～12. 25	4	1							2				2	
52	12. 26～1. 1	1									1			4	1
	合 計	131	6	3	4	5	1	1	14	26	1	9	2	120	5

表3-1(3) 全数把握対象の五類感染症等 週別患者報告数

2022年第1週～2022年第52週

週	期 間	五 類															新型						
		ア メー バ 赤 痢	ウ イ ル ス 性 肝 炎 (A 型 ・ E 型 を 除 く)	カ ル バ ベ ネ ム 耐 性 腸 内 細 菌 科 細 菌 感 染 症	急 性 弛 緩 性 麻 痺 (急 性 灰 白 髄 炎 を 除 く)	急 性 脳 炎	ク リ プ ト ス ポ リ ジ ウム 症	ク ロ イ ツ フ ェ ルト ・ ヤ コ ブ 病	劇 症 型 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 感 染 症	後 天 性 免 疫 不 全 症 候 群	ジ ア ル ジ ア 症	侵 襲 性 イン フル エン ザ 菌 感 染 症	侵 襲 性 髄 膜 炎 菌 感 染 症	侵 襲 性 肺 炎 球 菌 感 染 症	水 痘 (入 院 例)	梅 毒	播 種 性 ク リ プ ト コ ク ス 症	破 傷 風	パ ン コ マ イ シ ン 耐 性 腸 球 菌 感 染 症	百 日 咳	風 し ん	薬 剤 耐 性 アシ ネ ト バ ク ター 感 染 症	新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症
1	1. 3～ 1. 9	6		5			3	6					9	4	40	1		1	2			5,583	
2	1. 10～ 1. 16	4		4			2	7					2	1	60				1			23,163	
3	1. 17～ 1. 23	3	1	4			1	1	6				1	2	45							61,884	
4	1. 24～ 1. 30	4		4			5	4					2		61							102,285	
5	1. 31～ 2. 6	4		2			1	3	5		1		1		54	1			2			115,649	
6	2. 7～ 2. 13	2		2			3	6					1		43	1		1	1			98,800	
7	2. 14～ 2. 20		2	7			4	8	1	1			3		69							91,984	
8	2. 21～ 2. 27	3	2				1	3					5	1	58				1			73,927	
9	2. 28～ 3. 6	3	1	7				1	7				3		75							65,497	
10	3. 7～ 3. 13	3		5			1	8	1				3	1	61	2						55,285	
11	3. 14～ 3. 20	2	2	4			7	4					4		88							48,337	
12	3. 21～ 3. 27	4	1	2			2	6	1	1			1	2	49							42,527	
13	3. 28～ 4. 3		1	3			1	2	5		1		2		45							49,232	
14	4. 4～ 4. 10	3		5			2	4					2	2	58				2			49,124	
15	4. 11～ 4. 17	2	2	4			3	4			1		4		73				1			41,452	
16	4. 18～ 4. 24	2	1	4			4	6					1	1	82	1						34,860	
17	4. 25～ 5. 1	3	1				1	3	4				2	1	59				3			25,735	
18	5. 2～ 5. 8	3		2			3	3	3				4	1	44							20,757	
19	5. 9～ 5. 15	4	1	4			1	1	2	6	1		7	1	66	1			1			24,522	
20	5. 16～ 5. 22	2	1	2			1		7				3		85				1			22,755	
21	5. 23～ 5. 29	3	1	4			1	3	4				3	1	67		1	1	3		1	17,458	
22	5. 30～ 6. 5	1		3			2	5	2	1			2	1	72							12,748	
23	6. 6～ 6. 12		3	9			3	8					2	3	78							10,520	
24	6. 13～ 6. 19	2		8			2		3	4			3	3	87				3			10,855	
25	6. 20～ 6. 26	4		3			3	8		1			2	2	76		1		1	1		14,026	
26	6. 27～ 7. 3	2		4			1	3	4	1					85							23,721	
27	7. 4～ 7. 10	1		4			1	3	9				4	3	87	1			1			55,316	
28	7. 11～ 7. 17	3	1	5				2	9		1		4		75							115,312	
29	7. 18～ 7. 24	1		1				7		1			3	1	76			1				180,060	
30	7. 25～ 7. 31	5	1	5			1	4		1			1		57						1	204,046	
31	8. 1～ 8. 7	3	2	3			5	1	9		1		3		93	1			3			195,003	
32	8. 8～ 8. 14		1	6			1		4				2		68	1	1		2			149,630	
33	8. 15～ 8. 21	2		1			2	1	3	1	1		5		85	1	1		2			134,643	
34	8. 22～ 8. 28	3	1	7			1	3	2				3		90				1			104,709	
35	8. 29～ 9. 4	4	1	6			2	3	3				3	2	77	1			2	1		77,217	
36	9. 5～ 9. 11			3			3		1	2					85				1			62,012	
37	9. 12～ 9. 18	2		5				2	6				4		85				1			53,896	
38	9. 19～ 9. 25	1		2			1		5				1	2	62	1			2			38,133	
39	9. 26～ 10. 2	3		4	1	1			7				1		55				2			28,593	
40	10. 3～ 10. 9	2	1	7			1		5		1		1	1	77				1			21,192	
41	10. 10～ 10. 16	1	1	4				1	5				1		81				1			21,668	
42	10. 17～ 10. 23	1		3	2			2	3		1		2	2	92							22,517	
43	10. 24～ 10. 30	1	1	7	1			3	7				1	2	71							26,337	
44	10. 31～ 11. 6	2		2			1	2	4				4	1	75				1	1		40,362	
45	11. 7～ 11. 13		1	7			1	2	8				2	2	80			1				52,513	
46	11. 14～ 11. 20	1	1	3				1	8	1	1	1	4		81				1			61,210	
47	11. 21～ 11. 27	2		4				5	3				1	1	72	1	1		4			73,867	
48	11. 28～ 12. 4			4			1	2	10				6	1	80		1		5			81,818	
49	12. 5～ 12. 11	2	1	3				1	7				4	3	83							91,863	
50	12. 12～ 12. 18	1	1	3				3	4		1		4		62							111,187	
51	12. 19～ 12. 25	3		3				2	6		2		2		70				2	1		120,413	
52	12. 26～ 1. 1	4	1	5				2	7				4		78	1		2				103,115	
合計		117	35	208	4	28	2	18	107	288	12	19	1	141	49	3,677	15	6	8	55	4	2	3,369,318

表3-2(1) 一、二、三類感染症 保健所別患者報告数

2022年第1週～2022年第52週

	一類							二類							三類			
	エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核*	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	中東呼吸器症候群	鳥インフルエンザ (H5N1)	鳥インフルエンザ (H7N9)	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス
千代田								/								5		
中央区								/								7	2	
みなと								/							1	14		
新宿区								/								10	1	3
文京								/								6		
台東								/								2		
墨田区								/								7	1	
江東区								/								9		
品川区								/								11		
目黒区								/								9		1
大田区								/						1		11		
世田谷								/								23		
渋谷区								/								9		
中野区								/								10		
杉並								/								13		
池袋								/								11		
北区								/								4	1	
荒川区								/								3		
板橋区								/								16	1	
練馬区								/								18		
足立								/								15		
葛飾区								/								8		
江戸川								/								15		
八王子市								/								11		
町田市								/								9		
西多摩								/								7		
南多摩								/								19		
多摩立川								/							1	19		
多摩府中								/								25		
多摩小平								/								30		
島しょ								/										
合計								/						1	2	356	6	4

* 結核については、別途「東京都における結核の概況」として報告する。

表3-2(2) 四類感染症 保健所別患者報告数

2022年第1週～2022年第52週

	四 類													
	E型 肝炎	A型 肝炎	エキノ コックス 症	オウム 病	サル 痘	重症熱 性血小 板減少 症候群	チクン グニア 熱	つつが 虫病	デング 熱	ボツリ ヌス症	マラリ ア	ライム 病	レジオ ネラ症	レプト スピラ 症
千代田	5								2				1	
中央区	1		1					1						
みなと	4								3		1		7	
新宿区	10		1	3	3		1		8	1	7	2	3	
文京	9	1			2								8	
台東	3								1					
墨田区	4								2		1		2	1
江東区	7							1					3	
品川区	13												5	
目黒区								1	1				3	
大田区	10		1						4				9	
世田谷	6							1					2	1
渋谷区	3	1		1									2	
中野区	2												2	
杉並									1					
池袋	2													
北区	2												3	
荒川区	3													
板橋区	8	1											6	
練馬区	5												2	
足立	4												2	
葛飾区	2								2				4	
江戸川	3							1					2	
八王子市	5							1	1				7	
町田市	3	2											1	
西多摩	2							2					6	
南多摩	3												3	
多摩立川	6							1					8	1
多摩府中	4	1				1		1					14	1
多摩小平	2								1				15	1
島しょ								4						
合 計	131	6	3	4	5	1	1	14	26	1	9	2	120	5

表3-2(3) 全数把握対象の五類感染症等 保健所別患者報告数

2022年第1週～2022年第52週

	五 類																				
	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎（A型・E型を除く）	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く）	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
千代田	8		5				1	7	1	1			3		37	1					
中央区	3		4					2	13	1				1	239						
みなと	17		22				1	4	16		2		7	3	211	1					
新宿区	18	12	5			1	1	11	152	4	2		12	8	1543		1	1	1	1	
文京	8		12			1	1	8	21		3		9	2	135	3		4	1		
台東	1								2				1		173			1		1	
墨田区		1	2					1	4		1		3	2	41						
江東区	5	1	16	1					1				4	1	21					1	
品川区	1		20		3		2	6	6			1	7	2	55						
目黒区		1	3					4	4				5	2	22	2				10	
大田区	10	5	12	1			1	4	3		1		3	2	38					3	
世田谷	4	1	7		16		1	1	2	3	1		4	4	52					18	
渋谷区	2		8					3	6				7	3	281	1				3	
中野区	1	1	4					1	8					3	30	2					
杉並	3	1	4						2	1			2		29	1					
池袋								2	1				2	1	278						
北区	3	3	4				1	3	3				2		34					1	
荒川区	1														21						
板橋区	4	1	25		3		2	7	13	1	5		13	3	48	1	1			3	1
練馬区	3		1				1		2	1			6		20					1	1
足立	4	1	8					6	2				5	1	26	1				1	
葛飾区	3	2	4				1		3				1	1	23	1				1	
江戸川	2		1					1	2				1	1	45			1		1	
八王子市	3	1	9				1		1				2	2	40					1	
町田市	2	1	3					1	2						16					1	
西多摩	2		1												11		1	1			
南多摩	3	1	3					1	2				5		31		1			2	1
多摩立川	3		11				1	3	6		2		8	2	77					3	
多摩府中	1		9	2	6		1	22	8		1		22	3	49	1				3	
多摩小平	2	2	5				2	8	2		1		7	2	51		2				1
島しょ								1													
合 計	117	35	208	4	28	2	18	107	288	12	19	1	141	49	3,677	15	6	8	55	4	2

表3-3(1) 一、二、三類感染症 年齢階級別患者報告数

2022年第1週～2022年第52週

	一類							二類						三類					
	エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核*	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	中東呼吸器症候群	鳥インフルエンザ(H5N1)	鳥インフルエンザ(H7N9)	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス
0歳																	1		
1～4歳																	13	1	
5～9歳																	32	1	1
10～14歳																	14	1	
15～19歳																	16		
20～24歳																	67	1	
25～29歳															1		47	1	
30～34歳																	24		2
35～39歳																	29		
40～44歳																	26		
45～49歳														1			13	1	
50～54歳																	23		
55～59歳																	10		1
60～64歳																	11		
65～69歳																	6		
70～74歳																	10		
75～79歳																	6		
80～84歳																	4		
85～89歳																	1		
90歳以上															1		3		
合計														1	2	356	6	4	

* 結核については、別途「東京都における結核の概況」として報告する。

表3-3(2) 四類感染症 年齢階級別患者報告数

2022 年第 1 週～2022 年第 52 週

	四 類													
	E型 肝炎	A型 肝炎	エキ ノコ ツク ス症	オウ ム病	サル 痘	重症 熱性 血小 板減 少症 候群	チク ング ニア 熱	つ つが 虫 病	デ ン グ 熱	ポツ リヌ ス症	マ ラ リ ア	ライ ム 病	レ ジ オ ネ ラ 症	レ プ ト ス ピ ラ 症
0歳											1			
1～4歳														
5～9歳														1
10～14歳												1		
15～19歳								1						
20～24歳	3		1					1	4					
25～29歳	5								2		1		1	
30～34歳	2		1		2			2	4		2		1	
35～39歳	6				1			1	4		1		2	
40～44歳	6								4		1		1	
45～49歳	20	1			1			1	2				1	1
50～54歳	24	1						3	1				9	
55～59歳	25							1	2		3	1	13	
60～64歳	14		1		1		1	2	1	1			16	1
65～69歳	10			2									14	1
70～74歳	4	1		1				2				1	19	1
75～79歳	6	1		1		1			1				13	
80～84歳	4	1						1					9	
85～89歳	1												14	
90歳以上	1	1											6	
合 計	131	6	3	4	5	1	1	14	26	1	9	2	120	5

表3-3(3) 全数把握対象の五類感染症等 年齢階級別患者報告数

2022年第1週～2022年第52週

	五 類																		新型				
	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎（A型・E型を除く）	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く）	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	パンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症	新型コロナウイルス感染症	
0歳			4		2				1				6	1					4				22,376
1～4歳			5	1	13		1			5		22	1					11				152,620	
5～9歳		1	2	2	8					1	1		3					6				249,045	
10～14歳				1			1					1	2					4				400,339	
15～19歳		1	2		1		1	4					2	113						1		607,192	
20～24歳		7	1		1			28	1				4	820				2				607,192	
25～29歳	2	7	4					62				1	1	674				6	1			607,192	
30～34歳	7	6	1			1		67	2			3	6	465				5	1			576,354	
35～39歳	6	3	1			1		41	2			1	2	379				1	2			576,354	
40～44歳	15	3	3				2	28	1			5	2	363				1	5			561,752	
45～49歳	12	4	5		1		5	22	2	1		6	4	297				3				561,752	
50～54歳	13	1	8				1	6	14		1		6	4	260				1			391,360	
55～59歳	23	1	10				7	15				5	5	146				1	1	1	1	391,360	
60～64歳	17		13			3	14	3		1		7	1	79	1	1		2				110,064	
65～69歳	7	1	16		1	3	9	1	1	2		11	1	31	2							68,088	
70～74歳	8		30		1	2	13	2		1	1	20	2	26	4	1	2	1			1	121,302	
75～79歳	6		32			6	12		2	1		16	2	11	2	2	1	1				121,302	
80～84歳			32				12			1		21	2	5	2		1	1				78,543	
85～89歳	1		21			2	14			1		5	2	6	2	2	1					78,543	
90歳以上			18				10			4		5	2	2	2							29,930	
不明																						353	
合 計	117	35	208	4	28	2	18	107	288	12	19	1	141	49	3,677	15	6	8	55	4	2	3,369,318	

(2) 小児科・内科疾患

ア インフルエンザ

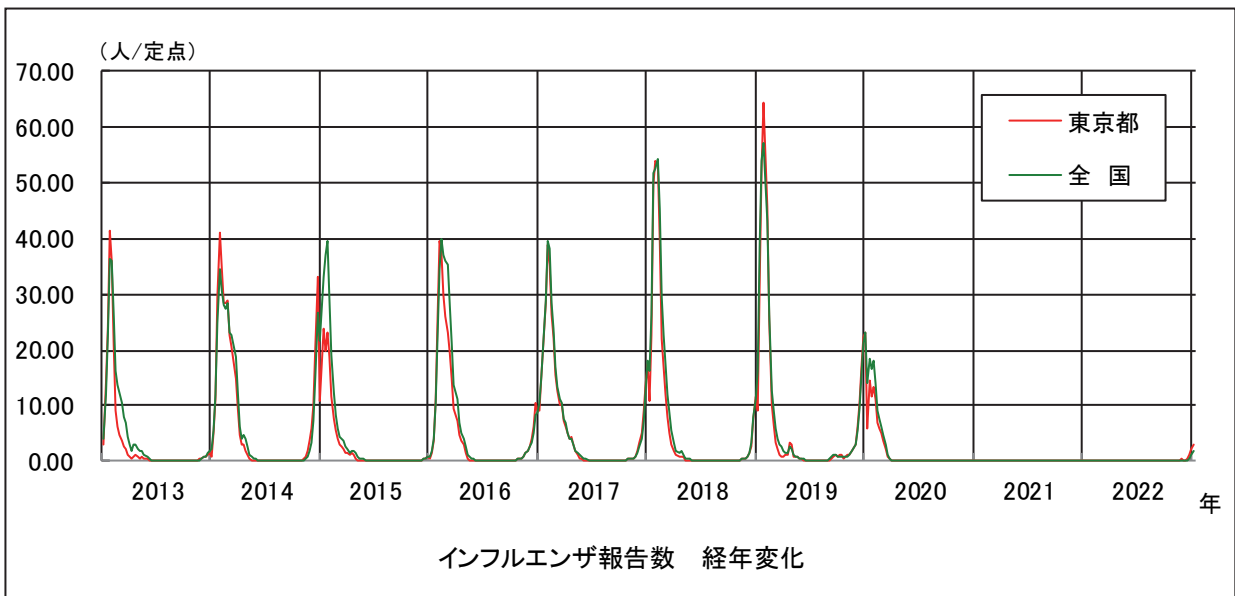
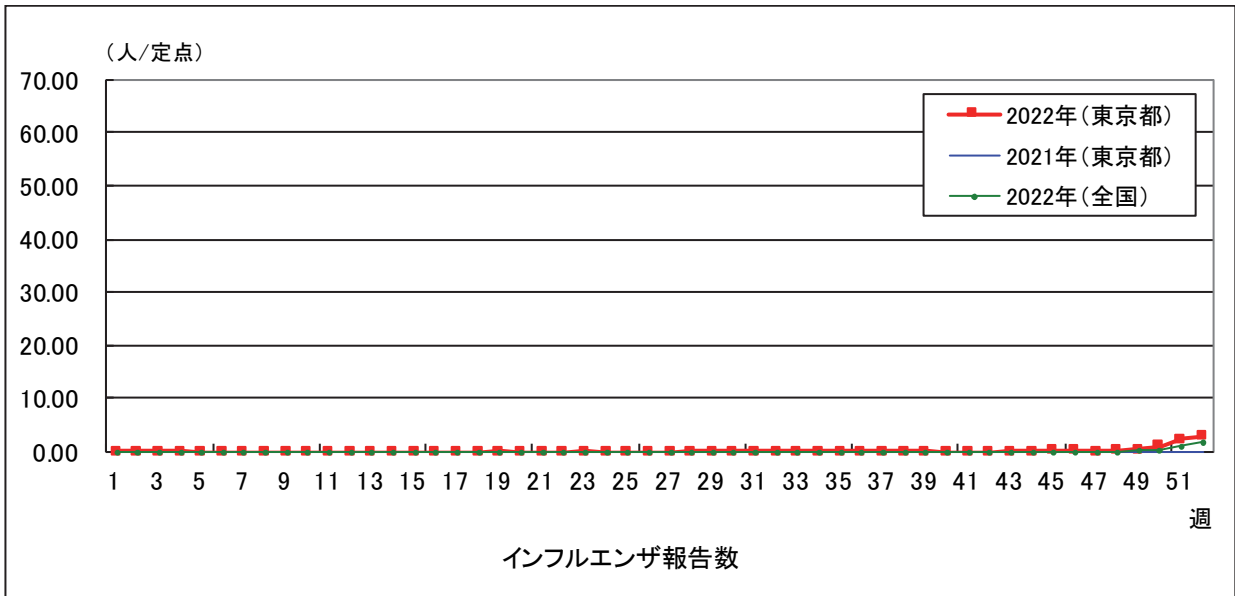
2022年の報告数は3,318人、定点当たり8.25人で、報告数が極めて少なかった前年(2021年)に比べ大きく増加したが、ここ10年の定点当たりの報告数の平均は209.30人であり、例年並みの流行は見られなかった。

2021/22シーズンの流行は、散発的な報告はあったものの、流行期を迎えても都内の週別報告数は1～6人、定点当たり0.00～0.01人の間で推移した。2022年に入っても傾向は変わらず、1週(1.3～1.9)から5週(1.31～2.6)まで0.01人だったが、以後も散発的な報告に留まった。

2022/23シーズンは、週別定点当たりの報告数が2022年50週(12.12～12.18)に1.12人と1.0人を超えて流行期に入ったと判断された。2023年7週(2.13～2.19)には10.04人と流行注意報発令基準(定点あたり10.0人以上)を超えたが、その後も10.0人前後を推移しており、本稿執筆時点で流行警報発令基準(定点あたり30.0人以上)に達しておらず、例年並みの流行は見られていない。

2022年の保健所別定点当たり患者報告数で最も多かったのは八王子市の25.88人、次いで中野区の16.20人であった。

年齢階級別に患者報告数をみると1歳未満29人(0.9%)、1歳～10歳未満1,363人(41.1%)、10歳～20歳未満811人(24.4%)、20歳～60歳未満1,052人(31.7%)、60歳以上63人(1.9%)であった。



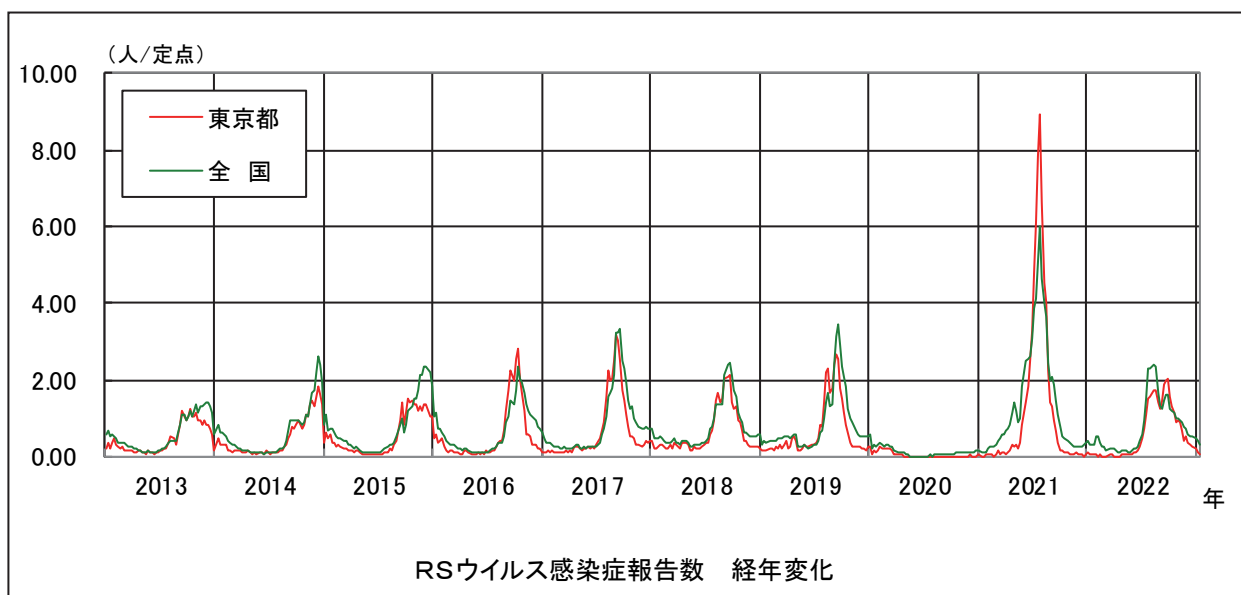
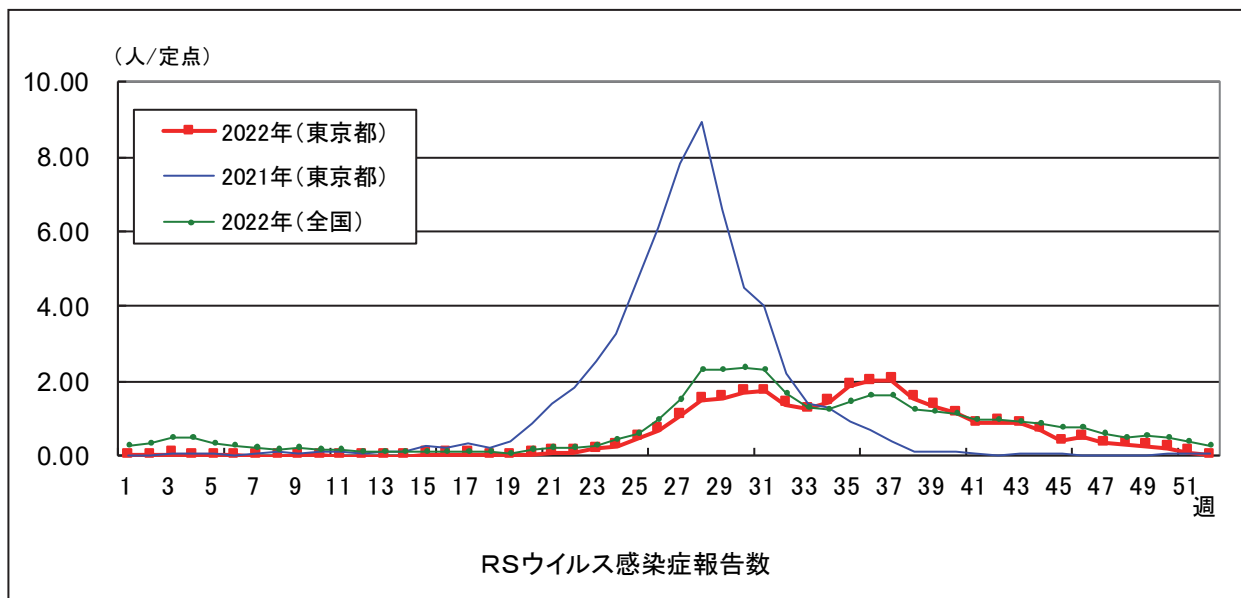
イ RSウイルス感染症

2022年の報告数は7,564人、定点当たりの報告数は29.40人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は29.56人であり、2022年の報告数は、2003年の調査開始以降最も多い報告数であった前年（2021年）より大きく減少した。

週別定点当たりの報告数では27週（7.4～7.10）に1.07人と1.0人を超え、37週（9.12～9.18）には2.03人とピークを迎え、41週（10.10～10.16）には0.88人と1.0人を下回った。

保健所別定点当たりの報告数で最も多かったのは荒川区の123.42人であった。

年齢階級別報告数では6か月未満が518人(6.8%)、6か月～12か月未満が953人(12.6%)、1歳代が2,450人(32.4%)、2歳代が1,722人（22.8%）と2歳以下で74.6%を占めている。



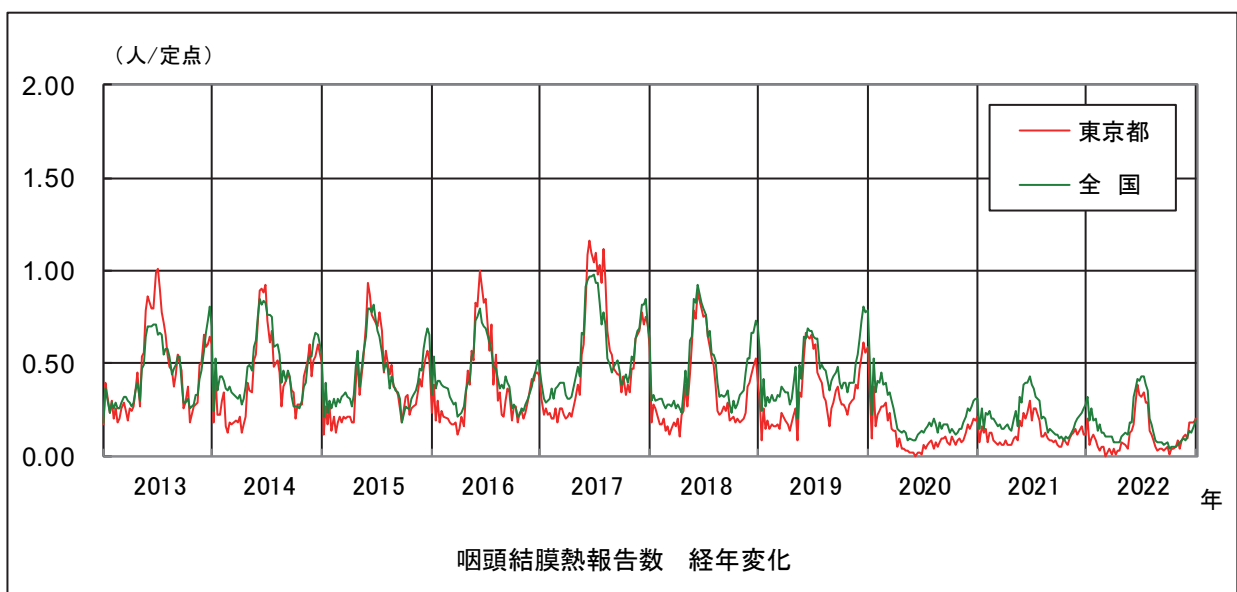
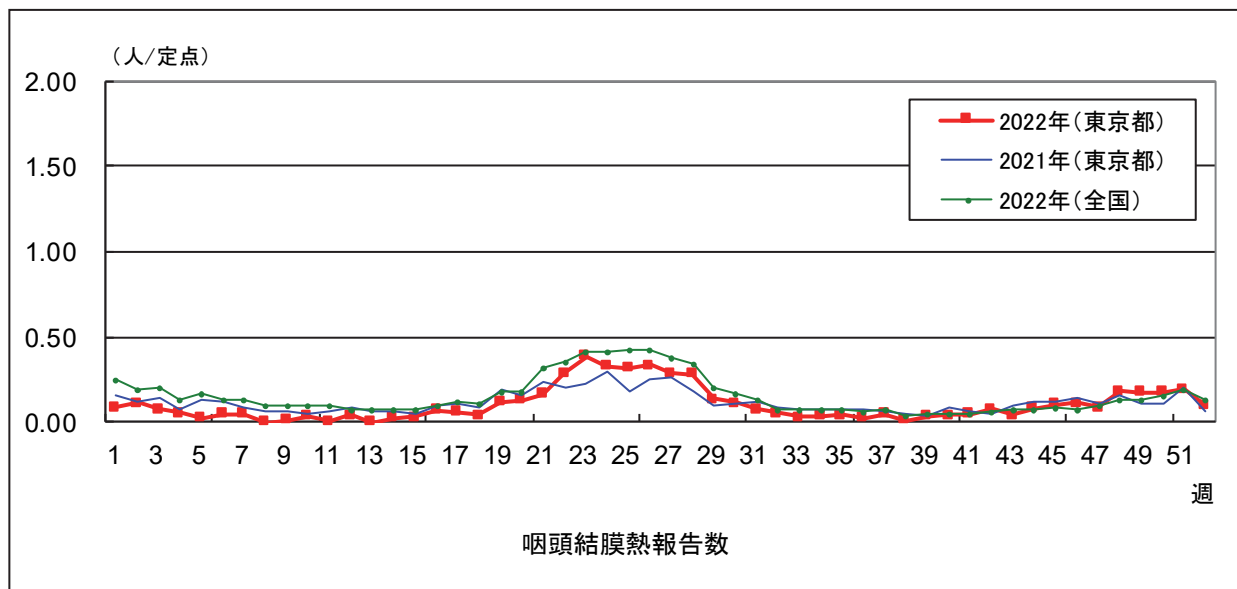
ウ 咽頭結膜熱

2022年の報告数は1,420人、定点当たりの報告は5.52人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は16.63人であり2022年の報告数はここ10年で最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数は年間を通じて1.0人を超える週はなかった。19週（5.9～5.15）から30週（7.25～7.31）にかけて、0.10人を持続的に超えていた。ピークは23週（6.6～6.12）の0.39人であった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは多摩小平の18.55人、次いで大田区の12.52人、荒川区の11.00人、足立の10.01人であった。

年齢階級別報告数では1歳代が474人（33.4%）と最も多く、5歳代以下で91.0%を占めている。



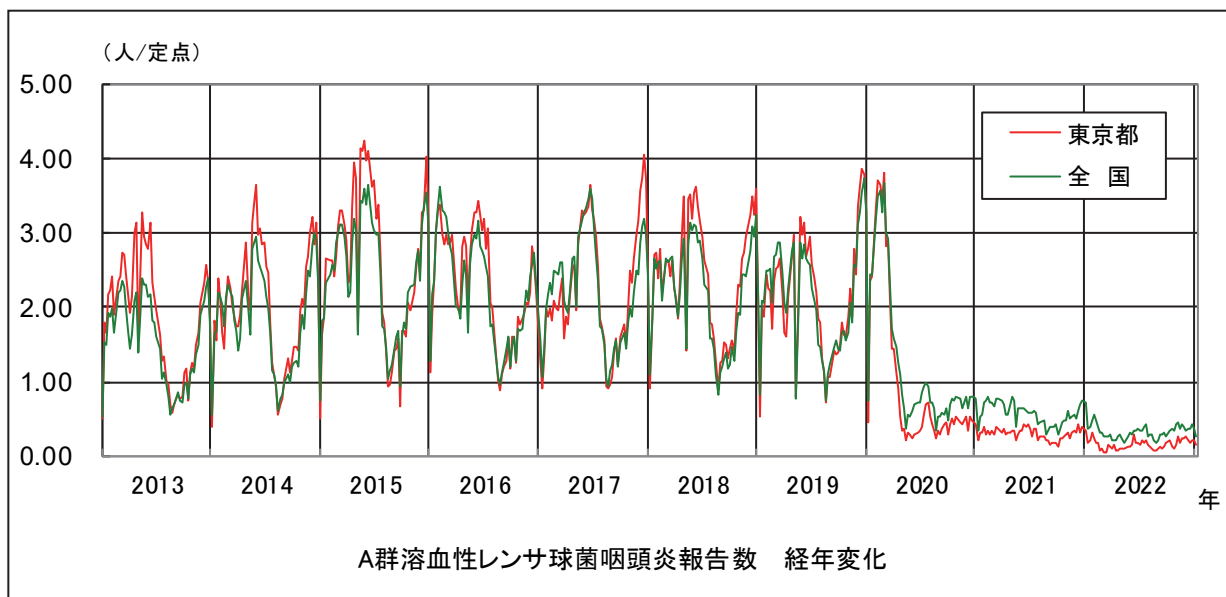
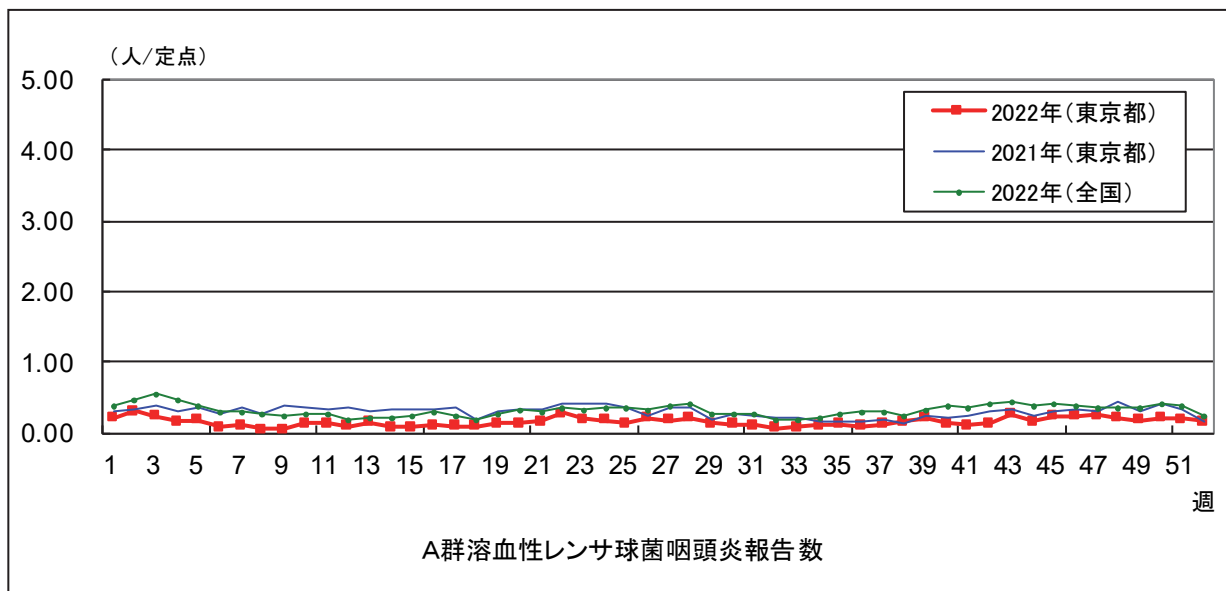
エ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

2022年の報告数は2,094人であり、定点当たりの報告数は8.14人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は88.46人であり、2022年の報告数はここ10年では最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では特にピークは見られず、年間を通じて0.05人～0.31の間で推移した。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは新宿区の24.71人、次いで多摩小平の17.33人、荒川区の17.17人であった。

年齢階級別報告数では2歳代が182人(8.7%)、3歳代が199人(9.5%)、4歳代が251人(12.0%)、5歳代が258人(12.3%)、6歳代が194人(9.3%)と、2歳代から6歳代で51.8%を占めている。



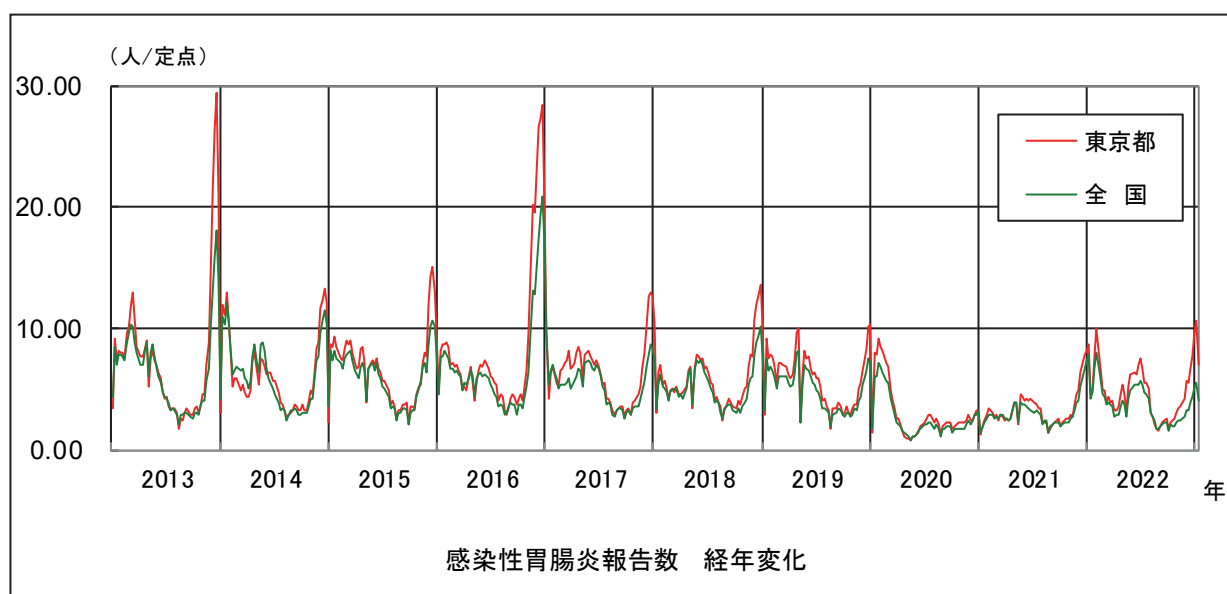
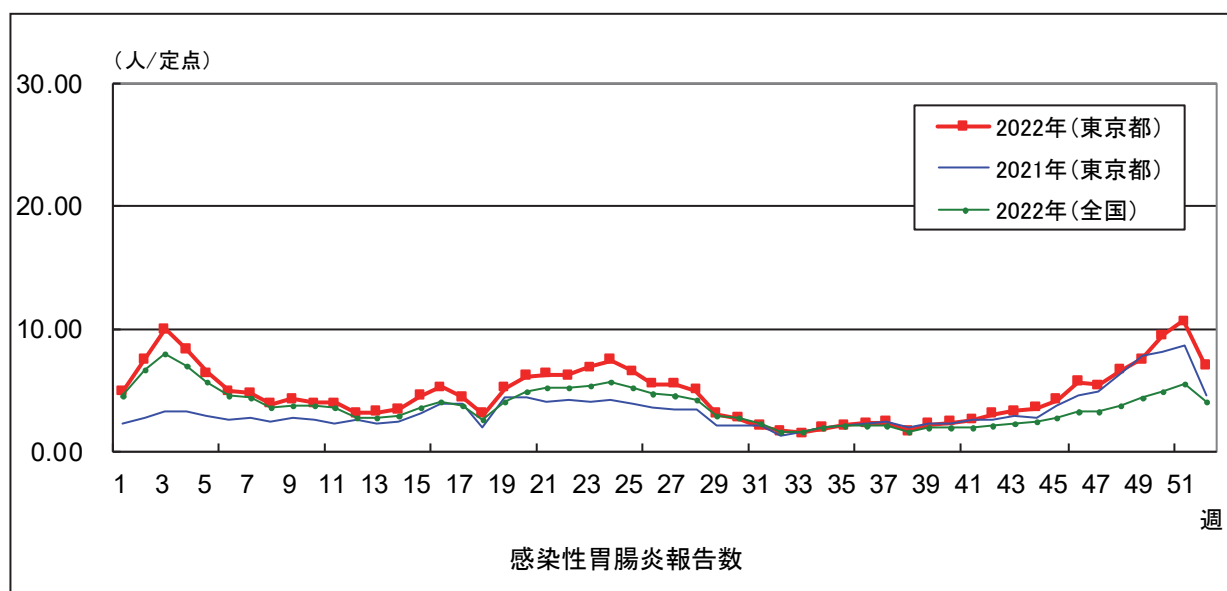
オ 感染性胃腸炎

2022年の報告数は63,079人、定点当たりの報告数は248.04人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均300.22人であり、少なめではあるが新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行以前の例年並みの報告数に近づいた。

週別定点当たりの報告では、2週（1.10～1.16）から5週（1.31～2.6）にかけて、19週（5.9～5.15）から28週（7.11～7.17）にかけて、46週（11.14～11.20）から52週（12.26～1.1）にかけて、5.0人を超える3つの山があり、ピークは51週（12.19～12.25）の10.64人であった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは台東の602.50人であった。

年齢階級別報告数では1歳代が10,642人（16.7%）、2歳代が9,701人（15.2%）、3歳代が7,709人（12.1%）、4歳代が6,002人（9.4%）と、1歳代から4歳代で53.5%を占めている。



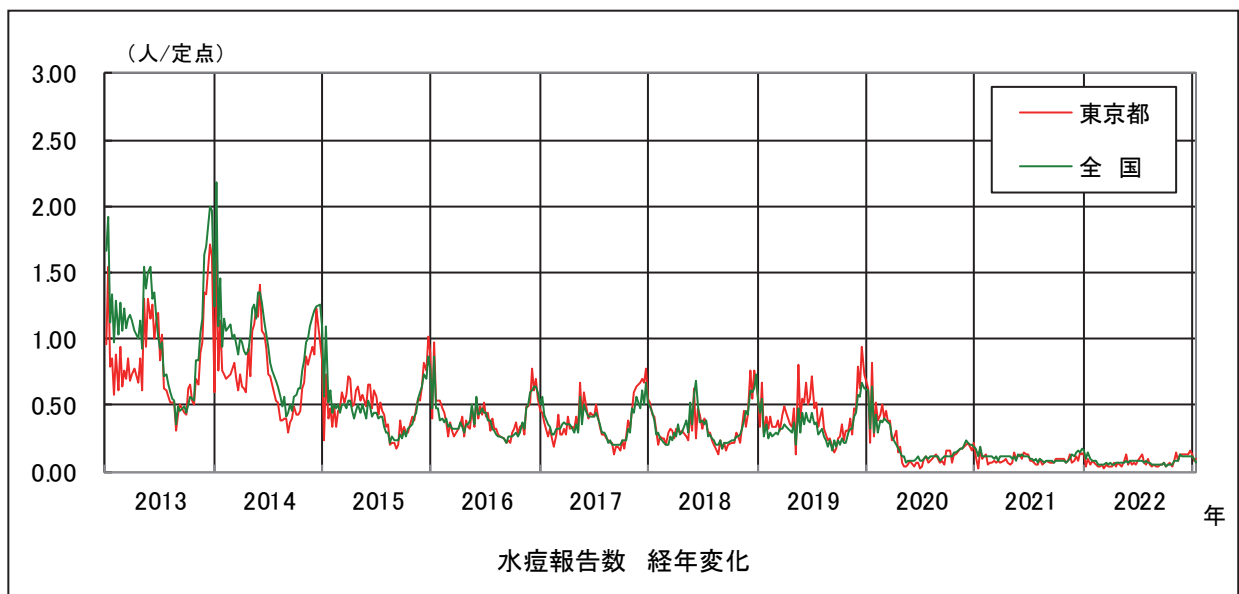
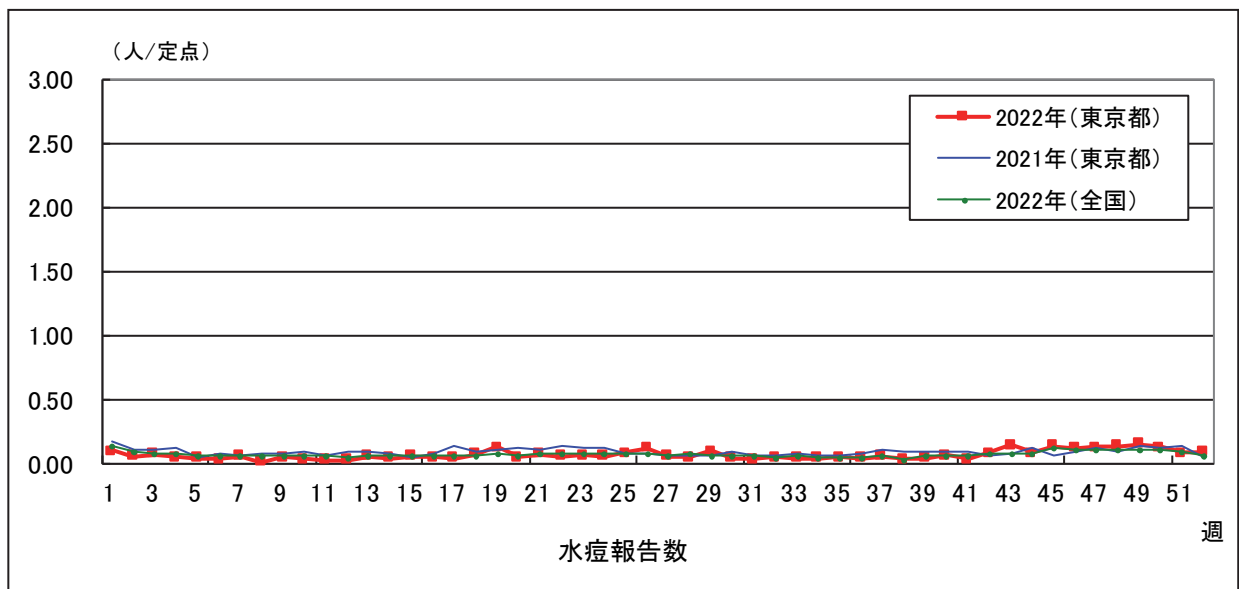
カ 水痘

2022年の報告数は990人、定点当たりの報告数は3.85人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は20.95人であり、2022年の報告数はこの10年では最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数は、年間を通じて0.15人以下で推移した。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは八王子市の11.64人であった。

年齢階級別報告数では1歳代が114人(11.5%)、3歳代が95人(9.6%)で、10歳未満で801人(80.9%)だったが、10歳代も170人(17.1%)の報告があった。



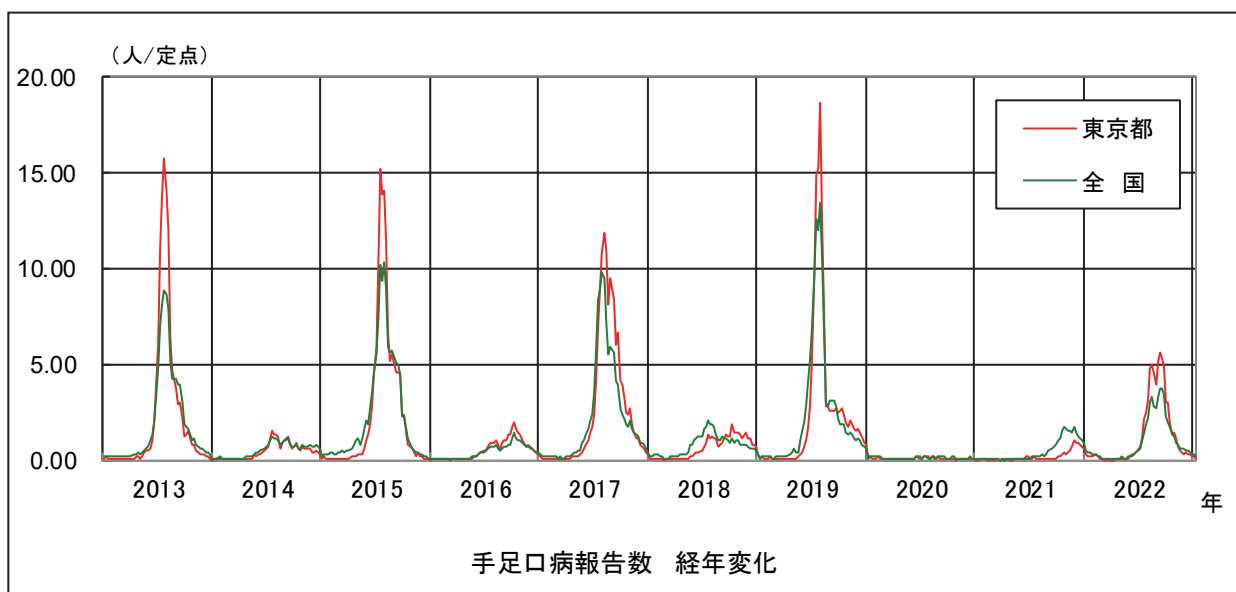
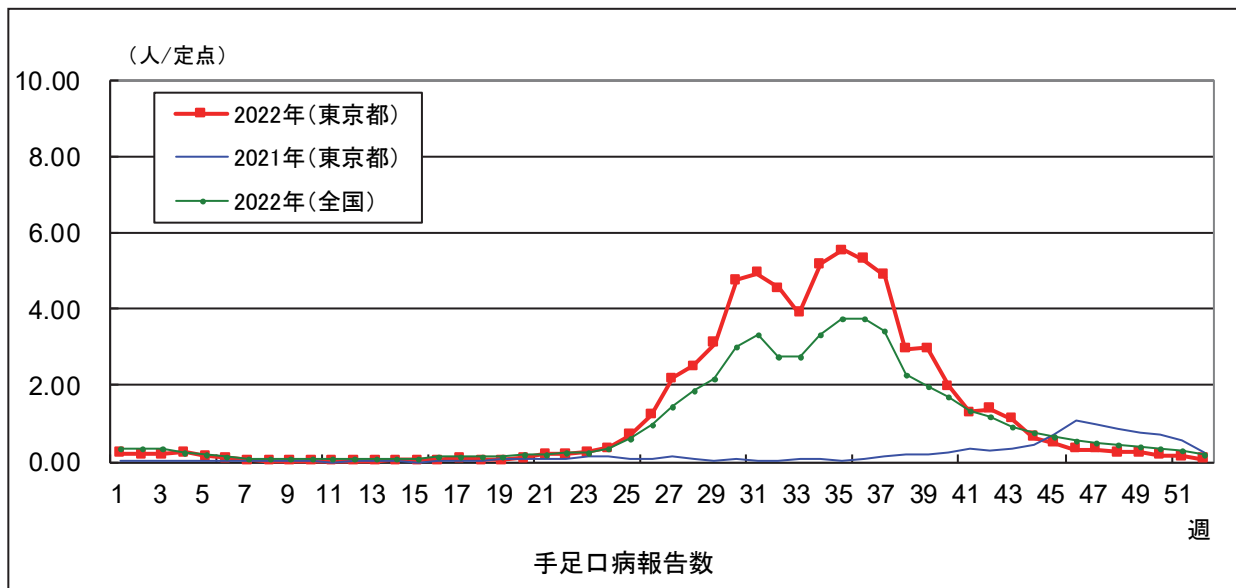
キ 手足口病

2022年の報告数は16,911人、定点当たりの報告数は65.92人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は66.55人であった。近年では2010年以降1年ごとに報告の多い年と少ない年を繰り返しており、2020年は報告数が少ない年に、2021年は報告数が多い年にあたっていたが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する感染予防対策の影響もあってか、定点当たりの報告数は圧倒的に少ない報告数であった。この順番で行けば2022年は報告数が少ない年にあたるが、報告数が少なかった2021年の反動や、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する予防行動の変化の影響もあってか、大きく報告数が増加した。

週別定点当たりの報告数では、年初から1.0人未満で推移していたが、26週（6.27～7.3）に1.21人と1.0人を超え増加傾向を示し、35週（8.29～9.4）に5.56人とピークを迎え、以後減少して44週（10.31～11.6）に0.66人と1.0人未満となった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは、台東の121.50人で、次いで中野区が116.53人、八王子市が113.64人、多摩小平が113.36人、荒川区が111.67人であった。

年齢階級別報告数では1歳代が6,307人(37.3%)と最も多かった。



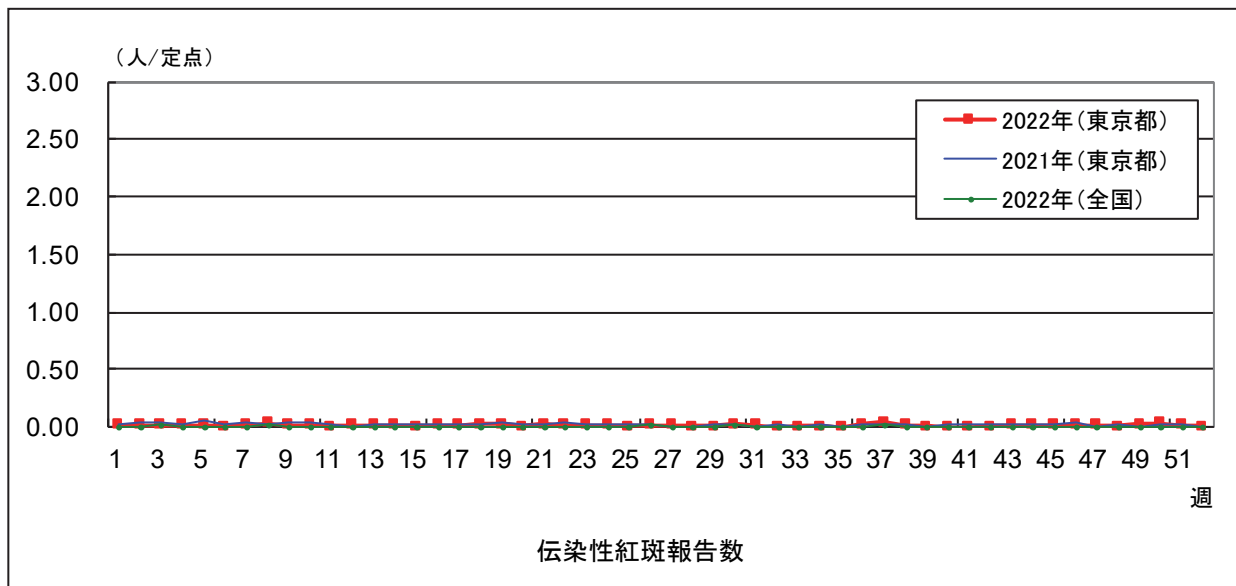
ク 伝染性紅斑

2022年の報告数は174人、定点当たりの報告数は0.68人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は14.78人であり、2022年の定点当たりの報告数はこの10年では最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数は、年間を通して0.04人以下で推移した。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは板橋区の1.70人、次いで多摩小平が1.67人であった。

年齢階級別報告数では1歳代が44人(25.3%)、2歳代が25人(14.4%)、3歳代が22人(12.6%)と多かった。



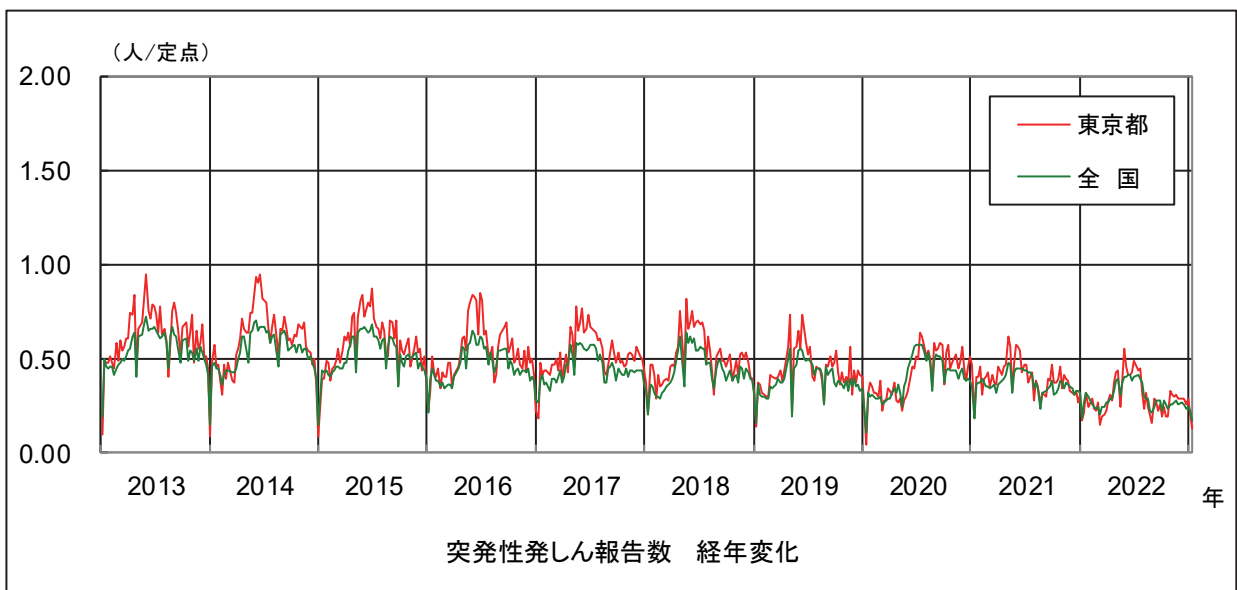
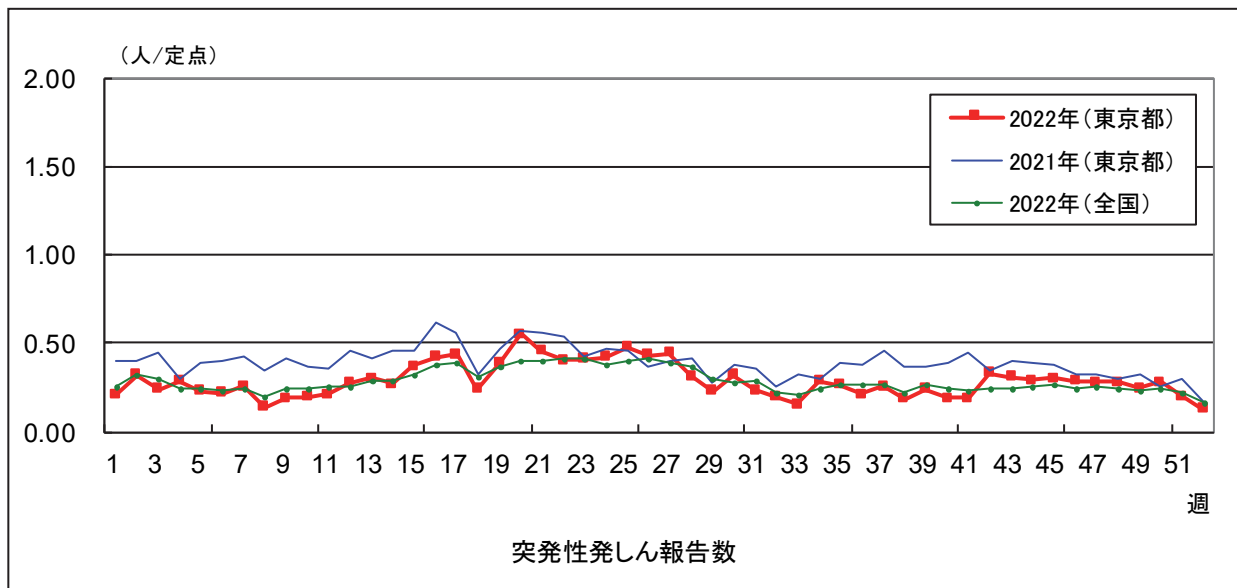
ケ 突発性発しん

2022年の報告数は3,889人、定点当たりの報告数は15.13人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は25.45人であり、2022年の定点当たりの報告数はここ10年では最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では春から夏にかけて多い傾向はみられるが季節変動は少なかった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは荒川区の32.08人であった。

年齢階級別報告数では1歳代が2,025人（52.1%）と最も多かった。



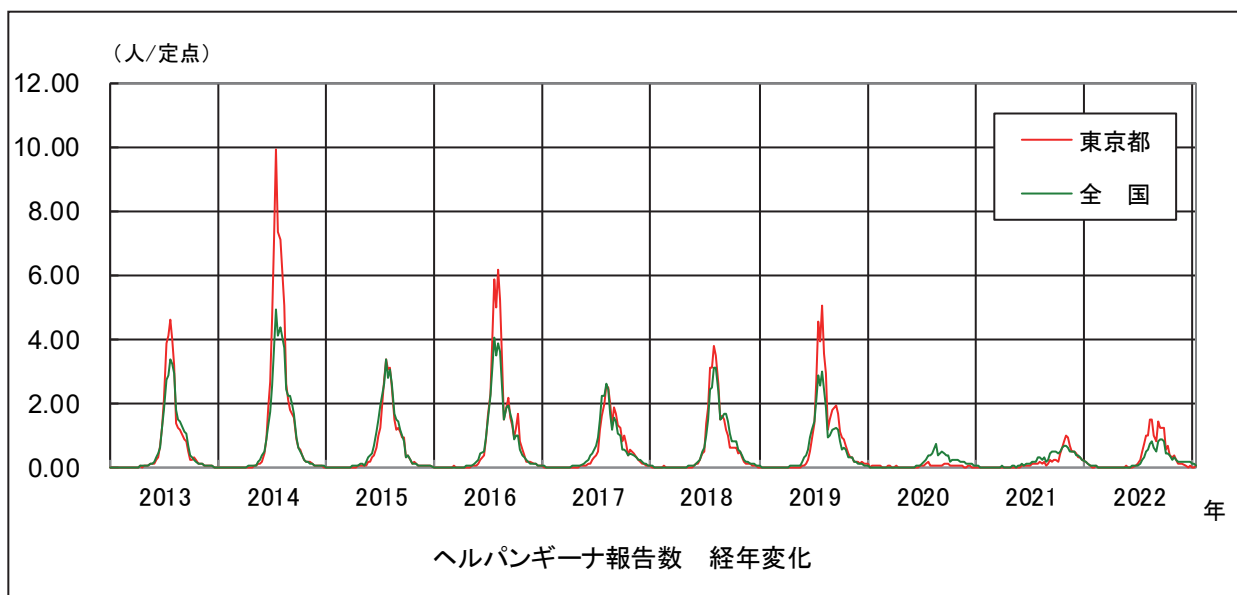
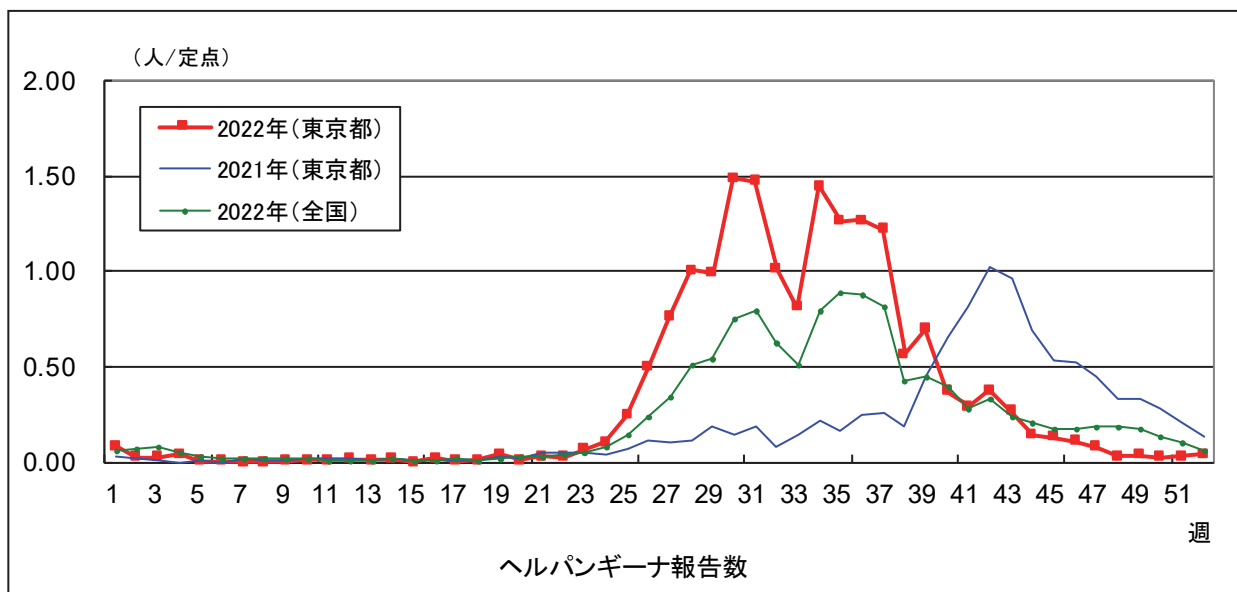
コ ヘルパンギーナ

2022年の報告数は4,423人、定点当たりの報告数は17.23人であった。ここ10年の定点当たりの平均は30.16人であり、2022年の定点当たりの報告数はここ10年では2020年、2021年に次いで少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では、年初から0.10人未満で推移していたが、24週（6.13～6.19）に0.11人とやや増えたあと増加傾向を示し、28週（7.11～7.17）に1.00人となった後、1.0人前後で推移した。ピークは30週（7.25～7.31）の1.49人であった。38週（9.19～9.15）には0.57人と1.0人未満となり、47週（11.21～11.27）に0.08人となった後は、0.10人未満で推移した。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは八王子市の40.64人であった。

年齢階級別報告数では1歳代が1,275人（28.8%）と最も多く、次いで2歳代が1,232人（27.9%）であった。



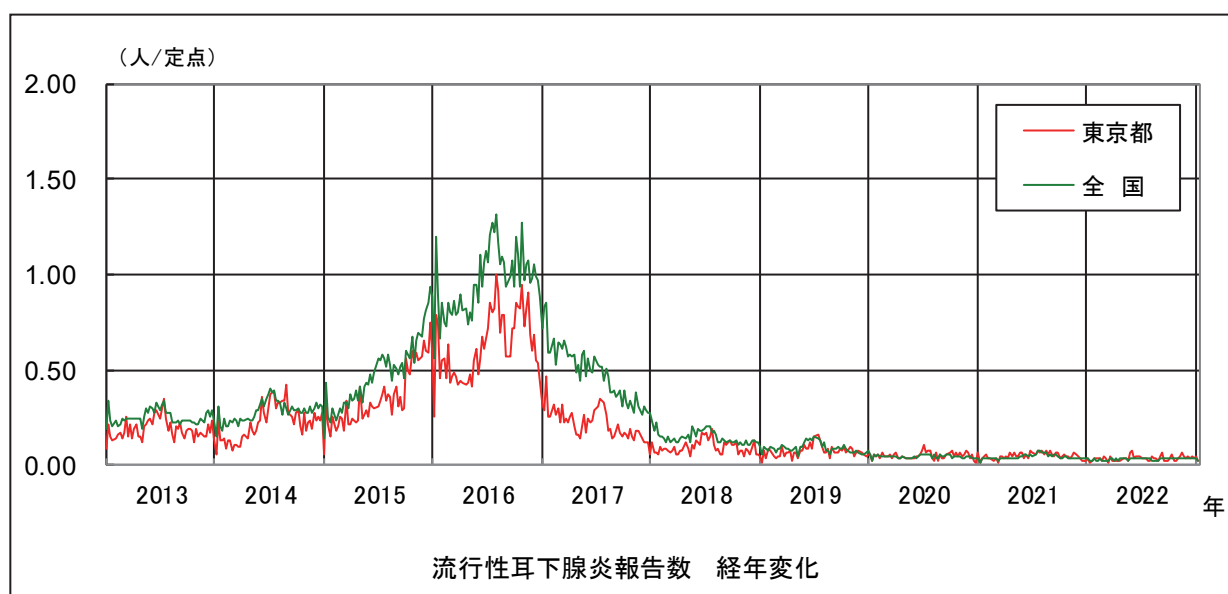
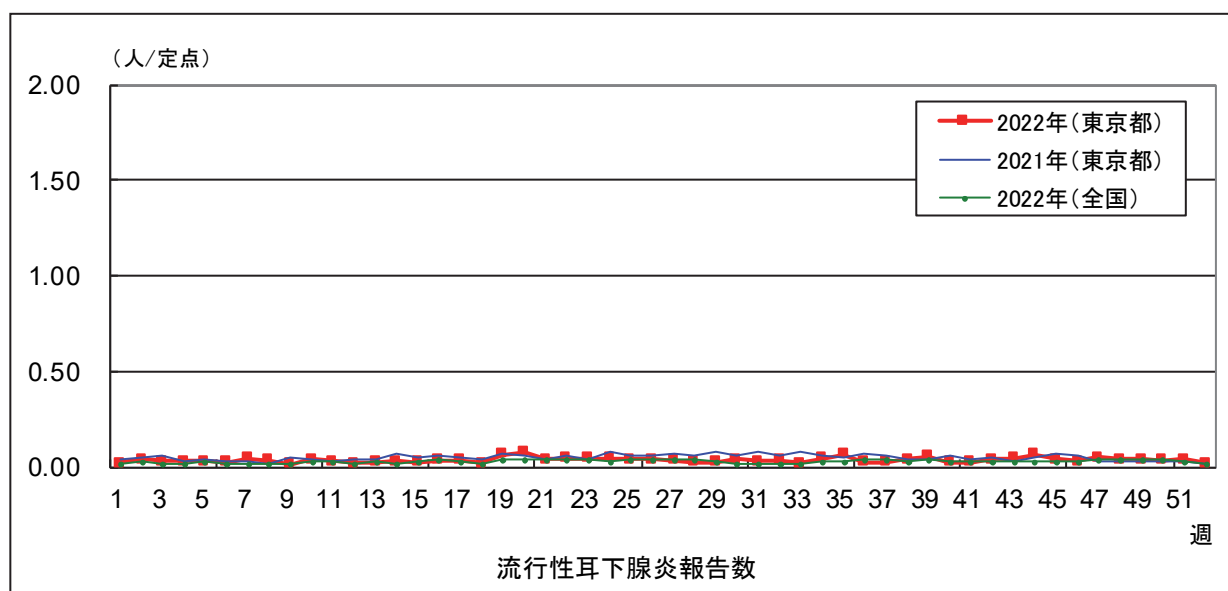
サ 流行性耳下腺炎

2022年の報告数487人、定点当たりの報告数は1.89人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は10.00人であり、2022年の報告数はここ10年で最も少ない報告数であった。ここ10年では2016年に大きな流行があった。

週別定点当たりの報告数では季節変動は明らかではない。年間を通して0.08人以下で推移した。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは八王子市の3.45人、次いで南多摩の3.44人であった。

年齢階級別報告数では5歳代が77人(15.8%)と最も多かった。



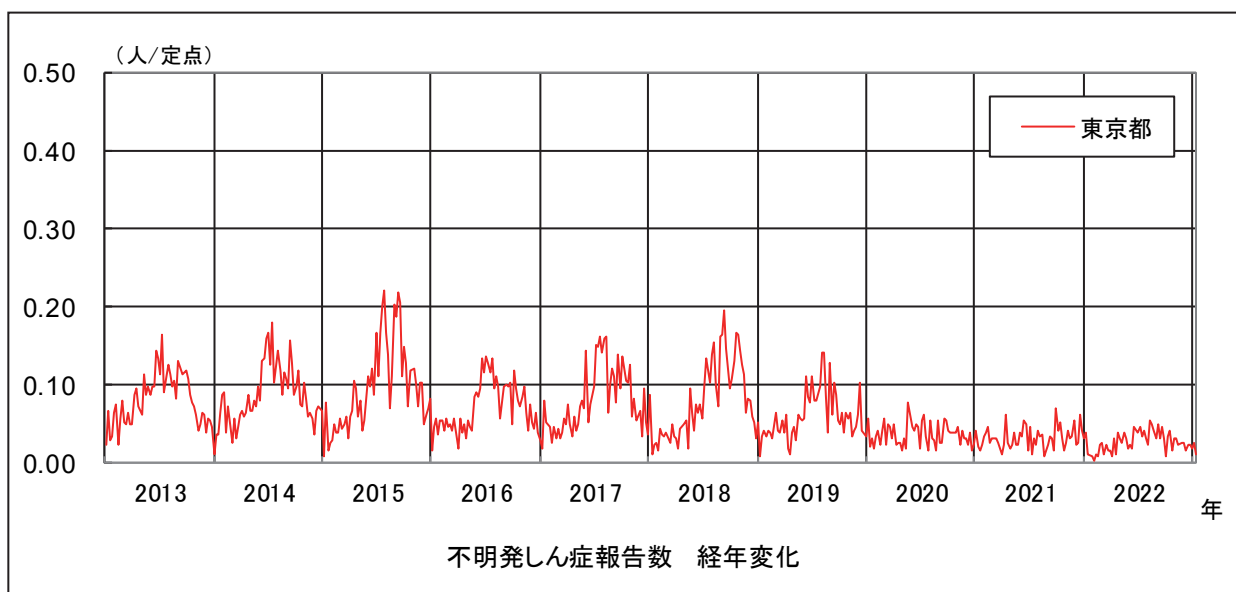
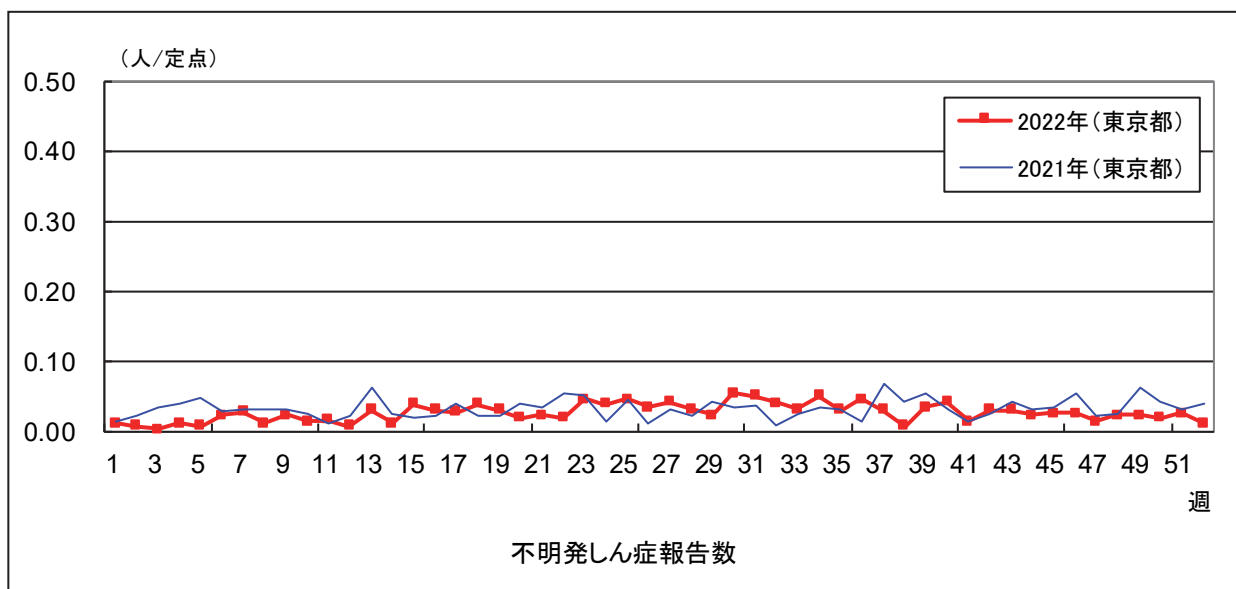
シ 不明発しん症

2022年の報告数は360人であり、定点当たりの報告は1.40人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は3.41人であり、2022年の報告数はここ10年で最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では、2022年は季節変動は顕著ではなかった。年間を通して0.05人以下で推移した。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは杉並の4.19であった。

年齢階級別報告数では1歳代が100人（27.8%）と最も多かった。



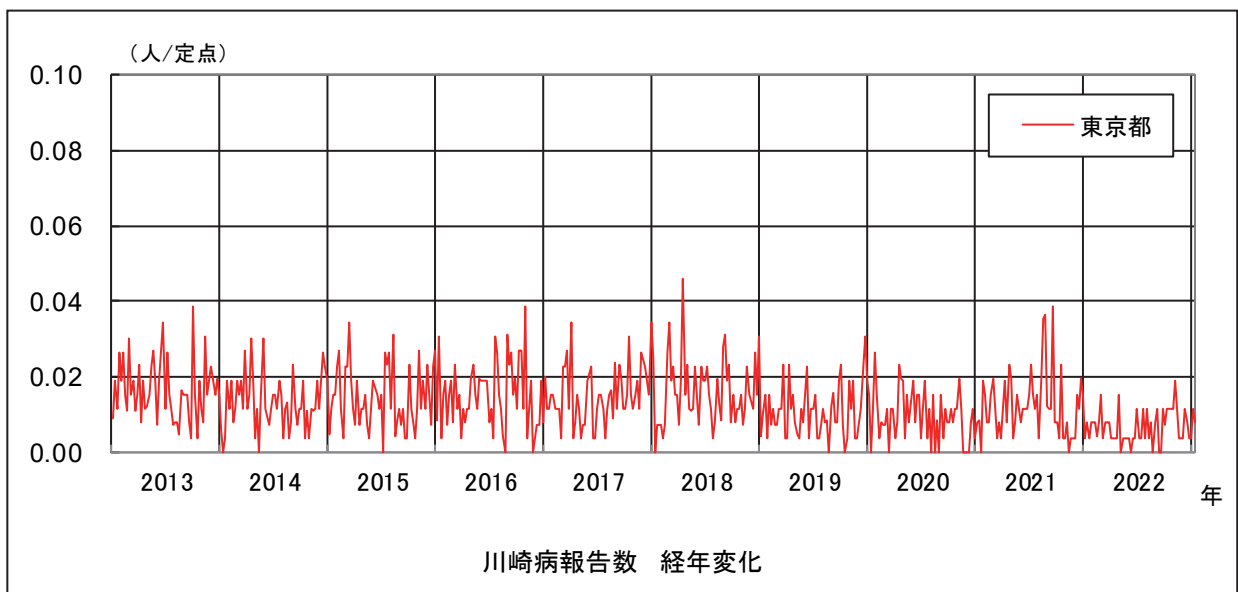
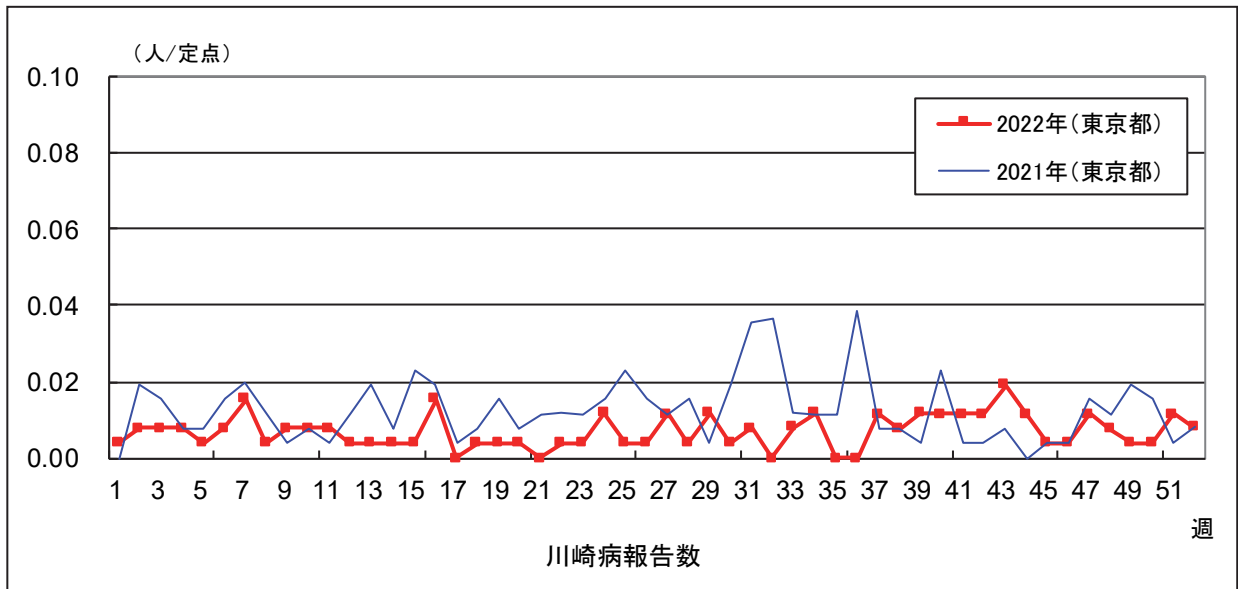
ス 川崎病

2022年の報告数は93人であり、定点当たりの報告数は0.36人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は0.68人であり、2022年は、ここ10年でみると最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では例年と同様に季節変動は明確でない。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは杉並の2.13人であった。

年齢階級別報告数では1歳代が34人（36.6%）と最も多かった。



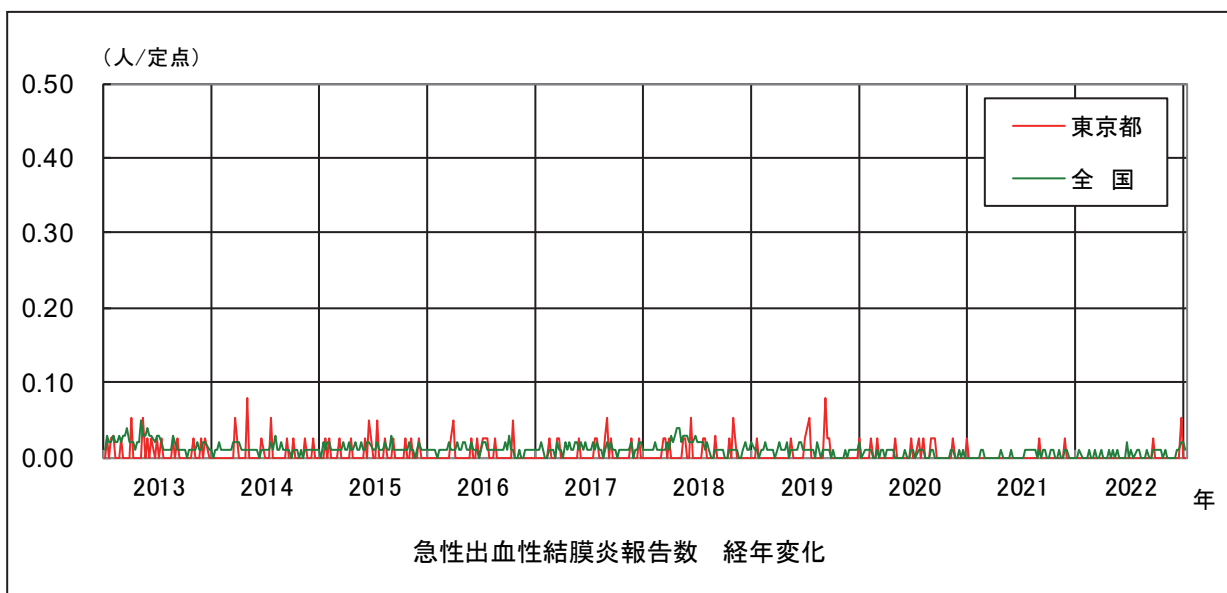
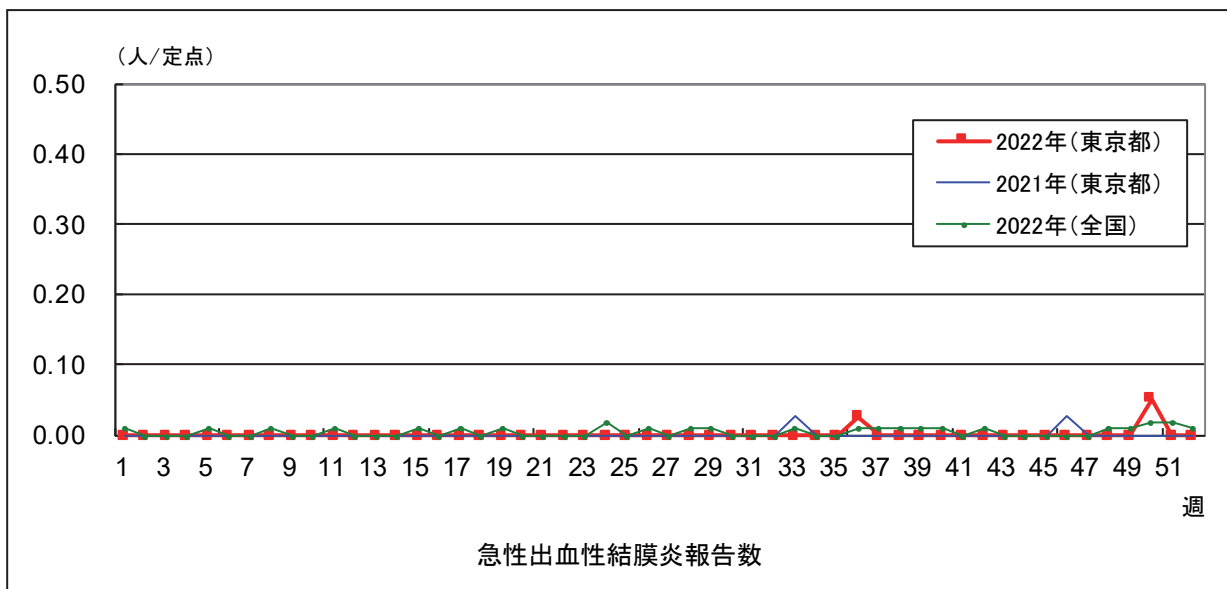
(3) 眼科疾患

ア 急性出血性結膜炎

2022年の報告数は3人、定点当たり0.08人だった。過去10年間の平均年間報告数10.80人、定点当たり0.28人よりも少数であった。

患者発生数は、36週(9.5～9.11)で1人、50週(12.12～12.18)で2人であり、その他は報告はなかった。全国的にも低いレベルの発生が続いており、東京も同様だった。

二次医療圏別では眼科定点のある12医療圏のうち、報告のあったのは2医療圏で、区西部圏が1人、区西南部圏が2人であった。報告年齢は30～39歳だけで100%を占めた。

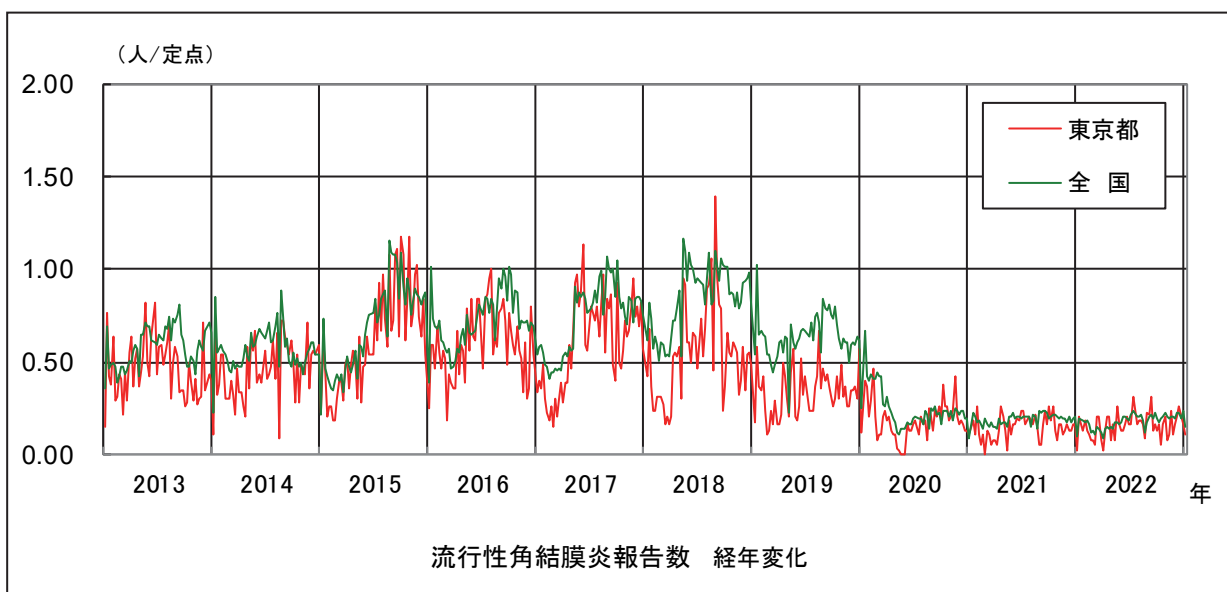
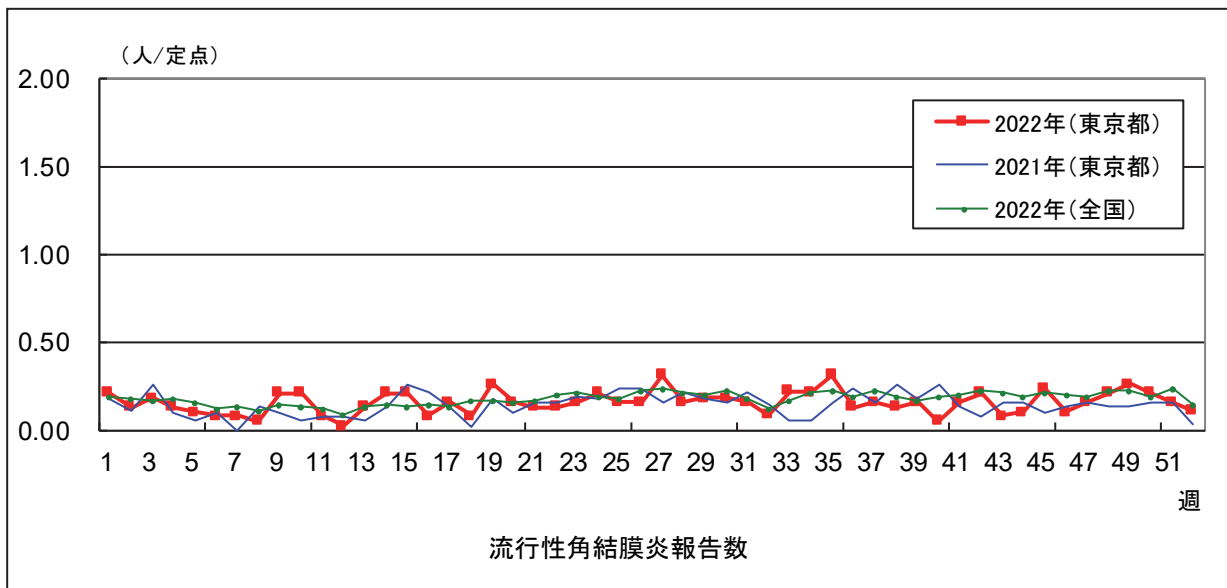


イ 流行性角結膜炎

2022年の報告数は311人、定点あたり8.21人だった。過去10年間の平均年間報告数814.70人、定点あたり21.34人よりも少数であった。

患者発生数は、19週（5.9～5.15）、27週（7.4～7.10）、35週（8.29～9.4）、49週（12.5～12.11）が10人以上と多く、その他はほぼ平坦化していた。

二次医療圏別では、定点あたり報告数では区中央部圏54.00人、区西北部圏46.50人、区西南部圏44.00人と多かった。報告年齢は20～49歳が202人と65.0%を占め、20歳以上の成人だけで272人（87.5%）だった。10歳未満は24人（7.7%）で、各年齢層に分布していた。



(4) 基幹定点医療機関における週報告疾患

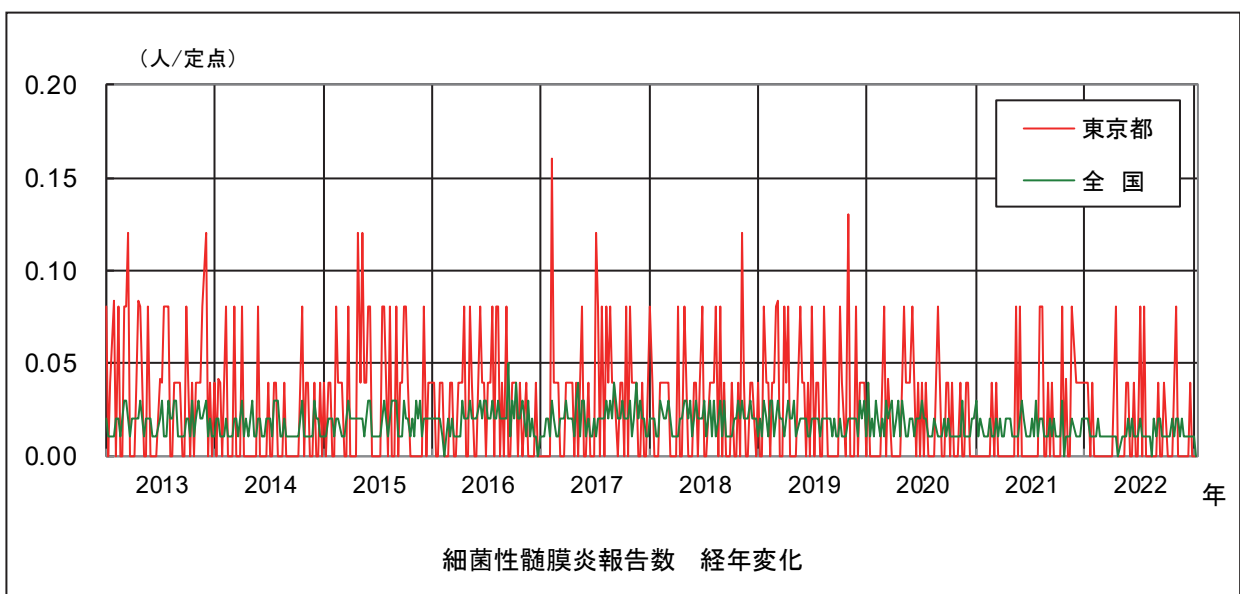
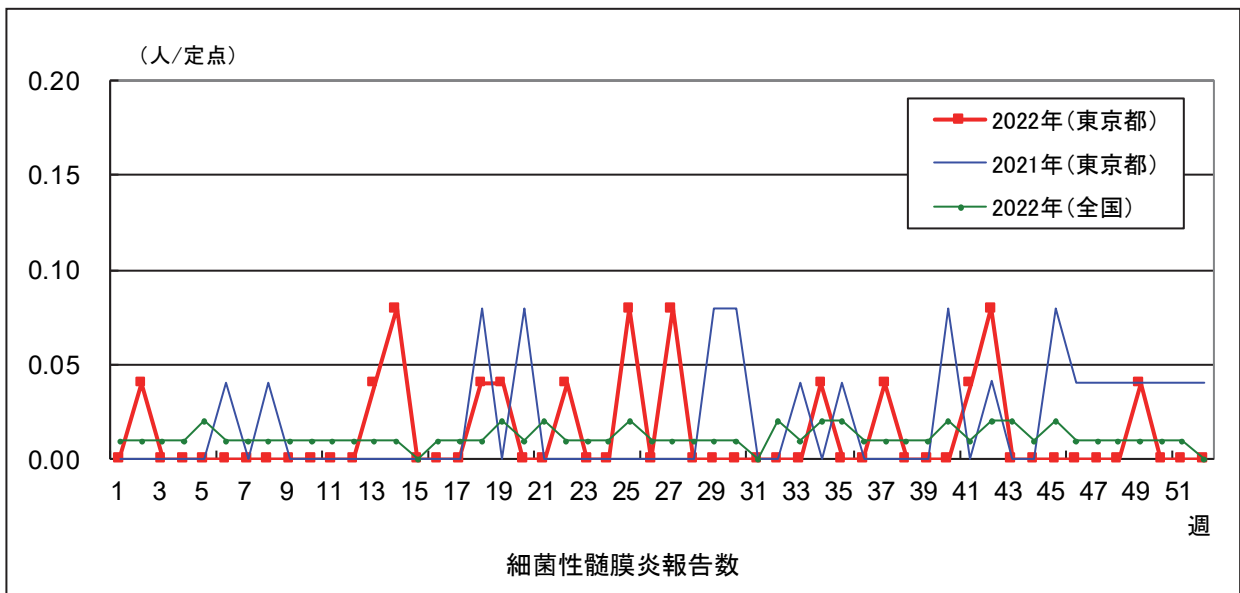
ア 細菌性髄膜炎

2022年の報告数は17人、定点当たり報告数は0.68人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は1.28人であり、2022年は、ここ10年でみると最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では年間を通じて散発しており季節変動は明らかではない。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは世田谷区の3.50人であった。

年齢階級別報告数では6か月未満が5人(29.4%)であった。



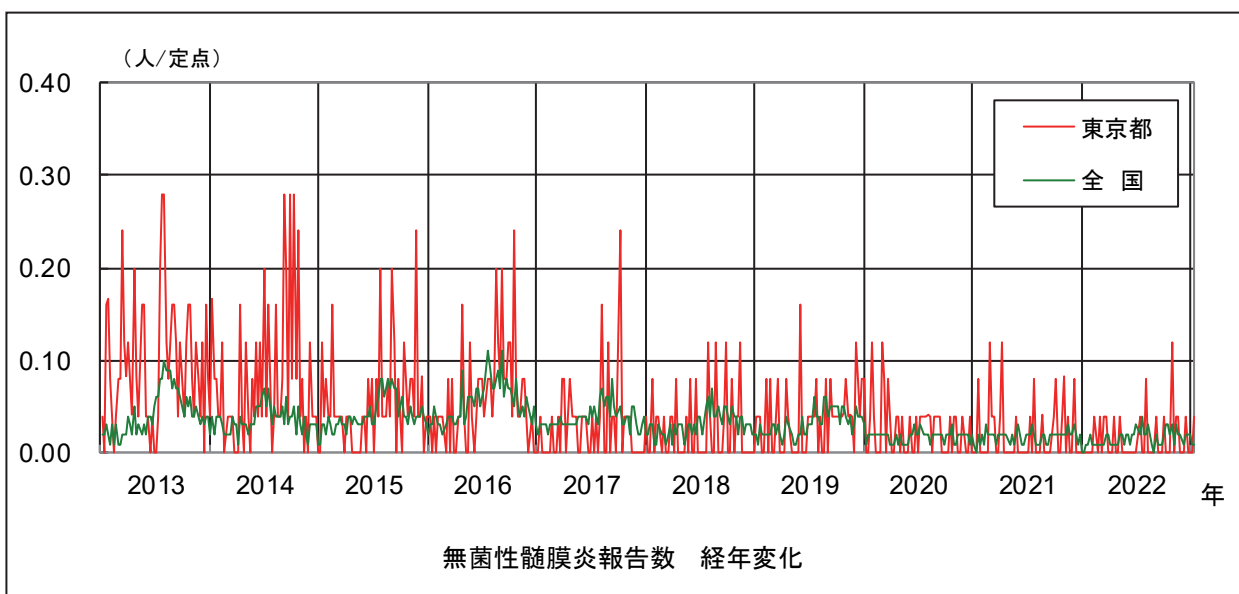
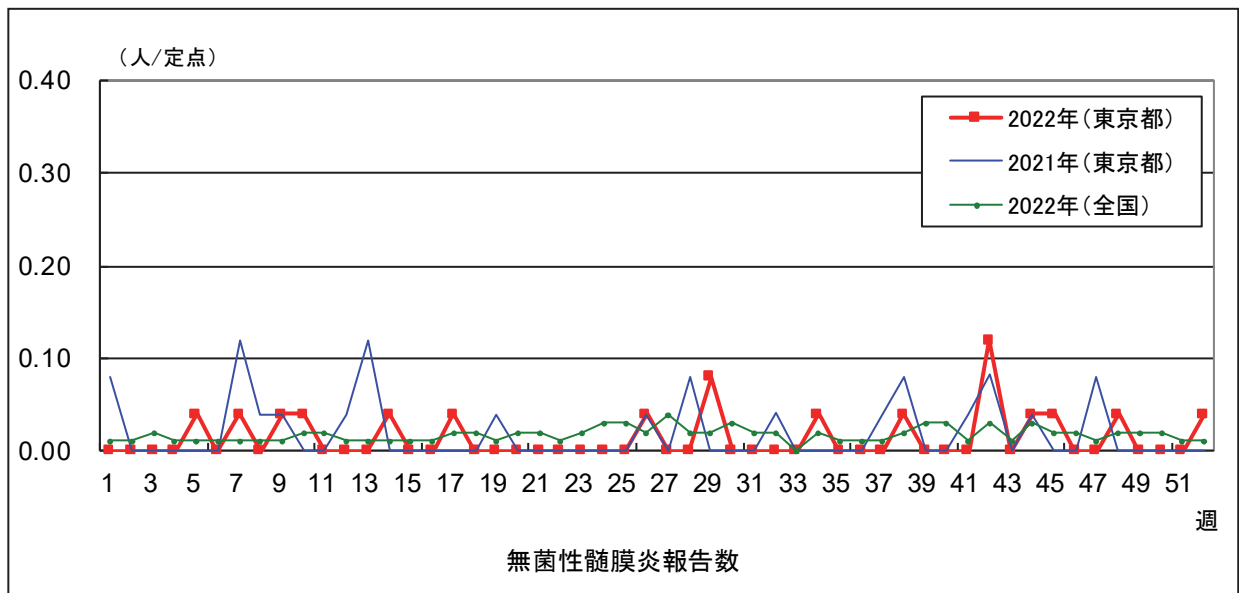
イ 無菌性髄膜炎

2022年の報告数は18人、定点当たり0.72人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は2.30人であり、2022年は、ここ10年では最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では年間を通じて散発しており明らかな季節変動は見られなかった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは世田谷区の2.50人であった。

年齢階級別報告数では60歳以上が7人(38.9%)であった。



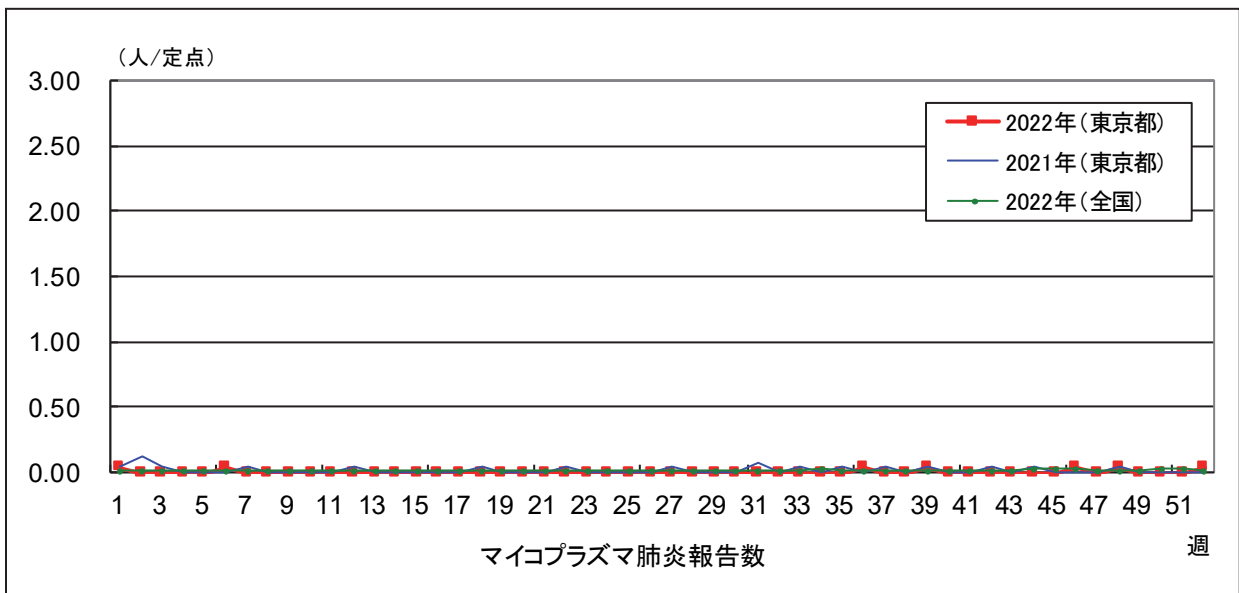
ウ マイコプラズマ肺炎

2022年の報告数は7人、定点当たりの報告数は0.28人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は14.33人であり、2022年はここ10年では最も少ない報告数であった。近年では2015年と2016年に大きな流行が見られた。

週別定点当たりの報告数では年間を通じて散発しており明らかな季節変動は見られなかった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは、みなとの2.00人であった。

年齢階級別報告数では4歳未満の報告はなく、60歳以上が3人（42.9%）であった。



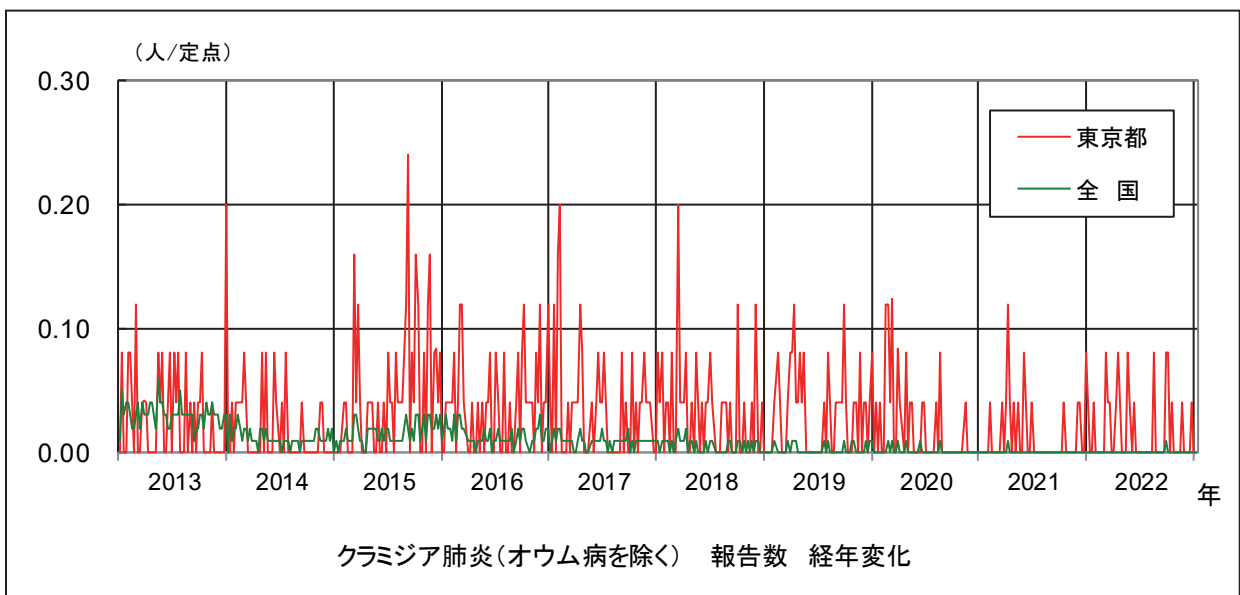
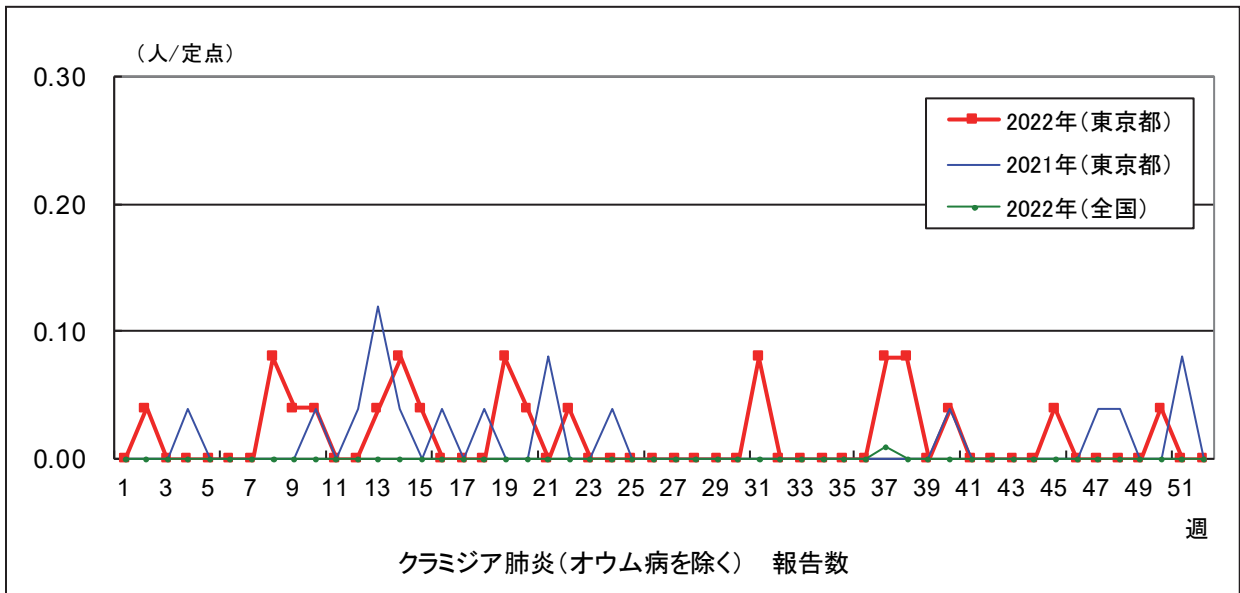
エ クラミジア肺炎（オウム病を除く）

2022年の報告数は22人であり、定点当たりの報告数は0.88人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は1.44人であり、少なめの報告数であった。

週別定点当たりの報告数では年間を通じて散発的に発生しており明らかな季節性は見られなかった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは、みなとの13.00人であった。

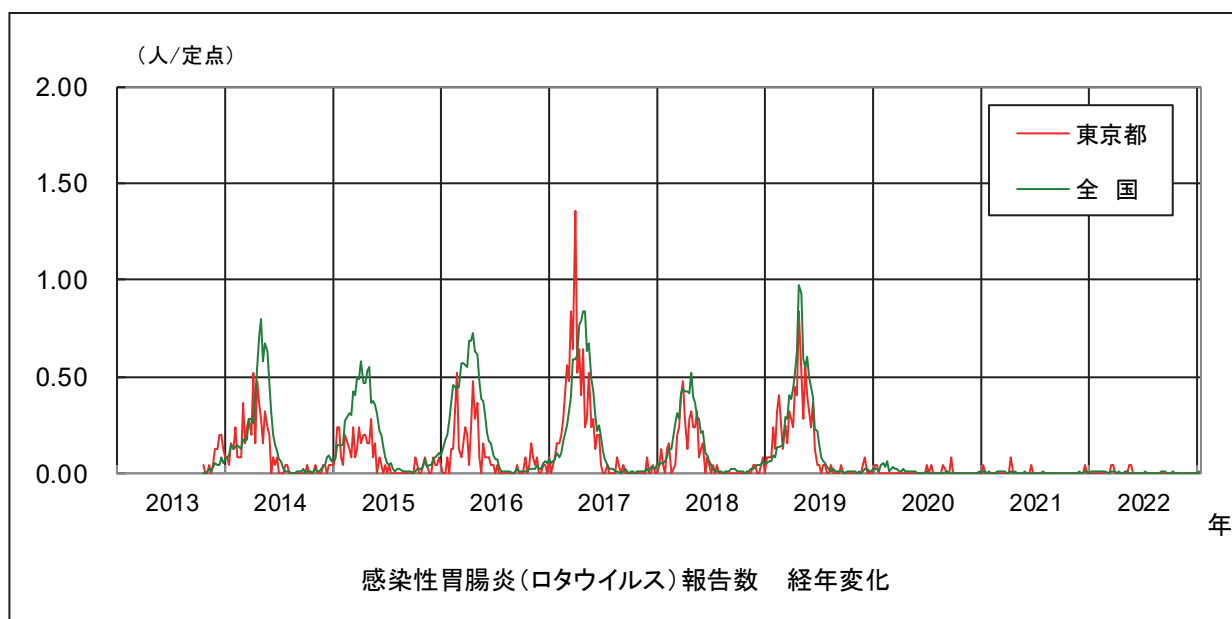
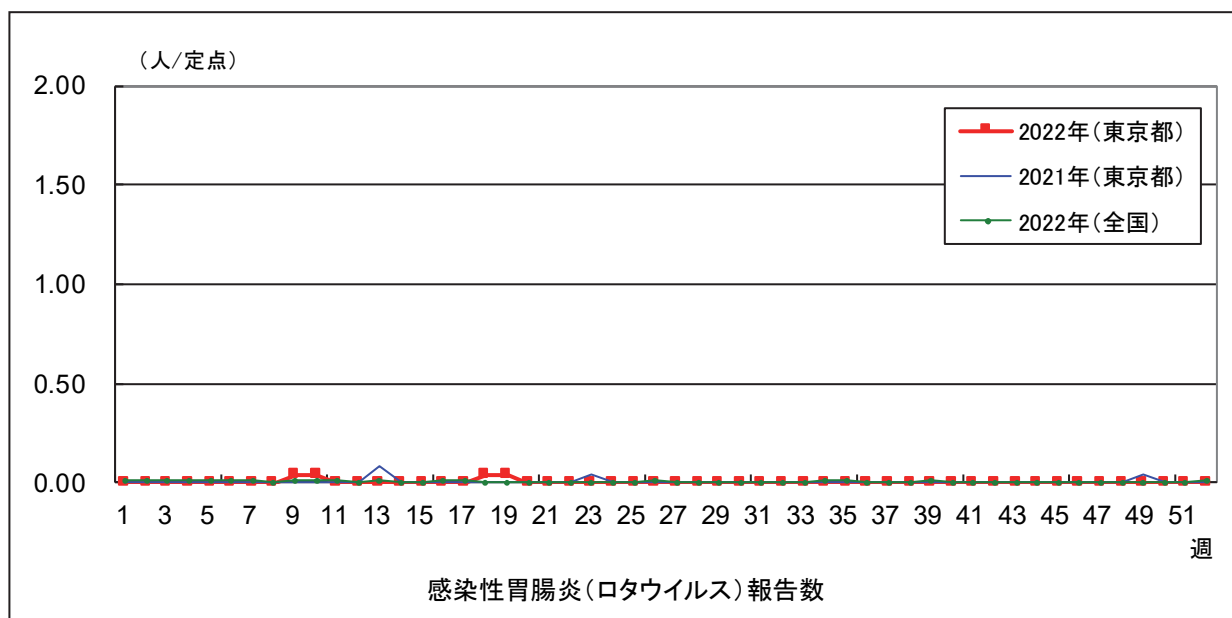
年齢階級別報告数では60歳以上が11人（50.0%）であった。



オ 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）

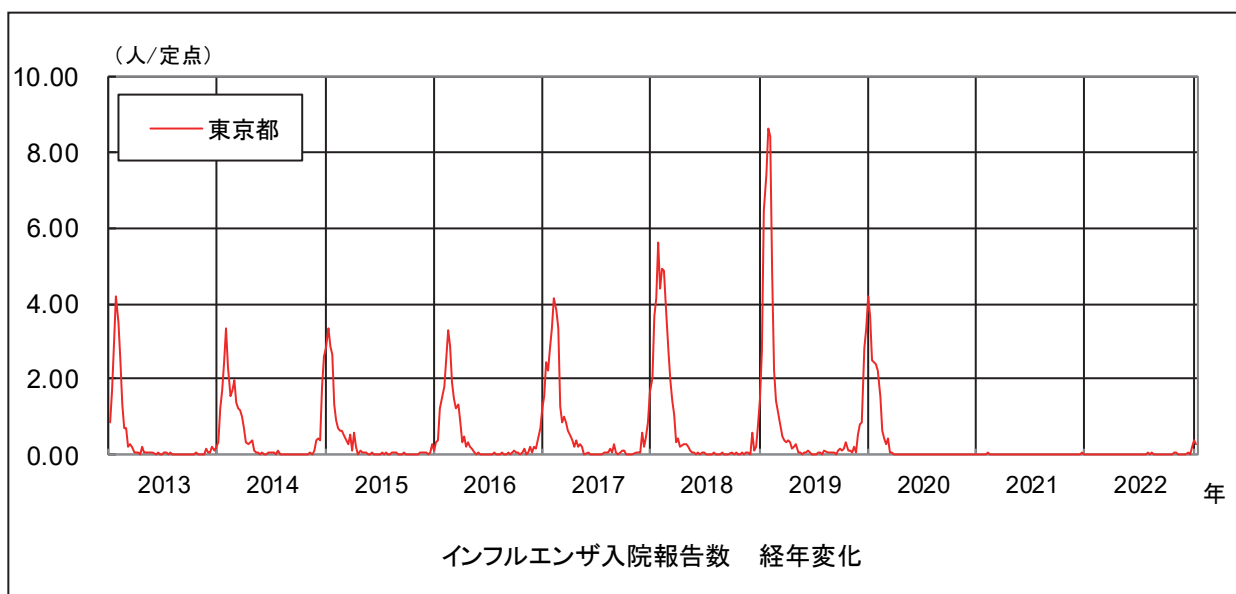
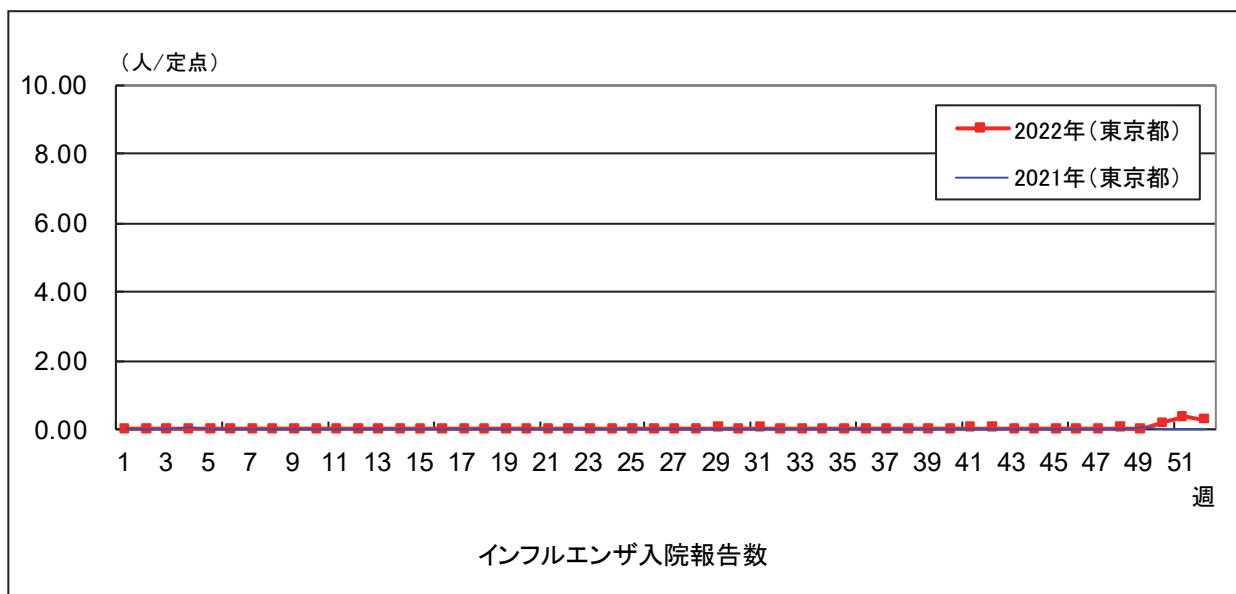
2022年の報告数は4人であり、定点当たりの報告数は0.16人であった。報告は2013年42週より開始されているが、2021年に引き続き報告開始以降、最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では、明らかな季節性は見られなかった。



カ インフルエンザ入院

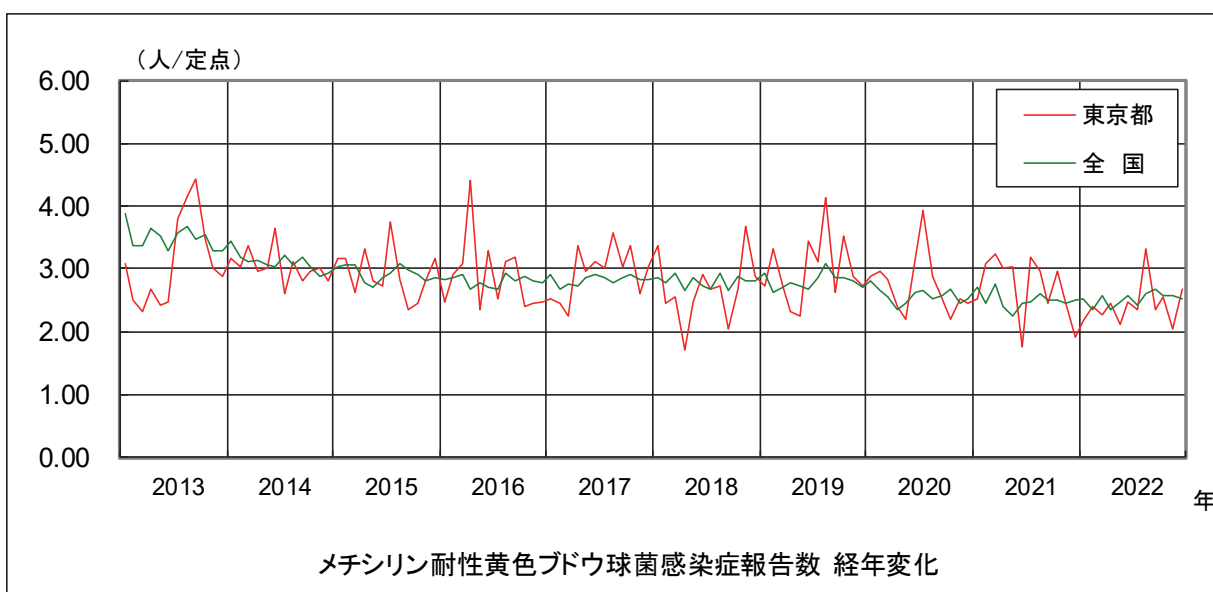
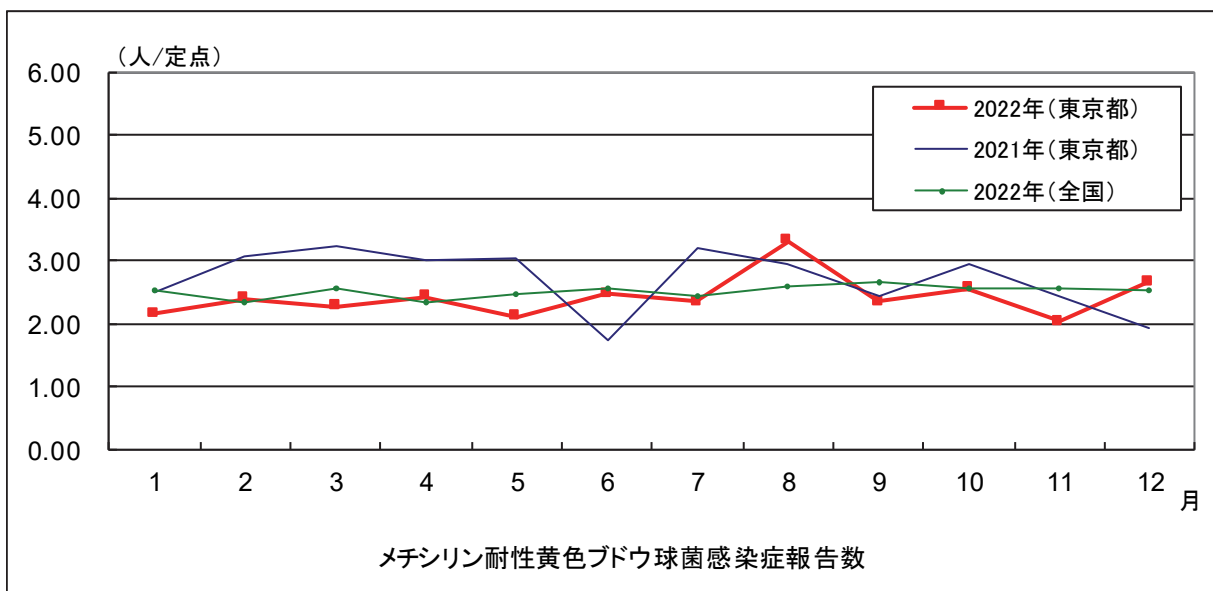
2022年の報告数は26人で、定点当たりの報告数は1.04人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は25.22人であり、2022年はここ10年でみると2021年に次いで少ない報告数であった。



(5) 基幹定点医療機関における月報告疾患

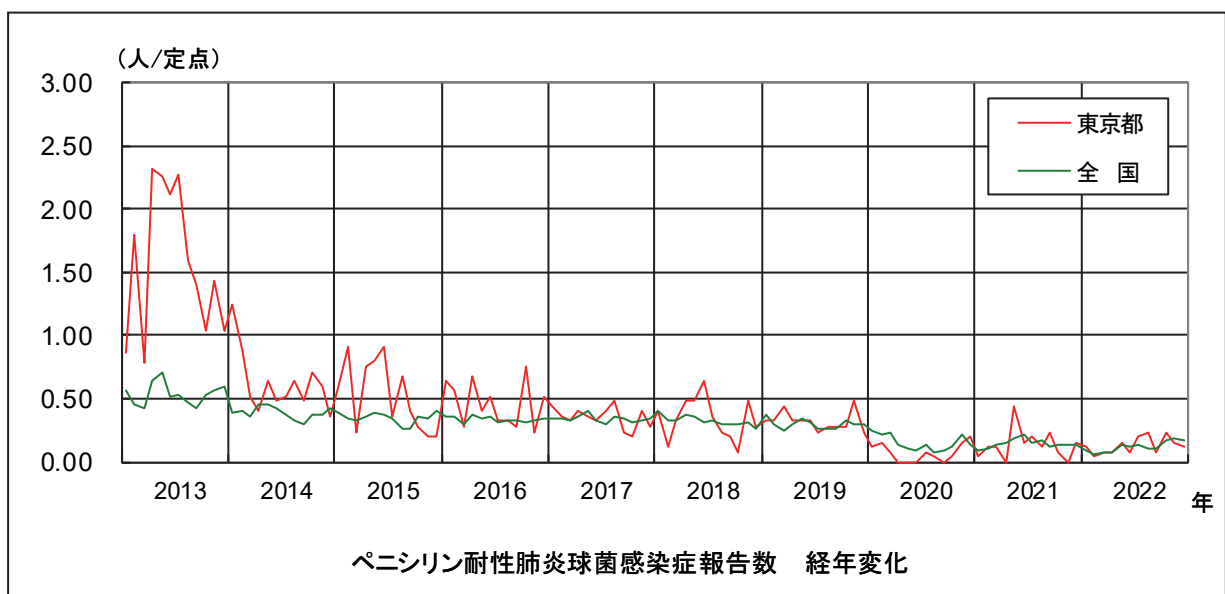
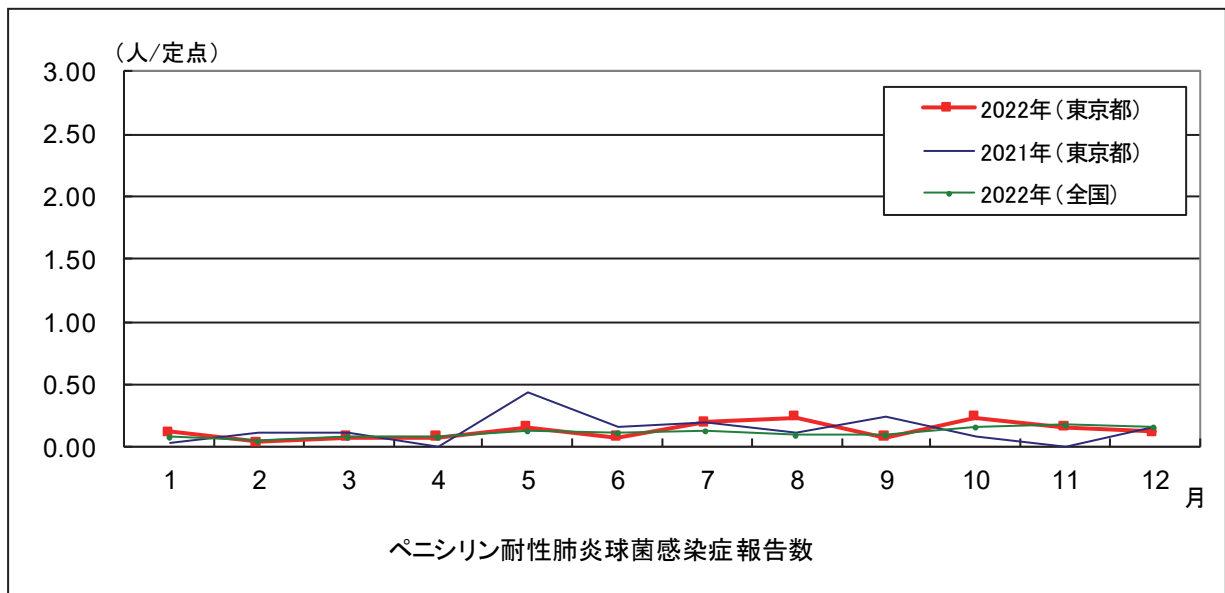
ア メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) 感染症

2022年の報告数は731人、定点当たりの報告数は29.24人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は34.15人であり、2022年はここ10年でみると最も少ない報告数であった。



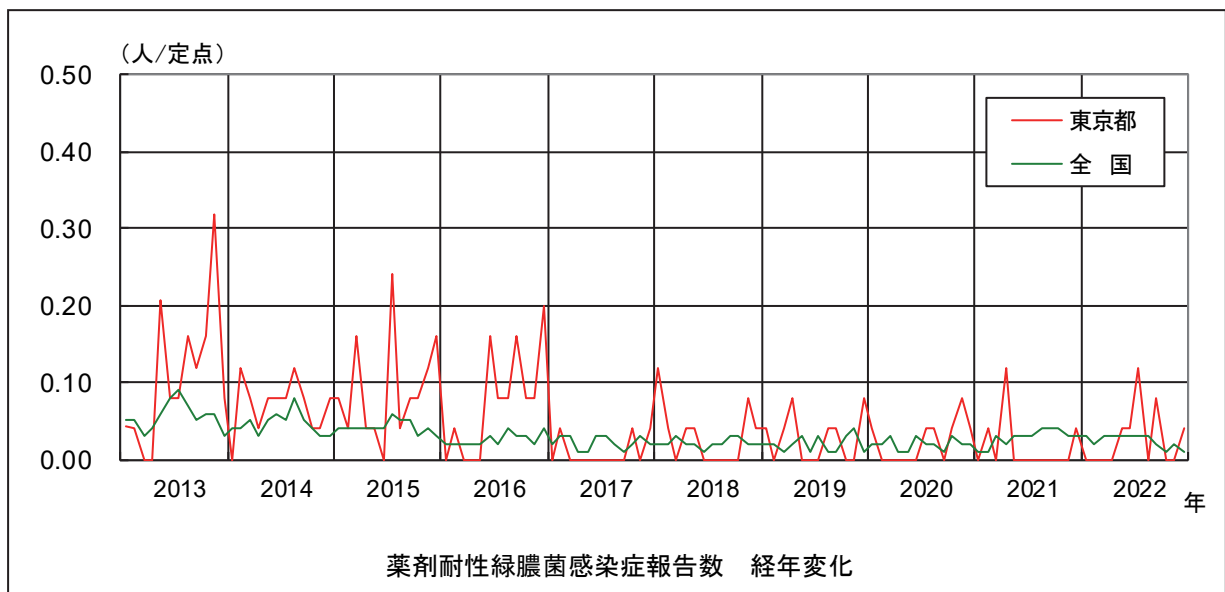
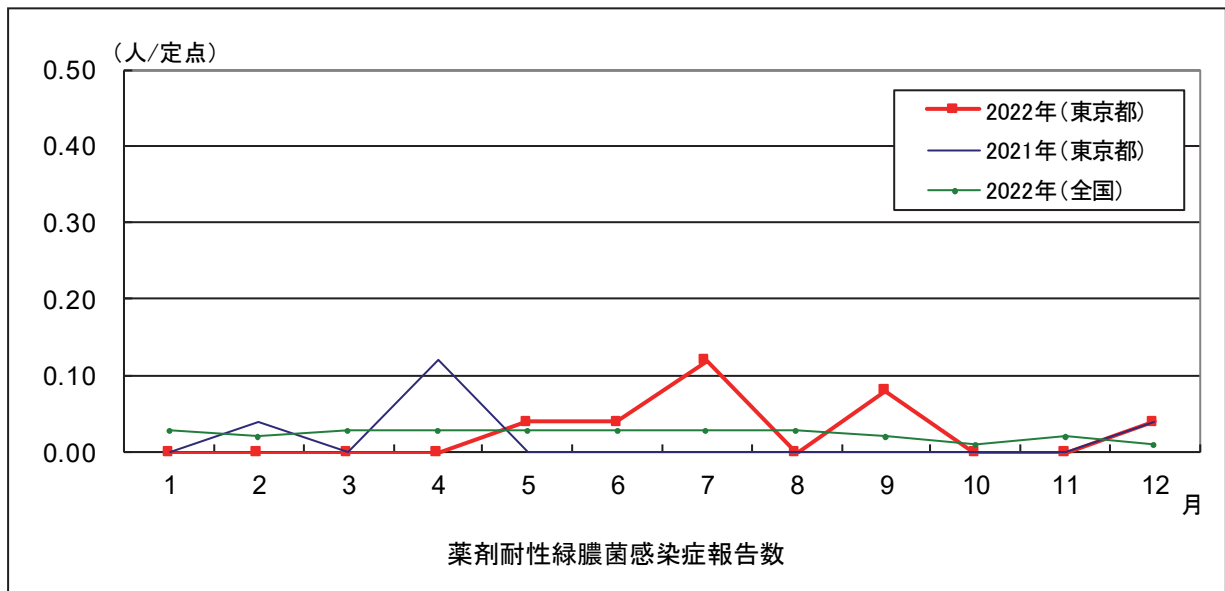
イ ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

2022年の報告数は40人、定点当たりの報告数は1.60人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は5.46人であり、2022年は2020年に次いで少ない報告数であった。



ウ 薬剤耐性緑膿菌感染症

2022年の報告数は8人、定点当たりの報告数は0.32人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は0.57人であり、2022年はここ10年では少なめの報告数であった。



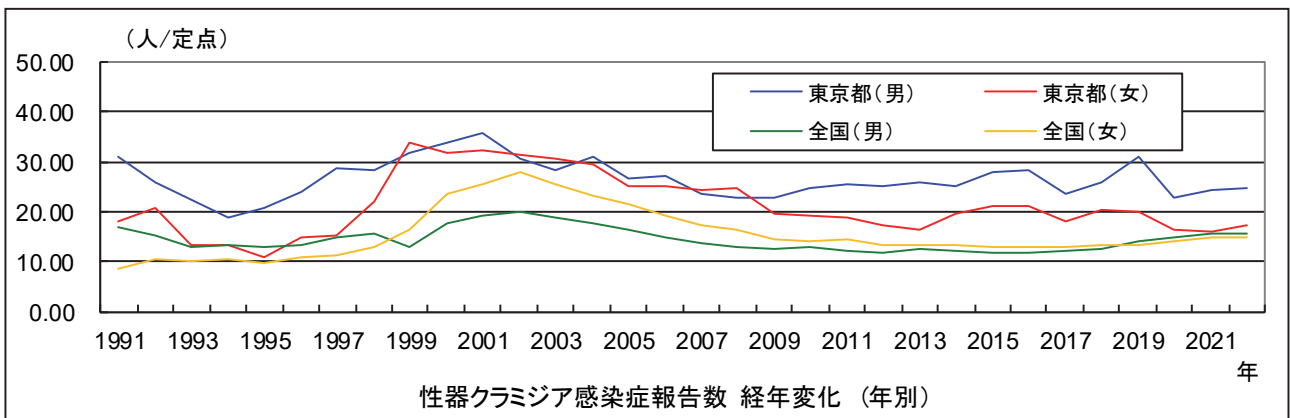
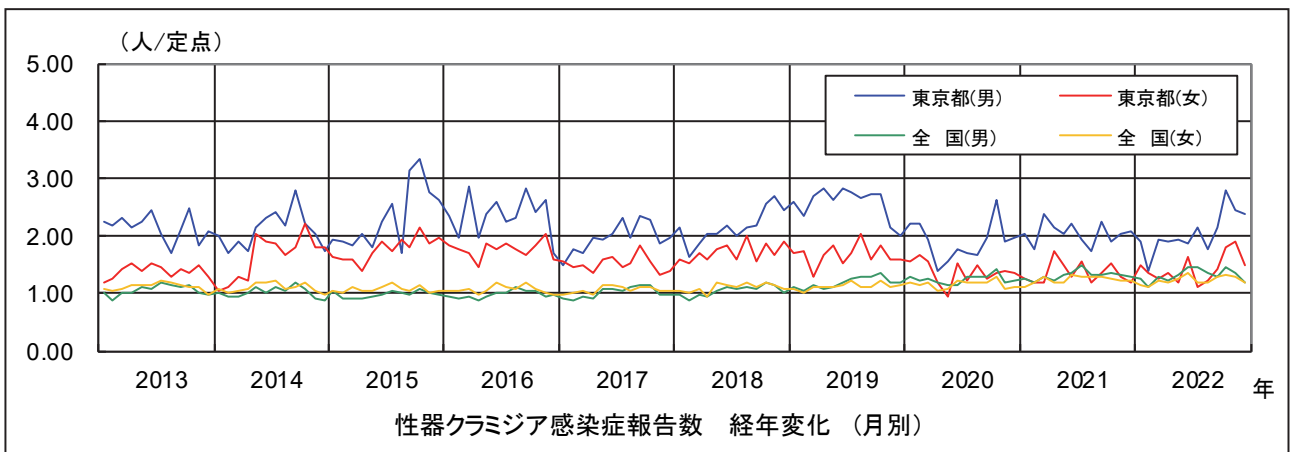
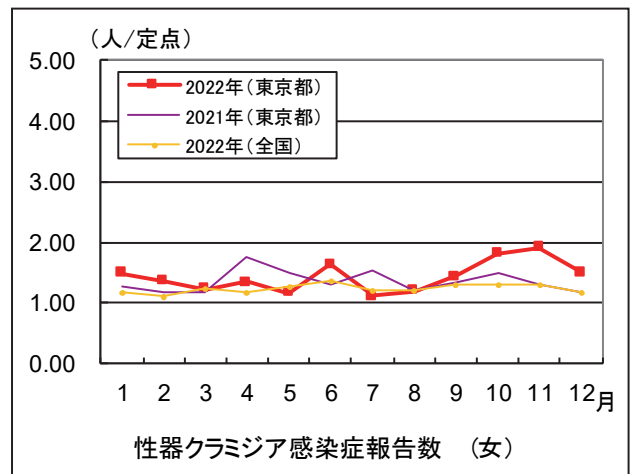
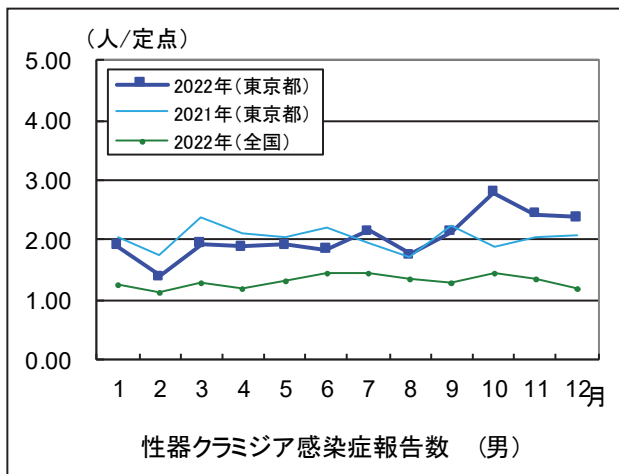
(6) 性感染症

ア 性器クラミジア感染症

年間患者報告数は2,261人、定点当たり41.78人で、前年比1.03とわずかに増加した。男性の報告数は1,330人、定点当たり24.58人(前年比1.00)、女性の報告数931人、定点当たり17.20人(前年比1.06)であった。

月別報告数では、男性は10月が最多で151人、2月が最少で77人、女性では11月が最多で101人、7月が最少で60人だった。

性別年齢階級別では、男性は25～29歳の275人(20.7%)で最多で、20歳代と30歳代で男性全体の70.1%を占めた。女性は20～24歳の285人(30.6%)が最多で、20歳代と30歳代で女性全体の77.2%を占めた。10～14歳の女性が6名報告された。

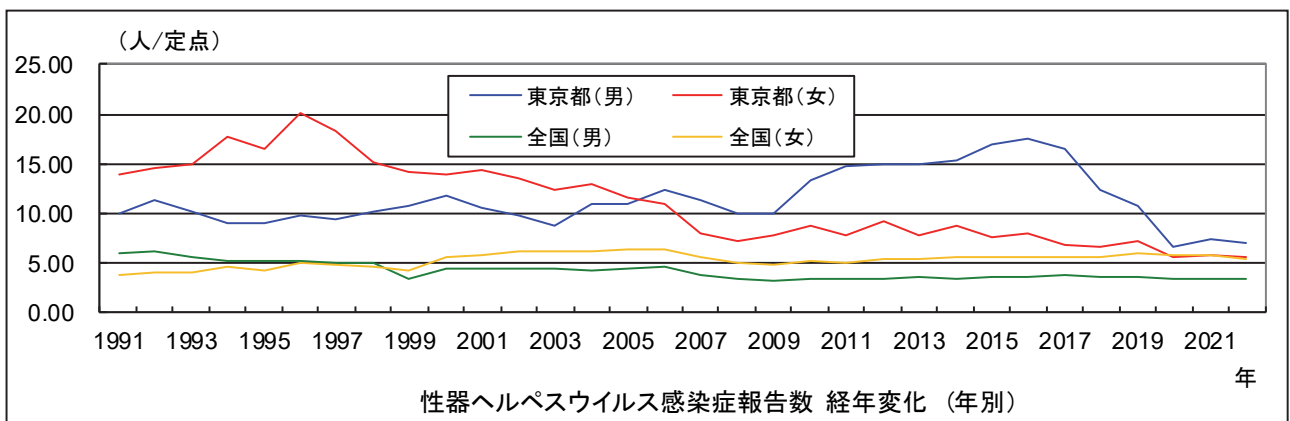
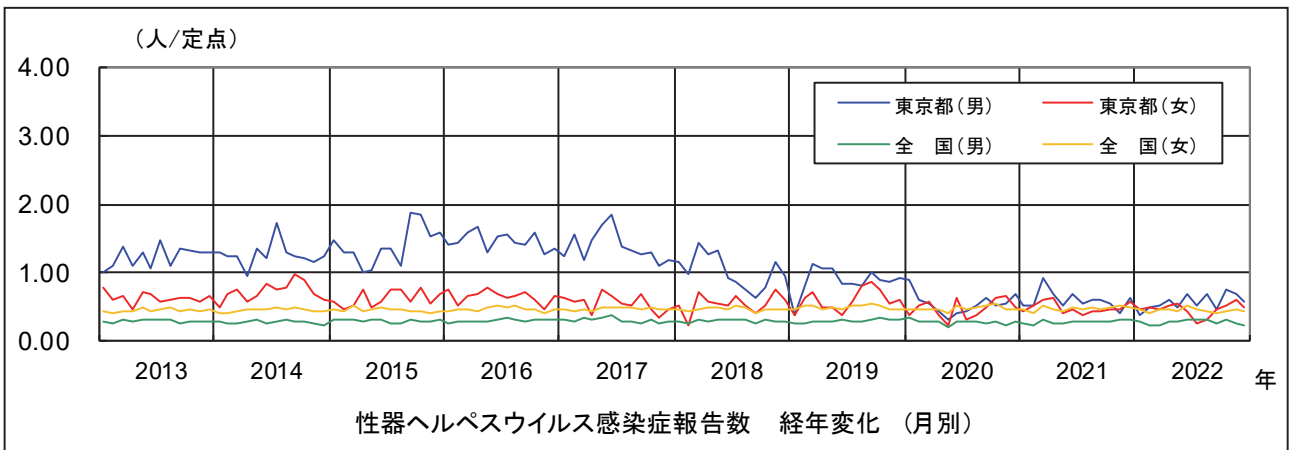
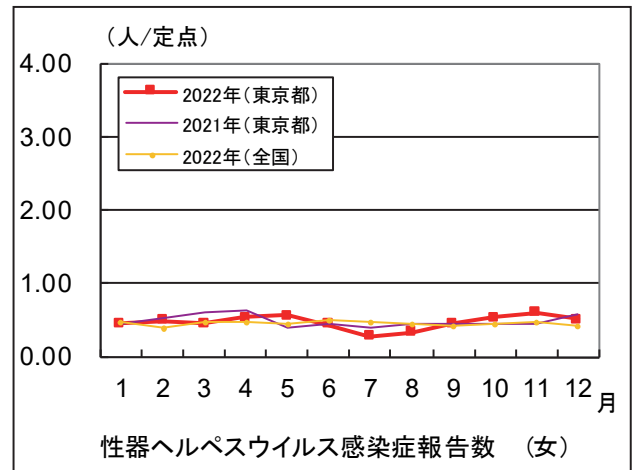
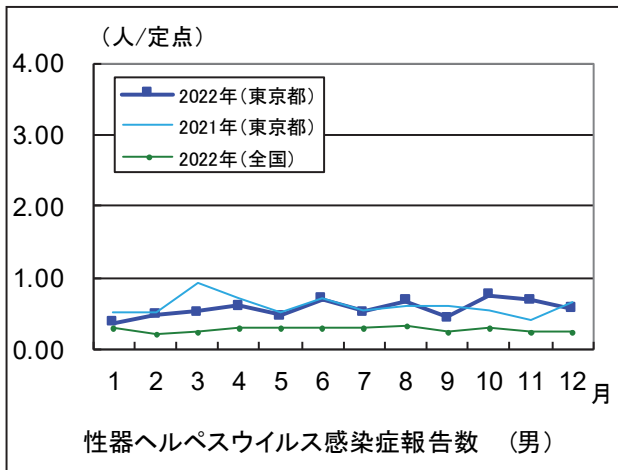


イ 性器ヘルペスウイルス感染症

年間患者報告数は679人、定点当たり12.54人で、前年比0.95とわずかに減少した。男性の報告数は374人、定点当たり6.91（前年比0.94）、女性の報告数305人、定点当たり5.63人（前年比0.97）であった。

月別報告数では、男性は10月が最多で41人、1月が最少で21人、女性では11月が最多で32人、7月が最少で15人だった。

性別年齢階級別では、男性は25～29歳の62人（16.6%）が最多で、20歳代と30歳代が男性全体の50.8%を占めた。女性は20～24歳の57人（18.7%）が最多で、20歳代と30歳代で女性全体の63.9%を占めた。

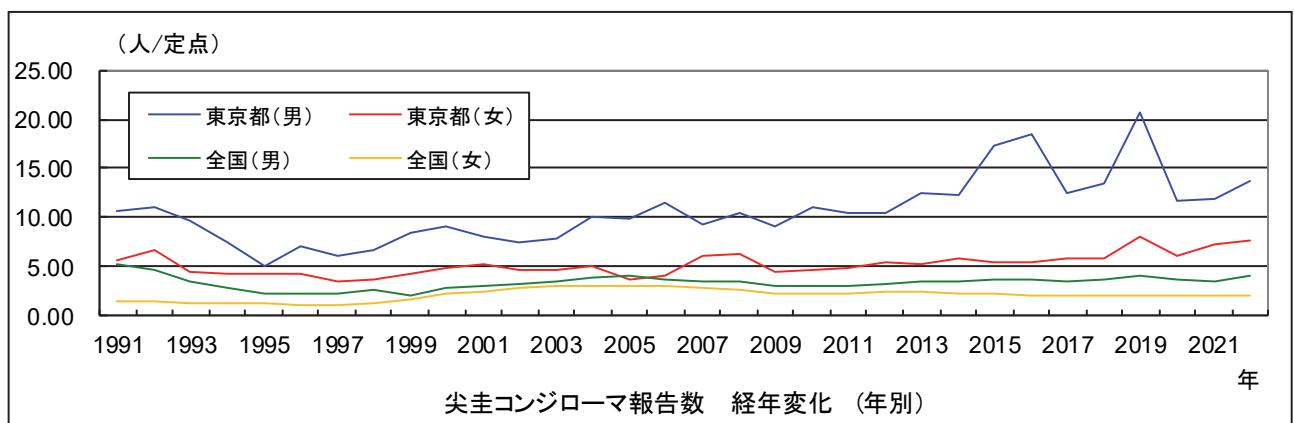
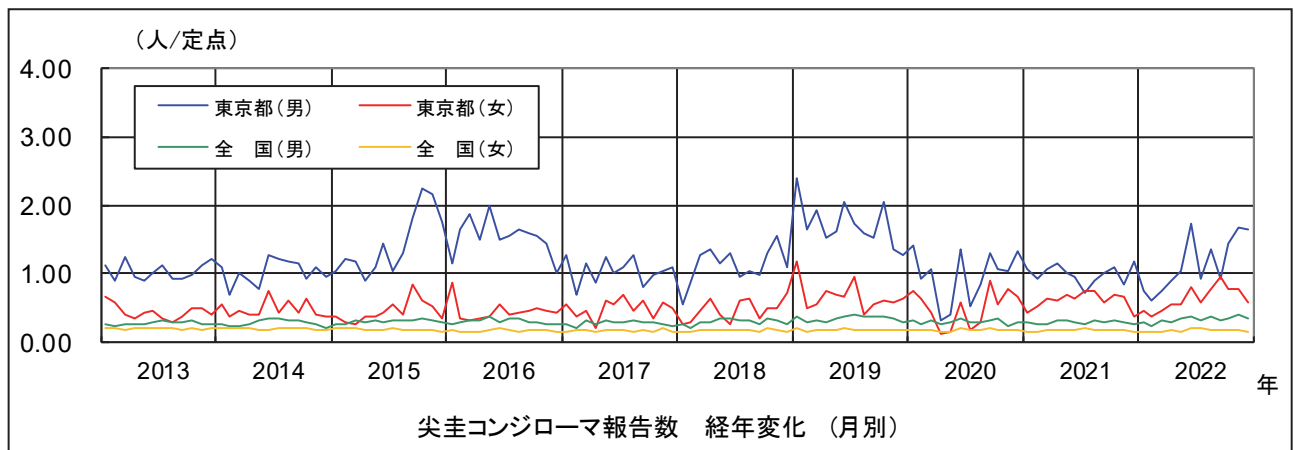
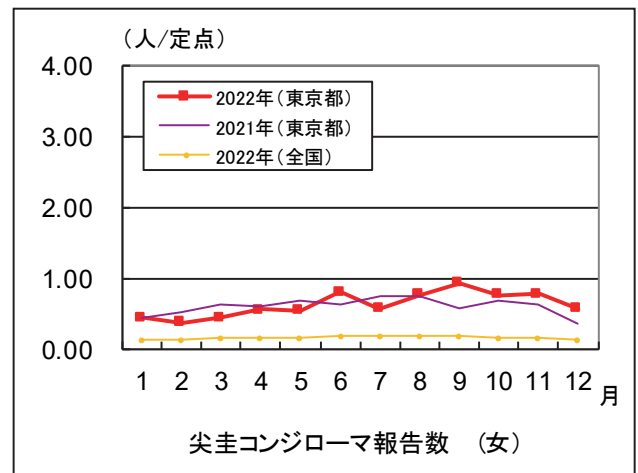
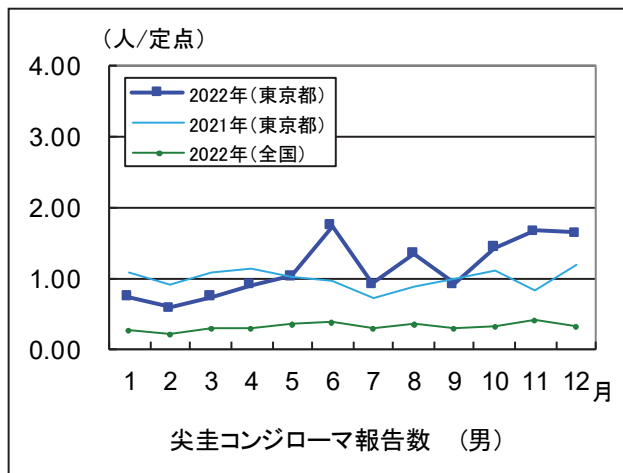


ウ 尖圭コンジローマ

年間患者報告数は1,157人、定点当たり21.42人で、前年比1.11とわずかに増加した。男性の報告数は743人、定点当たり13.75（前年比1.15）、女性の報告数414人、定点当たり7.66人（前年比1.04）であった。

月別報告数では、男性は6月が最多で94人、2月が最少で33人、女性では9月が最多で50人、2月が最少で21人だった。

性別年齢階級別では、男性は25～29歳の169人（22.7%）が最多で、20歳代と30歳代が男性全体の62.9%を占めた。女性は20～24歳の154人（37.2%）が最多で、20歳代と30歳代で女性全体の85.7%を占めた。

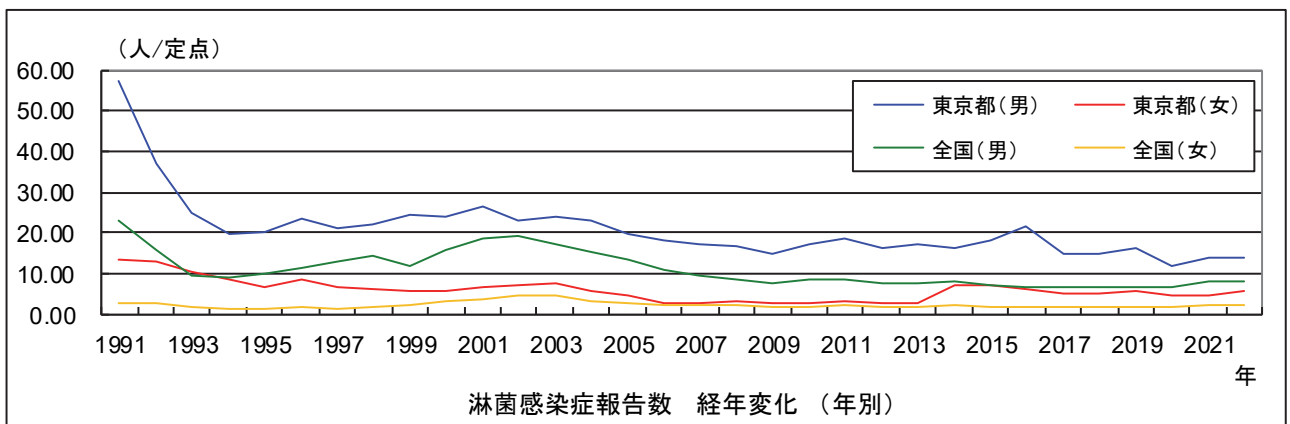
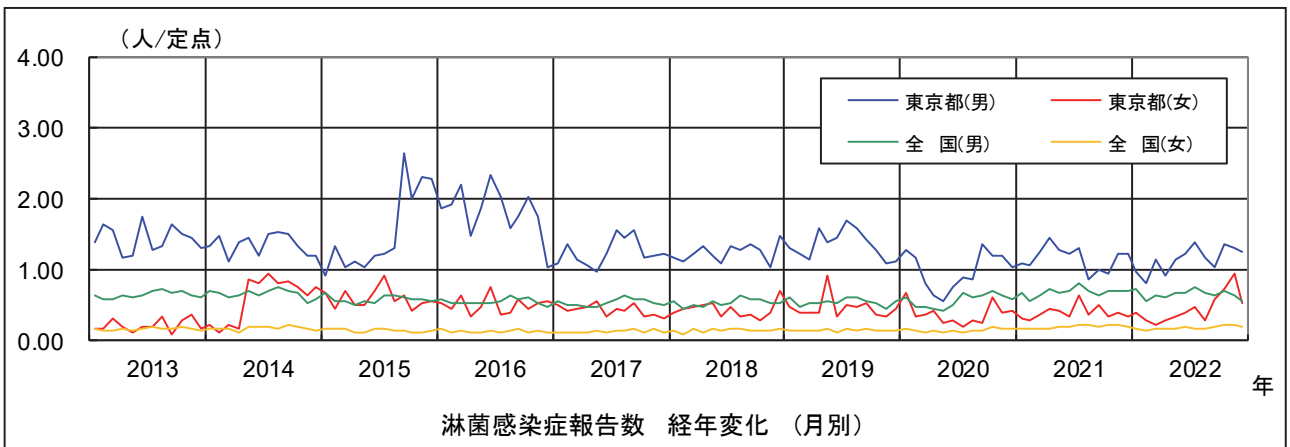
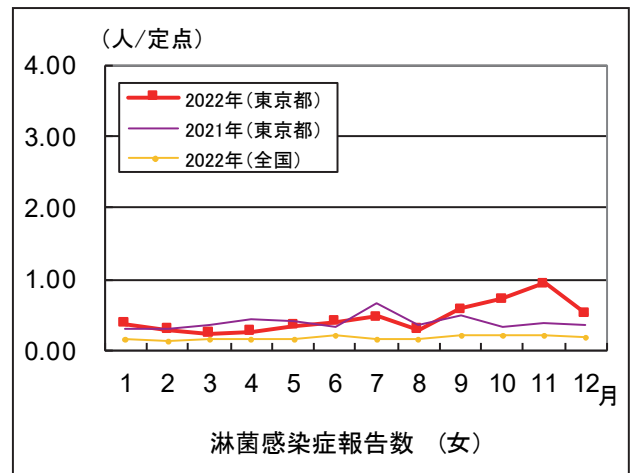
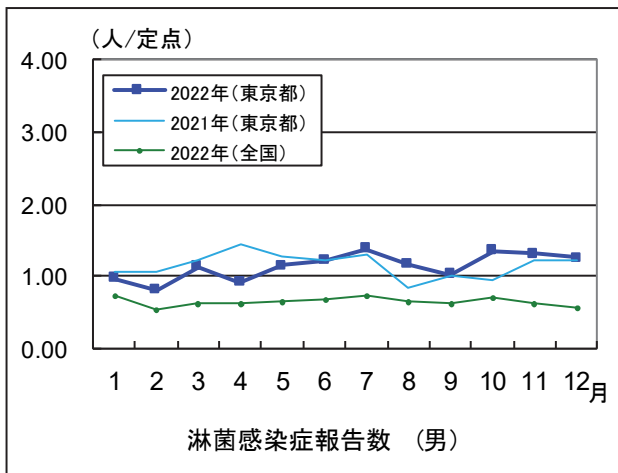


エ 淋菌感染症

年間患者報告数は1,041人、定点当たり19.26人で、前年比1.03とわずかに増加した。男性の報告数は745人、定点当たり13.77（前年比0.99）、女性の報告数296人、定点当たり5.49人（前年比1.16）であった。

月別報告数では、男性は7月が最多で75人、2月が最少で45人、女性では11月が最多で50人、3月が最少で13人だった。

性別年齢階級別では、男性は25～29歳の154人（20.7%）が最多で、20歳代と30歳代が男性全体の67.5%を占めた。女性は20～24歳の75人（25.3%）が最多で、20歳代と30歳代で女性全体の62.5%を占めた。



オ 臙トリコモナス症

臙トリコモナス症は、東京都が独自に定点把握疾患に定めている。年間患者報告数は103人、定点当たり1.90人で、前年比1.09とわずかに増加した。男性の報告数は1人、定点当たり0.02人（前年比1.00）、女性の報告数102人、定点当たり1.88人（前年比1.09）であった。

男性は届出数が少なく、年齢階級や季節による特徴は評価できなかった。

女性の月別報告数は、6月が最多で14人、7月が最少で3人だった。女性は20～24歳の25人（24.5%）が最多で、20歳代、30歳代で女性全体の62.7%を占めた。

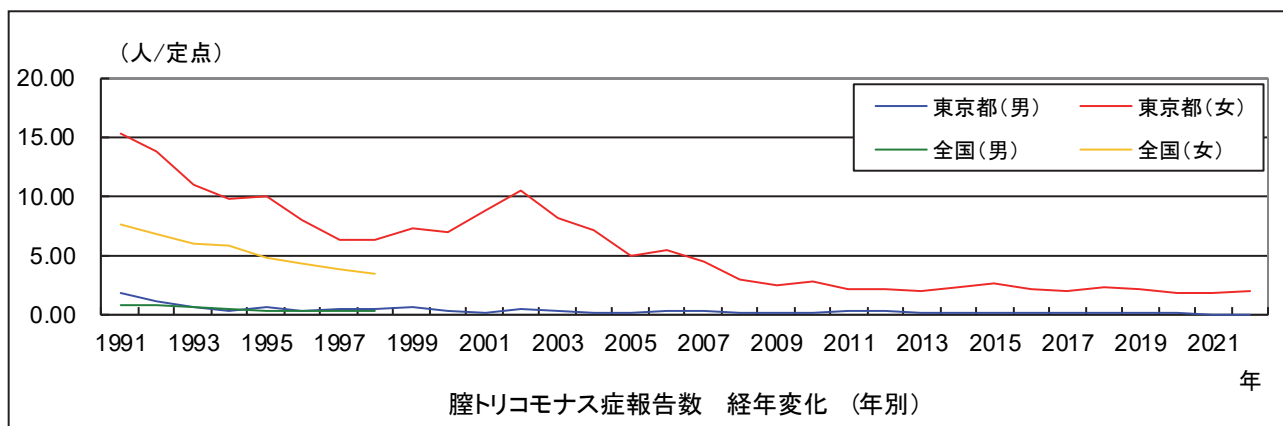
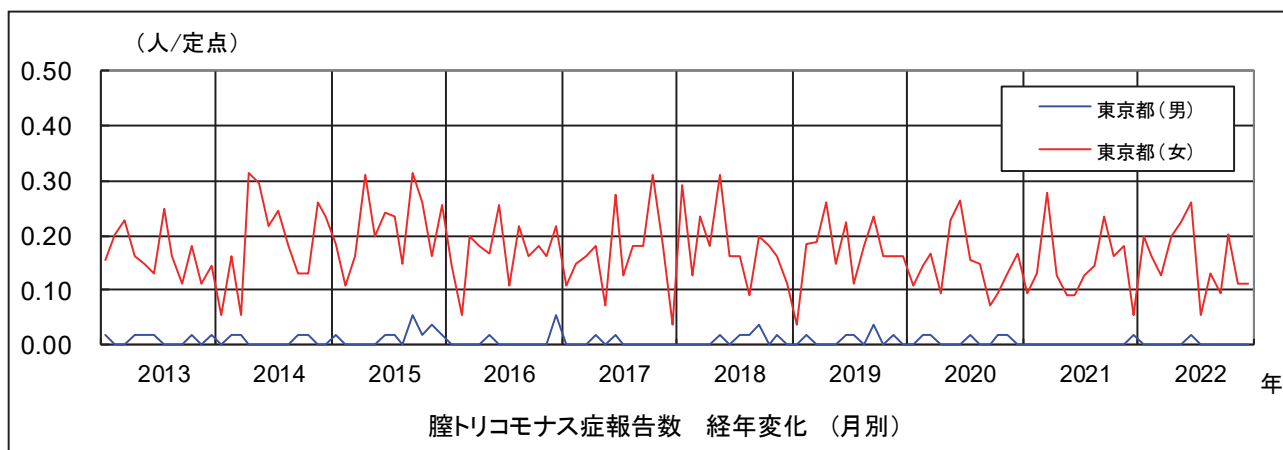
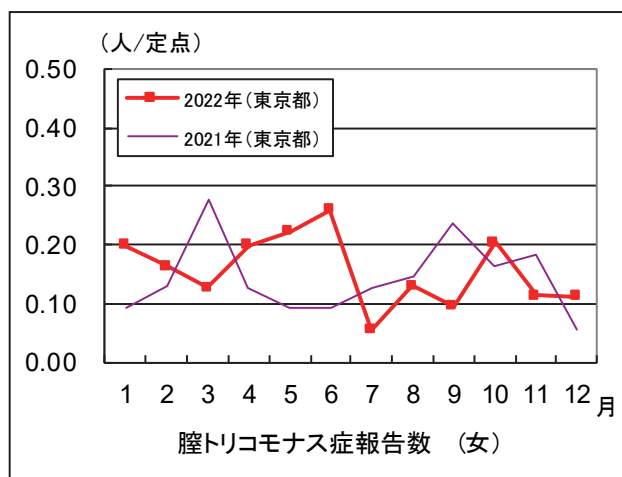
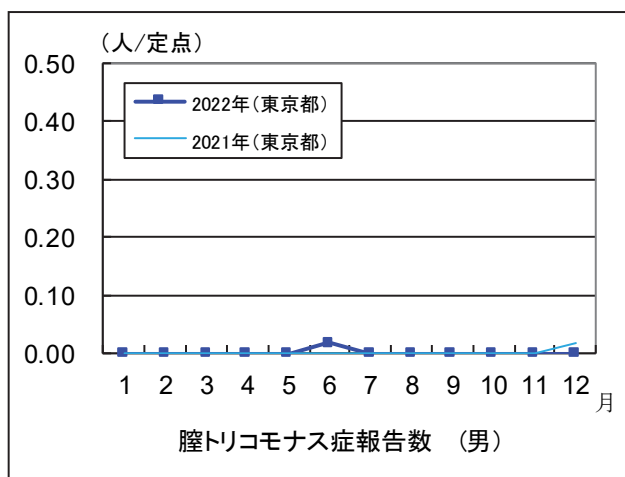


表4-1(1) 週別患者報告数(インフルエンザ・小児科) 2022年第1週~第52週

週	期 間	報 告 定 点 数 (イン フル エン ザ)	イン フル エン ザ	報 告 定 点 数 (小 児 科)	R S ウ イ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 球 菌 咽 頭 炎 群 溶 血 性 レ ン サ	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘル パ ン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎
1	1. 3~ 1. 9	404	4	254	5	23	55	1,245	25	55	4	53	21	5
2	1. 10~ 1. 16	411	4	258	8	29	79	1,926	16	55	3	83	7	10
3	1. 17~ 1. 23	403	3	253	12	20	62	2,530	20	49	3	61	7	8
4	1. 24~ 1. 30	407	4	255	4	14	44	2,147	14	62	4	73	11	8
5	1. 31~ 2. 6	402		250	7	7	45	1,617	12	40	3	58	1	8
6	2. 7~ 2. 13	408		256	4	12	21	1,265	11	25	2	57	1	6
7	2. 14~ 2. 20	408		257	3	13	28	1,244	16	11	3	67		12
8	2. 21~ 2. 27	407		254	3		12	1,002	5	3	8	36		9
9	2. 28~ 3. 6	407	1	258	9	4	14	1,111	15	2	4	50	1	3
10	3. 7~ 3. 13	409	1	258	10	9	37	1,021	10	5	3	51	2	11
11	3. 14~ 3. 20	403		254	3	2	34	1,007	9	4	2	55	2	7
12	3. 21~ 3. 27	410		256	1	11	26	820	9	4	3	71	4	5
13	3. 28~ 4. 3	410		257		1	39	834	17	4	4	79	3	6
14	4. 4~ 4. 10	404	1	253	3	6	20	891	11	9	4	69	4	7
15	4. 11~ 4. 17	407		256	12	8	22	1,159	17	14	1	96		6
16	4. 18~ 4. 24	409	2	257	11	18	29	1,371	15	12	4	109	5	9
17	4. 25~ 5. 1	400		253	16	15	26	1,129	12	25	3	111	1	9
18	5. 2~ 5. 8	410	2	257	5	11	24	788	21	10	5	63	2	5
19	5. 9~ 5. 15	409	3	256	9	31	35	1,337	35	13	6	100	10	17
20	5. 16~ 5. 22	407	1	257	11	34	35	1,599	14	23	1	142	2	20
21	5. 23~ 5. 29	409		255	24	42	41	1,617	21	50	5	116	8	10
22	5. 30~ 6. 5	411		257	25	74	71	1,611	16	51	4	105	6	12
23	6. 6~ 6. 12	411	3	258	45	100	50	1,791	18	66	3	106	18	12
24	6. 13~ 6. 19	409		256	69	84	48	1,918	16	94	4	108	27	12
25	6. 20~ 6. 26	413		259	121	82	37	1,710	22	184	2	125	64	10
26	6. 27~ 7. 3	413		260	182	88	53	1,441	33	315	5	113	131	10
27	7. 4~ 7. 10	412		259	278	75	48	1,435	17	567	4	116	197	9
28	7. 11~ 7. 17	405	6	255	379	72	55	1,289	15	641	2	80	256	6
29	7. 18~ 7. 24	410	6	257	399	36	37	795	27	796	2	59	254	6
30	7. 25~ 7. 31	406	15	258	440	30	33	706	13	1,231	5	83	384	11
31	8. 1~ 8. 7	405	23	255	441	20	29	544	11	1,259	3	61	375	8
32	8. 8~ 8. 14	380	13	245	339	13	16	419	13	1,114		48	248	9
33	8. 15~ 8. 21	399	8	248	313	8	20	377	11	965	2	39	201	5
34	8. 22~ 8. 28	409	5	256	367	10	28	504	12	1,324	1	73	370	12
35	8. 29~ 9. 4	411	8	259	482	11	31	571	14	1,440		69	327	17
36	9. 5~ 9. 11	411	7	259	516	6	24	617	13	1,376	6	56	329	6
37	9. 12~ 9. 18	412	8	260	528	13	34	646	17	1,274	10	67	318	7
38	9. 19~ 9. 25	414	7	261	403	3	44	449	11	772	4	49	148	10
39	9. 26~10. 2	410	5	257	340	9	55	587	13	765	2	63	179	14
40	10. 3~10. 9	413	2	260	299	11	36	633	19	517		50	96	7
41	10. 10~10. 16	411	2	258	228	12	29	676	10	339		50	76	6
42	10. 17~10. 23	413	2	259	238	21	37	806	22	356	1	86	98	10
43	10. 24~10. 30	412	9	260	227	11	68	860	39	288	4	81	69	12
44	10. 31~11. 6	410	31	259	178	22	44	924	22	170	4	76	36	17
45	11. 7~11. 13	411	84	261	101	28	64	1,103	36	126	3	79	34	11
46	11. 14~11. 20	412	125	260	130	30	61	1,480	33	83	5	75	28	8
47	11. 21~11. 27	411	72	261	89	24	67	1,431	35	90	3	74	20	13
48	11. 28~12. 4	410	107	260	80	48	54	1,746	36	65	2	74	8	10
49	12. 5~12. 11	409	203	259	68	46	48	1,969	40	64	6	65	9	11
50	12. 12~12. 18	411	462	261	59	47	53	2,496	35	46	8	74	7	9
51	12. 19~12. 25	412	940	261	31	51	52	2,777	22	38	3	53	8	11
52	12. 26~ 1. 1	387	1,139	247	9	25	40	1,738	24	20	1	32	10	5
	合 計		3,318		7,564	1,420	2,094	63,709	990	16,911	174	3,889	4,423	487

表4-1(2) 週別患者報告数(小児科・眼科・基幹) 2022年第1週~第52週

週	期間	報告定点数 (小児科)	不明発しん症	川崎病	報告定点数 (眼科)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	報告定点数 (基幹)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	(ロタウイルスによる) 感染性胃腸炎	報告定点数 (基幹)	インフルエンザ入院
1	1. 3~ 1. 9	254	3	1	38		8	25			1			25	
2	1.10~ 1.16	258	2	2	38		5	25	1			1		25	
3	1.17~ 1.23	253	1	2	38		7	25						25	
4	1.24~ 1.30	255	3	2	38		5	25						25	
5	1.31~ 2. 6	250	2	1	38		4	25		1				25	
6	2. 7~ 2.13	256	6	2	38		3	25			1			25	
7	2.14~ 2.20	257	7	4	38		3	25		1				25	
8	2.21~ 2.27	254	3	1	38		2	25				2		25	
9	2.28~ 3. 6	258	6	2	38		8	25		1		1	1	25	
10	3. 7~ 3.13	258	4	2	38		8	25		1		1	1	25	
11	3.14~ 3.20	254	4	2	37		3	25						25	
12	3.21~ 3.27	256	2	1	38		1	25						25	
13	3.28~ 4. 3	257	8	1	38		5	25	1			1		25	
14	4. 4~ 4.10	253	3	1	38		8	25	2	1		2		25	
15	4.11~ 4.17	256	10	1	38		8	25				1		25	
16	4.18~ 4.24	257	8	4	38		3	25						25	
17	4.25~ 5. 1	253	7		38		6	25		1				25	
18	5. 2~ 5. 8	257	10	1	38		3	25	1				1	25	
19	5. 9~ 5.15	256	8	1	38		10	25	1			2	1	25	
20	5.16~ 5.22	257	5	1	38		6	25				1		25	
21	5.23~ 5.29	255	6		38		5	25						25	
22	5.30~ 6. 5	257	5	1	38		5	25	1			1		25	
23	6. 6~ 6.12	258	12	1	38		6	25						25	
24	6.13~ 6.19	256	10	3	38		8	25						25	
25	6.20~ 6.26	259	12	1	38		6	25	2					25	
26	6.27~ 7. 3	260	9	1	38		6	25		1				25	
27	7. 4~ 7.10	259	11	3	38		12	25	2					25	
28	7.11~ 7.17	255	8	1	38		6	25						25	
29	7.18~ 7.24	257	6	3	38		7	25		2				25	1
30	7.25~ 7.31	258	14	1	38		7	25						25	
31	8. 1~ 8. 7	255	13	2	38		6	25				2		25	1
32	8. 8~ 8.14	245	10		36		3	25						25	
33	8.15~ 8.21	248	8	2	36		8	25						25	
34	8.22~ 8.28	256	13	3	37		8	25	1	1				25	
35	8.29~ 9. 4	259	8		38		12	25						25	
36	9. 5~ 9.11	259	12		38	1	5	25			1			25	
37	9.12~ 9.18	260	8	3	38		6	25	1			2		25	
38	9.19~ 9.25	261	2	2	38		5	25		1		2		25	
39	9.26~10. 2	257	9	3	38		6	25			1			25	
40	10. 3~10. 9	260	11	3	38		2	25				1		25	
41	10.10~10.16	258	4	3	38		6	25	1					25	1
42	10.17~10.23	259	8	3	38		8	25	2	3				25	1
43	10.24~10.30	260	8	5	38		3	25						25	
44	10.31~11. 6	259	6	3	38		4	25		1				25	
45	11. 7~11.13	261	7	1	38		9	25		1		1		25	
46	11.14~11.20	260	7	1	38		4	25			1			25	
47	11.21~11.27	261	4	3	38		6	25						25	
48	11.28~12. 4	260	6	2	38		8	25		1	1			25	1
49	12. 5~12.11	259	6	1	38		10	25	1					25	
50	12.12~12.18	261	5	1	38	2	8	25				1		25	5
51	12.19~12.25	261	7	3	38		6	25						25	9
52	12.26~ 1. 1	247	3	2	37		4	25		1	1			25	7
合 計			360	93		3	311		17	18	7	22	4		26

表4-2(1) 週別定点当たり患者報告数(インフルエンザ・小児科) 2022年第1週～第52週

週	期 間	報告 点 数 (イン フル エン ザ)	イン フル エン ザ	報 告 定 点 数 (小 児 科)	R S ウ イ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 球 菌 咽 頭 炎 レ ン サ	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘル パン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎
1	1. 3～ 1. 9	404	0.01	254	0.02	0.09	0.22	4.90	0.10	0.22	0.02	0.21	0.08	0.02
2	1. 10～ 1. 16	411	0.01	258	0.03	0.11	0.31	7.47	0.06	0.21	0.01	0.32	0.03	0.04
3	1. 17～ 1. 23	403	0.01	253	0.05	0.08	0.25	10.00	0.08	0.19	0.01	0.24	0.03	0.03
4	1. 24～ 1. 30	407	0.01	255	0.02	0.05	0.17	8.42	0.05	0.24	0.02	0.29	0.04	0.03
5	1. 31～ 2. 6	402		250	0.03	0.03	0.18	6.47	0.05	0.16	0.01	0.23	0.00	0.03
6	2. 7～ 2. 13	408		256	0.02	0.05	0.08	4.94	0.04	0.10	0.01	0.22	0.00	0.02
7	2. 14～ 2. 20	408		257	0.01	0.05	0.11	4.84	0.06	0.04	0.01	0.26		0.05
8	2. 21～ 2. 27	407		254	0.01		0.05	3.94	0.02	0.01	0.03	0.14		0.04
9	2. 28～ 3. 6	407	0.00	258	0.03	0.02	0.05	4.31	0.06	0.01	0.02	0.19	0.00	0.01
10	3. 7～ 3. 13	409	0.00	258	0.04	0.03	0.14	3.96	0.04	0.02	0.01	0.20	0.01	0.04
11	3. 14～ 3. 20	403		254	0.01	0.01	0.13	3.96	0.04	0.02	0.01	0.22	0.01	0.03
12	3. 21～ 3. 27	410		256	0.00	0.04	0.10	3.20	0.04	0.02	0.01	0.28	0.02	0.02
13	3. 28～ 4. 3	410		257		0.00	0.15	3.25	0.07	0.02	0.02	0.31	0.01	0.02
14	4. 4～ 4. 10	404	0.00	253	0.01	0.02	0.08	3.52	0.04	0.04	0.02	0.27	0.02	0.03
15	4. 11～ 4. 17	407		256	0.05	0.03	0.09	4.53	0.07	0.05	0.00	0.38		0.02
16	4. 18～ 4. 24	409	0.00	257	0.04	0.07	0.11	5.33	0.06	0.05	0.02	0.42	0.02	0.04
17	4. 25～ 5. 1	400		253	0.06	0.06	0.10	4.46	0.05	0.10	0.01	0.44	0.00	0.04
18	5. 2～ 5. 8	410	0.00	257	0.02	0.04	0.09	3.07	0.08	0.04	0.02	0.25	0.01	0.02
19	5. 9～ 5. 15	409	0.01	256	0.04	0.12	0.14	5.22	0.14	0.05	0.02	0.39	0.04	0.07
20	5. 16～ 5. 22	407	0.00	257	0.04	0.13	0.14	6.22	0.05	0.09	0.00	0.55	0.01	0.08
21	5. 23～ 5. 29	409		255	0.09	0.16	0.16	6.34	0.08	0.20	0.02	0.45	0.03	0.04
22	5. 30～ 6. 5	411		257	0.10	0.29	0.28	6.27	0.06	0.20	0.02	0.41	0.02	0.05
23	6. 6～ 6. 12	411	0.01	258	0.17	0.39	0.19	6.94	0.07	0.26	0.01	0.41	0.07	0.05
24	6. 13～ 6. 19	409		256	0.27	0.33	0.19	7.49	0.06	0.37	0.02	0.42	0.11	0.05
25	6. 20～ 6. 26	413		259	0.47	0.32	0.14	6.60	0.08	0.71	0.01	0.48	0.25	0.04
26	6. 27～ 7. 3	413		260	0.70	0.34	0.20	5.54	0.13	1.21	0.02	0.43	0.50	0.04
27	7. 4～ 7. 10	412		259	1.07	0.29	0.19	5.54	0.07	2.19	0.02	0.45	0.76	0.03
28	7. 11～ 7. 17	405	0.01	255	1.49	0.28	0.22	5.05	0.06	2.51	0.01	0.31	1.00	0.02
29	7. 18～ 7. 24	410	0.01	257	1.55	0.14	0.14	3.09	0.11	3.10	0.01	0.23	0.99	0.02
30	7. 25～ 7. 31	406	0.04	258	1.71	0.12	0.13	2.74	0.05	4.77	0.02	0.32	1.49	0.04
31	8. 1～ 8. 7	405	0.06	255	1.73	0.08	0.11	2.13	0.04	4.94	0.01	0.24	1.47	0.03
32	8. 8～ 8. 14	380	0.03	245	1.38	0.05	0.07	1.71	0.05	4.55		0.20	1.01	0.04
33	8. 15～ 8. 21	399	0.02	248	1.26	0.03	0.08	1.52	0.04	3.89	0.01	0.16	0.81	0.02
34	8. 22～ 8. 28	409	0.01	256	1.43	0.04	0.11	1.97	0.05	5.17	0.00	0.29	1.45	0.05
35	8. 29～ 9. 4	411	0.02	259	1.86	0.04	0.12	2.20	0.05	5.56		0.27	1.26	0.07
36	9. 5～ 9. 11	411	0.02	259	1.99	0.02	0.09	2.38	0.05	5.31	0.02	0.22	1.27	0.02
37	9. 12～ 9. 18	412	0.02	260	2.03	0.05	0.13	2.48	0.07	4.90	0.04	0.26	1.22	0.03
38	9. 19～ 9. 25	414	0.02	261	1.54	0.01	0.17	1.72	0.04	2.96	0.02	0.19	0.57	0.04
39	9. 26～ 10. 2	410	0.01	257	1.32	0.04	0.21	2.28	0.05	2.98	0.01	0.25	0.70	0.05
40	10. 3～ 10. 9	413	0.00	260	1.15	0.04	0.14	2.43	0.07	1.99		0.19	0.37	0.03
41	10. 10～ 10. 16	411	0.00	258	0.88	0.05	0.11	2.62	0.04	1.31		0.19	0.29	0.02
42	10. 17～ 10. 23	413	0.00	259	0.92	0.08	0.14	3.11	0.08	1.37	0.00	0.33	0.38	0.04
43	10. 24～ 10. 30	412	0.02	260	0.87	0.04	0.26	3.31	0.15	1.11	0.02	0.31	0.27	0.05
44	10. 31～ 11. 6	410	0.08	259	0.69	0.08	0.17	3.57	0.08	0.66	0.02	0.29	0.14	0.07
45	11. 7～ 11. 13	411	0.20	261	0.39	0.11	0.25	4.23	0.14	0.48	0.01	0.30	0.13	0.04
46	11. 14～ 11. 20	412	0.30	260	0.50	0.12	0.23	5.69	0.13	0.32	0.02	0.29	0.11	0.03
47	11. 21～ 11. 27	411	0.18	261	0.34	0.09	0.26	5.48	0.13	0.34	0.01	0.28	0.08	0.05
48	11. 28～ 12. 4	410	0.26	260	0.31	0.18	0.21	6.72	0.14	0.25	0.01	0.28	0.03	0.04
49	12. 5～ 12. 11	409	0.50	259	0.26	0.18	0.19	7.60	0.15	0.25	0.02	0.25	0.03	0.04
50	12. 12～ 12. 18	411	1.12	261	0.23	0.18	0.20	9.56	0.13	0.18	0.03	0.28	0.03	0.03
51	12. 19～ 12. 25	412	2.28	261	0.12	0.20	0.20	10.64	0.08	0.15	0.01	0.20	0.03	0.04
52	12. 26～ 1. 1	387	2.94	247	0.04	0.10	0.16	7.04	0.10	0.08	0.00	0.13	0.04	0.02
平均			0.16		0.57	0.11	0.16	4.77	0.07	1.27	0.01	0.29	0.33	0.04

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表4-2(2) 週別定点当たり患者報告数(小児科・眼科・基幹) 2022年第1週～第52週

週	期 間	報告 定点数 (小児科)	不明 発しん症	川崎 病	報告 定点数 (眼科)	急性 出血性 結膜炎	流 行性 角結 膜炎	報告 定点数 (基幹)	細菌 性髄 膜炎	無菌 性髄 膜炎	マイ コプラ ズマ 肺炎	クラ ミジ ア肺 炎 (オウ ム病 を除 く)	(ロ タウ イル スに よる 感 染性 胃腸 炎)	報告 定点 数(基 幹)	イン フル エン ザ入 院
2	1. 10～ 1. 16	258	0.01	0.01	38		0.13	25	0.04			0.04		25	
3	1. 17～ 1. 23	253	0.00	0.01	38		0.18	25						25	
4	1. 24～ 1. 30	255	0.01	0.01	38		0.13	25						25	
5	1. 31～ 2. 6	250	0.01	0.00	38		0.11	25		0.04				25	
6	2. 7～ 2. 13	256	0.02	0.01	38		0.08	25			0.04			25	
7	2. 14～ 2. 20	257	0.03	0.02	38		0.08	25		0.04				25	
8	2. 21～ 2. 27	254	0.01	0.00	38		0.05	25				0.08		25	
9	2. 28～ 3. 6	258	0.02	0.01	38		0.21	25		0.04		0.04	0.04	25	
10	3. 7～ 3. 13	258	0.02	0.01	38		0.21	25		0.04		0.04	0.04	25	
11	3. 14～ 3. 20	254	0.02	0.01	37		0.08	25						25	
12	3. 21～ 3. 27	256	0.01	0.00	38		0.03	25						25	
13	3. 28～ 4. 3	257	0.03	0.00	38		0.13	25	0.04			0.04		25	
14	4. 4～ 4. 10	253	0.01	0.00	38		0.21	25	0.08	0.04		0.08		25	
15	4. 11～ 4. 17	256	0.04	0.00	38		0.21	25				0.04		25	
16	4. 18～ 4. 24	257	0.03	0.02	38		0.08	25						25	
17	4. 25～ 5. 1	253	0.03		38		0.16	25		0.04				25	
18	5. 2～ 5. 8	257	0.04	0.00	38		0.08	25	0.04				0.04	25	
19	5. 9～ 5. 15	256	0.03	0.00	38		0.26	25	0.04			0.08	0.04	25	
20	5. 16～ 5. 22	257	0.02	0.00	38		0.16	25				0.04		25	
21	5. 23～ 5. 29	255	0.02		38		0.13	25						25	
22	5. 30～ 6. 5	257	0.02	0.00	38		0.13	25	0.04			0.04		25	
23	6. 6～ 6. 12	258	0.05	0.00	38		0.16	25						25	
24	6. 13～ 6. 19	256	0.04	0.01	38		0.21	25						25	
25	6. 20～ 6. 26	259	0.05	0.00	38		0.16	25	0.08					25	
26	6. 27～ 7. 3	260	0.03	0.00	38		0.16	25		0.04				25	
27	7. 4～ 7. 10	259	0.04	0.01	38		0.32	25	0.08					25	
28	7. 11～ 7. 17	255	0.03	0.00	38		0.16	25						25	
29	7. 18～ 7. 24	257	0.02	0.01	38		0.18	25		0.08				25	0.04
30	7. 25～ 7. 31	258	0.05	0.00	38		0.18	25						25	
31	8. 1～ 8. 7	255	0.05	0.01	38		0.16	25				0.08		25	0.04
32	8. 8～ 8. 14	245	0.04		36		0.08	25						25	
33	8. 15～ 8. 21	248	0.03	0.01	36		0.22	25						25	
34	8. 22～ 8. 28	256	0.05	0.01	37		0.22	25	0.04	0.04				25	
35	8. 29～ 9. 4	259	0.03		38		0.32	25						25	
36	9. 5～ 9. 11	259	0.05		38	0.03	0.13	25			0.04			25	
37	9. 12～ 9. 18	260	0.03	0.01	38		0.16	25	0.04			0.08		25	
38	9. 19～ 9. 25	261	0.01	0.01	38		0.13	25		0.04		0.08		25	
39	9. 26～10. 2	257	0.04	0.01	38		0.16	25			0.04			25	
40	10. 3～10. 9	260	0.04	0.01	38		0.05	25				0.04		25	
41	10. 10～10. 16	258	0.02	0.01	38		0.16	25	0.04					25	0.04
42	10. 17～10. 23	259	0.03	0.01	38		0.21	25	0.08	0.12				25	0.04
43	10. 24～10. 30	260	0.03	0.02	38		0.08	25						25	
44	10. 31～11. 6	259	0.02	0.01	38		0.11	25		0.04				25	
45	11. 7～11. 13	261	0.03	0.00	38		0.24	25		0.04		0.04		25	
46	11. 14～11. 20	260	0.03	0.00	38		0.11	25			0.04			25	
47	11. 21～11. 27	261	0.02	0.01	38		0.16	25						25	
48	11. 28～12. 4	260	0.02	0.01	38		0.21	25		0.04	0.04			25	0.04
49	12. 5～12. 11	259	0.02	0.00	38		0.26	25	0.04					25	
50	12. 12～12. 18	261	0.02	0.00	38	0.05	0.21	25				0.04		25	0.20
51	12. 19～12. 25	261	0.03	0.01	38		0.16	25						25	0.36
52	12. 26～ 1. 1	247	0.01	0.01	37		0.11	25		0.04	0.04			25	0.28
平 均			0.03	0.01		0.00	0.16		0.01	0.01	0.01	0.02	0.00		0.02

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表5-1(1) 保健所別患者報告数(インフルエンザ・小児科)

2022年第1週～第52週

	設置定点数(インフルエンザ)	インフルエンザ	設置定点数(小児科)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
千代田	4	36	3	65	4	11	286		60	1	25	15	1
中央区	5	33	3	41	3	4	970	3	158	1	29	38	8
みなと	9	69	6	231	20	38	808	11	412	1	77	174	13
新宿区	12	108	8	364	50	173	1,194	18	178	3	54	52	9
文京	7	41	4	73	15	13	930	14	275	5	90	49	12
台東	7	22	4	84	18	13	2,410	32	486	1	105	137	6
墨田区	8	67	5	137	19	21	757	3	245		67	54	2
江東区	14	75	9	141	35	72	3,011	42	537	8	120	202	7
品川区	12	49	8	208	20	47	1,391	17	314	6	97	149	9
目黒区	8	54	5	171	15	33	1,252	10	421	2	76	62	6
大田区	21	139	13	617	162	129	3,808	62	991	13	239	307	40
世田谷	25	277	16	567	71	101	3,048	59	790	10	139	184	28
渋谷区	7	47	4	83	13	10	760	18	176	2	27	51	1
中野区	10	162	6	157	16	80	2,352	28	693	6	131	72	18
杉並	17	77	11	170	82	78	2,573	15	503	5	121	57	5
池袋	8	78	5	206	31	19	543	6	142		18	164	
北区	11	129	7	68	21	68	1,444	38	653	3	146	55	8
荒川区	7	75	4	459	44	63	1,656	25	404	1	127	78	1
板橋区	16	76	10	138	22	17	1,914	21	511	17	81	57	14
練馬区	21	145	13	430	71	161	3,428	35	936	4	202	303	19
足立	20	91	13	454	129	63	3,013	40	566	6	184	125	23
葛飾区	13	100	8	27	2	35	1,131	21	308	5	75	54	3
江戸川	19	111	12	395	93	132	3,082	37	586	9	165	275	21
八王子市	18	458	11	410	64	60	4,942	128	1,250	9	247	447	38
町田市	13	82	8	50	3	123	1,921	26	471	11	78	173	22
西多摩	14	57	8	16	16	35	1,387	24	324	7	79	71	14
南多摩	14	156	9	325	32	43	1,381	28	579	1	120	79	31
多摩立川	21	142	14	337	22	90	2,947	48	779	6	175	171	25
多摩府中	33	175	21	509	71	127	4,172	103	1,555	8	407	361	56
多摩小平	23	187	15	617	255	235	5,185	78	1,566	23	386	404	46
島しょ	2		1	14	1		13		42		2	3	1
合計	419	3,318	264	7,564	1,420	2,094	63,709	990	16,911	174	3,889	4,423	487
定点当たり報告数		8.25		29.40	5.52	8.14	248.04	3.85	65.92	0.68	15.13	17.23	1.89
前年定点当たり報告数		0.11		62.94	6.19	15.58	176.04	4.99	9.82	1.03	20.53	10.03	2.53
当年/前年		75.0		0.47	0.89	0.52	1.41	0.77	6.71	0.66	0.74	1.72	0.75

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表5-1(2) 保健所別患者報告数(小児科・眼科・基幹)

2022年第1週～第52週

	小児科			眼科			基幹						
	設置定点数	不明発しん症	川崎病	設置定点数	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	設置定点数	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(オウム病を除く)クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルスによる)	インフルエンザ入院
千代田	3	10					2	1	4				1
中央区	3	2		1		23							
みなと	6	6	1				1			2	13		2
新宿区	8	2	14	2	1	4	2	3					2
文京	4	1		1		31	1						
台東	4	3											
墨田区	5	8	4	1			1						
江東区	9	2	4	1			1						
品川区	8	1		1		10							
目黒区	5	12		1									
大田区	13	42	7	2		6	1		1				
世田谷	16	30	2	2	2	69	2	7	5				9
渋谷区	4	1		1		7	1		1				2
中野区	6	2		1		7							
杉並	11	45	23	1			1		1				
池袋	5		1	1		36	1			6	2		
北区	7	3	1	1			1						
荒川区	4	4	3	1		13							
板橋区	10	25	5	2		6	1		1				
練馬区	13	33		2		15							
足立	13	2	2	2		14							
葛飾区	8	14		1		5	1						2
江戸川	12	4	3	2		6							
八王子市	11	7	2	2		12	1						2
町田市	8	11	2	1		5							
西多摩	8	6		1		3	1						
南多摩	9			1		3							
多摩立川	14	12	1	2		7	1						
多摩府中	21	67	15	3		11	3	5	5	3	3	1	4
多摩小平	15	5	3	2		18	2	1	2			1	2
島しょ	1						1						
合計	264	360	93	39	3	311	25	17	18	7	22	4	26
定点当たり報告数		1.40	0.36		0.08	8.21		0.68	0.72	0.28	0.88	0.16	1.04
前年定点当たり報告数		1.72	0.65		0.05	7.51		0.96	1.01	0.76	0.68	0.16	0.08
当年/前年		0.81	0.55		1.60	1.09		0.71	0.71	0.37	1.29	1.00	13.00

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表5-2(1) 保健所別定点当たり患者報告数(インフルエンザ・小児科)

2022年1週～第52週

	設置定点数(インフルエンザ)	インフルエンザ	設置定点数(小児科)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
千代田	4	9.00	3	21.67	1.33	3.67	95.33		20.00	0.33	8.33	5.00	0.33
中央区	5	6.60	3	13.67	1.00	1.33	326.00	1.00	53.00	0.33	9.83	12.83	2.67
みなと	9	7.67	6	38.50	3.33	6.33	135.10	1.83	68.67	0.17	12.90	29.00	2.20
新宿区	12	9.82	8	52.00	7.14	24.71	170.57	2.57	25.43	0.43	7.71	7.43	1.29
文京	7	5.93	4	18.25	3.75	3.25	232.50	3.50	68.75	1.25	22.50	12.25	3.00
台東	7	3.14	4	21.00	4.50	3.25	602.50	8.00	121.50	0.25	26.25	34.25	1.50
墨田区	8	8.38	5	27.40	3.80	4.20	151.40	0.60	49.00		13.40	10.80	0.40
江東区	14	5.36	9	15.67	3.89	8.00	334.56	4.67	59.67	0.89	13.33	22.44	0.78
品川区	12	4.27	8	26.71	2.66	5.95	178.40	2.16	40.13	0.79	12.56	19.18	1.18
目黒区	8	6.75	5	34.20	3.00	6.60	250.40	2.00	84.20	0.40	15.20	12.40	1.20
大田区	21	6.62	13	47.69	12.52	10.03	295.94	4.80	76.84	1.00	18.65	23.72	3.10
世田谷	25	12.85	16	36.71	4.47	6.48	193.27	3.73	51.11	0.63	8.85	11.97	1.76
渋谷区	7	6.71	4	21.25	3.33	2.58	194.00	4.50	45.33	0.50	6.92	13.00	0.25
中野区	10	16.20	6	26.37	2.67	13.40	395.63	4.70	116.53	1.00	22.03	12.10	3.00
杉並	17	4.61	11	15.77	7.59	7.24	240.71	1.40	46.96	0.45	11.35	5.28	0.47
池袋	8	9.84	5	41.20	6.20	3.80	109.55	1.20	28.40		3.60	32.85	
北区	11	12.19	7	10.19	3.02	9.83	206.83	5.55	94.98	0.43	20.95	8.10	1.14
荒川区	7	10.71	4	123.42	11.00	17.17	417.25	6.42	111.67	0.25	32.08	20.33	0.25
板橋区	16	4.75	10	13.80	2.20	1.70	191.13	2.10	51.10	1.70	8.10	5.70	1.39
練馬区	21	7.26	13	33.77	5.76	12.91	275.63	2.80	73.50	0.31	16.35	23.70	1.53
足立	20	5.01	13	34.99	10.01	4.87	234.45	3.08	43.76	0.47	14.25	9.63	1.78
葛飾区	13	8.00	8	3.38	0.25	4.38	141.96	2.64	39.83	0.63	9.46	6.83	0.38
江戸川	19	5.85	12	33.55	7.84	11.04	259.90	3.13	50.09	0.76	13.86	23.68	1.77
八王子市	18	25.88	11	37.27	5.82	5.45	449.27	11.64	113.64	0.82	22.45	40.64	3.45
町田市	13	6.31	8	6.25	0.38	15.38	240.13	3.25	58.88	1.38	9.75	21.63	2.75
西多摩	14	4.21	8	2.00	2.05	4.43	174.73	3.02	40.91	0.91	10.04	8.89	1.75
南多摩	14	11.40	9	36.11	3.57	4.81	153.89	3.11	64.33	0.11	13.33	8.78	3.44
多摩立川	21	7.09	14	24.14	1.58	6.45	212.63	3.45	56.12	0.43	12.56	12.30	1.80
多摩府中	33	5.89	21	27.31	3.83	6.85	224.46	5.57	84.66	0.42	21.91	19.44	2.98
多摩小平	23	8.89	15	44.45	18.55	17.33	382.36	5.68	113.36	1.67	28.69	29.31	3.41
島しょ	2		1	14.00	1.00		13.00		42.00		2.00	3.00	1.00
定点当たり報告数		8.25		29.40	5.52	8.14	248.04	3.85	65.92	0.68	15.13	17.23	1.89
前年定点当たり報告数		0.11		62.94	6.19	15.58	176.04	4.99	9.82	1.03	20.53	10.03	2.53
当年/前年		75.00		0.47	0.89	0.52	1.41	0.77	6.71	0.66	0.74	1.72	0.75

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表5-2(2) 保健所別定点当たり患者報告数(小児科・眼科・基幹)

2022年第1週～第52週

	小児科			眼科			基幹						
	設置定点数	不明発しん症	川崎病	設置定点数	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	設置定点数	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(オウム病を除く) クラミジア肺炎	(ロタウイルスによる) 感染性胃腸炎	インフルエンザ入院
千代田	3	3.33					2	0.50	2.00				0.50
中央区	3	0.67		1		23.00							
みなと	6	1.00	0.17				1		2.00	13.00			2.00
新宿区	8	0.29	2.00	2	1.00	4.00	2	1.50					1.00
文京	4	0.25		1		31.00	1						
台東	4	0.75											
墨田区	5	1.60	0.80	1			1						
江東区	9	0.22	0.44	1									
品川区	8	0.13		1		10.00							
目黒区	5	2.40		1									
大田区	13	3.28	0.54	2		3.00	1		1.00				
世田谷	16	1.90	0.13	2	1.00	37.00	2	3.50	2.50				4.50
渋谷区	4	0.25		1		7.00	1		1.00				2.00
中野区	6	0.33		1		7.00							
杉並	11	4.19	2.13	1			2		0.50				
池袋	5		0.20	1		36.00	1			6.00	2.00		
北区	7	0.43	0.14	1									
荒川区	4	1.00	0.75	1		13.00							
板橋区	10	2.50	0.50	2		3.00	1		1.00				
練馬区	13	2.59		2		7.50							
足立	13	0.15	0.15	2		7.00							
葛飾区	8	1.75		1		5.00	1						2.00
江戸川	12	0.34	0.25	2		3.00							
八王子市	11	0.64	0.18	2		6.00	1						2.00
町田市	8	1.38	0.25	1		5.00							
西多摩	8	0.77		1		3.00	1						
南多摩	9			1		3.00							
多摩立川	14	0.86	0.07	2		3.50	1						
多摩府中	21	3.63	0.81	3		3.67	3	1.67	1.67	1.00	1.00	0.33	1.33
多摩小平	15	0.36	0.21	2		9.00	2	0.50	1.00			0.50	1.00
島しょ	1						1						
定点当たり報告数		1.40	0.36		0.08	8.21		0.68	0.72	0.28	0.88	0.16	1.04
前年定点当たり報告数		1.72	0.65		0.05	7.51		0.96	1.01	0.76	0.68	0.16	0.08
当年/前年		0.81	0.55		1.60	1.09		0.71	0.71	0.37	1.29	1.00	13.00

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表6 年齢階級別患者報告数(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹)

2022年第1週～第52週

	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
6か月未満	4	518	8	5	495	13	163	1	41	20	1
12か月未満	25	953	95	22	4,090	40	1,562	12	909	305	4
1歳	64	2,450	474	118	10,642	114	6,307	44	2,025	1,275	19
2歳	90	1,722	315	182	9,701	67	4,674	25	575	1,232	29
3歳	116	1,058	197	199	7,709	59	2,373	22	187	743	47
4歳	186	482	137	251	6,002	71	783	13	84	348	54
5歳	250	209	66	258	4,939	95	417	10	41	194	77
6歳	218	85	40	194	3,455	83	180	14	13	97	61
7歳	172	22	14	148	2,433	91	88	6	9	51	51
8歳	146	13	11	111	2,069	80	48	7	2	31	42
9歳	121	9	9	105	1,541	88	39	6	1	23	37
10～14歳	470	15	16	266	4,134	150	66	11	2	41	51
15～19歳	341	6	2	51	1,031	20	7	2		9	6
20～29歳	568	22	36	184	5,468	19	204	1		54	8
30～39歳	241										
40～49歳	161										
50～59歳	82										
60～69歳	32										
70～79歳	17										
80歳以上	14										
合計	3,318	7,564	1,420	2,094	63,709	990	16,911	174	3,889	4,423	487

	不明発しん症	川崎病	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
6か月未満	7	1		4	5	2			1	1
12か月未満	43	17		1		1				
1歳	100	34		1	2					2
2歳	66	14		6	1	1			1	1
3歳	46	6		2	2	1				
4歳	17	8		2			1			2
5歳	17	4			2					1
6歳	14	3		3		1			1	2
7歳	9	2				1	1			2
8歳	3	2		1						
9歳	6	1		4						2
10～14歳	12	1		4					1	
15～19歳	6			11	1					2
20～29歳	14			66		1	1	4		4
30～39歳			3	80		3		5		
40～49歳				56						
50～59歳				32			1	2		
60～69歳				22		1	1	6		
70～79歳				16	4	2	2	2		
80歳以上						4		3		7
合計	360	93	3	311	17	18	7	22	4	26

※ 小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読みかえる。

※ 眼科定点把握対象疾患の「70～79歳」は「70歳以上」と読みかえる。

表7-1 二次医療圏別患者報告数(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹)

2022年第1週～第52週

	設置定点数 (インフルエンザ)	インフルエンザ	設置定点数 (小児科)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
1 区中央部圏	32	201	20	494	60	79	5,404	60	1,391	9	326	413	40
2 区南部圏	33	188	21	825	182	176	5,199	79	1,305	19	336	456	49
3 区西南部圏	40	378	25	821	99	144	5,060	87	1,387	14	242	297	35
4 区西部圏	39	347	25	691	148	331	6,119	61	1,374	14	306	181	32
5 区西北部圏	56	428	35	842	145	265	7,329	100	2,242	24	447	579	41
6 区東北部圏	40	266	25	940	175	161	5,800	86	1,278	12	386	257	27
7 区東部圏	41	253	26	673	147	225	6,850	82	1,368	17	352	531	30
8 西多摩圏	14	57	8	16	16	35	1,387	24	324	7	79	71	14
9 南多摩圏	45	696	28	785	99	226	8,244	182	2,300	21	445	699	91
10 北多摩西部圏	21	142	14	337	22	90	2,947	48	779	6	175	171	25
11 北多摩南部圏	33	175	21	509	71	127	4,172	103	1,555	8	407	361	56
12 北多摩北部圏	23	187	15	617	255	235	5,185	78	1,566	23	386	404	46
13 島しょ圏	2		1	14	1		13		42		2	3	1
合計	419	3,318	264	7,564	1,420	2,094	63,709	990	16,911	174	3,889	4,423	487

	設置定点数 (小児科)	不明発しん症	川崎病	設置定点数 (眼科)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	設置定点数 (基幹)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(オウム病を除く) クラミジア肺炎	(ロタウイルスによる) 感染性胃腸炎	インフルエンザ入院
1 区中央部圏	20	22	1	2		54	4	1	4	2	13		3
2 区南部圏	21	43	7	3		16	1			1			
3 区西南部圏	25	43	2	4	2	76	3	7	6				11
4 区西部圏	25	49	37	4	1	11	4	3		1			2
5 区西北部圏	35	61	7	6		57	2		1		6	2	
6 区東北部圏	25	20	5	4		32	1						2
7 区東部圏	26	14	11	4		6	1						
8 西多摩圏	8	6		1		3	1						
9 南多摩圏	28	18	4	4		20	1						2
10 北多摩西部圏	14	12	1	2		7	1						
11 北多摩南部圏	21	67	15	3		11	3	5	5	3	3	1	4
12 北多摩北部圏	15	5	3	2		18	2	1	2			1	2
13 島しょ圏	1						1						
合計	264	360	93	39	3	311	25	17	18	7	22	4	26

表7-2 二次医療圏別定点当たり患者報告数(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹)

2022年第1週～第52週

	設置 定点数 (イン フル エン ザ)	イン フル エン ザ	設置 定点数 (小児科)	R S ウ イ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌	咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘ ル パ ン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎
1 区中央部圏	32	6.30	20	24.74	3.00	3.96	270.72	3.00	69.66	0.45	16.36	20.72	2.00	
2 区南部圏	33	5.77	21	39.90	8.84	8.49	251.39	3.80	63.16	0.92	16.32	22.09	2.36	
3 区西南部圏	40	10.24	25	33.68	4.01	5.85	204.56	3.51	57.05	0.56	9.79	12.18	1.41	
4 区西部圏	39	9.25	25	29.07	6.23	14.00	258.78	2.56	58.08	0.59	12.89	7.65	1.35	
5 区西北部圏	56	7.89	35	24.32	4.22	7.68	213.17	2.91	64.85	0.70	13.01	16.74	1.19	
6 区東北部圏	40	7.13	25	37.98	7.03	6.50	234.44	3.47	52.05	0.49	15.53	10.39	1.09	
7 区東部圏	41	6.18	26	26.10	5.68	8.67	264.90	3.16	53.09	0.66	13.58	20.64	1.16	
8 西多摩圏	14	4.21	8	2.00	2.05	4.43	174.73	3.02	40.91	0.91	10.04	8.89	1.75	
9 南多摩圏	45	15.67	28	28.04	3.54	8.08	294.69	6.51	82.14	0.75	15.89	24.96	3.25	
10 北多摩西部圏	21	7.09	14	24.14	1.58	6.45	212.63	3.45	56.12	0.43	12.56	12.30	1.80	
11 北多摩南部圏	33	5.89	21	27.31	3.83	6.85	224.46	5.57	84.66	0.42	21.91	19.44	2.98	
12 北多摩北部圏	23	8.89	15	44.45	18.55	17.33	382.36	5.68	113.36	1.67	28.69	29.31	3.41	
13 島しょ圏	2		1	14.00	1.00		13.00		42.00		2.00	3.00	1.00	

	設置 定点数 (小児科)	不 明 発 し ん 症	川 崎 病	設置 定点数 (眼科)	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	設置 定点数 (基幹)	細 菌 性 髄 膜 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	マ イ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	ク ラ ミ ジ ア 肺 炎 (オ ウ ム 病 を 除 く)	感 染 性 胃 腸 炎 (ロ タ ウ イ ル ス に よ る)	イン フル エン ザ 入 院
1 区中央部圏	20	1.10	0.05	2		27.00	4	0.25	1.00	0.50	3.25		0.75
2 区南部圏	21	2.07	0.34	3		5.33	1			1.00			
3 区西南部圏	25	1.74	0.08	4	0.50	19.67	3	2.33	2.00				3.67
4 区西部圏	25	2.07	1.56	4	0.33	3.67	4	0.75		0.25			0.50
5 区西北部圏	35	1.77	0.20	6		9.50	2		0.50		3.00	1.00	
6 区東北部圏	25	0.80	0.20	4		8.00	1						2.00
7 区東部圏	26	0.54	0.42	4		1.50	1						
8 西多摩圏	8	0.77		1		3.00	1						
9 南多摩圏	28	0.64	0.14	4		5.00	1						2.00
10 北多摩西部圏	14	0.86	0.07	2		3.50	1						
11 北多摩南部圏	21	3.63	0.81	3		3.67	3	1.67	1.67	1.00	1.00	0.33	1.33
12 北多摩北部圏	15	0.36	0.21	2		9.00	2	0.50	1.00			0.50	1.00
13 島しょ圏	1						1						

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表8-1 月別患者報告数(基幹)

2022年1月~12月

	報告定点数	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症
1月	25	54	3	
2月	25	60	1	
3月	25	57	2	
4月	25	61	2	
5月	25	53	4	1
6月	25	62	2	1
7月	25	59	5	3
8月	25	83	6	
9月	25	60	2	2
10月	25	64	6	
11月	25	51	4	
12月	25	67	3	1
合計		731	40	8

表8-2 月別定点当たり患者報告数(基幹)

2022年1月~12月

	報告定点数	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症
1月	25	2.16	0.12	
2月	25	2.40	0.04	
3月	25	2.28	0.08	
4月	25	2.44	0.08	
5月	25	2.12	0.16	0.04
6月	25	2.48	0.08	0.04
7月	25	2.36	0.20	0.12
8月	25	3.32	0.24	
9月	25	2.40	0.08	0.08
10月	25	2.56	0.24	
11月	25	2.04	0.16	
12月	25	2.68	0.12	0.04
平均		2.44	0.13	0.03
合計		29.24	1.60	0.32
前年合計		32.56	1.68	0.20
当年/前年		0.9	1.0	1.6

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表8-3 月別・性別患者報告数(基幹) 2022年1月~12月

	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	男	女	男	女	男	女
1月	34	20	1	2		
2月	28	32	1			
3月	40	17	2			
4月	36	25	2			
5月	33	20	2	2		1
6月	33	29	1	1	1	
7月	40	19	2	3	3	
8月	55	28	2	4		
9月	37	23	1	1		2
10月	40	24	2	4		
11月	37	14	3	1		
12月	45	22	2	1		1
合計	458	273	21	19	4	4

表8-4 性別・年齢階級別患者報告数(基幹) 2022年1月~12月

	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	男	女	男	女	男	女
0歳	28	28		1		
1~4歳	15	8	5	4		
5~9歳	6	8	3	3		
10~14歳	3	2		2		1
15~19歳	3		1			1
20~24歳	2	3				
25~29歳	5	3			1	
30~34歳	2	4				
35~39歳	8	6				
40~44歳	5	6	2			
45~49歳	13	2		1		
50~54歳	21	8	1			1
55~59歳	26	8			1	
60~64歳	31	14				
65~69歳	21	6	1	1		
70歳以上	269	167	8	7	2	1
合計	458	273	21	19	4	4
定点当たり報告数	18.32	10.92	0.84	0.76	0.16	0.16
前年定点当たり報告数	19.16	13.40	1.08	0.60	0.12	0.08
当年/前年	1.0	0.8	0.8	1.3	1.3	2.0

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表9-1 月別患者報告数(性感染症)

2022年1月~12月

	報告 定点 数	性 器 ク ラ ミ ジ ア 感 染 症	性 感 染 症 ヘ ル ペ ス ウ イ ル ス	尖 圭 コ ン ジ ロ ー マ	淋 菌 感 染 症	膣 ト リ コ モ ナ ス 症
1月	55	187	46	66	75	11
2月	55	152	54	54	61	9
3月	55	175	54	66	76	7
4月	55	178	63	81	66	11
5月	54	167	56	86	81	12
6月	54	188	62	138	88	15
7月	54	176	44	81	101	3
8月	54	160	55	115	79	7
9月	53	189	48	99	86	5
10月	54	249	70	120	112	11
11月	53	230	69	131	120	6
12月	54	210	58	120	96	6
合計		2,261	679	1,157	1,041	103

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表9-2 月別定点当たり患者報告数(性感染症)

2022年1月~12月

	報告 定点 数	性 器 ク ラ ミ ジ ア 感 染 症	性 感 染 症 ヘ ル ペ ス ウ イ ル ス	尖 圭 コ ン ジ ロ ー マ	淋 菌 感 染 症	膣 ト リ コ モ ナ ス 症
1月	55	3.40	0.84	1.20	1.36	0.20
2月	55	2.76	0.98	0.98	1.11	0.16
3月	55	3.18	0.98	1.20	1.38	0.13
4月	55	3.24	1.15	1.47	1.20	0.20
5月	54	3.09	1.04	1.59	1.50	0.22
6月	54	3.48	1.15	2.56	1.63	0.28
7月	54	3.26	0.81	1.50	1.87	0.06
8月	54	2.96	1.02	2.13	1.46	0.13
9月	53	3.57	0.91	1.87	1.62	0.09
10月	54	4.61	1.30	2.22	2.07	0.20
11月	53	4.34	1.30	2.47	2.26	0.11
12月	54	3.89	1.07	2.22	1.78	0.11
平均		3.48	1.05	1.78	1.60	0.16
合計		41.78	12.54	21.42	19.26	1.90
前年合計		40.69	13.14	19.31	18.62	1.74
当年/前年		1.03	0.95	1.11	1.03	1.09

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表9-3 月別・性別患者報告数(性感染症) 2022年1月~12月

	報告 定点 数	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1月	55	105	82	21	25	41	25	54	21		11
2月	55	77	75	27	27	33	21	45	16		9
3月	55	107	68	29	25	41	25	63	13		7
4月	55	104	74	34	29	50	31	51	15		11
5月	54	104	63	26	30	56	30	62	19		12
6月	54	100	88	38	24	94	44	66	22	1	14
7月	54	116	60	29	15	50	31	75	26		3
8月	54	95	65	37	18	73	42	63	16		7
9月	53	113	76	24	24	49	50	55	31		5
10月	54	151	98	41	29	78	42	73	39		11
11月	53	129	101	37	32	89	42	70	50		6
12月	54	129	81	31	27	89	31	68	28		6
合計		1,330	931	374	305	743	414	745	296	1	102

表9-4 月別・性別定点当たり患者報告数(性感染症) 2022年1月~12月

	報告 定点 数	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1月	55	1.91	1.49	0.38	0.45	0.75	0.45	0.98	0.38		0.20
2月	55	1.40	1.36	0.49	0.49	0.60	0.38	0.82	0.29		0.16
3月	55	1.95	1.24	0.53	0.45	0.75	0.45	1.15	0.24		0.13
4月	55	1.89	1.35	0.62	0.53	0.91	0.56	0.93	0.27		0.20
5月	54	1.93	1.17	0.48	0.56	1.04	0.56	1.15	0.35		0.22
6月	54	1.85	1.63	0.70	0.44	1.74	0.81	1.22	0.41	0.02	0.26
7月	54	2.15	1.11	0.54	0.28	0.93	0.57	1.39	0.48		0.06
8月	54	1.76	1.20	0.69	0.33	1.35	0.78	1.17	0.30		0.13
9月	53	2.13	1.43	0.45	0.45	0.92	0.94	1.04	0.58		0.09
10月	54	2.80	1.81	0.76	0.54	1.44	0.78	1.35	0.72		0.20
11月	53	2.43	1.91	0.70	0.60	1.68	0.79	1.32	0.94		0.11
12月	54	2.39	1.50	0.57	0.50	1.65	0.57	1.26	0.52		0.11

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表9-5 保健所別、二次医療圏別患者報告数(性感染症)

2022年1月～12月

	設置 定 点 数	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
千代田	2	35	10	10	6	12	1	20	3		1
中央区	3	44	14	35	11	12	8	11		1	
みなと	2	84	58	54	7	78	9	43	11		6
新宿区	7	218	114	114	80	458	296	147	40		4
文京	1	43		7		15		7			
台東	2	3	93	1	18	12	40	15	157		37
墨田区	2	52	2	8		11	1	21	2		
江東区	2	131	4	43		13	1	70	1		
品川区	1	114	60	6	3	37	3	58	16		1
大田区	2	7	14	1	2			4	3		1
渋谷区	5	228	103	31	64	46	10	85	2		5
中野区	2	103	6	1	3	4		65	1		3
杉並	2	40	9	2	1	10	7	13	1		
池袋	3	149	38	44	36	22	6	140	9		9
北区	1	9				7		4			
荒川区	1		26		12		2		4		2
板橋区	2	8	33	1		4		8	5		
足立	2	2	35		3		5	4			5
江戸川	2	54	104	16	7	2	12	30	10		7
八王子市	4		76		30		5		10		9
町田市	1		17		15		1		3		2
多摩立川	2	1	101		6		7		15		8
多摩府中	3	5	12		1				3		2
多摩小平	1		2								
合 計	55	1,330	931	374	305	743	414	745	296	1	102
定点当たり報告数		24.58	17.20	6.91	5.63	13.75	7.66	13.77	5.49	0.02	1.88
前年定点当たり報告数		24.50	16.20	7.32	5.82	11.95	7.36	13.87	4.75	0.02	1.72
当年/前年		1.00	1.06	0.94	0.97	1.15	1.04	0.99	1.16	1.00	1.09

区中央部圏	10	209	175	107	42	129	58	96	171	1	44
区南部圏	3	121	74	7	5	37	3	62	19		2
区西南部圏	5	228	103	31	64	46	10	85	2		5
区西部圏	11	361	129	117	84	472	303	225	42		7
区西北部圏	6	166	71	45	36	33	6	152	14		9
区東北部圏	3	2	61		15		7	4	4		7
区東部圏	6	237	110	67	7	26	14	121	13		7
南多摩圏	5		93		45		6		13		11
北多摩西部圏	2	1	101		6		7		15		8
北多摩南部圏	3	5	12		1				3		2
北多摩北部圏	1		2								

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表9-6 保健所別、二次医療圏別定点当たり患者報告数(性感染症)

2022年1月~12月

	設置 定点数	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
千代田	2	17.50	5.00	5.00	3.00	6.00	0.50	10.00	1.50		0.50
中央区	3	14.67	4.67	11.67	3.67	4.00	2.67	3.67		0.33	
みなと	2	42.00	29.00	27.00	3.50	39.00	4.50	21.50	5.50		3.00
新宿区	7	34.52	18.33	18.12	12.64	73.83	47.64	23.36	6.43		0.62
文京	1	43.00		7.00		15.00		7.00			
台東	2	1.50	46.50	0.50	9.00	6.00	20.00	7.50	78.50		18.50
墨田区	2	26.00	1.00	4.00		5.50	0.50	10.50	1.00		
江東区	2	65.50	2.00	21.50		6.50	0.50	35.00	0.50		
品川区	1	114.00	60.00	6.00	3.00	37.00	3.00	58.00	16.00		1.00
大田区	2	3.50	7.00	0.50	1.00			2.00	1.50		0.50
渋谷区	5	45.60	20.60	6.20	12.80	9.20	2.00	17.00	0.40		1.00
中野区	2	51.50	3.00	0.50	1.50	2.00		32.50	0.50		1.50
杉並	2	21.00	5.00	1.00	0.50	5.50	3.50	8.00	0.50		
池袋	3	49.67	12.67	14.67	12.00	7.33	2.00	46.67	3.00		3.00
北区	1	9.00				7.00		4.00			
荒川区	1		26.00		12.00		2.00		4.00		2.00
板橋区	2	4.00	16.50	0.50		2.00		4.00	2.50		
足立	2	1.00	17.50		1.50		2.50	2.00			2.50
江戸川	2	27.00	52.00	8.00	3.50	1.00	6.00	15.00	5.00		3.5
八王子市	4		19.00		7.50		1.25		2.50		2.25
町田市	1		17.00		15.00		1.00		3.00		2.00
多摩立川	2	0.50	50.50		3.00		3.50		7.50		4.00
多摩府中	3	1.67	4.00		0.33				1.00		0.67
多摩小平	1		2.00								
合計	55	1,330	931	374	305	743	414	745	296	1	102
定点当たり報告数		24.58	17.20	6.91	5.63	13.75	7.66	13.77	5.49	0.02	1.88

区中央部圏	10	20.90	17.50	10.70	4.20	12.90	5.80	9.60	17.10	0.10	4.40
区南部圏	3	40.33	25.00	2.33	1.67	12.33	1.00	20.67	6.33		0.67
区西南部圏	5	45.60	20.60	6.20	12.80	9.20	2.00	17.00	0.40		1.00
区西部圏	11	35.40	12.69	11.48	8.26	46.87	29.97	22.20	4.18		0.67
区西北部圏	6	27.67	11.83	7.50	6.00	5.50	1.00	25.33	2.33		1.50
区東北部圏	3	0.67	20.33		5.00		2.33	1.33	1.33		2.33
区東部圏	6	39.50	18.33	11.17	1.17	4.33	2.33	20.17	2.17		1.17
南多摩圏	5		18.60		9.00		1.20		2.60		2.20
北多摩西部圏	2	0.50	50.50		3.00		3.50		7.50		4.00
北多摩南部圏	3	1.67	4.00		0.33				1.00		0.67
北多摩北部	1		2.00								

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表9-7 年齢階級別患者報告数(性感染症) 2022年1月~12月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
0歳										
1~4歳										
5~9歳										
10~14歳		6						2		
15~19歳	22	88	2	12	7	19	20	21		4
20~24歳	238	285	30	57	95	154	129	75		25
25~29歳	275	236	62	52	169	114	154	54		17
30~34歳	236	122	48	53	108	50	114	34		15
35~39歳	183	76	50	33	95	37	106	22		7
40~44歳	169	50	50	27	89	18	98	22		10
45~49歳	87	27	54	23	69	10	58	31		11
50~54歳	57	20	31	18	44	4	36	17	1	7
55~59歳	30	15	16	11	26	7	19	11		1
60~64歳	16	5	19	9	26	1	7	5		
65~69歳	8	1	5	2	7			2		2
70歳以上	9		7	8	8		4			3
合計	1,330	931	374	305	743	414	745	296	1	102

表10 検査結果別報告数(基幹) 2022年1週~52週

	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	合計
<i>Enterococcus faecalis</i>	1					1
<i>Staphylococcus aureus</i>	2					2
<i>Streptococcus agalactiae</i>	2					2
<i>Streptococcus pneumoniae</i>	1					1
other bacteria	5					5
<i>Cytomegalovirus</i>		1				1
<i>Herpes simplex virus 2</i>		2				2
<i>Human herpesvirus 7</i>		1				1
<i>Varicella-zoster virus</i>		3				3
<i>Mycoplasma pneumoniae</i>			6			6
<i>Chlamyphila pneumoniae</i>				14		14
<i>Chlamydia trachomatis</i>				8		8
Rotavirus group unknown					2	2
記載無し	6	11	1		2	20
合計	17	18	7	22	4	68

表 11 入院サーベイランス 入院時の状況 2022 年 1 週～52 週

	ICU入室	人工呼吸器 の利用	頭部CT 検査	頭部MRI 検査	脳波検査	いずれにも 該当せず
6 か月未満			1			
12 か月未満						
1歳			1			1
2歳			1			
3歳						
4歳						2
5歳					1	
6歳	1	1				1
7歳						2
8歳						
9歳						2
10～14歳						
15～19歳						2
20～29歳	1					3
30～39歳						
40～49歳						
50～59歳						
60～69歳						
70～79歳						
80歳以上		2				5
合 計	2	3	3	0	1	18

第 2 章

東京都感染症発生動向調査事業における病原体情報

1 ウイルス検査結果

(1) 小児科・内科・基幹病原体定点医療機関からの搬入検体

ア インフルエンザ

① 2021/2022年シーズンのインフルエンザウイルス検出状況

インフルエンザウイルスの流行シーズンは、毎年9月（第36週）を境にシーズン分けがされている。2022年は第1週～第35週が2021/2022年シーズン、2022年第36週～第52週は2022/2023年シーズンとなる。2021/2022年シーズン（2021年第36週～2022年第35週）は、インフルエンザ病原体定点医療機関より35検体が搬入された。前回のインフルエンザ流行シーズンである2019/2020年シーズンの同期間（519件）に比べ、著しく検体数が減少していた。遺伝子検査及びウイルス分離検査では、インフルエンザウイルスは検出されなかった。

② 2022/2023年シーズンのインフルエンザウイルス検出状況

2022/2023年シーズン（2022年第36週～2023年第8週）は、インフルエンザ病原体定点医療機関より96検体が搬入された。遺伝子検査ではAH1pdm09 2件（2.5%）、AH3亜型 77件（96.3%）、B型 1件（Victoria系統 1件：1.3%、Yamagata系統 0件：0%）の計80件が検出され、流行の9割以上をAH3亜型が占めていた（図1、図2）。2022/2023年シーズンは約3年ぶりにインフルエンザが流行し、都内では第50週から流行期に入った。第50週から検出数の増加が見られたが、ピーク時の検出数は11件で2019/2020年シーズンのピーク時の検出数（40件）よりも少なかった。ウイルス分離検査では、AH1pdm09 2株、AH3亜型 39株、B型 1株（Victoria系統 1株、Yamagata系統 0株）の計42株が分離された。

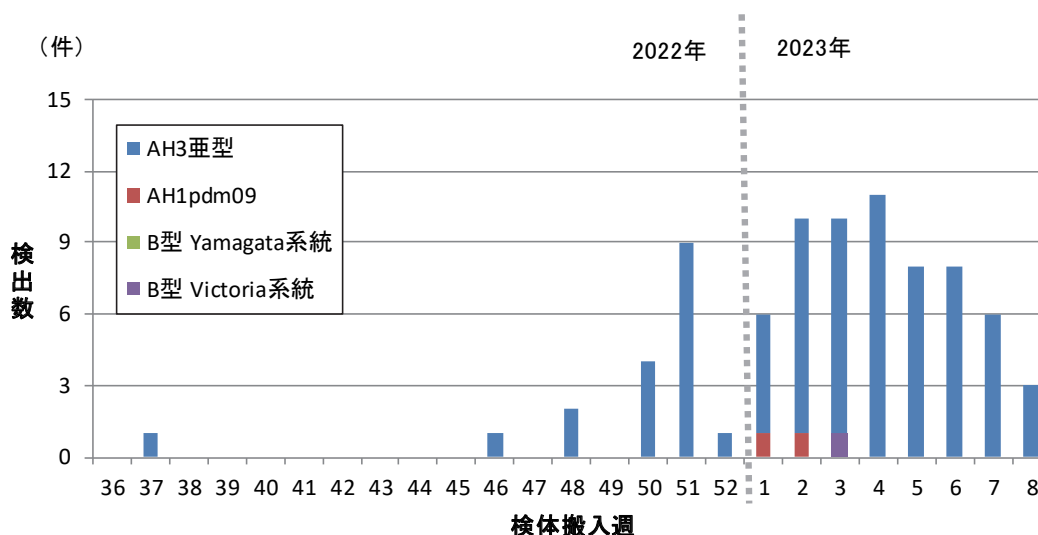


図1. 2022/2023年シーズンのインフルエンザウイルス遺伝子検出数（2023年2月末現在）

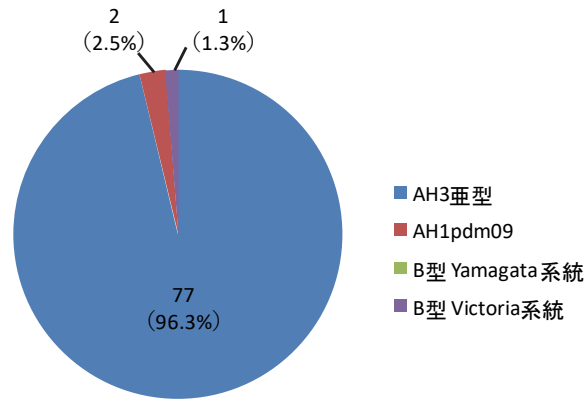


図 2. 2022/2023 年シーズンのインフルエンザウイルス遺伝子検出状況 (2023 年 2 月末現在)

③ インフルエンザウイルスの抗原解析

遺伝子解析及びワクチン株抗血清を用いた HI 試験により、インフルエンザウイルスの抗原性状を比較した。遺伝子解析は、RT-nested-PCR 検査によって得られた HA (ヘマグルチニン) 遺伝子の一部断片を用いてダイレクトシーケンスにより塩基配列を決定し、ワクチン株と分子系統樹上で比較した。分離株の性状解析は、国立感染症研究所配布のインフルエンザサーベイランスキット抗血清を用いた HI 試験 (1.0%モルモット赤血球浮遊液を使用) により行った。

AH1pdm09 は、2022/2023 年シーズンの検出株とワクチン株 (A/Victoria/1/2020) を比較したところ、解析範囲 (567 塩基) の遺伝子変異は 10 塩基 (塩基一致率: 98.2%) であった。これらの株は系統樹上ではワクチン株と同じクレードに属し、HI 試験による抗原性状ではワクチン株と同等の反応性がみられ、抗原性に大きな変異はないと推察された (図 3)。

AH3 亜型は、2022/2023 年シーズンの流行株とワクチン株 (A/Darwin/9/2021) を比較すると、解析範囲 (329 塩基) の遺伝子変異は 5~9 塩基 (塩基一致率: 97.3%~98.5%) であった。系統樹上では、流行株の多くはワクチン株と同じクレードに属していた (図 4)。HA 価が 8 倍以上あり HI 試験が実施できた 28 株は、ワクチン株と同等の反応性が見られた。

B 型 Victoria 系統では、2022/2023 年シーズンの検出株とワクチン株 (B/Austria/1359417/2021) では、解析範囲 (243 塩基) での遺伝子変異は 4 塩基 (塩基一致率: 98.4%) であった。系統樹上ではワクチン株と同じクレードに属し、HI 試験による抗原性状ではワクチン株と同等の反応性がみられた (図 5)。

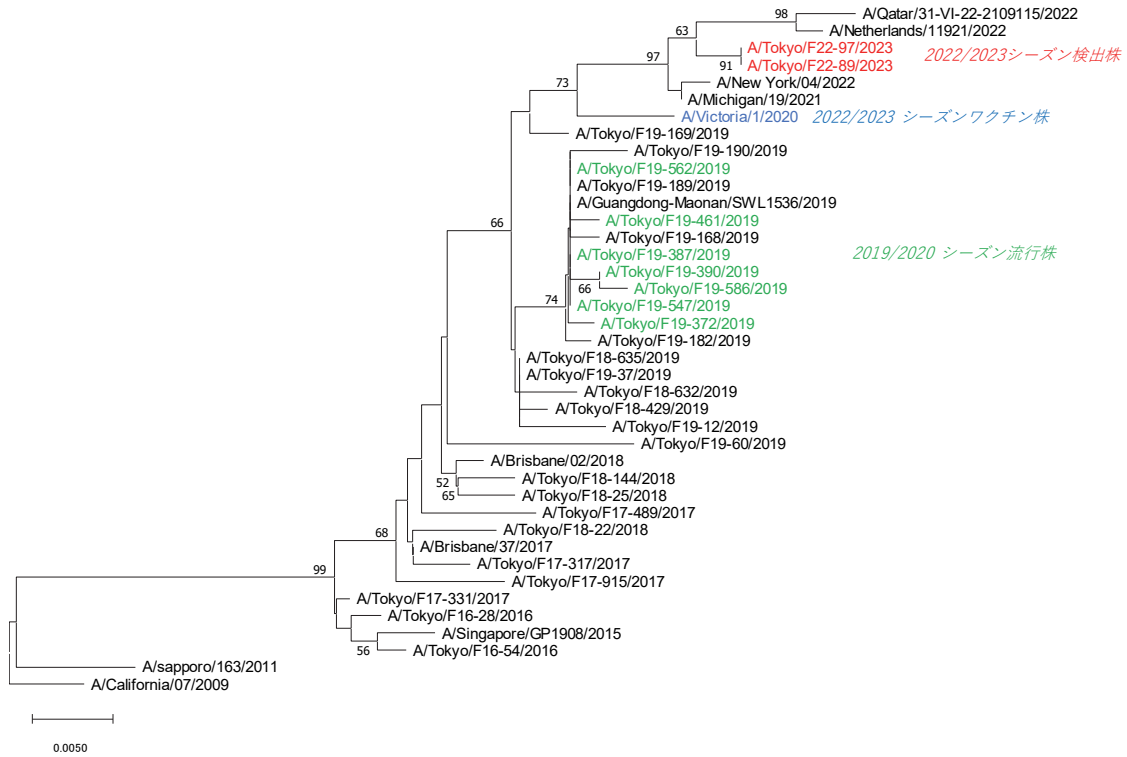


図 3. 東京都における AH1pdm09 インフルエンザウイルスの HA 分子系統樹

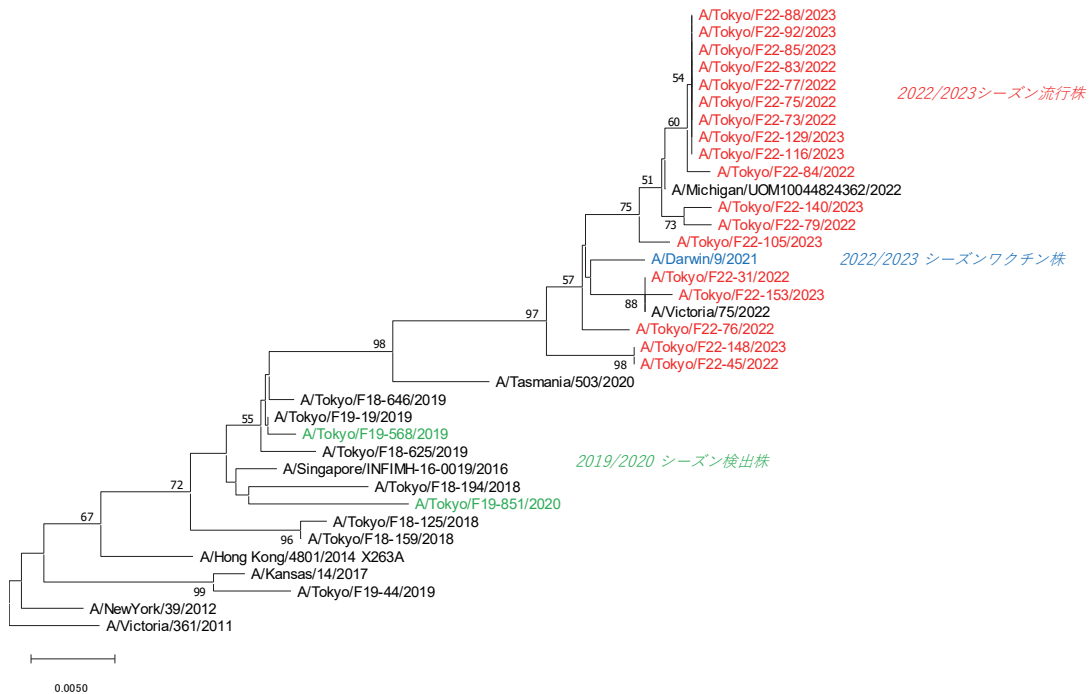


図 4. 東京都における AH3 亜型インフルエンザウイルスの HA 分子系統樹

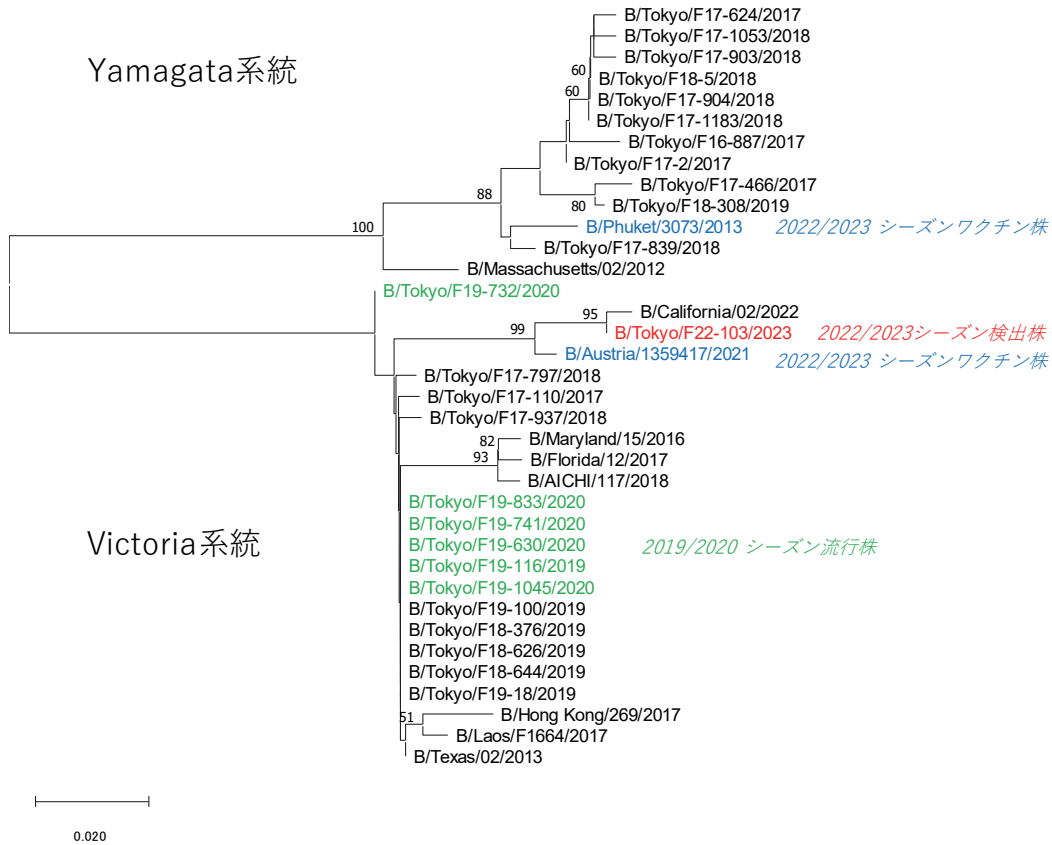


図 5. 東京都における B 型インフルエンザウイルスの HA 分子系統樹

④ その他のウイルスの検出状況

インフルエンザウイルスの検査と同時にエンテロウイルス、アデノウイルス等の遺伝子検査を行った。2021/2022 年シーズンは 35 検体が搬入され、エンテロウイルス 5 件、ライノウイルス 6 件が検出された (図 6a)。2022/2023 年シーズンでは 96 検体が搬入され、ライノウイルス 8 件が検出された (図 6b)。

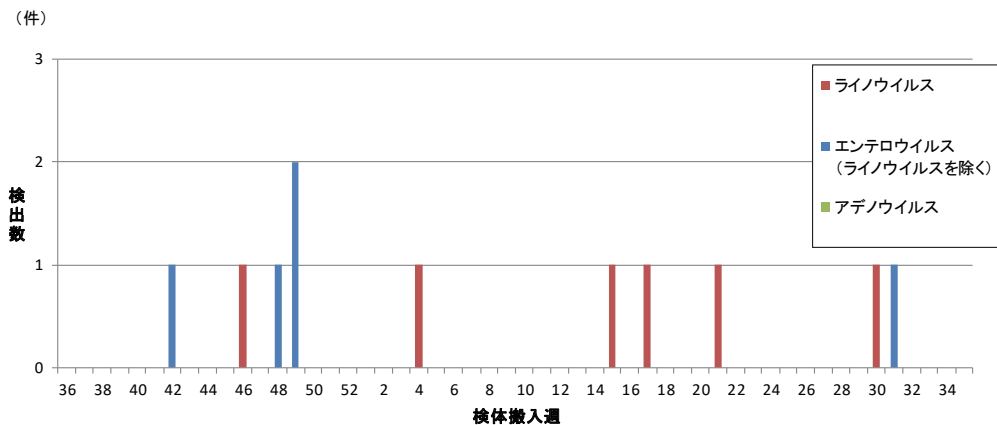


図 6a. 2021/2022 年シーズンのエンテロウイルス、アデノウイルス遺伝子検出数

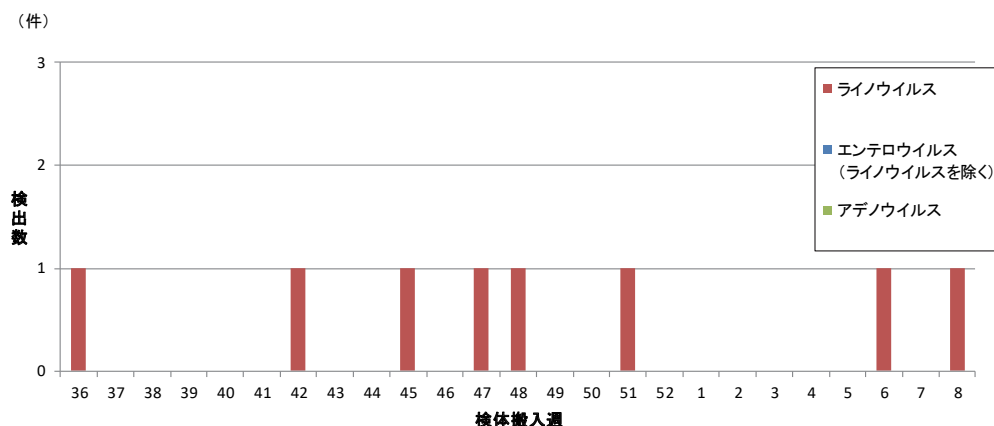


図 6b. 2022/2023 年シーズンのエンテロウイルス、アデノウイルス遺伝子検出数
(2023 年 2 月末現在)

イ RS ウイルス感染症

小児科定点医療機関で RS ウイルス感染症と診断され、当センターに搬入された患者検体 39 件について RS ウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。39 件中 38 件から RS ウイルス遺伝子 (A 型 35 件、B 型 3 件) が出された。また、アデノウイルス 2 型が 1 件、パレコウイルス A1 型が 1 件検出された。分離試験では、RS ウイルス A 型 10 株、B 型 3 株、アデノウイルス 2 型が 1 株、パレコウイルス A1 型が 1 株分離された (表 1、図 7)。RS ウイルス感染症は、2021 年は RS ウイルス B 型を主流とする大きな流行がみられたが、2022 年は RS ウイルス A 型が多く検出され、検出時期は 7 月から 10 月にかけてピークが見られた。

表 1. RS ウイルス感染症患者検体から検出されたウイルスの内訳 (重複検出を含む)

	遺伝子検出数	分離件数
RSウイルスA型	35	10
RSウイルスB型	3	3
アデノウイルス2型	1	1
パレコウイルスA1型	1	1
陰性	1	24

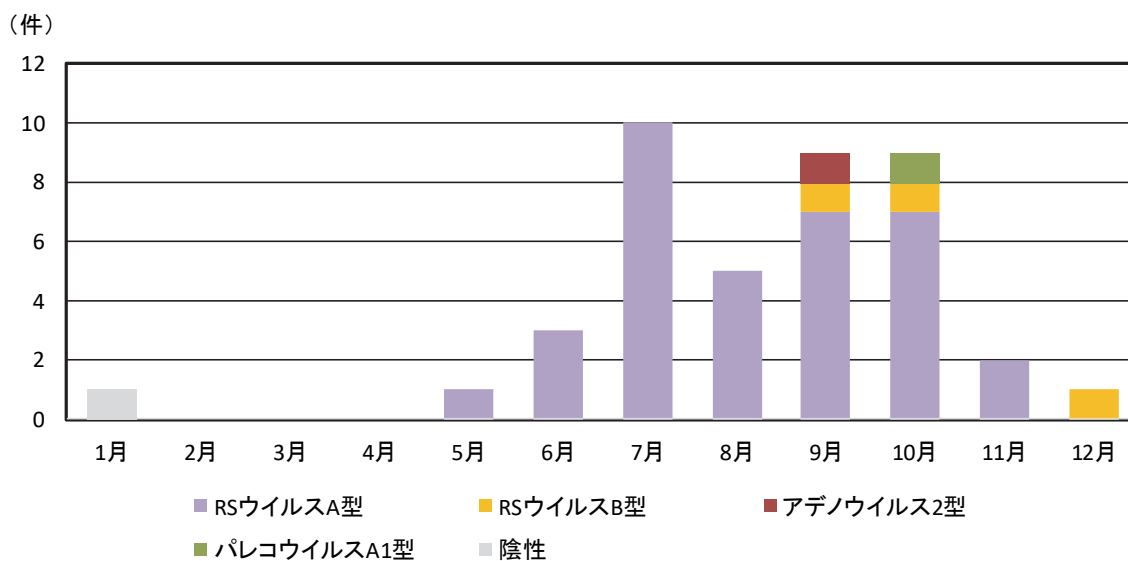


図 7. RS ウイルス感染症患者検体からのウイルス検出状況

ウ 咽頭結膜熱

小児科定点医療機関で咽頭結膜熱と診断され、当センターに搬入された患者検体 21 件についてアデノウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。21 件中 10 件からアデノウイルス遺伝子（1 型：4 件、2 型：4 件、D 種：2 件）が検出された。また、ライノウイルスが 3 件、コクサッキーウイルス A 群 6 型が 1 件、エンテロウイルス D68 型が 1 件、パラインフルエンザウイルス 1 型が 1 件検出された（表 2）。アデノウイルスは 5 月～8 月の夏季を中心に多く検出されたが、同時期にパラインフルエンザウイルス 1 型やライノウイルス、コクサッキーウイルス A 群 6 型も検出された（図 8）。分離試験では、アデノウイルス 1 型が 1 株、2 型が 4 株それぞれ分離された。

表 2. 咽頭結膜熱患者検体から検出されたウイルスの内訳（重複検出を含む）

	遺伝子検出数	分離件数
アデノウイルス1型	4	1
アデノウイルス2型	4	4
アデノウイルスD種	2	
ライノウイルス	3	
コクサッキーウイルスA群6型	1	
エンテロウイルスD68型	1	
パラインフルエンザウイルス1型	1	
陰性	7	16

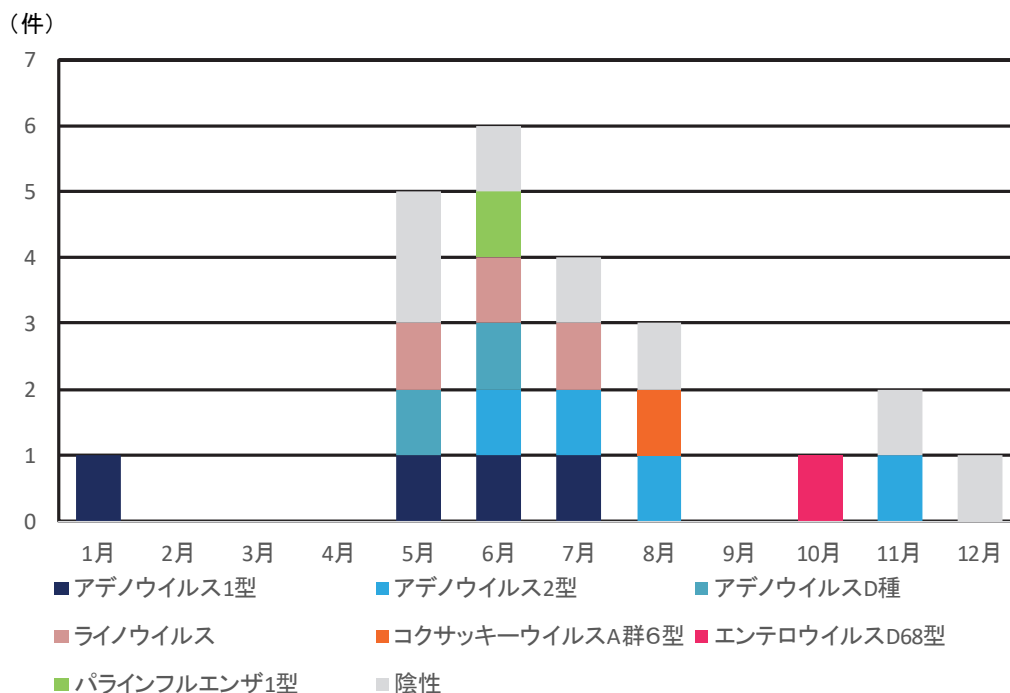


図 8. 咽頭結膜熱患者検体からのウイルス検出状況(重複検出を含む)

エ 感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は流行時期に合わせ、毎年第 36 週から翌年の第 35 週までの 1 年間を流行シーズンとしているため、2022 年第 1 週～第 35 週は 2021/2022 年シーズン、第 36 週～第 53 週は 2022/2023 年シーズンとなる。

小児科定点医療機関及び基幹定点医療機関において感染性胃腸炎と診断され、当センターに搬入された患者検体について、小児科定点の検体についてはノロウイルス、サポウイルス、A 群ロタウイルス、アデノウイルス及びアストロウイルス、基幹定点の検体では A 群ロタウイルス及び C 群ロタウイルスの遺伝子検査を実施している。

小児科定点医療機関から搬入された 38 件について検査を実施した結果、25 件からノロウイルス等が検出された。内訳は、ノロウイルスが最も多く 15 件、サポウイルスが 6 件、アデノウイルスが 3 件、ノロウイルスとアストロウイルスの同時検出が 1 件であった (表 3、図 4)。ノロウイルスの遺伝子型については、すべて GⅡ.4 であった。

基幹定点医療機関から当センターに搬入された患者検体はなかった。

表 3. 感染性胃腸炎患者から検出されたウイルス遺伝子の内訳（小児科定点）

検出遺伝子	検出数
ノロウイルス	15
サポウイルス	6
アデノウイルス	3
ノロウイルス アストロウイルス	1
計	25

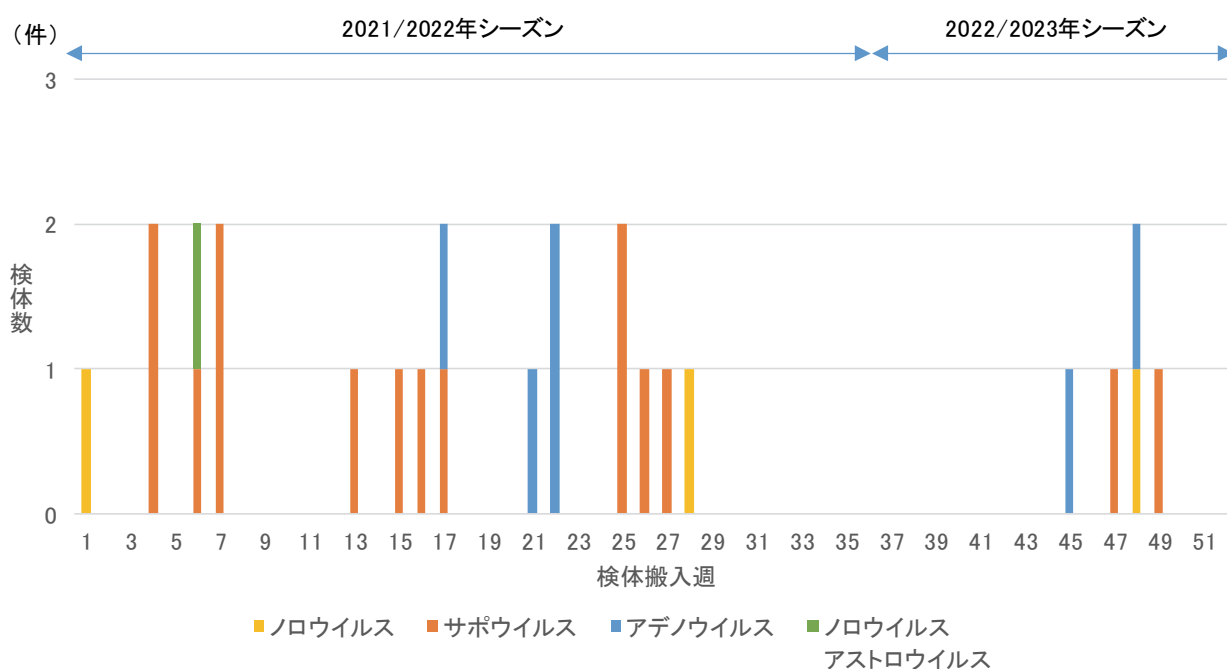


図 9. 感染性胃腸炎患者検体からのウイルス遺伝子検出状況

オ 水痘

小児科定点医療機関で水痘と診断され当センターに搬入された患者検体 5 件について、水痘帯状疱疹ウイルス（VZV）等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。5 件中 4 件から VZV 遺伝子が検出された。また、分離試験ではウイルスは検出されなかった（表 4、図 10）。

表 4. 水痘患者検体から検出されたウイルスの内訳

	遺伝子検出数	分離件数
水痘帯状疱疹ウイルス	4	
陰性	1	5

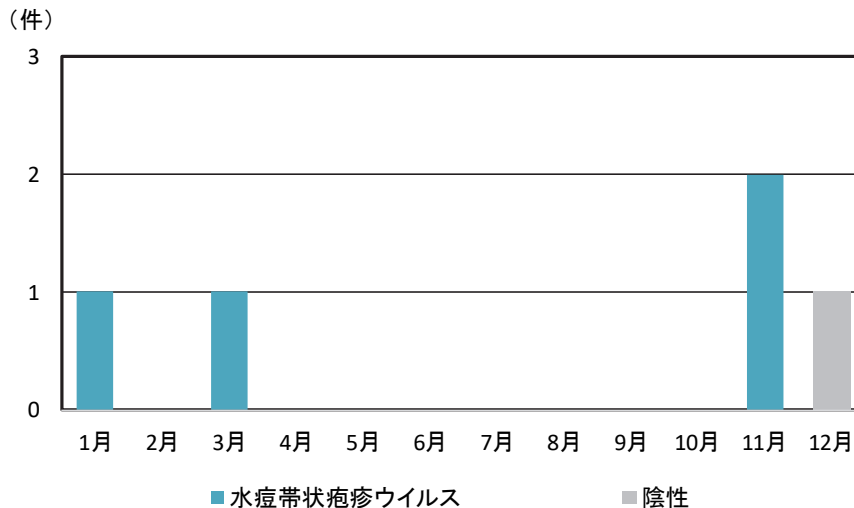


図 10. 水痘患者検体からのウイルス検出状況

カ 手足口病

小児科定点医療機関で手足口病と診断され、当センターに搬入された患者検体 48 件について、エンテロウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。遺伝子検査において検出されたエンテロウイルスはコクサッキーウイルス A 群 6 型が 29 件、A 群 16 型が 5 件であった。またライノウイルスが 3 件、アデノウイルス 2 型が 1 件、ヒトヘルペスウイルス 6 型が 1 件、パレコウイルス A1 型が 1 件検出された。分離試験ではコクサッキーウイルス A 群 16 型が 4 株、アデノウイルス 2 型が 1 株、パレコウイルス A1 型が 1 株分離された (表 5、図 11)。また、2022 年のウイルス検出は 9 月をピークにコクサッキーウイルス A 群 6 型が多く検出されたが、12 月においてもコクサッキーウイルス A 群 6 型、A 群 16 型が検出された。

表 5. 手足口病患者検体から検出されたウイルスの内訳 (重複検出を含む)

	遺伝子検出件数	分離件数
コクサッキーウイルスA6型	29	
コクサッキーウイルスA16型	5	4
ライノウイルス	3	
ヒトヘルペスウイルス6型	1	
パレコウイルスA1型	1	1
アデノウイルス2型	1	1
陰性	10	42

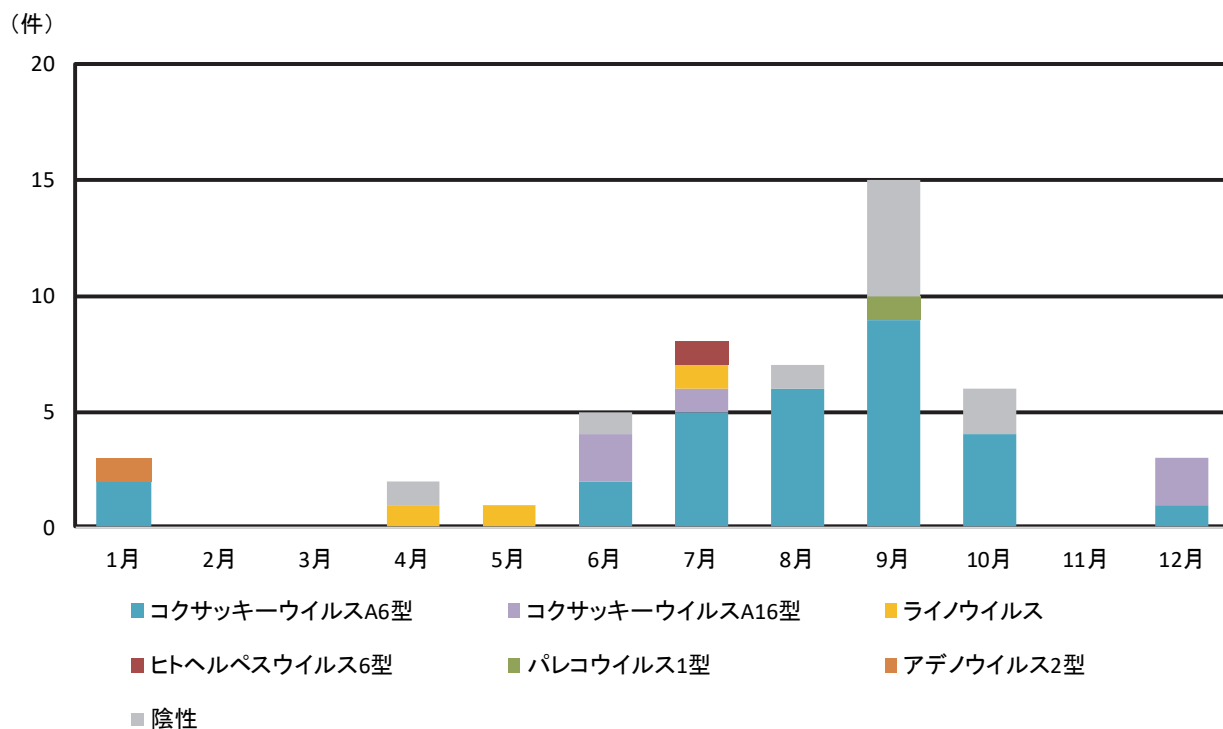


図 11. 手足口病患者検体からのウイルス検出状況

キ 伝染性紅斑

小児科定点医療機関で伝染性紅斑と診断され、当センターへ搬入された患者検体はなかった。

ク 突発性発しん

小児科定点医療機関で突発性発しんと診断され、当センターに搬入された患者検体 13 件について遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。2022 年は 5 月～10 月にかけて、13 件中 5 件からヒトヘルペスウイルス 6 型、4 件からヒトヘルペスウイルス 7 型が検出された。また、分離試験ではウイルスは検出されなかった。(表 6、図 12)。

表 6. 突発性発しんの患者から検出されたウイルスの内訳

	遺伝子検出件数	分離件数
ヒトヘルペスウイルス6型	5	
ヒトヘルペスウイルス7型	4	
陰性	4	13

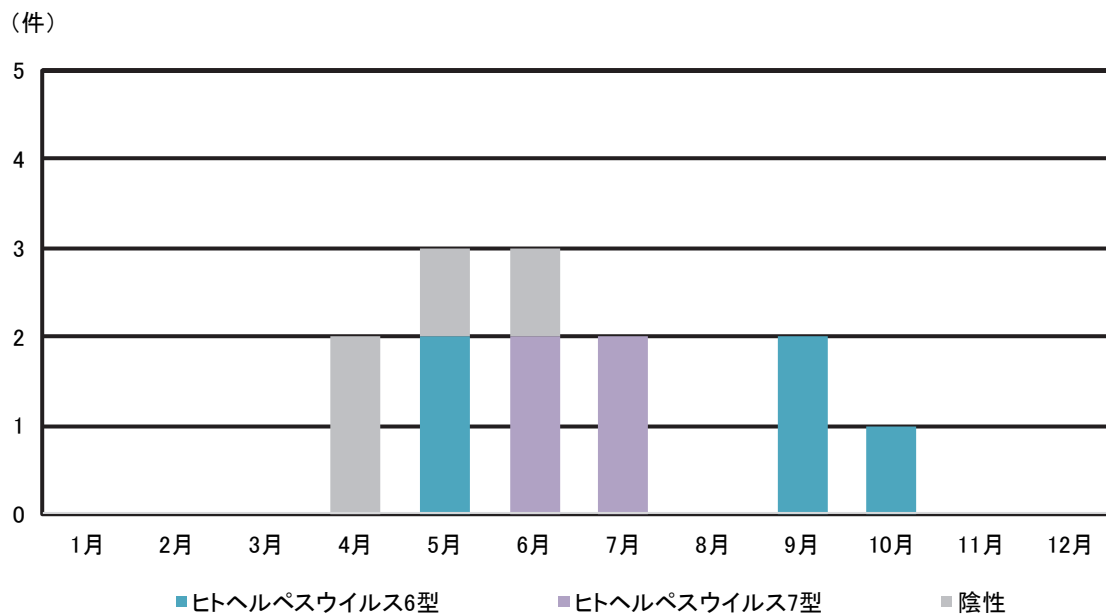


図 12. 突発性発しん患者検体からのウイルス検出状況

ケ ヘルパンギーナ

小児科定点医療機関でヘルパンギーナと診断され、当センターに搬入された患者検体 3 件についてエンテロウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。その結果、8 月にコクサッキーウイルス A 群 4 型が 1 件、A 群 10 型が 1 件のウイルス遺伝子がそれぞれ検出された。分離試験では、コクサッキーウイルス A 群 4 型が 1 株分離された（表 7、図 13）。

表 7. ヘルパンギーナ患者検体から検出されたウイルスの内訳

	遺伝子検出数	分離件数
コクサッキーウイルスA群4型	1	1
コクサッキーウイルスA群10型	1	
陰性	1	2

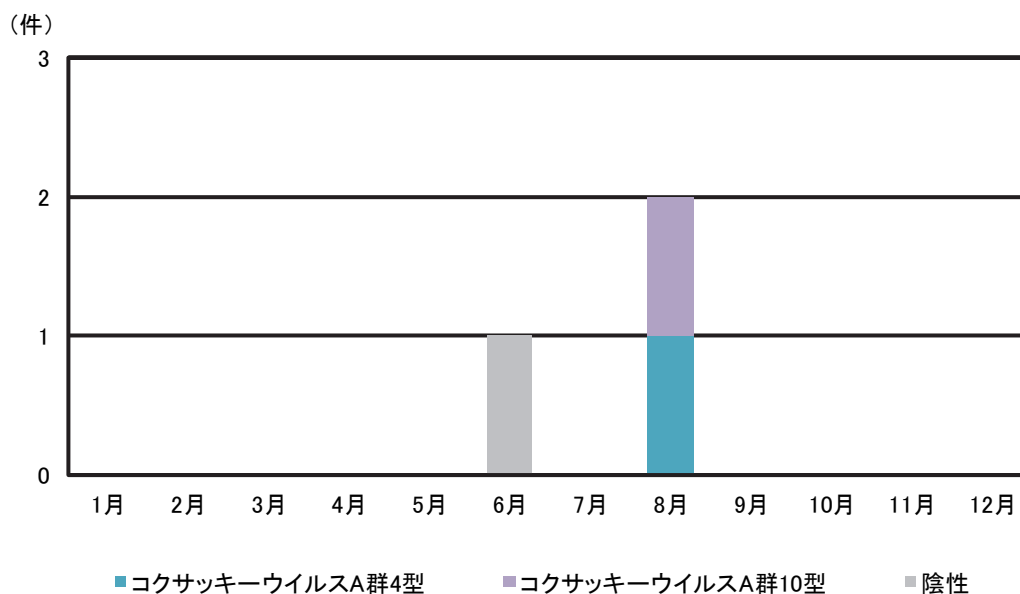


図 13. ヘルパンギーナ患者検体からのウイルス検出状況

コ 流行性耳下腺炎

小児科定点医療機関で流行性耳下腺炎と診断され、当センターに搬入された患者検体 10 件についてムンプスウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。このうち 2 件から EB ウイルス遺伝子が検出されたが、ムンプスウイルスは年間を通じて検出されなかった。また、分離試験ではウイルスは検出されなかった（表 8、図 14）。

表 8. 流行性耳下腺炎の患者から検出されたウイルスの内訳

	遺伝子検出数	分離件数
ムンプスウイルス		
EBウイルス	2	
陰性	8	10

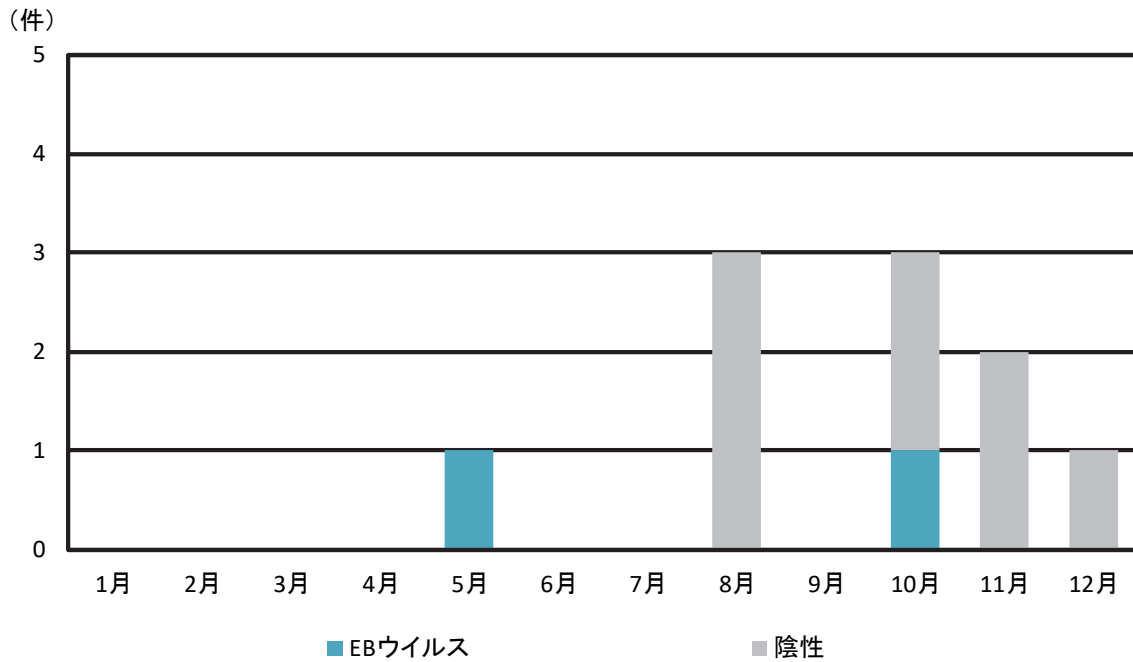


図 14. 流行性耳下腺炎患者検体からのウイルス検出状況

サ 不明発しん症

小児科定点医療機関で不明発しん症と診断され、当センターに搬入された患者検体 34 件について麻しんウイルス、風しんウイルス、ヒトパルボウイルス B19、ヒトヘルペスウイルス 6 型・7 型、エンテロウイルス、アデノウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。遺伝子検査では、18 件のウイルス遺伝子が検出された。最も多く検出されたのはヒトヘルペスウイルス 6 型の 6 件であり、次いでコクサッキーウイルス A 群 6 型が 4 件、ヒトヘルペスウイルス 7 型が 3 件、ライノウイルスが 3 件であった。加えて、VZV が 1 件、パレコウイルス A3 型が 1 件検出された。また、麻しん・風しんウイルスについては検出されなかった。ウイルス分離試験では、パレコウイルス A3 型が 1 株分離された（表 9、図 15）。

表 9. 不明発しん症患者検体から検出されたウイルスの内訳（重複検出を含む）

	遺伝子検出件数	分離件数
ヒトヘルペスウイルス6型	6	
コクサッキーウイルスA6型	4	
ヒトヘルペスウイルス7型	3	
ライノウイルス	3	
水痘帯状疱疹ウイルス	1	
パレコウイルスA3型	1	1
陰性	21	33

(件)

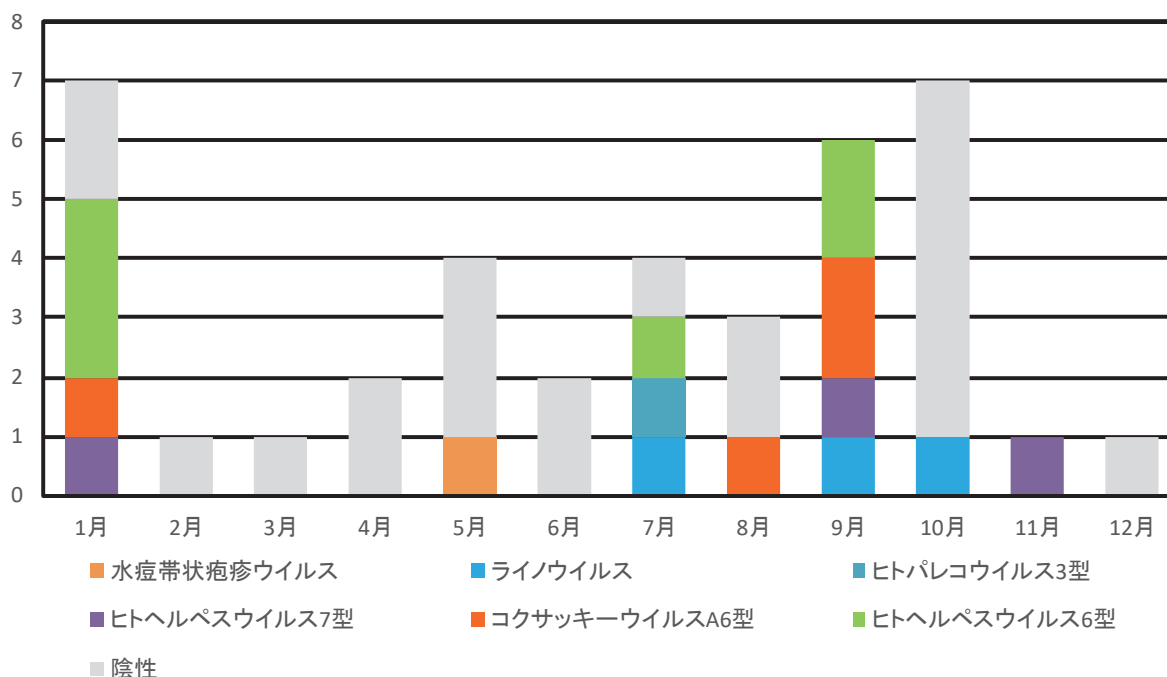


図 15. 不明発しん症患者検体からの月別ウイルス検出状況（重複検出を含む）

シ 川崎病

小児科定点医療機関で川崎病と診断され、当センターに搬入された患者検体 1 件についてアデノウイルス、エンテロウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。その結果、遺伝子検査でライノウイルスが 1 件検出された。分離試験ではウイルスは検出されなかった。

ス 無菌性髄膜炎

基幹定点医療機関で無菌性髄膜炎と診断され、当センターに搬入された患者検体 15 件についてエンテロウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。その結果、遺伝子検査で 4 件（ライノウイルス：2 件、VZV：1 件、ムンプスウイルス：1 件）のウイルス遺伝子が検出された。分離試験ではウイルスは検出されなかった（表 10、図 16）。

表 10. 無菌性髄膜炎患者検体から検出されたウイルスの内訳

	遺伝子検出数	分離件数
ライノウイルス	2	
水痘帯状疱疹ウイルス	1	
ムンプスウイルス	1	
陰性	11	15

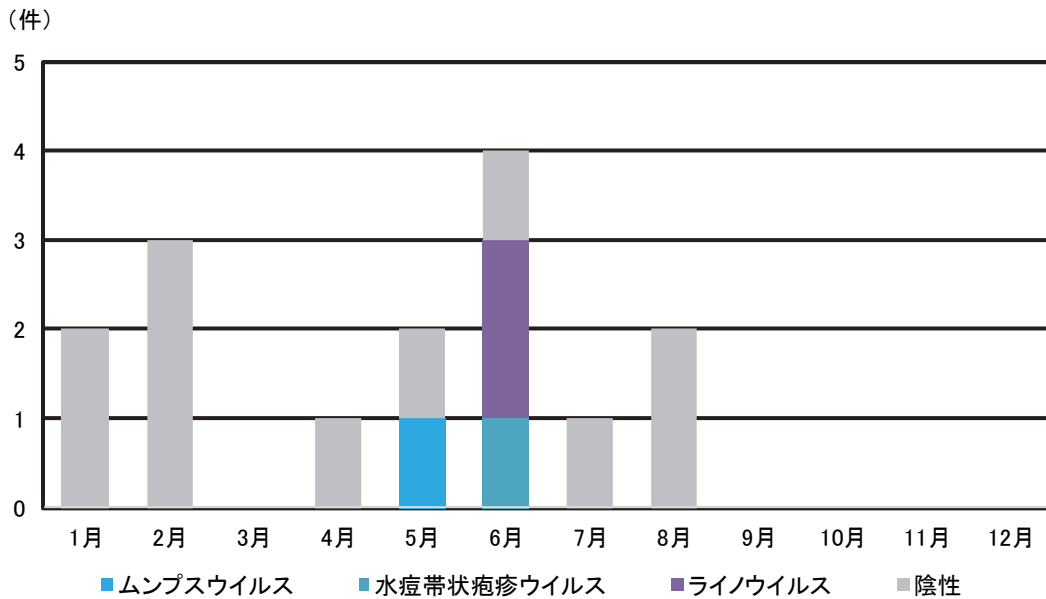


図 16. 無菌性髄膜炎患者検体からのウイルス検出状況

(2) 眼科病原体定点医療機関からの搬入検体

ア 流行性角結膜炎

定点医療機関で流行性角結膜炎と診断され当センターに搬入された患者検体は9月に1件が搬入されたのみであった。この1件について、アデノウイルス及びエンテロウイルスの遺伝子検査及び分離検査を実施した結果、アデノウイルス遺伝子が1件（アデノウイルスD種）検出され、分離試験ではウイルスは検出されなかった。

(3) 性感染症（STI）病原体定点医療機関からの搬入検体

ア 性器ヘルペスウイルス感染症

STI 病原体定点医療機関から当センターへ搬入された患者検体はなかった。

イ 尖圭コンジローマ

STI 病原体定点医療機関から3件（尖圭コンジローマ部位擦過物、又は尖圭コンジローマ患部生検材料）が搬入され、3件すべてからHPV 遺伝子が検出された。そのうち、2件からHPV 遺伝子が検出され、いずれも子宮頸がん等のリスク評価分類でLow リスクに分類される11型であった。また、残りの1件からは同時に2種類のHPV 遺伝子が検出された [High リスク（58型）とLow リスク（11型）]。

ウ ウイルス性尿道炎

STI 病原体定点医療機関から3件（尿）が搬入された。

アデノウイルス（ADV）については、ヘキソン領域を対象としたPCR法によりADV 遺伝子の検出を行った。HSVについては、リアルタイムPCR法によるHSV（HSV-1型及びHSV-2型）の遺伝子検査を実施した。その結果、3件中2件（66.7%）からアデノウイルスD種、1件（33.3%）からHSV-2

型が検出され、HSV-1型は検出されなかった。

(4) 積極的疫学調査による搬入検体

ア 二類感染症

① 中東呼吸器症候群 (MERS コロナウイルス)

都内医療機関で MERS コロナウイルス感染疑いと診断され、保健所を通じて当センターに搬入された4件について、MERS コロナウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。全ての検体から MERS コロナウイルス遺伝子は検出されなかった。うち2検体は同一人物からの検体であり、インフルエンザウイルスの遺伝子検査を行ったところ結果は AH1pdm09 であった。

② 鳥インフルエンザ (A/H5N1 亜型、A/H7N9 亜型)

都内医療機関で鳥インフルエンザウイルス感染疑いと診断され、保健所を通じて当センターに搬入された患者検体はなかった。

イ 四類感染症

① A 型肝炎

医療機関で A 型肝炎と診断され、当センターに搬入された患者検体4件について遺伝子検査を実施した。1件から A 型肝炎ウイルス遺伝子が検出され、遺伝子解析を行った結果、遺伝子型は IIIA 型であった。

② E 型肝炎

医療機関で E 型肝炎と診断され、当センターに搬入された患者検体79件について遺伝子検査を実施した。34件から E 型肝炎ウイルス遺伝子が検出され、これらについて遺伝子解析を行った結果、遺伝子型はすべて3型であった。

③ 蚊媒介感染症 (デング熱、チクングニア熱、ジカウイルス感染症)

都内の医療機関でデング熱と診断、またはデング熱等の蚊媒介感染症疑いと診断され、保健所を通じて当センターに搬入された患者検体18件(血液16件、尿2件)について検査を実施した。その結果、海外感染疑い例のうち11件からデングウイルス遺伝子(1型5件、2型4件、3型2件)が検出された。なお、チクングニアウイルス遺伝子およびジカウイルス遺伝子は検出されなかった。また、国内感染を疑う検体は全て検査で陰性であった。

④ リケッチア等関連疾患 (Q 熱、つつが虫病、日本紅斑熱、発しんチフス、ライム病)

都内の医療機関でリケッチア関連疾患疑いと診断され、保健所を通じて当センターに患者検体17件(つつが虫病12件、日本紅斑熱4件、ライム病1件)が搬入された。つつが虫患者の急性期血液12検体中9件から *Orientia tsutsugamushi* の遺伝子を検出し、内訳は Karp 株様遺伝子1件、Kawasaki 株様遺伝子2件、Kuroki 株様遺伝子6件であった。また、日本紅斑熱疑いの検体4件から *Rickettsia japonica* 遺伝子は検出されなかった。その他、ライム病を疑う1件について抗体検査を実施したところ、ライム病ボレリアに対する IgG 抗体の上昇は認められず、血清中からボレリア属遺伝子も検出されなかった。

⑤ サル痘（エムポックス）

都内の医療機関でサル痘疑いと診断され、保健所を通じて当センターに搬入された患者検体44件についてサル痘ウイルス及びVZVの遺伝子検査を行った。その結果、サル痘ウイルス遺伝子が11件、VZV遺伝子が3件検出された。

ウ 五類感染症（全数把握疾患）

① 急性脳炎

都内の医療機関で急性脳炎と診断され、保健所を通じて当センターに搬入された患者検体1件についてエンテロウイルスの遺伝子検査を実施したところ、エンテロウイルスは検出されなかった。

② 水痘（入院を要するもの）

都内の医療機関で水痘と診断され入院に至った事例で、保健所を通じて当センターに搬入された患者検体5件についてVZVの遺伝子検査を行ったところ、5件からVZV遺伝子が検出された。

③ 急性弛緩性麻痺

都内の医療機関で急性弛緩性麻痺と診断され、保健所を通じて当センターに搬入された患者検体17件についてエンテロウイルスの遺伝子検査を実施した。その結果、エンテロウイルスD68型が2件検出された。

④ 麻しん及び風しん

都内医療機関で麻しん、あるいは風しん（疑い含む）と診断され、保健所を通じて当センターに搬入された患者検体26件について麻しんウイルス及び風しんウイルスの遺伝子検査を実施した。その結果、麻しんウイルス遺伝子及び風しんウイルスの遺伝子は検出されなかった。

また、麻しん及び風しんウイルスが陰性となった検体については、病原体レファレンス事業によりヒトパルボウイルスB19及びヒトヘルペスウイルスの遺伝子検索を実施した。その結果、ヒトヘルペスウイルス6型が2件検出された。

エ 指定感染症等

2019年に中国武漢において発生した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は世界的な流行をみせ、いまだ収束に至っておらず、2021年2月3日の感染症法改正により、「新型インフルエンザ等感染症」に分類された。2020年1月より検査を開始し、2022年は26,622件の検査を実施した。

（2023年5月8日の感染症法改正により、五類感染症に位置づけられた。）

2 細菌検査結果

(1) 四類感染症の病原体検索

ア レジオネラ症

患者由来株 3 株(3 事例)が搬入され、血清型別試験を実施した結果、2 群が 2 株、1 群が 1 株であった。また、患者喀痰 5 件及び気管洗浄液 1 件が搬入され、分離培養と遺伝子検査を実施した結果、培養陽性、遺伝子陰性が 1 件、培養陰性、遺伝子陽性が 1 件、培養、遺伝子ともに陰性が 4 件であった。分離培養陽性であった 1 件の血清型は 1 群であった。

(2) 五類感染症(全数把握対象)の病原体検索

ア カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

患者由来株 59 株(56 事例)が搬入された。菌株の内訳は、*Klebsiella pneumoniae* が最も多く 13 株、次いで *Serratia marcescens* が 11 株、*Escherichia coli* が 8 株、*Enterobacter cloacae* が 7 株、*Klebsiella aerogenes* が 5 株、*Citrobacter freundii* が 5 株であった。その他、*Morganella morganii* など 10 株が搬入された。

PCR 法による β -ラクタマーゼ遺伝子の検出を実施した結果、NDM 遺伝子保有株が 5 株であった。また、IMP-1 遺伝子保有株が 9 株、CTX-M-1 group 遺伝子保有株が 16 株、CTX-M-9 group 遺伝子保有株が 2 株、EBC 遺伝子保有株が 2 株、CIT 遺伝子保有株が 2 株、DHA 遺伝子保有株が 4 株であった。また、いずれの耐性遺伝子も保有していなかった株は 24 株であった。

イ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

患者由来株 102 株(96 事例)が搬入され、Lancefield 分類による群別の結果、A 群が 27 株、B 群が 34 株、C 群が 2 株、G 群が 39 株であった。

A 群のうち 26 株が *Streptococcus pyogenes* であり、残り 1 株は *S. dysgalactiae* ssp. *equisimilis* (SDSE) であった。B 群レンサ球菌 34 株はすべて *S. agalactiae* であり、C 群及び G 群レンサ球菌はいずれも SDSE であった(表 11)。*S. pyogenes* では T 血清型別の結果、12 型が 4 株で、次いで 11 型、13 型及び B3264 型が各 2 株、1 型及び 9 型が各 1 株ずつであり、型別不能が 14 株であった。*S. agalactiae* 34 株の血清型は、Ib 型が 10 株と最も多く、次いで V 型:8 株、VI 型:4 株、III 型:3 株、Ia 型及び IV 型が各 2 株、VIII 型が 1 株であり、型別不能が 4 株であった(表 12)。

S. pyogenes 及び SDSE については、M タンパク又は M 様タンパクをコードする遺伝子により型別を行う emm 型別を実施した。その結果、*S. pyogenes* では、49 型が 6 株と最も多く、次いで 81 型:5 株、76 型及び 89 型が各 4 株ずつなどであった(表 13)。

また、SDSE 42 株では、stG6792 型が 12 株と最も多く、次いで stG485 型が 8 株、stG245 型、stG652 型及び stG840 型が各 3 株などであった(表 14)。

表 11. 劇症型溶血性レンサ球菌感染症由来株の群別及び菌種名

菌種名	Lancefield 分類 群別				計
	A	B	C	G	
<i>S. pyogenes</i>	26				26
<i>S. agalactiae</i>		34			34
<i>S. dysgalactiae</i> ssp. <i>equisimilis</i>	1		2	39	42
計	27	34	2	39	102

表 12. B 群レンサ球菌 (*S. agalactiae*) の血清型

血清型								計
Ia	Ib	III	IV	V	VI	VIII	型別不能	
2	10	3	2	8	4	1	4	34

表 13. *S. pyogenes* の T 血清型及び emm 型

emm 型	T 型							計
	1	9	11	12	13	B3264	UT	
1	1							1
9		1						1
11			1					1
44			1					1
49							6	6
58							1	1
73					1			1
76				4				4
77					1			1
81							5	5
89						2	2	4
計	1	1	2	4	2	2	14	26

表 14. *S. dysgalactiae* ssp. *equismilis* の emm 型

emm 型									計
stG245	stG485	stG652	stG653	stG6792	stG2078	stG840	stC36	その他*	
3	8	3	2	12	2	3	2	7	42

*その他(各 1 株): stG10, stG74A, stG120, stG6979, stG2574, stC1400, 型別不能

ウ 侵襲性インフルエンザ菌感染症

患者由来のインフルエンザ菌 17 株(17 事例)が搬入され、免疫血清及び PCR 法による血清型別試験を実施した結果、b 型が 1 株、f 型が 1 株、および無莢膜型が 15 株であった。

エ 薬剤耐性アシネトバクター感染症

搬入された本疾患患者由来株は *Acinetobacter baumannii* 1 株(1 事例)であり、PCR 法による耐性遺伝子の検出を実施した結果、OXA-51-like β -ラクタマーゼをコードする遺伝子とプロモーター活性を有する挿入遺伝子領域(IS*Aba1*)保有株が 1 株、OXA-51-like β -ラクタマーゼをコードする遺伝子保有株が 1 株であった。

オ 侵襲性肺炎球菌感染症

患者由来の肺炎球菌 63 株(57 事例)が搬入された。搬入時点で死滅していた 2 株を除く 61 株(55 事例)につ

いて莢膜膨化法による血清型別試験を実施した結果は表 15 の通りであった。同一事例由来の菌株は同一の血清型であった。

表 15. 肺炎球菌の血清型別結果

血清型	事例数	血清型	事例数	血清型	事例数
10A	7	6C	3	20	1
35B	7	7C	2	22F	1
3	6	19A	2	23B	1
15A	5	24B	2	33F	1
24F	5	6D	1	35F	1
15C	4	14	1		
23A	4	15B	1		

カ バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）感染症

搬入された菌株は患者由来 10 株（9 事例）であり、*Enterococcus faecium* が 9 株、*Enterococcus casseliflavus* が 1 株であった。

PCR 法によるバンコマイシン耐性遺伝子の検出を実施した結果、*vanA* 遺伝子保有株が 4 株、*vanB* 遺伝子保有株が 4 株、*vanC2* 遺伝子保有株が 1 株、*vanD* 遺伝子保有株が 2 株であった。

キ 侵襲性髄膜炎菌感染症

搬入された患者由来の髄膜炎菌は 1 株であり、PCR 法による血清型別を実施した結果、C 群となった。

（3）五類感染症（定点把握対象）の病原体検索

ア A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

小児科定点医療機関から A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者由来咽頭スワブが 5 件搬入され、4 株の A 群溶血性レンサ球菌が分離された。T 血清型別試験を実施した結果、B3264 型が 2 株、1 型と 11 型が 1 株ずつであった。

イ 感染性胃腸炎

小児科病原体定点から搬入された感染性胃腸炎疑いの患者糞便 8 件について腸管系の細菌検査を実施した。その結果、1 検体から *Campylobacter jejuni* が検出された。

ウ メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）感染症

基幹定点医療機関の MRSA 感染症患者由来検体から分離された MRSA 71 株及び MSSA 2 株について、コアグラマーゼ型別試験を実施した。MRSA 71 株の内訳は、II 型:2 株、III 型:28 株、IV 型:1 株、V 型:4 株、VII 型:33 株であり、型別不能は 3 株であり、MSSA は II 型及び V 型であった。

エ 薬剤耐性緑膿菌感染症

基幹定点医療機関から搬入された患者由来検体 1 件から分離された *Pseudomonas aeruginosa* 1 株は、PCR 法

により IMP-1 遺伝子及び VIM-2 遺伝子を保有していた。

(4) 性感染症 (STI) 病原体定点医療機関のからの搬入検体

2022 年 1 月から 12 月に都内 4 ヶ所の性感染症病原体定点医療機関 (STI 定点) より 160 検体が搬入された。搬入検体の内訳は、男性：尿 123 例、女性：スワブ 20 例、性別不明：尿 17 例であった (表 16、17)。それらについて、クラミジア・トラコマチス、淋菌等の検査を実施した。

ア クラミジア・トラコマチスおよび淋菌

尿およびスワブ 155 検体についてクラミジア・トラコマチスおよび淋菌の遺伝子検査を実施した。性別および年齢階級別の病原体検査成績を表 16 に示した。クラミジア・トラコマチスについては、男性 52 例 (42.3%)、女性 7 例 (46.7%) が陽性を示した。淋菌は男性 40 例 (32.5%)、女性 3 例 (20.0%) が陽性を示した。クラミジアと淋菌の遺伝子が共に検出されたのは、男性 121 名中 12 例 (9.9%)、女性 0 例であった。淋菌遺伝子が検出された 49 例のうち 9 例 (18.4%) から淋菌が分離された。

性別および臨床診断別の病原体検査結果を表 17 に示した。男性では、性器クラミジア感染症と診断された 117 例中 47 例 (40.2%) からクラミジア・トラコマチス遺伝子が検出され、36 例 (30.8%) から淋菌遺伝子が検出され、うち 6 例から淋菌が分離された。性器クラミジア感染症+淋菌感染症と診断された 1 例からはクラミジア・トラコマチス遺伝子、淋菌遺伝子のいずれも検出されなかった。また、淋菌感染症と診断された 5 例中 5 例 (100%) からクラミジア・トラコマチス遺伝子が検出され、4 例 (80.0%) から淋菌遺伝子が検出され、1 例 (20.0%) から淋菌が分離された。女性では、性器クラミジア感染症と診断された 13 例中 7 例 (53.8%) からクラミジア・トラコマチス遺伝子、1 例 (7.7%) から淋菌遺伝子が検出され、淋菌感染症と診断された 2 例中 2 例 (100%) から淋菌遺伝子が検出された。

イ 膣トリコモナス

膣トリコモナスが疑われた女性のスワブ 5 例について遺伝子検査を行った結果、5 例とも膣トリコモナス遺伝子が検出された。

表 16. 性別および年齢階級別の病原体検査結果

性別	年齢階級	検体数	遺伝子検査陽性			分離培養陽性
			クラミジア ・トラコマチス	淋菌	膣トリコモナス	淋菌
男性	10 歳代	5	2	1		
	20 歳代	41	21	13		2
	30 歳代	38	18	11		2
	40 歳代	28	8	10		1
	50 歳代	5	1	4		2
	60 歳代	3	2			
	70 歳代	2				
	不明	1		1		
	計	123	52	40	0	7
女性	10 歳代	2	1	1		
	20 歳代	12	3	2	3	
	30 歳代	3	1		1	
	40 歳代	2	1		1	
	不明	1	1			
	計	20	7	3	5	0
不明	20 歳代	6	2	2		
	30 歳代	1	1			
	40 歳代	6		3		1
	50 歳代	4		1		1
	計	17	3	6	0	2
合計		160	62	49	5	9

表 17. 性別および臨床診断別の病原体検査結果

	臨床診断 (疑い例含む)	検体数	遺伝子検査陽性			分離培養陽性
			クラミジア・ トラコマチス	淋菌	膣トリコモナス	淋菌
男性	性器クラミジア感染症	117	47	36		6
	性器クラミジア感染症 +淋菌感染症	1				
	淋菌感染症	5	5	4		1
	計	123	52	40	0	7
女性	性器クラミジア感染症	13	7	1		
	淋菌感染症	2		2		
	膣トリコモナス症	5			5	
	計	20	7	3	5	0
不明	性器クラミジア感染症	17	3	6		2
	計	17	3	6	0	2
合計		160	62	49	5	9

第 3 章

資 料

1 東京都感染症発生動向調査定点医療機関名簿

小児科（264定点）

2022年12月31日において、小児科264定点のうち2医療機関が未選定である。

2022年12月31日 現在

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
千代田	滝医院	滝 正彦	102-0074	千代田区九段南4-3-1	03-3264-3101	
千代田	千代田加賀クリニック	加賀 文彩	101-0051	千代田区神田神保町1-35	03-3291-9952	
千代田	東京通信病院	小野 正恵	102-8798	千代田区富士見2-14-23	03-5214-7111	○*
中央区	小坂こども元気クリニック	小坂 和輝	104-0052	中央区月島3-30-3	03-5547-1191	
中央区	わたなべこどもクリニック	渡邊 浩志	104-0052	中央区月島1-8-1 アイ・マークタワー202	03-5548-2511	
中央区	塙小児科医院	塙 佳生	103-0007	中央区日本橋浜町2-20-2	03-3666-6035	
みなと	ぼれぼれクリニック	三浦 麻子	108-0074	港区高輪1-5-21 ルート高輪ビル4F	03-5422-7626	○
みなと	とよら小児科	豊浦 多喜雄	108-0023	港区芝浦3-11-5 第三協栄ビル2階	03-5442-8872	
みなと	小田原医院	行岡 紀子	106-0045	港区麻布十番3-11-12	03-3451-4595	2022年4月30日まで
	サニーガーデンこどもクリニック	首里 京子	106-0045	港区麻布十番2-16-4 プラスワンビル3F	03-6722-6623	2022年5月1日から
みなと	白金タワークリニック	小出 浩史	108-0072	港区白金1-17-1-106	03-5789-3882	
みなと	南青山おつかクリニック	大塚 伸行	107-0062	港区南青山4-9-17	03-5786-3288	
みなと	東京都済生会中央病院	小児科外来	108-0073	港区三田1-4-17	03-3451-8211	○*
新宿区	岡田小児科クリニック	岡田 和子	169-0072	新宿区大久保1-5-15	03-3200-1236	
新宿区	村橋医院	村橋 眞	162-0042	新宿区早稲田町73	03-3203-3538	
新宿区	オリエンタル診療所	近 裕	161-0031	新宿区西落合2-20-1	03-3565-3411	
新宿区	牛山医院	牛山 允	169-0075	新宿区高田馬場4-11-5	03-5386-3167	
新宿区	(社)聖母会 聖母病院 小児科	猪野 雅孝	161-8521	新宿区中落合2-5-1	03-3951-1111	○*
新宿区	星野こどもクリニック	星野 洋	161-0032	新宿区中落合2-16-26	03-5988-7133	
新宿区	国立国際医療研究センター病院	七野 浩之	162-8655	新宿区戸山1-21-1	03-3202-7181	
文京	保坂こどもクリニック	保坂 篤人	112-0001	文京区白山5-27-12	03-3946-0641	
文京	石原医院	藤原 陽子	112-0006	文京区小日向1-6-6	03-3941-8526	
文京	大塚診療所	大塚 宜一	113-0034	文京区湯島3-31-6	03-3831-2294	
文京	吉村小児科	内海 裕美	112-0012	文京区大塚2-18-6	03-3943-3806	
台東	いりやキッズクリニック	浅野 由美子	110-0004	台東区下谷3-11-12	03-5808-0415	
台東	柴田小児科医院	柴田 雄介	111-0036	台東区松ヶ谷3-16-4	03-3841-2291	
台東	クローバーこどもクリニック	眞々田 容子	111-0051	台東区蔵前4-20-4 蔵前4ビル1F	03-5825-9608	
台東	小川こどもクリニック	小川 淳子	111-0053	台東区浅草橋1-25-5 小川ハイム201	03-3861-2429	
墨田区	増田小児科	増田 理枝子	130-0005	墨田区東駒形1-19-8	03-3622-9641	
墨田区	鈴木こどもクリニック	鈴木 洋	131-0031	墨田区墨田4-45-1	03-3619-4970	○
墨田区	平野医院	平野 圭	131-0043	墨田区立花6-1-14-1F	03-3611-2947	
墨田区	唐澤医院	唐澤 賢祐	130-0023	墨田区立川1-12-13	03-3631-2336	
墨田区	にしじま小児科	西島 由美	131-0046	墨田区京島1-6-3	03-3619-9585	
江東区	竹内小児科医院	竹内 透	135-0011	江東区扇橋2-1-3 ET21ビル2F	03-5606-0303	
江東区	笠井小児クリニック	笠井 秀明	136-0072	江東区大島9-5-1 コアシティ東大島103	03-3636-2577	
江東区	のずえ小児科	野末 富男	135-0062	江東区東雲1-9-11-102	03-5560-6071	
江東区	までのこうじクリニック	萬里小路 直樹	135-0016	江東区東陽3-27-32 玉河ビル2階	03-5683-5519	

備考欄に「○」の表示がある医療機関は、病原体定点を兼ねる。

備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
江東区	たけうちこどもクリニック	竹内 敏雄	135-0061	江東区豊洲4-9-13 東京フロントコート132号	03-3533-2415	
江東区	城田小児科医院	城田 和彦	135-0048	江東区門前仲町1-6-9	03-3641-4056	
江東区	亀戸キッズクリニック	杉本 佳乃	136-0071	江東区亀戸2-42-5 くらまえ三洋ビル2F	03-5875-3387	
江東区	正木医院	正木 忠明	136-0073	江東区北砂7-1-25	03-3644-5794	○
江東区	なおやこどもクリニック	坂口 直哉	136-0074	江東区東砂7-19-13 ベルコモン南砂2F	03-5653-0708	
品川区	千葉医院	千葉 光雄	140-0001	品川区北品川2-20-6	03-3471-3493	2022年5月31日まで
	医療法人社団縁 のぞみクリニック	筋野 恵介	140-0001	品川区北品川2-9-12	03-5769-0355	2022年7月1日から
品川区	宮平医院	宮平 寛	141-0031	品川区西五反田4-22-3	03-3491-0366	
品川区	林小児科内科医院	林 紋子	140-0014	品川区大井3-6-12 NAVEビル2F	03-3777-7127	
品川区	村井こどもクリニック	村井 孝安	142-0053	品川区中延5-8-19	03-3782-3415	
品川区	鈴木の木こどもクリニック	鈴木 博	142-0041	品川区戸越1-3-1 夢のこども館	03-3786-0318	
品川区	田辺小児科医院	田辺 充子	142-0064	品川区旗の台6-30-1	03-3785-9003	
品川区	藤川医院	藤川 敏	140-0014	品川区大井7-29-2	03-3771-1764	
品川区	吉原医院	吉原 幸子	142-0041	品川区戸越5-8-5	03-3781-4030	
目黒区	自由が丘メディカルプラザ	高嶋 能文	152-0035	目黒区自由が丘2-11-16 日能研自由が丘ビル2F	03-5731-3565	
目黒区	目黒通りこどもクリニック	藤田 秀樹	153-0064	目黒区下目黒6-1-27 アメニティハウス 2F	03-6303-1091	
目黒区	田口医院	田口 豊	152-0003	目黒区碑文谷6-7-4 KYレジデンス	03-3714-0188	
目黒区	井手小児科	井手 郁	152-0002	目黒区目黒本町6-17-27	03-5704-3819	
目黒区	仲村医院	仲村 和子	153-0053	目黒区五本木1-8-9	03-3712-7776	
大田区	かげ山小児科	景山 敦	146-0082	大田区池上7-14-11	03-3752-8182	
大田区	井上小児科医院	井上 清文	143-0023	大田区山王3-30-2	03-3771-2514	
大田区	宮下クリニック	宮下 守	143-0014	大田区大森中3-35-9	03-5764-1003	
大田区	田園小児科クリニック	高橋 茂	145-0071	大田区田園調布5-36-3	03-3722-0765	
大田区	鶉の木さくらクリニック	岡 哲康	146-0091	大田区鶉の木1-16-19	03-3758-3387	
大田区	原口小児科クリニック	原口 道夫	144-0032	大田区北糀谷1-11-8	03-3742-1517	
大田区	森岡小児科医院	森岡 新	144-0056	大田区西六郷1-19-15	03-3738-5918	
大田区	加藤内科小児科医院	加藤 瑞規	146-0093	大田区矢口1-19-25	03-3759-6169	
大田区	神川小児科クリニック	神川 晃	144-0044	大田区本羽田1-6-22	03-3741-5005	
大田区	斎藤医院	斎藤 洋子	143-0025	大田区南馬込5-26-7	03-3772-2791	
大田区	どうどうクリニック	小柳 英樹	146-0081	大田区仲池上1-31-13	03-5747-2333	○
大田区	うちやまこどもクリニック	野尻 裕貴	146-0085	大田区久が原3-36-13-3F	03-3753-7172	
大田区	木村こどもクリニック	木村 方美	144-0045	大田区南六郷2-27-1	03-3733-9080	2022年3月31日まで
	城南チャイルド ゼネラルクリニック	大石 悟	144-0052	大田区蒲田1-7-14	03-3733-1188	2022年5月1日から
世田谷	いなみ小児科	稲見 誠	154-0002	世田谷区下馬3-10-7	03-3421-4885	
世田谷	吉川小児科	吉川 弘二	156-0043	世田谷区松原3-28-8-2階	03-5329-4153	
世田谷	橋本小児科医院	橋本 倫太郎	157-0072	世田谷区祖師谷3-37-5	03-3482-4668	○
世田谷	かねみつ小児科クリニック	金光 岳文	157-0062	世田谷区南烏山4-7-14	03-5384-3355	
世田谷	小林クリニック	小林 俊夫	157-0067	世田谷区喜多見2-10-3-101	03-3416-7119	
世田谷	山口小児科内科	山口 義哉	158-0091	世田谷区中町4-35-6	03-3702-6180	
世田谷	永井小児科内科医院	永井 雄一	158-0081	世田谷区深沢6-20-14	03-5707-0624	
世田谷	田宮小児科アレルギー科医院	田宮 貞和	156-0052	世田谷区経堂5-21-3	03-3427-7974	

備考欄に「○」の表示がある医療機関は、病原体定点を兼ねる。

備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
世田谷	うめはらこどもクリニック	梅原 実	154-0004	世田谷区太子堂3-38-18	03-6809-7878	
世田谷	つだ小児科クリニック	津田 正彦	154-0017	世田谷区世田谷4-5-8 アルス世田谷ネクステージ1F	03-5477-7736	
世田谷	えんどう小児科クリニック	遠藤 大一	156-0045	世田谷区桜上水1-7-10 クールセリシエ1F	03-6379-7127	
世田谷	三宅小児科	三宅 健	156-0057	世田谷区上北沢4-21-13	03-3302-2771	
世田谷	直宮医院	直宮 晃一	155-0031	世田谷区北沢3-11-14	03-3468-2867	
世田谷	臼井医院	臼井 弘人	157-0066	世田谷区成城5-7-12	03-3482-2253	
世田谷	用賀クリニック	川崎 浩司	158-0096	世田谷区玉川台2-22-16 パークヒル用賀Ⅲ 1F	03-3709-6255	
世田谷	藤井医院	藤井 秀樹	158-0083	世田谷区奥沢1-38-19	03-3728-0383	
渋谷区	医療法人社団澤池会 坂本クリニック	坂本 純一	151-0073	渋谷区笹塚1-31-11 ピラージュ笹塚 1-101	03-3469-3926	
渋谷区	医療法人社団 育心会 稲垣クリニック	稲垣 稔	151-0053	渋谷区代々木5-7-17-1F	03-5453-1399	
渋谷区	かずえキッズクリニック	川上 一恵	151-0072	渋谷区幡ヶ谷3-81-7	03-3376-1662	
渋谷区	医療法人社団文昭会 内藤小児科内科医院	内藤 章文	150-0022	渋谷区恵比寿南2-5-9	03-3713-2526	
中野区	やよい町こども医院	春原 大介	164-0013	中野区弥生町1-8-11	03-6300-4790	
中野区	江原町小児科耳鼻科	金 慶彰	165-0023	中野区江原町3-35-8	03-5988-7705	
中野区	田沼内科・小児科医院	田沼 美昭	164-0012	中野区本町6-23-3	03-3380-2622	
中野区	小池小児科医院	小池 林太郎	165-0033	中野区若宮1-43-11	03-3330-0743	
中野区	宇野医院	宇野 真二	164-0001	中野区中野1-6-2	03-3369-2090	
中野区	しばたこども&アレルギー クリニック	柴田 淳	164-0003	中野区東中野5-1-1 ユニゾンタワー3F	03-3360-5569	
杉並	立正佼成会附属佼成病院	倉山 亮太	166-0012	杉並区和田2-25-1	03-3383-1281	○*
杉並	柿田医院	柿田 豊	167-0022	杉並区下井草2-23-5	03-3395-3602	
杉並	長沼内科医院	長沼 裕一郎	166-0015	杉並区成田東3-36-8	03-3311-1803	
杉並	中里医院	中里 恵美子	167-0043	杉並区上荻4-2-3	03-3390-5258	
杉並	はら医院	原 みさ子	168-0062	杉並区方南2-28-3	03-3317-0380	2022年3月31日まで
	かなやファミリークリニック	金谷 翼	168-0062	杉並区方南2-28-3	03-3317-0380	2022年4月1日から
杉並	松野医院	松野 哲彦	166-0001	杉並区阿佐谷北3-42-10	03-3330-4656	
杉並	宮下小児科医院	佐々木 礼子	166-0016	杉並区成田西3-20-3	03-3392-3855	
杉並	くめかわ小児科クリニック	糸川 好男	168-0063	杉並区和泉4-51-14 エクセレント和泉2F	03-3317-7701	
杉並	岩崎小児科医院	岩崎 由紀夫	166-0012	杉並区和田3-49-7	03-5377-0015	
杉並	セキこどもクリニック	関 兼英	166-0004	杉並区阿佐谷南2-1-27	03-3318-1625	
杉並	高井戸こどもクリニック	柳垣 繁	168-0071	杉並区高井戸西1-27-22	03-3331-6644	
池袋	金澤医院	金澤 義之	170-0003	豊島区駒込3-5-7	03-3910-4952	
池袋	みなと小児科	湊 通嘉	171-0043	豊島区要町 3-22-10-301	03-3973-5080	
池袋	田村医院	田村 仁	170-0011	豊島区池袋本町1-45-16	03-3971-4922	
池袋	平井医院	平井 貴志	171-0032	豊島区雑司が谷1-26-10	03-3971-8064	
池袋	南長崎こみ山医院	込山 賢次	171-0052	豊島区南長崎3-14-17	03-3953-0086	
北区	すこやかこどもクリニック浮間	金井 慎一	115-0051	北区浮間3-1-40 藤原ビル1階	03-5918-9421	
北区	ほくとクリニック	金子 清志	115-0045	北区赤羽2-9-6	03-3901-4926	
北区	富士見診療所	越田 利弘	114-0031	北区十条仲原3-1-5	03-3900-5354	
北区	かとうクリニック	加藤 隆司	115-0043	北区神谷1-12-9	03-3913-1103	○
北区	中山医院	伊藤 佳子	114-0016	北区上中里1-17-8	03-3910-6805	
北区	桑畑医院	桑畑 圭子	114-0003	北区豊島2-6-1	03-3919-0700	

備考欄に「○」の表示がある医療機関は、病原体定点を兼ねる。
備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
北区	はんだ・こどもクリニック	繁田 龍雄	115-0045	北区赤羽2-69-4 クリニックプラザ21 2F	03-3901-7433	
荒川区	鈴木こどもクリニック	北爪 勉	116-0011	荒川区西尾久3-21-5 AYビル1F	03-5855-3030	
荒川区	まつおかこどもクリニック	松岡 郁美	116-0002	荒川区荒川2-4-1 荒川メディカルビル1F・2F	03-5604-1567	
荒川区	いなばキッズクリニック	稲葉 八興	116-0003	荒川区南千住4-7-1 BiVi南千住3D	03-5604-1710	
荒川区	加藤小児科内科医院	加藤 薫	116-0014	荒川区東日暮里5-44-1-1F	03-3803-3377	
板橋区	共助会医院	堀内 敏行	174-0051	板橋区小豆沢2-26-8	03-3966-2577	
板橋区	上原内科医院	上原 章	173-0004	板橋区板橋3-6-11	03-5375-9981	
板橋区	石川医院	宮川 美知子	174-0071	板橋区常盤台1-61-3	03-3960-3940	
板橋区	井上医院	井上 文正	175-0092	板橋区赤塚4-17-11	03-5968-5777	
板橋区	杉内医院	杉内 孝謙	175-0094	板橋区成増3-17-16	03-3930-2331	
板橋区	こうのファミリーケア・クリニック	河野 嘉英	174-0056	板橋区志村3-20-26-1F	03-3965-1649	
板橋区	あべこどもクリニック	阿部 和子	175-0082	板橋区高島平1-28-5 KAZZビル2F	03-3559-8115	
板橋区	えがおこどもクリニック	渡部 浩平	174-0063	板橋区前野町3-31-3	03-5994-7250	
板橋区	鈴木医院	鈴木 育夫	173-0023	板橋区大山町10-10	03-3956-1788	
板橋区	よりふじ医院	依藤 壽	173-0031	板橋区大谷口北町27-4	03-3956-1255	
練馬区	岩崎小児科医院	岩崎 章宣	178-0061	練馬区大泉学園町8-7-17	03-3867-5501	
練馬区	秋田医院	秋田 博伸	176-0013	練馬区豊玉中4-10-3	03-3991-1151	
練馬区	医療法人社団健志会 飯島医院	飯島 健志	179-0072	練馬区光が丘7-3-6-102	03-3976-6087	
練馬区	医療法人社団松生会 うすきクリニック	白杵 一	178-0064	練馬区南大泉4-47-9 コンフォート南大泉1F	03-3924-0443	
練馬区	医療法人社団郁翠会 牧田医院	牧田 郁夫	176-0002	練馬区桜台1-45-15 ブランエノワール1階2階	03-3948-0600	○
練馬区	沼口整形外科・小児科	沼口 俊平	179-0072	練馬区光が丘5-2-5-102	03-3976-0131	○
練馬区	医療法人社団友健会 浅村こどもクリニック	浅村 信二	177-0041	練馬区石神井町2-8-21 星ビル2F	03-5372-6686	
練馬区	医療法人社団 上石神井サン・クリニック	小西 佐知子	177-0044	練馬区上石神井3-6-34	03-5910-3888	
練馬区	医療法人社団徳枝会 佐藤皮膚科小児科クリニック	佐藤 徳枝	177-0045	練馬区関町北1-22-10 SATO 1st building 2階	03-3928-2767	
練馬区	医療法人 のと小児科クリニック	能登 信孝	179-0083	練馬区平和台4-12-6	03-5945-9855	
練馬区	マサキ小児科アレルギー科	正木 拓朗	178-0063	練馬区東大泉2-5-10	03-3923-1515	2022年1月31日まで
	医療法人社団駿栄会 レーヴこどもクリニック	中山 栄一	178-0062	練馬区大泉町2-12-1	03-5947-6050	2022年7月1日から
練馬区	医療法人社団留梨明会 わたなべこどもクリニック	渡辺 克也	176-0023	練馬区中村北4-5-2	03-3990-9998	
練馬区	医療法人社団育慈会 わたなべこどもクリニック	渡邊 久幸	178-0063	練馬区東大泉1-26-16 オガワビル1階	03-5947-3577	
足立区	和田小児科医院	和田 紀之	121-0812	足立区西保木間2-15-23	03-3884-2301	○
足立区	曙町クリニック	泉田 京子	120-0023	足立区千住曙町41-2-107	03-3879-9116	
足立区	日比谷医院	日比谷 一郎	121-0011	足立区中央本町5-5-27	03-3889-4601	
足立区	ちばこどもクリニック	千葉 康之	121-0801	足立区東伊興1-12-16	03-3857-0222	
足立区	三原小児科医院	三原 章	123-0857	足立区本木北町14-6	03-3890-0205	
足立区	勝楽堂病院	芦田 光則	120-0032	足立区千住柳町5-1	03-3881-0137	
足立区	梅津クリニック	梅津 亮二	120-0005	足立区綾瀬3-15-20 遠藤ビル2F	03-5616-8214	
足立区	中島小児科	中島 正樹	120-0015	足立区足立4-41-6	03-3852-5241	
足立区	中西医院	中西 隆	123-0852	足立区関原3-44-7	03-3852-1122	
足立区	千葉小児科内科医院	千葉 昭典	121-0061	足立区花畑7-14-9	03-3850-8523	

備考欄に「○」の表示がある医療機関は、病原体定点を兼ねる。

備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
足立	しみず医院	清水 博史	121-0823	足立区伊興3-18-21	03-5691-1212	
足立	師田こども内科クリニック	師田 基	121-0801	足立区東伊興3-2-7	03-3897-7320	
足立	木村小児科クリニック	木村 康子	121-0816	足立区梅島3-32-24 第一矢野新ビル2階	03-3889-1187	
葛飾区	伊藤メディカルクリニック	伊藤 民恵	124-0006	葛飾区堀切4-57-5	03-3602-4205	2022年9月30日まで
葛飾区	高橋小児科医院	高橋 紀久雄	124-0023	葛飾区東新小岩5-17-1	03-3692-3021	
葛飾区	菊島小児科医院	菊島 秀丸	124-0013	葛飾区東立石3-24-16	03-3697-1556	
葛飾区	的場医院	伊藤 隆一	125-0042	葛飾区金町6-13-9	03-3607-0517	
葛飾区	永寿堂医院	松永 貞一	125-0061	葛飾区亀有3-43-5	03-3604-2101	○
葛飾区	白井医院	白井 泰生	124-0024	葛飾区新小岩1-37-11	03-3653-5774	
葛飾区	三尾医院	三尾 仁	125-0041	葛飾区東金町3-16-12	03-3607-2917	
葛飾区	かめありこどもクリニック	角田 由里	125-0061	葛飾区亀有3-14-9 プリムロウズ島田2階	03-3602-3206	
江戸川	医療法人社団愛児会 南小岩クリニック	渡邊 直哉	133-0056	江戸川区南小岩7-5-18	03-3657-2982	
江戸川	小松川医院	田崎 ゆき	132-0025	江戸川区松江3-12-13	03-3651-0057	
江戸川	久田医院	久田 和子	132-0035	江戸川区平井1-27-7	03-3681-0081	
江戸川	医療法人社団結草会 みやのこどもクリニック	宮野 孝一	134-0085	江戸川区南葛西2-18-27	03-3869-4133	
江戸川	医療法人社団 なかにし小児科クリニック	中西 茂則	134-0088	江戸川区西葛西5-1-8 トーショービル1F	03-3675-6678	
江戸川	医療法人社団向日葵会 まつしま病院	山脇 真智	132-0031	江戸川区松島1-41-29	03-3653-5541	
江戸川	医療法人社団多仁会 はるやま小児科・アレルギー科	春山 次男	133-0065	江戸川区南篠崎町2-10-1 カームコート1F	03-3679-1188	
江戸川	千葉クリニック	千葉 友幸	132-0024	江戸川区一之江8-19-6 彦新ビル1階	03-3651-8833	○
江戸川	星田小児科クリニック	星田 宏	134-0083	江戸川区中葛西2-3-10	03-3680-2028	
江戸川	医療法人社団晶和会 本橋医院	本橋 俊和	132-0024	江戸川区一之江8-15-1 エクセルイッチノエ1A	03-5662-8755	
江戸川	医療法人社団永幸会 ながきこどもクリニック	永木 幸子	133-0051	江戸川区北小岩6-15-5 小岩メディカルセンター新館3F	03-5612-0661	
江戸川	医療法人社団志越会 アンヌ小児科	布上 孝志	133-0071	江戸川区東松本1-14-9	03-3672-1071	
八王子市	加地医院	加地 はるみ	193-0816	八王子市大薬寺町137	042-651-5341	○
八王子市	まつもと小児・ アレルギークリニック	松本 勉	192-0364	八王子市南大沢2-2 パオレ5F	042-679-6051	
八王子市	のま小児科	野間 清司	192-0916	八王子市みなみ野3-1-8	042-632-7327	
八王子市	京王八王子クリニック	末松 隆二	192-0046	八王子市明神町4-7-14 八王子ONビル2F	042-645-7878	
八王子市	北野小児科	畑岸 達也	192-0906	八王子市北野町545-3 きたのタウン6F	042-645-8715	
八王子市	加藤醫院	加藤 直樹	192-0919	八王子市七国4-9-3	042-632-7950	
八王子市	なかよしこどもクリニック	朝長 香	192-0355	八王子市堀之内2-6-5 森本ビル201	042-679-6778	
八王子市	こどもクリニック南大沢	保坂 暁子	192-0364	八王子市南大沢2-27 フレスコ南大沢4F	042-670-8700	
八王子市	はしもと小児科	橋本 政樹	193-0942	八王子市櫛田町557-3	042-668-8555	
八王子市	ノアこどもクリニック	森脇 弘隆	192-0903	八王子市万町175-1	042-624-8888	
八王子市	スマイルこどもクリニック	三輪 久美子	193-0832	八王子市散田町5-4-20	042-661-5529	
町田市	風の子こどもクリニック	風張 眞由美	194-0015	町田市金森東1-25-29 金森メディカルプラザA-2	042-851-8630	
町田市	はやしクリニック	林 泉彦	194-0035	町田市忠生2-28-7	042-793-3055	○
町田市	やもりこどもクリニック	矢守 利次	195-0057	町田市真光寺2-37-11 鶴川台メディカルヴィレッジ 総合棟1F-A	042-737-3675	

備考欄に「○」の表示がある医療機関は、病原体定点を兼ねる。

備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
町田市	しのはら小児クリニック	石黒 寛之	194-0003	町田市小川1-2-8	042-795-3003	
町田市	キッズクリニック智	渡邊 智子	194-0211	町田市相原町1652-1	042-700-6315	
町田市	豊川小児科内科医院	豊川 達記	194-0001	町田市つくし野2-18-18	042-795-4465	
町田市	村野小児科アレルギー科	村野 浩太郎	196-0063	町田市野津町1083	042-735-5777	
町田市	やすだこどもクリニック	保田 由喜治	194-0032	町田市本町田920-1	042-725-9056	
西多摩	笹本医院	笹本 光信	198-0084	青梅市住江町58	0428-24-3955	
西多摩	わかくさ医院	道佛 雅克	205-0001	羽村市小作台2-7-16	042-579-0311	
西多摩	星野小児科内科クリニック	星野 誠	197-0822	あきる野市小川東1-19-20-1	042-559-7332	○
西多摩	鈴木内科	鈴木 道彦	190-0163	あきる野市館谷156	042-596-2307	
西多摩	ばば子どもクリニック	馬場 一徳	205-0011	羽村市五ノ神352-22	042-555-3788	
西多摩	ナルケンキッズクリニック	成井 研治	198-0036	青梅市河辺町4-20-4	0428-21-0252	
西多摩	大堀医院	大堀 洋一	198-0023	青梅市今井5-2440-159	0428-31-9098	
西多摩	東福生むさしの台クリニック	川島 雅之	197-0013	福生市武蔵野台1-1-7 センチュリー武蔵野台1F	042-539-1223	
南多摩	須賀小児科	須賀 康正	191-0031	日野市高幡328	042-593-7888	
南多摩	佐々木クリニック多摩平	進藤 朝子	191-0062	日野市多摩平1-8-10	042-585-2591	
南多摩	こどもクリニックしみず	清水 伸泰	206-0034	多摩市鶴牧1-24-1 新都心センタービル3F	042-373-0512	○
南多摩	桜井医院	桜井 健彦	206-0811	稲城市押立1254-1	042-378-3224	
南多摩	牛尾医院	牛尾 方信	191-0043	日野市平山6-5-13	042-591-2001	
南多摩	おおしろクリニック	大城 清彦	191-0016	日野市神明3-6-16 アメニティ明和館1F-1	042-589-6780	
南多摩	唐木田こどもクリニック	飛田 正俊	206-0035	多摩市唐木田1-53-9 唐木田センタービル2C	042-355-8505	
南多摩	まえはら小児科	前原 幸治	206-0011	多摩市関戸4-72 聖蹟桜ヶ丘オーパ5F	042-374-5028	
南多摩	平尾内科クリニック	竹田 有為子	206-0823	稲城市平尾3-7-26	042-331-8221	
多摩立川	野上医院	五十嵐 弥生	190-0021	立川市羽衣町2-42-7	042-522-6010	○
多摩立川	内野産婦人科外科小児科	内野 孝子	186-0002	国立市東1-8-6 メディカルセンター	042-580-0112	
多摩立川	藤田医院	藤田 仁	208-0031	武蔵村山市岸1-25-1	042-560-0363	○
多摩立川	太陽こども病院	木内 巻男	196-0003	昭島市松原町1-2-1	042-544-7511	
多摩立川	医療法人社団瑞涼会 くぼしまこどもクリニック	久保嶋 慎二	185-0024	国分寺市泉町2-9-3 ハートフルビル西晴3F	042-300-1801	
多摩立川	まつなかクリニック	目黒 隆毅	190-0034	立川市西砂町6-6-16	042-520-1234	
多摩立川	さいわいこどもクリニック	平野 静香	190-0002	立川市幸町1-11-3	042-536-7280	○
多摩立川	大田医院	大田 眞也	196-0022	昭島市中神町1237	042-541-0311	
多摩立川	マシュマロこどもクリニック	富士川 善直	185-0003	国分寺市戸倉4-45-5	042-320-1155	
多摩立川	くろさわ子ども&内科クリニック	黒澤 サト子	180-0011	国分寺市本多3-7-25	042-323-9630	○
多摩立川	大久保医院	新井 ゆみ	186-0011	国立市谷保7224	042-572-7775	2022年1月31日まで
多摩立川	ヒバリこどもクリニック	青木 菜穂	186-0003	国立市富士見台3-1-15 2F	042-505-6017	2022年2月1日から
多摩立川	有村クリニック	有村 章	207-0014	東大和市南街4-10-6	042-590-0377	
多摩立川	さくらこどもクリニック	野口 幸男	207-0023	東大和市上北台3-393-1	042-566-8177	
多摩立川	伊奈平南クリニック	田中 こずえ	208-0023	武蔵村山市伊奈平4-4-1	042-560-1311	
多摩府中	ささもとこどもクリニック	笹本 和広	182-0036	調布市飛田給1-41-5 T・Oビル2F	042-498-4153	
多摩府中	いいこどもクリニック	石井 敏夫	182-0021	調布市調布ヶ丘3-19-12	042-483-0101	
多摩府中	松本医院	三室 知子	180-0002	武蔵野市吉祥寺東町1-23-3	0422-22-5755	
多摩府中	おぎわらこどもクリニック	荻原 篤	180-0006	武蔵野市中町3-3-2	0422-60-5177	

備考欄に「○」の表示がある医療機関は、病原体定点を兼ねる。
備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
多摩府中	きたのこどもクリニック	内藤 英紀	181-0003	三鷹市北野4-12-17 きたのメディカルパーク1階	0422-70-4150	
多摩府中	若林医院	若林 研司	181-0001	三鷹市井の頭4-16-10	0422-43-0526	
多摩府中	まつおか小児クリニック	松岡 典子	183-0034	府中市寿町2-4-42 コープ府中3F	042-319-1020	○
多摩府中	東小金井駅前こどもクリニック	道下 崇史	184-0002	小金井市梶野町5-3-25-209 クリオ東小金井パークフロント	042-387-1030	
多摩府中	石戸谷小児科	石戸谷 尚子	201-0012	狛江市中和泉1-1-1 狛江YSビル4F	03-3430-1070	
多摩府中	長谷川小児科医院	長谷川 正子	180-0001	武蔵野市吉祥寺北町2-8-5	0422-22-6804	
多摩府中	渡辺こどもクリニック	渡邊 直幸	181-0013	三鷹市下連雀9-5-1 泰成マンション1F	0422-41-1550	
多摩府中	つちや小児科	土屋 正己	181-0013	三鷹市下連雀4-16-11	0422-40-1488	
多摩府中	さくらんぼこどもクリニック	三日市 薫	183-0026	府中市南町4-43-1	042-340-8288	
多摩府中	おき医院	隠岐 直紀	183-0011	府中市白糸台5-24-1	042-354-1277	
多摩府中	日野クリニック	日野 佳昭	183-0034	府中市住吉町2-15-9	042-330-3600	
多摩府中	すみれクリニック	繁友 律子	183-0021	府中市片町3-26-14	042-401-8461	
多摩府中	野々田小児科内科	野々田 真	183-0013	府中市小柳町3-32-26	042-369-2561	
多摩府中	佐々木こどもクリニック	佐々木 伸彦	182-0006	調布市西つつじヶ丘3-37-2 横田ファイブ107	042-487-2433	
多摩府中	麻生こどもクリニック	麻生 泰二	182-0026	調布市小島町1-5-6 アールアンドエスビル3F	042-480-7810	
多摩府中	三枝耳鼻咽喉科・小児科医院	三枝 歌子	184-0004	小金井市本町5-19-32 三枝ビル2F	042-381-8221	
多摩府中	神保クリニック小児科	神保 修	201-0003	狛江市和泉本町1-2-13	03-3430-2818	
多摩小平	清水小児科内科医院	清水 達也	187-0001	小平市大沼町4-43-32	042-343-2255	
多摩小平	わかばこどもクリニック	渡邊 孫衛	189-0024	東村山市富士見町3-13-14	042-390-2700	
多摩小平	大塚小児科アレルギー科 クリニック	大塚 武	203-0053	東久留米市本町3-1-23	042-479-7300	
多摩小平	すぎはらこどもクリニック	杉原 聡	188-0004	西東京市西原町5-1-17	042-451-8680	
多摩小平	斉藤小児科内科クリニック	斉藤 喜親	202-0004	西東京市下保谷4-2-21	042-421-7201	
多摩小平	鈴木小児科内科医院	鈴木 昌和	187-0045	小平市学園西町2-11-28	042-341-0353	○
多摩小平	中山小児科医院	中山 康子	187-0011	小平市鈴木町1-30-20	042-322-1231	2022年3月31日まで
	はなこキッズクリニック	吉田 知広	187-0011	小平市鈴木町2-865-97	042-401-1230	2022年5月1日から
多摩小平	ちあきこどもクリニック	辻 千秋	187-0034	小平市栄町2-3-7	042-349-2012	
多摩小平	武こどもクリニック	深堀 俊彦	189-0013	東村山市栄町2-32-20-201	042-397-3374	○
多摩小平	あきつこどもクリニック	村上 綾子	189-0001	東村山市秋津町4-31-16	042-390-1150	
多摩小平	いくせ医院	木村 憲人	203-0013	東久留米市新川町1-4-18 わかさとビル1F	042-471-2304	
多摩小平	ひばりこどもクリニック	高山 順	188-0001	西東京市谷戸町3-11-9 長谷川ビル1F	042-438-8824	2022年3月31日まで
	ひばりが丘やまね 小児科アレルギー科	山根 慎治	188-0001	西東京市谷戸町2-1-41 ひばりが丘南メディカルスクエア1F	042-469-3636	2022年4月1日から
多摩小平	すくすくkidsクリニック	高田 佳宜	188-0012	西東京市南町5-9-17	042-451-3027	
多摩小平	廣橋小児科・内科医院	廣橋 尚武	204-0021	清瀬市元町1-5-3	042-493-7400	2022年1月1日から
島しょ	大島医療センター	清水 忠典	100-0101	大島町元町3-2-9	04992-2-2345	

備考欄に「○」の表示がある医療機関は、病原体定点を兼ねる。
備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる。

2023年変更医療機関

2023年4月1日 現在

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
新宿区	若松皮ふ科子どもクリニック	津田 晃男	162-0055	新宿区余丁町10-8 第2浜崎ビル2階	03-3225-5780	2023年4月1日から
大田区	加藤内科小児科医院	加藤 瑞規	146-0093	大田区矢口1-19-25	03-3759-6169	2023年3月31日まで
	医療法人社団 多摩おやこクリニック	川口 邦彦	146-0092	大田区下丸子3-8-8 2F	03-6715-2223	2023年4月1日から
世田谷	田宮小児科アレルギー科医院	田宮 貞和	156-0052	世田谷区経堂5-21-3	03-3427-7974	2023年3月31日まで
	矢野こどもクリニック	矢野 一郎	156-0051	世田谷区宮坂3-13-6 経堂すずらん会館1F	03-5426-2877	2023年4月1日から
北区	中山医院	伊藤 佳子	114-0016	北区上中里1-17-8	03-3910-6805	2023年3月31日まで
	霜降橋こどもクリニック	柳澤 敦広	114-0024	北区西ヶ原1-6-5 アフニイ駒込2F	03-3576-2525	2023年4月1日から
葛飾区	お花茶屋こどもクリニック	永友 祥子	124-0005	葛飾区宝町2-34-13-115	03-5654-9462	2023年3月1日から
葛飾区	永寿堂医院	松永 貞一	125-0061	葛飾区亀有3-43-5	03-3604-2101	○ 2023年3月31日まで
	医療法人社団双樹敬仁会 青戸キッズクリニック	宍倉 章浩	125-0062	葛飾区青戸3-41-11 中山ビル1階	03-5650-6500	2023年4月1日から
	三尾医院	三尾 仁	125-0041	葛飾区東金町3-16-12	03-3607-2917	○ 2023年4月1日から 病原体定点の追加指定
多摩小平	廣橋小児科・内科医院	廣橋 尚武	204-0021	清瀬市元町1-5-3	042-493-7400	2022年12月31日まで
	武蔵野総合クリニック	守山 典宏	204-0021	清瀬市元町1-8-30	042-496-7015	2023年1月1日から

備考欄に「○」の表示がある医療機関は、病原体定点を兼ねる。
備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる。

内科 (155定点)

2022年12月31日において、内科155定点のうち2医療機関が未選定である。

2022年12月31日 現在

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
千代田	神田診療所	高橋 泰人	101-0047	千代田区内神田2-8-14	03-3256-0086	
中央区	松本内科院	松本 章一	104-0031	中央区京橋2-11-5-5F	03-4405-7480	
中央区	中央内科クリニック	村松 弘康	103-0013	中央区日本橋人形町2-7-8	03-3668-0088	
みなと	馬場クリニック	馬場 繁二	106-0045	港区麻布十番2-13-2	03-3454-7788	
みなと	もとやまクリニック	元山 幹雄	108-0072	港区白金1-8-9	03-3473-2866	
みなと	新田町ビル診療所	坪田 淳	108-0014	港区芝5-34-6 新田町ビル2F	03-3451-2619	
新宿区	高橋医院	高橋 秀和	169-0074	新宿区北新宿3-21-8	03-3371-8064	
新宿区	早稲田クリニック	小西 洋之	162-0045	新宿区馬場下町10 早稲田レストハイツ2F	03-3208-2007	
新宿区	石井外科	石井 正彌	162-0065	新宿区住吉町8-2	03-3351-9338	
新宿区	磯貝クリニック	磯貝 祐貴子	169-0051	新宿区西早稲田2-4-8	03-3232-1776	
文京	八千代診療所	井上 博和	113-0001	文京区白山1-5-8	03-3811-4519	
文京	森谷医院	森谷 茂樹	113-0022	文京区千駄木5-43-11	03-3821-0128	
文京	大橋内科クリニック	大橋 誠	113-0024	文京区西片2-15-11	03-5842-8670	
台東	関戸クリニック	関戸 俊樹	111-0035	台東区西浅草2-14-3	03-3844-8666	
台東	城所医院	城所 功文	110-0014	台東区北上野2-26-5	03-3844-0510	○
台東	かとう医院	加藤 元浩	110-0003	台東区根岸3-12-14	03-5603-7161	
墨田区	大室医院	大室 博之	130-0012	墨田区太平3-2-7	03-3622-0629	
墨田区	東京曳舟病院	古城 資久	131-0032	墨田区東向島2-27-1	03-5655-1120	
墨田区	さとう内科クリニック	佐藤 和子	130-0004	墨田区本所4-13-3-1F	03-5819-6505	○
江東区	小林クリニック	小林 功	136-0072	江東区大島4-1-6-105	03-3684-0481	
江東区	みやたけクリニック	宮武 俊秀	136-0074	江東区東砂4-23-6	03-5677-3232	
江東区	大陽ビルクリニック	中木 基江	135-0016	江東区東陽3-23-6 大陽ビル102	03-5635-5715	
江東区	望月内科クリニック	望月 俊男	135-0005	江東区高橋13-2 ヴィラロイヤル森下1F	03-5669-1531	
江東区	辰巳中央診療所	鳴海 章人	135-0053	江東区辰巳1-9-49-102	03-3521-0163	
品川区	白井クリニック	白井 寛	140-0014	品川区大井2-4-1	03-3771-7265	
品川区	さとうクリニック	佐藤 慶一	140-0004	品川区南品川2-17-25	03-3450-0010	
品川区	遠藤医院	遠藤 紀雄	141-0021	品川区上大崎2-24-13-305	03-3492-6422	
品川区	青柳医院	青柳 豊	142-0042	品川区豊町1-4-15	03-3788-0801	
目黒区	駒場クリニック	下津浦 末博	153-0041	目黒区駒場2-4-5	03-6279-7557	
目黒区	清水クリニック	清水 泰樹	153-0051	目黒区上目黒5-19-40	03-3715-3290	
目黒区	阿部医院	清水 恵一郎	152-0032	目黒区平町2-5-7	03-3717-2288	
大田区	テクノポートクリニック	宮島 良征	144-0035	大田区南蒲田2-16-1 トキメックビル別館2F	03-5703-5522	
大田区	馬込中央診療所	寺門 節雄	143-0027	大田区中馬込1-5-8	03-3775-5631	
大田区	北條医院	北條 稔	143-0016	大田区大森北3-4-5	03-3768-0066	○
大田区	井出内科クリニック	井出 雅生	146-0092	大田区下丸子3-13-11	03-3757-2484	
大田区	松坂医院	松坂 聡	144-0047	大田区萩中1-6-28	03-3741-0985	
大田区	溝谷医院	溝谷 弘成	143-0012	大田区大森東2-1-4	03-3763-7371	
大田区	並木医院	並木 敦也	145-0065	大田区東雪谷5-27-13	03-3720-8041	
大田区	せせらぎクリニック多摩川	富塚 太郎	145-0071	大田区田園調布1-33-3	03-5755-5207	
世田谷	菅澤医院	菅澤 正明	158-0091	世田谷区中町4-31-13	03-3701-1650	

備考欄に「○」の表示がある医療機関は、病原体定点を兼ねる。

備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
世田谷	世田谷北部病院	下田 重人	157-0062	世田谷区南烏山2-9-17	03-3308-5221	○
世田谷	幸野メディカルクリニック	幸野 敬子	157-0072	世田谷区祖師谷3-30-28	03-3483-1808	
世田谷	竹川内科医院	竹川 享	156-0051	世田谷区宮坂1-41-20	03-3706-2341	
世田谷	医療法人社団 シンセリティ いなみ内科クリニック	稲見 真木子	154-0024	世田谷区三軒茶屋1-13-7 三茶JOYビル2F	03-3413-1730	
世田谷	こうらクリニック	児浦 利哉	154-0021	世田谷区豪徳寺1-23-22	03-3425-2333	
世田谷	高橋医院	高橋 由光	158-0094	世田谷区玉川3-23-22	03-3700-0232	
世田谷	荏原医院	荏原 包臣	158-0097	世田谷区用賀4-13-11	03-3700-0135	
世田谷	西島内科クリニック	西島 敬之郎	157-0068	世田谷区宇奈根3-1-21	03-5494-2020	
渋谷区	小林医院	小林 晴二郎	151-0064	渋谷区上原1-23-1	03-3467-3577	
渋谷区	医療法人社団 しおぎき内科	塩崎 正英	150-0002	渋谷区渋谷1-7-5 青山セブンハイツ2F	03-5485-3123	○
渋谷区	渡辺クリニック	渡辺 豊	151-0071	渋谷区本町3-10-3-202	03-3375-7361	
中野区	大場診療所	渡辺 茂	165-0034	中野区大和町3-40-6	03-3330-0073	
中野区	山田クリニック	山田 千津子	165-0026	中野区新井2-6-10	03-3386-0415	
中野区	東中野クリニック	飯国 紀一郎	164-0003	中野区東中野1-58-12	03-3361-2732	
中野区	溝口医院	溝口 雅康	164-0013	中野区弥生町2-12-9	03-3372-0035	
杉並	藤多クリニック	藤多 和義	167-0043	杉並区上荻1-9-1	03-3392-8811	
杉並	富士見丘医院	加茂 隆	168-0082	杉並区久我山5-20-1	03-3332-2401	○
杉並	河合内科クリニック	河合 章	167-0043	杉並区上荻3-1-11	03-3399-8563	
杉並	内山クリニック	内山 克己	168-0063	杉並区和泉3-6-2	03-5355-3535	
杉並	石井こども・内科循環器科 クリニック	石井 哲哉	166-0014	杉並区松ノ木1-6-21	03-3314-5677	
杉並	清水内科クリニック	清水 聡	166-0003	杉並区高円寺南1-7-4	03-3318-2431	
池袋	武藤クリニック	武藤 敬	171-0051	豊島区長崎1-22-11	03-3957-7065	
池袋	山下診療所大塚	山下 巖	170-0004	豊島区北大塚2-13-1 GHYビル5F	03-3910-6711	
池袋	目白おかの内科	岡野 晃	171-0031	豊島区目白3-16-15 茜ビル1F	03-5988-3363	
北区	青木内科クリニック	青木 薫	114-0024	北区西ヶ原1-46-17 旭レヂデンス1F	03-5961-1855	
北区	共和堂医院	増田 幹生	114-0001	北区東十条2-5-1	03-3911-0665	
北区	王子神谷齋藤クリニック	齋藤 広重	114-0003	北区豊島8-24-4	03-3911-5433	
北区	医療法人社団景星会赤羽 赤羽東口病院	河 一京	115-0045	北区赤羽1-38-5	03-3902-2131	
荒川区	水野クリニック	稲富 由香	116-0002	荒川区荒川1-49-2 サクラハイツ2F	03-3891-0219	
荒川区	南千住つのだ医院	角田 太郎	116-0003	荒川区南千住6-65-12	03-3802-0023	2022年1月1日から
荒川区	東京リバーサイド病院	坂井 暢子	116-0003	荒川区南千住8-4-4	03-5850-0311	
板橋区	平山医院	平山 貴度	174-0064	板橋区中台1-46-3	03-3932-3598	
板橋区	岡部医院	岡部 洋太郎	173-0004	板橋区板橋3-37-1	03-3961-0416	
板橋区	天木診療所	天木 聡	174-0053	板橋区清水町47-7	03-3961-3913	○
板橋区	高島平東口クリニック	梅原 有弘	175-0082	板橋区高島平8-5-10 MAビル3F	03-3933-1213	
板橋区	伊藤内科小児科クリニック	伊藤 景樹	175-0094	板橋区成増1-17-10	03-3930-5114	
板橋区	多比良医院	多比良 清	175-0094	板橋区成増4-13-2	03-3975-8139	
練馬区	川邊内科	川邊 敏之	177-0044	練馬区上石神井2-26-15	03-3920-6810	○
練馬区	医療法人社団健康文化会 練馬第一診療所	芹沢 憲一	179-0083	練馬区平和台4-20-16	03-3933-8957	
練馬区	すずしろ医療生活協同組合 すずしろ診療所	泉 智子	176-0001	練馬区練馬1-15-1 堀越ビル2階	03-3557-1131	

備考欄に「○」の表示がある医療機関は、病原体定点を兼ねる。

備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
練馬区	医療法人社団 金谷クリニック	金谷 斎	179-0072	練馬区光が丘2-4-11-102	03-3979-2331	
練馬区	豊島医院	豊島 良一	177-0041	練馬区石神井町1-22-8	03-3996-0014	
練馬区	医療法人社団安和会 若井内科・呼吸器科	若井 安理	178-0061	練馬区大泉学園町7-15-16 ハナブサ第一ビル3階	03-5933-2011	
練馬区	長嶺医院	稲田 直行	178-0063	練馬区東大泉7-7-9	03-3922-6122	2022年9月30日まで
練馬区	水谷内科呼吸器科クリニック	水谷 清二	178-0063	練馬区東大泉6-51-4 TKマンション1F	03-3867-8141	
足立	城北診療所	山村 彰義	123-0852	足立区関原2-38-21	03-3840-5474	2022年10月31日まで
足立	久勝医院	久勝 章司	120-0013	足立区弘道2-1-3	03-3889-4714	
足立	健愛クリニック	眞鍋 光	120-0023	足立区千住曙町37-8	03-5813-1805	
足立	山一ビル内科クリニック	有野 亨	121-0815	足立区島根3-8-1 山一ビル島根II 1F	03-3884-8888	
足立	天沼医院	天沼 満	121-0812	足立区西保木間4-5-14-2	03-3883-8855	
足立	佐々木医院	佐々木 照	120-0005	足立区綾瀬2-26-17	03-5680-0566	
足立	旭医院	青木 哲	120-0026	足立区千住旭町9-15	03-3888-3508	
葛飾区	吉川内科医院	吉川 昌一	125-0063	葛飾区白鳥3-31-2-101	03-3602-8723	
葛飾区	遠藤医院	遠藤 啓一郎	125-0052	葛飾区柴又3-12-18	03-3607-1636	
葛飾区	富田医院	富田 秀人	124-0022	葛飾区奥戸5-1-18	03-3692-3026	
葛飾区	久保島医院	久保嶋 康仁	124-0001	葛飾区小菅2-25-10	03-3602-2746	
葛飾区	猪口医院	猪口 幸子	125-0052	葛飾区柴又4-6-14	03-5693-1511	
江戸川	医療法人社団 同愛会病院	椿 浩司	132-0031	江戸川区松島1-42-21	03-3654-3311	
江戸川	医療法人社団美友梨会 福田クリニック	福田 徹	133-0065	江戸川区南篠崎町2-38-13	03-3679-2011	
江戸川	医療法人社団黄耆会 京谷医院	京谷 淳	133-0051	江戸川区北小岩6-17-7	03-3671-8103	
江戸川	医療法人社団孝仁会 小暮医院	小暮 堅三	133-0042	江戸川区興宮町16-13	03-3653-5347	
江戸川	中川医院	中川 陽之	132-0034	江戸川区小松川3-75-3	03-3684-2534	
江戸川	医療法人社団 葛西中央病院	土谷 明男	134-0091	江戸川区船堀7-10-3	03-3680-8121	
江戸川	恵仁堂医院	山上 恵一	133-0052	江戸川区東小岩4-10-5	03-3657-4416	○
八王子市	秋山内科医院	秋山 幸久	192-0904	八王子市子安町1-32-7	042-643-0212	
八王子市	京王八王子駅前診療所	田中 光彦	192-0046	八王子市明神町4-7-1 京王駅前ビル5F	042-645-8228	○
八王子市	近藤内科医院	近藤 一英	193-0824	八王子市長房町1502-30	042-661-6035	
八王子市	遠山内科・循環器クリニック	遠山 博	192-0916	八王子市みなみ野2-16-3 モンパルテ1F	042-632-8033	
八王子市	伊藤内科消化器医院	伊藤 均	192-0045	八王子市大和田町4-15-14	042-642-6734	
八王子市	南大沢クリニック	佐々木 容三	192-0364	八王子市南大沢5-14-4-1	042-674-7766	
八王子市	横川内科クリニック	島村 嘉一	192-0823	八王子市横川町550-23 矢野ビル1F	042-625-7711	
町田市	こばやし医院	小林 信正	194-0012	町田市金森1-26-15	042-726-3431	
町田市	中村クリニック	中村 豊	194-0036	町田市木曽東3-20-28	042-792-0033	
町田市	泰生医院	金沢 健雅	194-0212	町田市小山町2470-5	042-797-7423	
町田市	成田クリニック	成田 雅弘	194-0011	町田市成瀬ヶ丘2-23-16	042-795-1281	○
町田市	はやし内科クリニック	林 淳弘	195-0057	町田市真光寺2-37-11	042-736-5501	
西多摩	福生クリニック	玉木 一弘	197-0012	福生市加美平3-35-13	042-551-2312	
西多摩	日の出ヶ丘病院	河原 和夫	190-0181	日の出町大久野310	042-597-0811	
西多摩	片平医院	片平 潤一	198-0036	青梅市河辺町10-16-20	0428-21-1741	○
西多摩	近藤医院	近藤 之暢	197-0827	あきる野市油平35	042-558-0506	
西多摩	双葉クリニック	松崎 潤	205-0022	羽村市双葉町1-1-15	042-570-1588	
西多摩	石畑診療所	小林 康弘	190-1211	瑞穂町石畑207	042-557-0072	

備考欄に「○」の表示がある医療機関は、病原体定点を兼ねる。

備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
南多摩	斉藤内科呼吸器科	斉藤 宣照	206-0025	多摩市永山4-2-6-202	042-373-2522	
南多摩	土方クリニック	土方 英史	191-0024	日野市万願寺1-13-1	042-587-7171	
南多摩	中川クリニック	中川 均	191-0041	日野市南平7-18-11	042-594-0313	
南多摩	やはの内科・胃腸科クリニック	矢羽野 壮光	206-0011	多摩市関戸1-11-9 桜ヶ丘富沢ビル6F	042-356-3761	
南多摩	長峰クリニック	武井 滋	206-0821	稲城市長峰2-2-2	042-350-7171	
多摩立川	唯善クリニック 内科・呼吸器内科	竹口 甲三	190-0013	立川市富士見町1-34-9-1F	042-527-6711	
多摩立川	平田循環器・内科	平田 俊吉	190-0002	立川市幸町2-45-9	042-537-4850	○ 2022年10月31日まで
	藤井医院	藤井 恵太	190-0003	立川市栄町5-22-6	042-536-1702	○ 2022年11月1日から
多摩立川	まことクリニック	腰塚 誠二	196-0003	昭島市松原町2-9-1	042-546-2800	
多摩立川	国分寺内科中央病院	松本 めぐみ	185-0022	国分寺市東元町2-3-19	042-322-0131	
多摩立川	新田クリニック	新田 國夫	186-0005	国立市西2-26-29	042-574-3355	
多摩立川	半田医院	半田 宏一	208-0013	武蔵村山市大南3-54-16	042-564-8649	
多摩立川	高橋医院	高橋 英樹	207-0021	東大和市立野2-3-17	042-565-7001	
多摩府中	赤須内科クリニック	赤須 文彰	183-0006	府中市緑町2-17-9	042-334-0780	
多摩府中	小林内科	小林 肇	182-0035	調布市上石原2-30-22	042-482-8623	
多摩府中	田原医院	田原 順雄	180-0014	武蔵野市関前3-3-9	0422-51-8458	
多摩府中	渡辺医院	渡辺 滋	180-0004	武蔵野市吉祥寺本町4-7-9	0422-22-8937	
多摩府中	岡庭医院	岡庭 孝	181-0001	三鷹市井の頭3-21-16	0422-43-8367	
多摩府中	いりえ内科クリニック	入江 哲也	181-0003	三鷹市北野4-5-30 キューブコート鳥山101号	03-5314-3577	
多摩府中	府中よつやクリニック	市川 雅	183-0035	府中市四谷3-37-14	042-336-7222	
多摩府中	仙川さとうクリニック	佐藤 正邦	182-0002	調布市仙川町2-18-15 メゾン仙川1F	03-5315-7373	
多摩府中	武蔵小金井クリニック	金光 寛承	184-0004	小金井市本町5-19-33	042-384-0080	
多摩府中	柏田内科クリニック	柏田 和子	201-0001	狛江市西野川1-15-19	03-3430-0222	○
多摩府中	中村内科クリニック	中村 公彦	183-0031	府中市西府町2-12-1	042-362-2112	
多摩府中	辻医院	荒井 敏	182-0034	調布市下石原3-60-4	042-482-2891	
多摩小平	松岡内科クリニック	松岡 緑郎	187-0002	小平市花小金井1-1-11 エメラルドビル3F	042-426-8080	
多摩小平	高橋内科クリニック	高橋 英二	189-0011	東村山市恩多町4-1-23	042-395-3553	
多摩小平	水谷医院	水谷 良子	189-0013	東村山市栄町1-13-1	042-390-5522	
多摩小平	宮本医院	宮本 兼吾	204-0022	清瀬市松山1-42-6	042-491-0547	
多摩小平	山口内科・呼吸器科クリニック	山口 規夫	203-0053	東久留米市本町3-12-2	042-472-2386	○
多摩小平	廣川クリニック	廣川 豊	202-0012	西東京市東町4-8-28 JUN西東京市101	042-425-6476	
多摩小平	保谷内科・呼吸器科クリニック	保谷 功	202-0005	西東京市住吉町6-1-26	042-458-7870	
多摩小平	井上内科クリニック	井上 玄	187-0042	小平市仲町268-6 サライ仲町102	042-342-0056	
島しょ	小笠原村診療所	野沢 有二	100-2101	小笠原村父島清瀬	04998-2-3800	

備考欄に「○」の表示がある医療機関は、病原体定点を兼ねる。
備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる。

2023年変更医療機関

2023年4月1日 現在

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
渋谷区	医療法人社団晴梢会 小林医院	小林 晴二郎	151-0064	渋谷区上原1-23-1	03-3467-3577	2023年3月31日まで
	医療法人社団恵比寿会 淳クリニック	内藤 淳	150-0021	渋谷区恵比寿西1-14-2 ツムラビル201	03-5489-0463	2023年4月1日から
渋谷区	渡辺クリニック	渡辺 豊	151-0071	渋谷区本町3-10-3-202	03-3375-7361	2023年3月31日まで
	医療法人社団慶照会 幡ヶ谷内科クリニック	蜂谷 朗彦	151-0072	渋谷区幡ヶ谷2-16-8	03-3373-4810	2023年4月1日から
板橋区	伊藤内科小児科クリニック	伊藤 景樹	175-0094	板橋区成増1-17-10	03-3930-5114	2023年3月31日まで
	赤塚新町クリニック	塩原 康正	175-0093	板橋区赤塚新町2-5-16 ヴィルヌーヴ赤塚1F	03-6915-6617	2023年4月1日から
練馬区	豊島医院	豊島 良一	177-0041	練馬区石神井町1-22-8	03-3996-0014	2023年2月28日まで
	じんの内科医院	神野 悟	179-8884	練馬区氷川台3-24-21	03-5922-6171	2023年3月1日から
練馬区	医療法人社団昌泉会 やすひさ内科クリニック	安久 昌吾	170-0063	練馬区東大泉5-40-24 サンダリオンビル1F	03-3922-8922	2023年3月1日から
多摩府中	武蔵小金井クリニック	金光 寛承	184-0004	小金井市本町5-19-33	042-384-0080	2023年3月31日まで
	小金井メディカルクリニック	三澤 多真子	184-0004	小金井市本町5-15-9 栄ハイツエクシード2階	042-401-2938	2023年4月1日から
多摩小平	高橋内科クリニック	高橋 英二	189-0011	東村山市恩多町4-1-23	042-395-3553	2023年3月31日まで
	西都保健生活協同組合 北多摩生協診療所	徐 英哲	189-0014	東村山市本町4-2-32 ドルチェ久米川	042-393-5903	2023年4月1日から
多摩小平	保谷内科・呼吸器科クリニック	保谷 功	202-0005	西東京市住吉町6-1-26	042-458-7870	2023年3月31日まで
	ますだ内科クリニック	益田 公彦	188-0014	西東京市芝久保町3-6-26	042-463-1159	2023年4月1日から

備考欄に「○」の表示がある医療機関は、病原体定点を兼ねる。

備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる。

眼科 (39定点)

2022年12月31日 現在

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
中央区	宮下眼科医院	宮下 公男	104-0031	中央区京橋2-5-18 3F	03-3564-0240	
新宿区	東京女子医科大学病院眼科	篠崎 和美	162-8666	新宿区河田町8-1	03-3353-8111	○*
新宿区	東京医科大学病院眼科	森 秀樹	160-0023	新宿区西新宿6-7-1	03-3342-6111	
文京	順天堂大学医学部眼科	村上 晶	113-0033	文京区本郷3-1-3	03-3813-3111	
墨田区	毛塚眼科医院	毛塚 剛司	131-0033	墨田区向島1-5-7	03-3622-0941	
江東区	さとう眼科	佐藤 明	136-0076	江東区南砂6-1-11	03-3645-5441	
品川区	濱崎眼科医院	濱崎 陸	140-0014	品川区大井3-18-17	03-3776-4197	
目黒区	にっこのクリニック	入戸野 晋	152-0011	目黒区原町2-1-24	03-5704-4092	
大田区	朝広眼科	朝広 信彦	146-0085	大田区久が原5-17-9	03-3751-7757	
大田区	下丸子眼科クリニック	藤井 孝	146-0092	大田区下丸子1-6-24 グランドステラ下丸子1F	03-5741-2400	
世田谷	福地眼科	福地 郁子	156-0057	世田谷区上北沢3-20-22	03-3304-5586	
世田谷	喜多見眼科	熊川 美代子	157-0067	世田谷区喜多見8-18-10 小泉ビル3F	03-5494-7878	
渋谷区	医療法人社団千翠会 細川眼科クリニック	細川 可奈	150-0012	渋谷区広尾5-14-2 広尾KKビル4F	03-5423-7023	○
中野区	福田眼科医院	福田 敏雅	165-0026	中野区新井2-33-1	03-3386-3700	
杉並	荒木眼科医院	荒木 博子	167-0042	杉並区西荻北2-9-10	03-3395-3091	○
池袋	大木眼科	大木 孝太郎	171-0014	豊島区池袋2-17-1	03-3971-2598	
北区	クリスタル眼科	野牛 千鶴	114-0004	北区堀船3-18-3	03-5902-5089	
荒川区	眼科アリモト	有本 啓三	116-0014	荒川区東日暮里5-51-7	03-3806-3720	
板橋区	フルヤ眼科クリニック	古谷 和正	173-0004	板橋区板橋1-22-8 古谷ビル2F	03-5375-4930	
板橋区	小暮眼科	小暮 慎二	175-0094	板橋区成増3-10-5	03-3979-3555	
練馬区	荻野眼科医院	荻野 公嗣	177-0041	練馬区石神井町1-25-10	03-3996-2021	
練馬区	医療法人社団静秀会 氷川台眼科	長松 淳一	179-0084	練馬区氷川台3-38-8 内観堂ビル2F	03-5984-1900	
足立	三原眼科医院	三原 敬	123-0857	足立区本木北町14-6	03-3890-0785	
足立	こばやし眼科クリニック	小林 康彦	120-0043	足立区千住宮元町1-1 千住宮元ビル2F	03-5244-6080	
葛飾区	的場眼科クリニック	伊藤 景子	125-0042	葛飾区金町6-13-9	03-3607-0657	
江戸川	医療法人社団星明会 松江八木橋眼科	八木橋 修	132-0025	江戸川区松江2-1-5 目々沢ビル	03-5607-3505	
江戸川	安田医院	安田 尚美	132-0011	江戸川区瑞江1-43-12	03-5666-7038	
八王子市	きむら眼科	木村 隆	194-0904	八王子市子安町4-10-1	042-680-7430	
八王子市	大熊眼科医院	大熊 京子	193-0835	八王子市千人町2-19-15 長塚ビル3F	042-667-3477	
町田市	すざかけ台眼科クリニック	吉利 尚	194-0002	町田市南つくし野3-4-2 久保田ビル2階	042-788-5505	
西多摩	後藤眼科診療所	後藤 晋	198-0089	青梅市森下町508	0428-22-3202	
南多摩	小川眼科	小川 昭彦	206-0011	多摩市関戸2-40-1 ニッセイ聖蹟桜ヶ丘ビル3F	042-337-6660	
多摩立川	天佑眼科医院	岡本 晴彦	207-0014	東大和市南街1-27-5	042-561-2965	
多摩立川	曾根医院	曾根 隆一郎	185-0012	国分寺市本町4-19-8	042-322-0516	
多摩府中	こはら眼科	小原 真樹夫	180-0006	武蔵野市中町1-4-4 スクウェア三鷹1F	0422-52-8871	
多摩府中	武蔵境眼科医院	村松 隆次	180-0023	武蔵野市境南町1-8-1 武蔵野STビル2F	0422-34-2117	
多摩府中	平山眼科医院	平山 信隆	183-0023	府中市宮町1-20-19 大津ビル2F	042-364-0300	
多摩小平	徳島診療所	中川 尚	189-0024	東村山市富士見町1-2-14	042-391-2525	○
多摩小平	つしま眼科医院	對馬 一仁	204-0021	清瀬市元町1-8-19 アーク清瀬201	042-496-2240	

備考欄に「○」の表示がある医療機関は、病原体定点を兼ねる。

備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる。

性感染症（55定点）

2022年12月31日において、性感染症55定点のうち1医療機関が未選定である。

2022年12月31日 現在

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
千代田	スバル医院	中村 憲司	100-0006	千代田区有楽町1-2-6	03-3580-9559	
千代田	(公社)東京都教職員互助会 三楽病院	大野 俊一	101-8326	千代田区神田駿河台2-5	03-3292-3981	
中央区	医療法人社団賢仁会 銀座吉田医院	吉田 正平	104-0061	中央区銀座2-4-8 GINZA YUKI BLD 8・9F	03-3561-5537	
中央区	弓削医院	弓削 文一	103-0014	中央区日本橋蠣殻町1-28-7	03-3666-3979	
中央区	対馬ルリ子女性ライフクリニック 銀座	対馬 ルリ子	104-0061	中央区銀座2-6-5 銀座トレシヤビル7F	03-3538-0283	
みなと	大原皮膚泌尿器科	大原 正雄	107-0052	港区赤坂2-14-33 栄屋清水ビル5階	03-3584-4821	
みなと	赤枝六本木診療所	赤枝 恒雄	106-0046	港区元麻布3-1-30	03-3405-1388	
新宿区	新宿さくらクリニック	澤村 正之	169-0073	新宿区百人町2-11-22	03-3364-6333	
新宿区	たつきクリニック	矢谷 達樹	160-0023	新宿区西新宿7-16-14 ミクラ西新宿ビル2F	03-5348-7074	
新宿区	植松医院	植松 幹雄	169-0075	新宿区高田馬場1-32-14 UKビル2F	03-3209-5608	
新宿区	阿蘇医院	阿蘇 哲	160-0008	新宿区三栄町1-1	03-3351-3224	2022年4月30日まで
新宿区	竹下医院	竹下 寿子	169-0075	新宿区高田馬場2-14-22	03-3200-1281	
新宿区	地方独立行政法人 東京都立 病院機構 東京都立大久保病院	高田 淳子	160-8488	新宿区歌舞伎町2-44-1	03-5273-7711	
新宿区	しらかば診療所	井戸田 一朗	162-0065	新宿区住吉町8-28 B・STEPビル2階	03-5919-3127	
文京	細部医院	細部 高英	113-0031	文京区根津1-1-15	03-3822-6858	
台東	佐々木医院	佐々木貴子	111-0032	台東区浅草5-33-12	03-3872-6776	
台東	永寿総合病院	高橋 峰夫	110-8645	台東区東上野2-23-16	03-3833-8381	
墨田区	南外科泌尿器科	南 孝明	131-0032	墨田区東向島5-38-14	03-3614-2511	
墨田区	賛育会病院	高本 眞一	130-0012	墨田区太平3-20-2	03-3622-9191	
江東区	西大島駅と亀戸駅の間のいわぶ ち内科と泌尿器科のクリニック	岩渕 敏久	136-0072	江東区大島3-4-3 タワーレジデンス西大島2階	03-3683-3137	○
江東区	江東病院	宮崎 亮一郎	136-0072	江東区大島6-8-5	03-3685-2166	
品川区	東五反田クリニック	小川 秀彌	141-0022	品川区東五反田4-11-12 パラドール池田山102	03-3280-6762	2022年6月30日まで
	医療法人社団OURS KARADA内科クリニック	佐藤 昭裕	140-0031	品川区西五反田1-2-8	03-3495-0192	2022年10月1日から
大田区	前村医院	前村 由美	143-0014	大田区大森中2-19-17	03-3761-3955	
大田区	東京蒲田病院	小山 豊	144-0051	大田区西蒲田7-10-1	03-3733-0525	
渋谷区	医療法人社団三昭会 渋谷新南口クリニック	秋山 昭人	150-0002	渋谷区渋谷3-28-8 第三久我屋ビル2F	03-3406-6301	
渋谷区	赤阪医院	赤阪 雄一郎	150-0001	渋谷区神宮前3-31-9	03-3401-7506	
渋谷区	JR東京総合病院	奥山 伸彦	151-8528	渋谷区代々木2-1-3	03-3320-2204	
渋谷区	東クリニック	東 哲徳	151-0073	渋谷区笹塚1-30-3 ピラージュ笹塚Ⅲ4F	03-3481-0380	
渋谷区	地方独立行政法人 東京都立 病院機構 東京都立広尾病院	秋山 邦久	150-0013	渋谷区恵比寿2-34-10	03-3444-1181	*
中野区	やなだクリニック	築田 周一	164-0013	中野区弥生町6-2-20	03-5342-9511	
中野区	新渡戸記念中野総合病院	後藤 智隆	164-8607	中野区中央4-59-16	03-3382-1231	
杉並	荻窪駅前クリニック	吉田 正林	167-0051	杉並区荻窪5-27-8 FCビル4F	03-3220-9622	
杉並	荻窪病院	杉山 武	167-0035	杉並区今川3-1-24	03-3399-1101	

備考欄に「○」の表示がある医療機関は、病原体定点を兼ねる。
備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
池袋	安康レディースクリニック	安康 善雄	171-0014	豊島区池袋2-42-3 オスカービル2F	03-3971-3544	
池袋	真和クリニック	森田 博人	171-0021	豊島区西池袋1-25-1	03-3971-3272	
池袋	渡辺胃腸科医院	渡辺 伸介	170-0005	豊島区南大塚1-53-1	03-3943-6371	○
北区	十条銀座診療所	平林 徹	114-0034	北区上十条2-30-4	03-3908-1826	
荒川	加藤産婦人科医院	加藤 寛彦	116-0001	荒川区町屋2-9-21	03-3895-3521	
板橋区	本多医院	本多 章乃	173-0023	板橋区大山町18-12	03-3959-0807	
板橋区	板橋中央総合病院	石田 友彦	174-8691	板橋区小豆沢2-12-7	03-3967-1181	
足立	長門クリニック	渡邊 秀樹	120-0002	足立区中川2-5-8	03-3605-3131	
足立	博慈会記念総合病院	林 達郎	123-0864	足立区鹿浜5-11-1	03-3899-1311	
江戸川	医療法人社団理弘会 岩倉病院	岩倉 孝雄	133-0056	江戸川区南小岩7-28-4	03-3659-3215	○
江戸川	医療法人社団山紫会 とおるクリニック	田中 徹	132-0011	江戸川区瑞江2-3-1 瑞江駅前ビル3F	03-5664-8020	
八王子市	新クリニック	福嶺 紀隆	193-0931	八王子市台町2-16-8	042-621-6203	
八王子市	西島産婦人科	西島 重信	193-0835	八王子市千人町1-8-5	042-661-6642	○
八王子市	米山産婦人科クリニック	花岡 素美	192-0065	八王子市新町2-12	042-642-5225	
八王子市	はぎの医院	萩野 大輔	192-0066	八王子市本町11-6	042-622-2206	
町田市	ベルンの森クリニック	松下 径広	194-0215	町田市小山ヶ丘4-3-1	042-775-3553	
多摩立川	泉医院	泉 康二	190-0012	立川市曙町2-14-16	042-522-2233	
多摩立川	こむかい産婦人科	小武海 成之	190-0022	立川市錦町2-3-30	050-3588-0123	
多摩府中	武蔵野陽和会病院	長倉 和彦	180-0012	武蔵野市緑町2-1-33	0422-52-3212	
多摩府中	武蔵野赤十字病院	泌尿器科部長	180-8610	武蔵野市境南町1-26-1	0422-32-3111	*
多摩府中	地方独立行政法人 東京都立 病院機構 東京都立多摩総合 医療センター	医事課 医事管理係	183-8524	府中市武蔵台2-8-29	042-323-5111	*
多摩小平	真能クリニック	真能 純一	187-0045	小平市学園西町2-13-37 カミデビル2F	042-342-8280	

2023年変更医療機関

2023年4月1日 現在

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
新宿区	医療法人社団川添記念会 四谷川添産婦人科	力武 義之	160-0017	新宿区左門町18	03-3351-2315	2023年4月1日から
渋谷区	東クリニック	東 哲徳	151-0073	渋谷区笹塚1-30-3 ピラージュ笹塚Ⅲ4F	03-3481-0380	2022年12月31日まで
	笹塚レディースクリニック	足立 匡	151-0073	渋谷区笹塚1-30-3 ピラージュ笹塚Ⅲ4F	03-3481-0380	2023年1月1日から
池袋	真和クリニック	森田 博人	171-0021	豊島区西池袋1-25-1	03-3971-3272	2023年3月31日まで
	要町駅前クリニック	堀 祐太郎	171-0043	豊島区要町1-1-1 要町KTビル7F	03-3955-0022	2023年4月1日から

備考欄に「○」の表示がある医療機関は、病原体定点を兼ねる。
備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる。

基幹 (25定点)

2022年12月31日 現在

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
千代田	東京通信病院	小野 正恵	102-8798	千代田区富士見2-14-23	03-5214-7111	○ *
千代田	(公社)東京都教職員互助会 三楽病院	総務課長	101-8326	千代田区神田駿河台2-5	03-3292-3981	
みなと	東京都済生会中央病院	小児科外来	108-0073	港区三田1-4-17	03-3451-8211	○ *
新宿区	(社)聖母会 聖母病院	猪野 雅孝	161-8521	新宿区中落合2-5-1	03-3951-1111	○ *
新宿区	東京女子医科大学病院	病院長	162-8666	新宿区河田町8-1	03-3353-8111	○ #
文京	地方独立行政法人 東京都立 病院機構 東京都立駒込病院	医事課長	113-8677	文京区本駒込3-18-22	03-3823-2101	○
墨田区	地方独立行政法人 東京都立 病院機構 東京都立墨東病院	医事課長	130-8575	墨田区江東橋4-23-15	03-3633-6151	○
大田区	地方独立行政法人 東京都立 病院機構 東京都立荏原病院	医事課長	145-0065	大田区東雪谷4-5-10	03-5734-8000	○
世田谷	国立成育医療研究センター	医事課長	157-8535	世田谷区大蔵2-10-1	03-3416-0181	
世田谷	公立学校共済組合 関東中央病院	医事課長	158-8531	世田谷区上用賀6-25-1	03-3429-1171	
渋谷区	地方独立行政法人 東京都立 病院機構 東京都立広尾病院	医事課長	150-0013	渋谷区恵比寿2-34-10	03-3444-1181	○ &
杉並	立正佼成会附属佼成病院	倉山 亮太	166-0012	杉並区和田2-25-1	03-3383-1281	○ *
杉並	河北総合病院	岡井 隆広	166-8588	杉並区阿佐谷北1-7-3	03-3339-2121	
池袋	地方独立行政法人 東京都立 病院機構 東京都立大塚病院	病歴係長	170-8476	豊島区南大塚2-8-1	03-3941-3211	○
板橋区	地方独立行政法人 東京都立 病院機構 東京都立豊島病院	医事課長	173-0015	板橋区栄町33-1	03-5375-1234	○
葛飾	地方独立行政法人 東京都立 病院機構 東京都立東部地域 病院	医事課長	125-8512	葛飾区亀有5-14-1	03-5682-5111	○
八王子市	東京医科大学 八王子医療センター	医事課長	193-0998	八王子市館町1163	042-665-5611	○
西多摩	青梅市立総合病院	医事課長	198-0042	青梅市東青梅4-16-5	0428-22-3191	○
多摩立川	国家公務員共済組合連合会 立川病院	医事課長	190-8531	立川市錦町4-2-22	042-523-3131	○
多摩府中	地方独立行政法人 東京都立 病院機構 東京都立多摩総合 医療センター	医事課 医事管理係	183-8524	府中市武蔵台2-8-29	042-323-5111	○ &
多摩府中	地方独立行政法人 東京都立 病院機構 東京都立小児総合 医療センター	医事課 医事管理係	183-8561	府中市武蔵台2-8-29	042-300-5111	○
多摩府中	武蔵野赤十字病院	総務課長	180-8610	武蔵野市境南町1-26-1	0422-32-3111	○ &
多摩小平	地方独立行政法人 東京都立 病院機構 東京都立多摩北部 医療センター	医事課長	189-8511	東村山市青葉町1-7-1	042-396-3811	○
多摩小平	公立昭和病院	医事課長	187-8510	小平市花小金井8-1-1	042-461-0052	○
島しょ	町立八丈病院	業務課長	100-1511	八丈島八丈町三根26-11	04996-2-1188	○

備考欄に「○」の表示がある医療機関は、病原体定点を兼ねる。

備考欄に「*」、「#」、「&」の表示がある医療機関は、それぞれ小児科、眼科、性感染症定点を兼ねる。

疑似症（36定点）

2022年12月31日 現在

保健所名	種別	医療機関名	郵便番号	所在地	備考
千代田		東京通信病院	102-0071	千代田区富士見2-14-23	
中央区		聖路加国際病院	104-8560	中央区明石町9-1	
みなと		虎の門病院	105-8470	港区虎ノ門2-2-2	
みなと		東京慈恵会医科大学附属病院	105-0003	港区西新橋3-19-18	
新宿区	特定	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター	162-8655	新宿区戸山1-21-1	
新宿区		東京女子医科大学病院	162-8666	新宿区河田町8-1	
文京	一種	地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立駒込病院	113-8677	文京区本駒込3-18-22	
台東		永寿総合病院	110-8645	台東区東上野2-23-16	
墨田区	一種	地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立墨東病院	130-8575	墨田区江東橋4-23-15	
江東区		昭和大学江東豊洲病院	135-8577	江東区豊洲5-1-38	
品川区		昭和大学病院	142-8666	品川区旗の台1-5-8	
大田区	一種	地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立荏原病院	145-0065	大田区東雪谷4-5-10	
大田区		東邦大学医療センター大森病院	143-8541	大田区大森西6-11-1	
目黒区		独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター	152-8902	目黒区東が丘2-5-1	
世田谷	一種	自衛隊中央病院	154-0001	世田谷区池尻1-2-24	
渋谷区		日本赤十字社医療センター	150-0012	渋谷区広尾4-1-22	
渋谷区		地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立広尾病院	150-0013	渋谷区恵比寿2-34-10	
中野区		東京警察病院	164-8541	中野区中野4-22-1	
杉並		河北総合病院	166-0001	杉並区阿佐谷北1-7-3	
池袋		地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立大塚病院	170-8476	豊島区南大塚2-8-1	
北区		公益社団法人 地域医療振興協会 東京北医療センター	115-0053	北区赤羽台4-17-56	
板橋区	二種	地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立豊島病院	173-0015	板橋区栄町33-1	
練馬区		練馬光が丘病院	179-0072	練馬区光が丘2-11-1	
足立		東京女子医科大学 附属足立医療センター	123-8558	足立区江北4-33-1	
足立		博慈会記念総合病院	123-0864	足立区鹿浜5-11-1	
葛飾区		東京慈恵会医科大学 葛飾医療センター	125-8506	葛飾区青戸6-41-2	
江戸川		日本私立学校振興・共済事業団 東京臨海病院	134-0086	江戸川区臨海町1-4-2	
八王子市	二種	東京医科大学八王子医療センター	193-0998	八王子市館町1163	
町田市		町田市民病院	194-0023	町田市旭町2-15-41	
西多摩	二種	青梅市立総合病院	198-0042	青梅市東青梅4-16-5	
南多摩		地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立多摩南部地域病院	206-0036	多摩市中沢2-1-2	
多摩立川	二種	国家公務員共済組合連合会 立川病院	190-8531	立川市錦町4-2-22	
多摩立川		社会医療法人 社団健生会 立川相互病院	190-8578	立川市緑町4-1	
多摩府中	二種	武蔵野赤十字病院	180-8610	武蔵野市境南町1-26-1	
多摩小平	二種	公立昭和病院	187-8510	小平市花小金井8-1-1	
島しょ	二種	町立八丈病院	100-1511	八丈島八丈町三根26-11	

2 東京都感染症予防検討委員会委員名簿

2022年12月31日現在 : 順不同

氏名	役職
◎ 櫻山 豊夫	公益財団法人東京都結核予防会理事
○ 岡部 信彦	川崎市健康安全研究所長
○ 萩原 温久	萩原医院 (東京小児科医会)
永井 英明	独立行政法人 国立病院機構東京病院感染症科部長
尾形 英雄	結核予防会複十字病院安全管理特任部長
前田 秀雄	北区保健所長
河合 江美	町田市保健所長
今村 顕史	地方独立行政法人 東京都立病院機構 がん・感染症センター都立駒込病院 感染症センター長、感染症科部長
丸山 玄*	東京都福祉保健局健康安全部食品危機管理担当課長
吉田 敦	東京都健康安全研究センター 企画調整部健康危機管理情報課疫学情報担当課長
有馬 雄三	国立感染症研究所感染症疫学センター第四室室長
カエベタ 亜矢	東京都福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課長
山本 史郎	山本医院 (東京泌尿器科医会)
武知 公博*	公立昭和病院 産婦人科 (東京産婦人科医会)
黒澤 サト子	くろさわ子ども&内科クリニック (東京小児科医会)
倉本 慶子	小松眼科 (東京都眼科医会)
美田 敏宏	順天堂大学医学部 熱帯医学・寄生虫病学講座教授
山下 隆博	恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター愛育病院副院長
池田 忠生	元日本大学医学部准教授
川上 一恵	東京都医師会理事 (疾病担当)

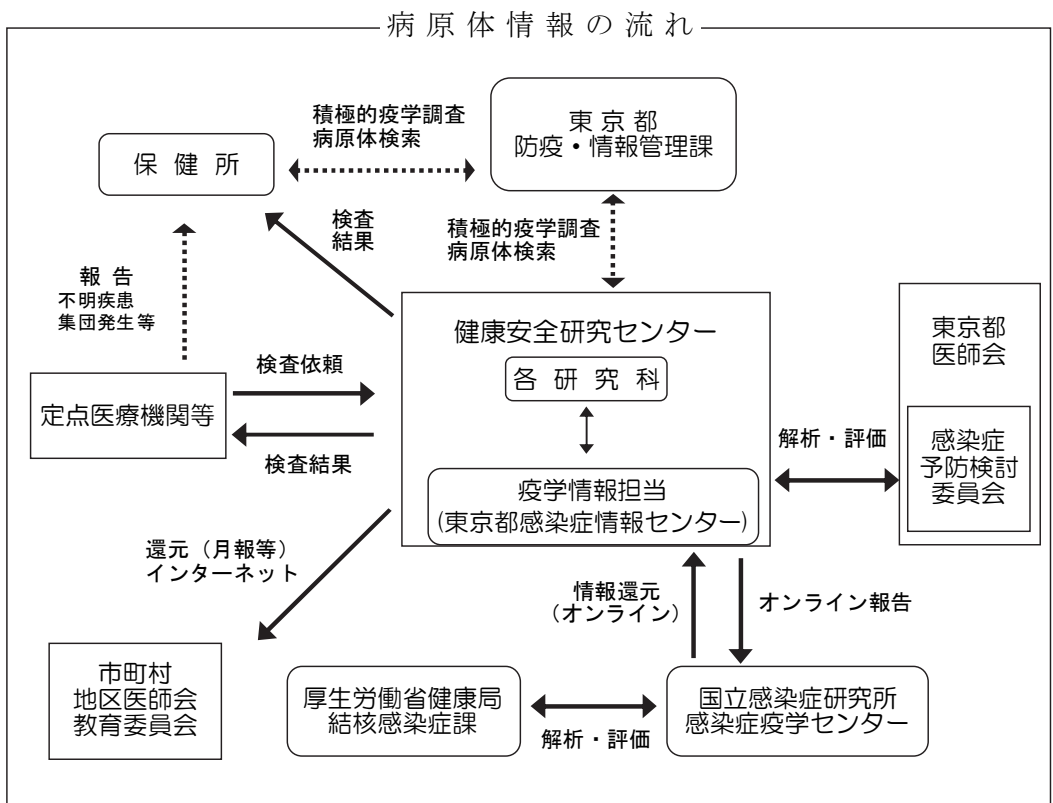
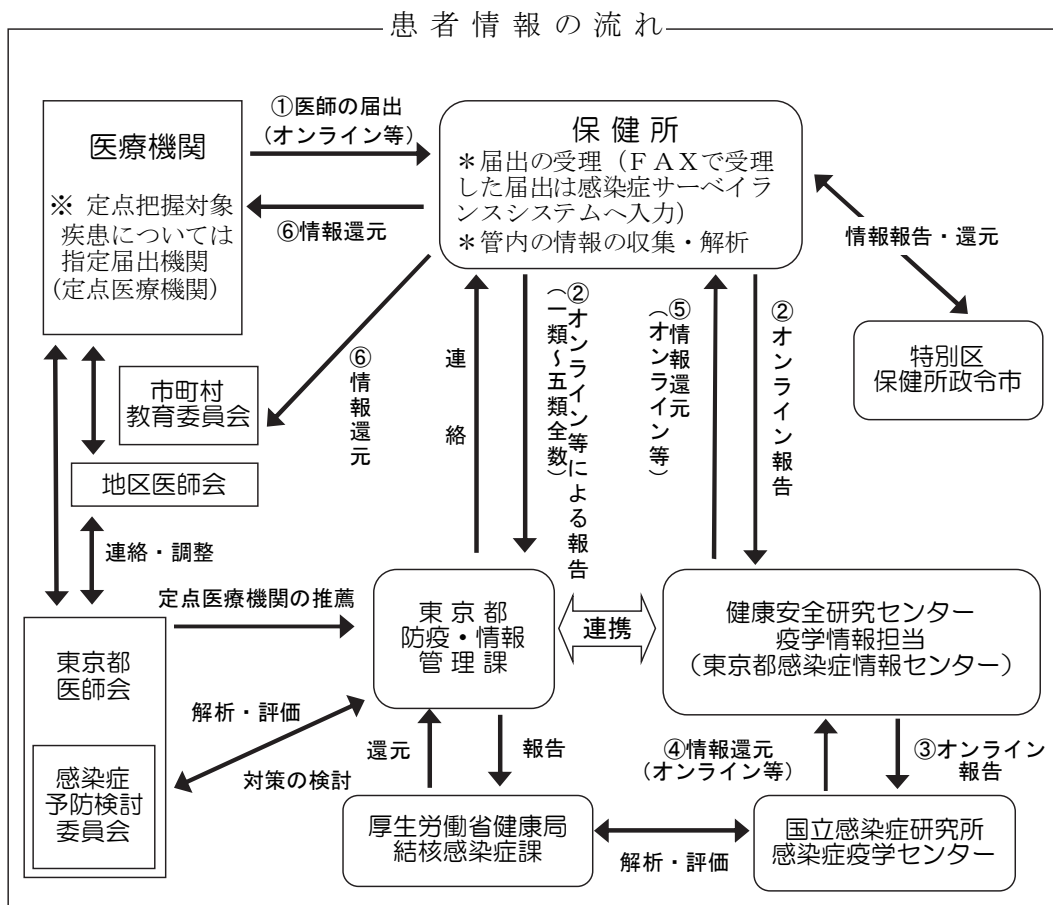
◎委員長 ○副委員長

* 2022年4月1日から

2022年3月31日まで

高橋 真吾	東京都福祉保健局健康安全部食品危機管理担当課長
北村 邦夫	一般社団法人日本家族計画協会理事長 (東京産婦人科医会)

3 東京都感染症発生動向調査事業の流れ



東京都感染症発生動向調査事業実施要綱

11 衛福結第680号
平成12年3月30日
最終改正 4 福保感防第2447号
令和4年10月25日

第1 趣旨及び目的

感染症発生動向調査事業については、昭和56年7月から18疾病を対象に開始され、昭和62年1月からは対象疾病を27に拡大するとともにコンピュータを用いたオンラインシステムを導入、以後、順次対象疾病の拡大を図りながら運用されてきたところである。

平成11年4月から施行された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（以下「感染症法」という。）により、本事業が、事前対応型行政を重視した感染症対策の一つとして位置づけられることになった。

これを受け、本事業は、感染症の発生状況の正確な把握と分析、その結果の国民や医療関係者への迅速な提供・公開により、感染症に対する有効かつ確かな予防・診断・治療に係る対策を図り、多様な感染症の発生及びまん延を防止するとともに、病原体情報を収集、分析することで、流行している病原体の検出状況及び特性を確認し、適切な感染症対策を立案することを目的として実施するものとする。

第2 根拠法令等

本事業の実施に当たっては、感染症法及び国の定める感染症発生動向調査事業実施要綱に基づくものとする。

第3 対象感染症

この事業の対象とする感染症は、別表1のとおりとする。

第4 実施体制

1 地方感染症情報センター及び基幹地方感染症情報センター

地方感染症情報センターは、東京都、特別区及び保健所政令市における患者情報、疑似症情報及び病原体情報（検査情報を含む。以下同じ。）を収集・分析し、東京都、特別区及び保健所政令市の本庁に報告するとともに、全国情報と併せて、これらを速やかに医師会等の関係機関に提供・公開するために、東京都及び各特別区内に1か所、地方衛生研究所等の中に設置されている。

基幹地方感染症情報センターである東京都健康安全研究センター（以下「健康安全研究センター」という。）は、東京都全域の患者情報、疑似症情報及び病原体情報を収集・分析し、その結果を各地方感染症情報センターに送付する。

2 指定届出機関及び指定提出機関（定点）

- (1) 東京都は、定点把握対象の感染症についての、患者情報及び疑似症情報を収集するため、感染症法第14条第1項に規定する指定届出機関として、患者定点及び疑似症定点をあらかじめ選

定する。

- (2) 東京都は、定点把握対象の五類感染症についての、患者の検体又は当該感染症の病原体（以下「検体等」という。）を収集するため、病原体定点をあらかじめ選定する。なお、感染症法施行規則第7条の2に規定する五類感染症については、感染症法第14条の2第1項に規定する指定提出機関として、病原体定点を選定する。
- (3) 東京都は、上記（1）及び（2）に係る指定届出機関及び指定提出機関との連絡調整及び推薦等に係る業務を、東京都医師会に委託することができる。

3 感染症予防検討委員会

- (1) 東京都内における情報の収集、分析の効果的・効率的な運用を図るため、小児科、内科、眼科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、微生物学、疫学、獣医学、昆虫学等の専門家、保健所及び地方衛生研究所の代表、地域の医師会の代表等（10名程度）からなる感染症予防検討委員会を置く。
- (2) 東京都は、上記（1）に係る事務を、東京都医師会へ委託することができる。

4 検査施設

東京都内における本事業に係る検体等の検査については、健康安全研究センターにおいて実施する。健康安全研究センターは、検査施設における病原体等検査の業務管理要領（以下「病原体検査要領」という。）に基づき検査を実施し、検査の信頼性確保に努めることとする。

第5 事業の実施

1 一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、五類感染症（別表1の75、85及び86に掲げるもの）、新型インフルエンザ等感染症（別表1の118及び119に掲げるものを除く）及び指定感染症

(1) 調査単位及び実施方法

ア 診断した医師

一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、五類感染症（別表1の75、85及び86に掲げるもの）、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症を「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について」（平成18年3月8日付健感発第0308001号厚生労働省健康局結核感染症課長通知、令和4年8月19日最終改正。以下「届出基準」という。）に基づき診断した場合は、直ちに最寄りの保健所に届出を行う。当該届出は、感染症サーベイランスシステムへの入力により行うことを基本とするが、感染症サーベイランスシステムの入力環境がない場合には、最寄りの保健所が定める方法により、本要綱の別記様式8から9、及び11から74を用いて、届出を行う。

イ 検体等を所持している医療機関等

保健所等から当該患者の病原体検査のための検体等の提供について、依頼又は命令を受けた場合にあっては、検体等を提供する。

ウ 保健所

- (ア) 届出を受けた保健所は、直ちに届出内容の確認を行うとともに、当該届出が感染症サーベイランスシステムの入力環境がない医師からの届出である場合には、直ちに感染症サーベイ

ランスシステムに届出内容を入力するものとする。

また、保健所は、病原体検査が必要と判断した場合は、検体等を所持している医療機関等に対して、病原体検査のための検体等の提供について依頼等するものとする。なお、病原体検査の必要性の判断及び実施等について、必要に応じて福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課及び健康安全研究センターと協議する。

(イ) 保健所は、検体等の提供を受けた場合には、健康安全研究センターへ検査を依頼するものとする。

(ウ) 保健所は、届出を受けた感染症に係る発生状況等を把握し、市町村、指定届出機関、指定提出機関その他の関係医療機関、地区医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し、連携を図る。

エ 健康安全研究センター

(ア) 健康安全研究センターは、管内の患者情報について保健所等からの情報の入力があり次第、登録情報の確認を行う。

(イ) 健康安全研究センターは、検体等が送付された場合にあつては、病原体検査要領に基づき当該検体等を検査し、その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、保健所、福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課に送付する。また、病原体情報について、速やかに中央感染症情報センターに報告する。

(ウ) 検査のうち、健康安全研究センターにおいて実施することが困難なものについては、必要に応じて、他の道府県等又は国立感染症研究所に協力を依頼する。

(エ) 健康安全研究センターは、患者が一類感染症と診断されている場合（疑いを含む。）又は東京都域を越えた感染症の集団発生があつた場合等の緊急の場合及び国から求められた場合にあつては、福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課等と協議の上、検体等を国立感染症研究所に送付する。

(オ) 基幹地方感染症情報センターである健康安全研究センターは、東京都内のすべての患者情報及び病原体情報を収集、分析するとともに、その結果を週報等として公表される全国情報と併せて、地方感染症情報センター等の関係機関に提供・公開する。

オ 情報の報告等

(ア) 都道府県知事、保健所を設置する市又は特別区の長（以下「都道府県知事等」という。）は、その管轄する区域外に居住する者について法第12条第1項の規定による届出を受けたときは、当該届出の内容を、その居住地を管轄する都道府県知事等に通報する。保健所を設置する市又は特別区の長（以下「保健所設置市等の長」という。）が通報先となる場合には、当該市・区が所在する都道府県知事にも通報する。

(イ) 保健所設置市等の長は、厚生労働大臣に対して、

- ・ 法第12条の規定による発生届出の一連の事務の中で、同条第2項の報告を行う場合
- ・ 法第15条の規定による積極的疫学調査の一連の事務の中で、同条第13項の報告を行う場合は、併せて都道府県知事に報告する。

(ウ) 都道府県知事等は、他の都道府県知事等が管轄する区域内における感染症のまん延を防止するために必要な場合は、法第15条の規定による積極的疫学調査の結果を、当該他の都道府県知事等に通報する。保健所設置市等の長が通報先となる場合には、当該市・区が所在する都道府県知事にも通報する。

(エ) (ア) から (ウ) の報告等について、感染症サーベイランスシステムにより相互に情報を閲覧できる措置を講じた場合は、当該報告をしたものとみなす。

2 新型コロナウイルス感染症及び再興型コロナウイルス感染症

(1) 調査単位及び実施方法

ア 診断した医師

新型コロナウイルス感染症又は再興型コロナウイルス感染症を届出基準等通知に基づき診断した場合は、別に定める基準に基づき、直ちに最寄りの保健所に届出を行う。当該届出は、新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（以下「HER-SYS」という。）への入力により行うことを基本とするが、HER-SYSの入力環境がない場合には、最寄りの保健所が定める方法により行って差し支えない。

イ 検体等を所持している医療機関等

保健所等から当該患者の病原体検査のための検体等の提供について、依頼又は命令を受けた場合にあっては、検体等を提供する。

ウ 保健所

(ア) 届出を受けた保健所は、直ちに届出内容の確認を行うとともに、当該届出がHER-SYSの入力環境がない医師からの届出である場合は、HER-SYSに届出内容を入力するものとする。また、保健所は、病原体検査が必要と判断した場合には、検体等を所持している医療機関等に対して、病原体検査のための検体等の提供について依頼等するものとする。なお、病原体検査の必要性の判断及び実施等について、必要に応じて福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課及び健康安全研究センターと協議する。

(イ) 保健所は、検体等の提供を受けた場合には、健康安全研究センターへ検査を依頼するものとする。

(ウ) 保健所は、届出を受けた感染症に係る発生状況等を把握し、市町村、指定届出機関、指定提出機関その他の関係医療機関、地区医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し、連携を図る。

エ 健康安全研究センター

(ア) 健康安全研究センターは、HER-SYSを活用し、管内の患者情報について保健所からの情報の入力があり次第、登録情報の確認を行う。

(イ) 健康安全研究センターに検体等が送付された場合にあっては、病原体検査要領に基づき当該検体等を検査し、その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、保健所、福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課に送付する。また、病原体情報について、速やかに中央感染症情報センターに報告する。

(ウ) 検査のうち、健康安全研究センターにおいて実施することが困難なものについては、必要に応じて、他の道府県等又は国立感染症研究所に協力を依頼する。

(エ) 基幹地方感染症情報センターである健康安全研究センターは、HER-SYS等の活用により、東京都内のすべての患者情報及び病原体情報を収集、分析するとともに、その結果を公表される都道府県情報及び全国情報と併せて、ホームページへの掲載等の適切な方法により、保健所等の関係機関に提供・公開する。

オ 福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課

福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課は、保健所等がHER-SYSに入力した情報、健康安全研究センターが収集、分析した患者情報及び病原体情報を感染症対策に利用し、関係機関との連携・調整を行う。なお、緊急の場合及び国から対応を求められた場合においては、福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課は、直接必要な情報を収集するとともに、国及び他の都道府県等とも連携の上、迅速な対応を行う。

カ 情報の報告等

(ア) 都道府県知事等は、その管轄する区域外に居住する者について法第12条第1項の規定による届出を受けたときは、当該届出の内容を、その居住地を管轄する都道府県知事等に通報する。保健所設置市等の長が通報先となる場合には、当該市・区が所在する都道府県知事にも通報する。

(イ) 保健所設置市等の長は、厚生労働大臣に対して、

- ・ 法第12条の規定による発生届出の一連の事務の中で、同条第2項の報告を行う場合
- ・ 法第15条の規定による積極的疫学調査の一連の事務の中で、同条第13項の報告を行う場合は、併せて都道府県知事に報告する。

(ウ) 都道府県知事等は、他の都道府県知事等が管轄する区域内における感染症のまん延を防止するために必要な場合は、法第15条の規定による積極的疫学調査の結果を、当該他の都道府県知事等に通報する。保健所設置市等の長が通報先となる場合には、当該市・区が所在する都道府県知事にも通報する。

(エ) (ア) から (ウ) の報告等について、HER-SYSにより相互情報を閲覧できる措置講じた場合は、当該報告等をしたものとみなす。

キ その他

病原体検査を行政検査として医療機関に委託している場合には、当該医療機関において、保健所及び都道府県等に必要な情報提供を行うこと。当該情報共有は、HER-SYSへの入力により行うことを基本とすること。

3 全数把握対象の五類感染症（別表1の75、85及び86に掲げるものを除く。）

(1) 調査単位及び実施方法

ア 診断した医師

全数把握対象の五類感染症（別表1の75、85及び86に掲げるものを除く。）を届出基準に基づき診断した医師は、7日以内に最寄りの保健所に届出を行う。当該届出は、感染症サーベイランスシステムへの入力により行うことを基本とするが、感染症サーベイランスシステムの入力環境がない場合には、最寄りの保健所が定める方法により、国の定める届出基準の別記様式5-1から5-11、5-13から5-15、5-17から5-21、5-24並びに本要綱の別記様式10を用いて、届出を行う。

イ 検体等を所持している医療機関等

保健所等から当該患者の病原体検査のための検体等の提供の依頼を受けた場合にあっては、検体等について、保健所に協力し、提供する。

ウ 保健所

(ア) 届出を受けた保健所は、直ちに届出内容の確認を行うとともに、当該届出が感染症サーベイランスシステムの入力環境がない医師からの届出である場合には、直ちに感染症サーベイラ

ンスシステムに届出内容を入力するものとする。

また、保健所は、病原体検査が必要と判断した場合は、検体等を所持している医療機関等に対して、病原体検査のための検体等の提供について依頼するものとする。なお、病原体検査の必要性の判断及び実施等について、必要に応じて福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課及び健康安全研究センターと協議する。

(イ) 保健所は、検体等の提供を受けた場合には、健康安全研究センターへ検査を依頼するものとする。

(ウ) 保健所は、届出を受けた感染症に係る発生状況等を把握し、市町村、指定届出機関、指定提出機関その他の関係医療機関、地区医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し、連携を図る。

エ 健康安全研究センター

(ア) 健康安全研究センターは、管内の患者情報について保健所等からの入力があり次第、登録情報の確認を行う。

(イ) 健康安全研究センターは、検体等が送付された場合にあっては、病原体検査要領に基づき当該検体等を検査し、その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、保健所、福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課に送付する。また、病原体情報について、速やかに中央感染症情報センターに報告する。

(ウ) 検査のうち、健康安全研究センターにおいて実施することが困難なものについては、必要に応じて、他の道府県等又は国立感染症研究所に協力を依頼する。

(エ) 健康安全研究センターは、東京都域を越えた感染症の集団発生があった場合等の緊急の場合及び国から提出を求められた場合にあっては、福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課等と協議の上、検体等を国立感染症研究所に送付する。

(オ) 基幹地方感染症情報センターである健康安全研究センターは、東京都内のすべての患者情報及び病原体情報を収集、分析するとともに、その結果を週報等として公表される全国情報と併せて、地方感染症情報センター等の関係機関に提供・公開する。

4 定点把握対象の五類感染症

(1) 対象とする感染症患者の状態

各々の定点把握対象の五類感染症について、届出基準を参考とし、当該疾病の患者と診断される場合とする。

(2) 定点の選定

ア 患者定点

定点把握対象の五類感染症の発生状況を地域的に把握するため、東京都は次の点に留意し、関係医師会の協力を得て、医療機関の中から可能な限り無作為に患者定点を選定する。また、定点の選定に当たっては、人口及び医療機関の分布等を勘案して、できるだけ東京都全体の感染症の発生状況を把握できるよう考慮する。

(ア) 小児科定点

対象感染症のうち、別表1の88から99までに掲げるものについては、小児科を標ぼうする医療機関(主として小児科医療を提供しているもの)を小児科定点として指定する。この場合において、小児科定点として指定された医療機関は、インフルエンザ定点として協力する

よう努めること。

(イ) インフルエンザ定点

対象感染症のうち、別表1の100に掲げるインフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。以下同じ。)については、前記(ア)で選定した小児科定点のうちインフルエンザ定点として協力する小児科定点に加え、内科を標ぼうする医療機関(主として内科医療を提供しているもの)を内科定点として指定し、両者を合わせてインフルエンザ定点とする。

(ウ) 眼科定点

対象感染症のうち、別表1の101及び102に掲げるものについては、眼科を標ぼうする医療機関(主として眼科医療を提供しているもの)を眼科定点として指定する。

(エ) 性感染症定点

対象感染症のうち、別表1の103から107までに掲げるものについては、産婦人科、産科若しくは婦人科(産婦人科系)、医療法施行令(昭和二十三年政令第三百二十六号)第三条の二第一項第一号ハ及びニ(2)の規定により性感染症と組み合わせた名称を診療科名とする診療科、泌尿器科又は皮膚科を標ぼうする医療機関(主として各々の標ぼう科の医療を提供しているもの)を性感染症定点として指定する。

(オ) 基幹定点

対象感染症のうち、別表1の100に掲げるインフルエンザ(届出基準はインフルエンザ定点と異なり、入院患者に限定される)、別表1の108から115までに掲げるものについては、患者を300人以上収容する施設を有する病院であって、内科及び外科を標榜する病院(小児科医療と内科医療を提供しているもの)を二次医療圏毎に1か所以上、基幹定点として指定する。

イ 病原体定点

病原体の分離等の検査情報を収集するため、東京都は次の点に留意し、関係医師会の協力を得て、病原体定点を選定する。また、定点の選定に当たっては、人口及び医療機関の分布等を勘案して、できるだけ東京都全体の感染症の発生状況を把握できるよう考慮する。

(ア) 医療機関を病原体定点として選定する場合は、原則として、患者定点として選定された医療機関の中から選定する。

(イ) アの(ア)により選定された患者定点の概ね10%を小児科病原体定点とし、別表1の88から99までを対象感染症とする。

(ウ) アの(ア)及び(イ)により選定された患者定点の概ね10%をインフルエンザ病原体定点とし、別表1の100を対象感染症とする。また、インフルエンザ病原体定点を、感染症法第14条の2第1項に規定する指定提出機関として指定する。

(エ) アの(ウ)により選定された患者定点の中から眼科病原体定点を選定し、別表1の101及び102を対象感染症とする。

(オ) アの(エ)により選定された患者定点の中から性感染症病原体定点を選定し、別表1の103から107を対象感染症とする。

(カ) アの(オ)により選定された患者定点の中から基幹病原体定点を選定し、別表1の100に掲げるインフルエンザ(入院患者に限る。)、別表1の108から115までを対象感染症とする。

(3) 調査単位等

ア 患者情報

調査単位の期間等は、別表2のとおりとする。

イ 病原体情報

病原体情報のうち、(2)のイの(ウ)により選定された病原体定点に関するものについては、別表1の100に掲げるインフルエンザの流行期((2)のアの(イ)により選定された患者定点あたりの患者発生数が東京都全体で1を超えた時点から1を下回るまでの間)には1週間(月曜日から日曜日)を調査単位とし、非流行期(流行期以外の期間)には各月を調査単位とする。その他病原体定点に関するものについては、各月を調査単位とする。

(4) 実施方法

ア 患者定点

(ア) 患者定点として選定された医療機関は、速やかな情報提供を図る趣旨から、調査単位の期間の診療時において、届出基準を参考とし、患者発生状況の把握を行うものとする。

(イ) (2)のアにより選定された定点把握の対象の指定届出機関においては、届出基準に従い、それぞれの調査単位の患者発生状況を届け出る。

(ウ) (イ)の届出に当たっては、感染症法施行規則第7条に従い行うとともに、感染症サーベイランスシステムへの入力により行うことを基本とするが、感染症サーベイランスシステムの入力環境がない場合には、最寄りの保健所が定める方法により、別記様式2から7を用いて、届出を行う。

イ 病原体定点

(ア) 病原体定点として選定された医療機関は、必要に応じて病原体検査のために検体等を採取する。

(イ) 病原体定点は、検体等について、別記様式1の検査票を添付し、速やかに健康安全研究センターへ送付する。

(ウ) (2)のイの(イ)により選定された病原体定点においては、別表1の88から97までの対象感染症のうち、調査単位ごとに、概ね4症例からそれぞれ少なくとも1種類の検体を送付するものとする。

(エ) (2)のイの(ウ)により選定された病原体定点においては、別表1の100に掲げるインフルエンザ(インフルエンザ様疾患を含む。)について、調査単位ごとに、少なくとも1検体を送付するものとする。

ウ 検体等を所持している医療機関等

保健所等から当該患者の病原体検査のための検体等の提供の依頼を受けた場合にあっては、検体等について、保健所に協力し、提供する。

エ 保健所

(ア) 届出を受けた保健所は、直ちに届出内容の確認を行うとともに、感染症サーベイランスシステムの入力環境がない医療機関からの届出である場合には、患者定点から得られた患者情報が週単位の場合は調査対象の週の翌週の火曜日までに、月単位の場合は調査対象月の翌月の3日までに、感染症サーベイランスシステムに入力するものとし、併せて、対象感染症についての集団発生その他特記すべき情報については、福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課及び健康安全研究センターに報告する。

また、保健所は、病原体検査が必要と判断した場合は、検体等を所持している医療機関等に対して、病原体検査のための検体等の提供について依頼するものとする。なお、病原体検査の必要性の判断及び実施等について、必要に応じて福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課及び健康安全研究センターと協議する。

(イ) 保健所は、検体等の提供を受けた場合には、健康安全研究センターへ検査を依頼するものとする。

(ウ) 保健所は、定点把握の対象の五類感染症の発生状況等を把握し、市町村、指定届出機関、指定提出機関その他の関係医療機関、地区医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し、連携を図る。

オ 健康安全研究センター

(ア) 健康安全研究センターは、管内の患者情報について保健所等からの入力があり次第、登録情報の確認を行う。

(イ) 健康安全研究センターは、別記様式1の検査票及び検体又は病原体情報が送付された場合にあつては、当該検体を検査し、その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、別記様式1により保健所、福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課に送付する。また、病原体情報について、速やかに中央感染症情報センターに報告する。

(ウ) 検査のうち、健康安全研究センターにおいて実施することが困難なものについては、必要に応じて、他の道府県等又は国立感染症研究所に協力を依頼する。

(エ) 健康安全研究センターは、東京都域を越えた感染症の集団発生があつた場合等の緊急の場合及び国から提出を求められた場合にあつては、福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課等と協議の上、検体等を国立感染症研究所に送付する。

(オ) 基幹地方感染症情報センターである健康安全研究センターは、東京都内のすべての患者情報及び病原体情報を収集、分析するとともに、その結果を週報（月単位の場合は月報）等として公表される全国情報と併せて、地方感染症情報センター等の関係機関に提供・公開する。

5 法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症

(1) 対象とする疑似症の状態

各々の疑似症について、届出基準を参考とし、当該疑似症の患者と診断される場合とする。

(2) 疑似症定点の選定

東京都は、関係医師会の協力を得て、国の定める感染症発生動向調査事業実施要綱第5の4(2)に定める基準を満たす医療機関の中から疑似症定点を選定する。また、疑似症定点の選定に当たっては、人口及び医療機関の分布等を勘案して、できるだけ東京都全体の感染症の発生状況を把握できるよう考慮する。

(3) 調査単位

調査単位の期間等は、別表3のとおりとする。

(4) 実施方法

ア 疑似症定点

(ア) 疑似症定点として選定された医療機関は、速やかな情報提供を図る趣旨から、調査単位の期間の診療時において、届出基準により、患者発生状況の把握を行うものとする。

(イ) 疑似症定点として選定された医療機関は、届出基準に従い、直ちに疑似症発生状況を届け

出る。

- (ウ) (イ) の届出に当たっては、感染症法施行規則第7条に従い行うとともに、感染症サーベイランスシステムへの入力により行うことを基本とするが、感染症サーベイランスシステムの入力環境がない場合には、最寄りの保健所が定める方法により、国の定める届出基準の別記様式6-7を用いて、届出を行う。

イ 保健所

- (ア) 保健所は、疑似症定点から得られた疑似症情報を、随時福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課に報告する。

また、対象疑似症についての集団発生その他特記すべき情報については、福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課及び健康安全研究センターに報告する。

- (イ) 保健所は、疑似症の発生状況等を把握し、市町村、指定届出機関、指定提出機関その他の関係医療機関、地区医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し、連携を図る。

ウ 福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課

福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課は保健所から得られた疑似症情報を健康安全研究センターに報告する。

エ 健康安全研究センター

基幹地方感染症情報センターである健康安全研究センターは、東京都内のすべての疑似症情報を収集し、疑似症定点において感染症サーベイランスシステムへの入力を実施することができない場合は、当該疑似症定点から得られた疑似症情報を感染症サーベイランスシステムに入力する。また、当該情報を分析するとともに、その結果を週報等として公表される全国情報と併せて、地方感染症情報センター等の関係機関に提供・公開する。

6 その他

- (1) 上記の実施方法以外の部分について、必要と認められる場合には、東京都の実情に応じた追加を行い、地域における効果的・効率的な感染症発生動向調査体制を構築していくこととする。
- (2) 感染症発生動向調査のために取り扱うこととなった検体等については、感染症の発生及びまん延防止策の構築、公衆衛生の向上のために使用されるものであり、それ以外の目的のために用いてはならない。また、検体採取の際には、その使用目的について説明の上、できるだけ、本人等に同意をとることが望ましい。なお、上記に掲げる目的以外の研究に使用する場合は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」等の規定に従い行うものとする。
- (3) 本実施要綱に定める事項以外の内容については、必要に応じて福祉保健局長が定めることとする。

7 特別区及び保健所政令市との関係

東京都は、本事業を実施するため特別区及び保健所政令市と協議し、連携を図るものとする。

附 則

この実施要綱は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成13年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成15年11月5日から適用する。

附 則

この実施要綱は、平成16年8月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成18年6月12日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成19年6月15日から施行し、同年4月1日から適用する。

附 則

この実施要綱は、平成20年1月31日から施行し、同年1月1日から適用する。

附 則

この実施要綱は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成20年7月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成22年3月16日から施行し、同年3月11日から適用する。

附 則

この実施要綱は、平成23年2月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成23年9月5日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成25年5月22日から施行し、同年5月6日から適用する。

附 則

この実施要綱は、平成25年10月14日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成26年6月12日から施行し、同年5月12日から適用する。

附 則

この実施要綱は、平成26年8月13日から施行し、同年7月26日から適用する。附 則

この実施要綱は、平成26年9月19日から施行する。

附 則

- この実施要綱は、平成27年2月25日から施行し、同年1月21日から適用する。
- 附 則
この実施要綱は、平成27年5月21日から施行する。
- 附 則
この実施要綱は、平成28年1月1日から施行する。
- 附 則
この実施要綱は、平成28年2月15日から施行する。
- 附 則
この実施要綱は、平成28年4月1日から施行する。
- 附 則
この実施要綱は、平成30年1月1日から施行する。
- 附 則
この実施要綱は、平成30年5月1日から施行する。
- 附 則
この実施要綱は、平成31年1月1日から施行する。
- 附 則
この実施要綱は、平成31年4月1日から施行する。
- 附 則
この実施要綱は、令和元年5月1日から施行する。
- 附 則
この実施要綱は、令和2年1月1日から施行する。
- 附 則
この実施要綱は、令和2年2月3日から施行する。
- 附 則
この実施要綱は、令和2年4月1日から施行する。
- 附 則
この実施要綱は、令和2年5月13日から施行する。
- 附 則
この実施要綱は、令和2年6月24日から施行し、5月29日から適用する。
- 附 則
この実施要綱は、令和2年6月25日から施行する。
- 附 則
この実施要綱は、令和2年10月2日から施行する。
- 附 則
この実施要綱は、令和2年10月14日から施行する。
- 附 則
この実施要綱は、令和3年3月31日から施行し、同年2月13日から適用する。
- 附 則
この実施要綱は、令和3年6月18日から施行し、同年6月3日から適用する。
- 附 則

この実施要綱は、令和3年12月14日から施行し、同年12月1日から適用する。

附 則

この実施要綱は、令和4年3月31日から施行し、同年3月17日から適用する。

附 則

この実施要綱は、令和4年6月30日から施行する。

附 則

この実施要綱は、令和4年8月29日から施行し、同年8月19日から適用する。

附 則

この実施要綱は、令和4年10月31日から施行する。

感染症法に基づく感染症の分類

1 一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症及び指定感染症

	疾患名	届出対象者			届出方法	
		患者	疑似症患者	無症状病原体保有者	届出種別	時期
一類	1 エボラ出血熱	○	○	○	全数	直ちに
	2 クリミア・コンゴ出血熱					
	3 痘そう					
	4 南米出血熱					
	5 ペスト					
	6 マールブルグ病					
	7 ラッサ熱					
二類	8 急性灰白髄炎	○	—	○	全数	直ちに
	9 結核	○	○	△※		
	10 ジフテリア	○	—	○		
	11 重症急性呼吸器症候群 (病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る)	○	○	○		
	12 中東呼吸器症候群 (病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る)	○	○	○		
	13 鳥インフルエンザ (H5N1)	○	○	○		
14 鳥インフルエンザ (H7N9)	○	○	○			
三類	15 コレラ	○	—	○	全数	直ちに
	16 細菌性赤痢	○	—	○		
	17 腸管出血性大腸菌感染症	○	—	○		
	18 腸チフス	○	—	○		
	19 パラチフス	○	—	○		
四類	20 E型肝炎	○	—	○	全数	直ちに
	21 ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。)	○	—	○		
	22 A型肝炎	○	—	○		
	23 エキノコックス症	○	—	○		
	24 黄熱	○	—	○		
	25 オウム病	○	—	○		
	26 オムスク出血熱	○	—	○		
	27 回帰熱	○	—	○		
	28 キャサヌル森林病	○	—	○		
	29 Q熱	○	—	○		
	30 狂犬病	○	—	○		
	31 コクシジオイデス症	○	—	○		
	32 サル痘	○	—	○		
	33 ジカウイルス感染症	○	—	○		
	34 重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)	○	—	○		
	35 腎症候性出血熱	○	—	○		
	36 西部ウマ脳炎	○	—	○		
	37 ダニ媒介脳炎	○	—	○		
	38 炭疽	○	—	○		
	39 チクングニア熱	○	—	○		
40 つつが虫病	○	—	○			
41 デング熱	○	—	○			
42 東部ウマ脳炎	○	—	○			
43 鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9を除く)	○	—	○			
44 ニパウイルス感染症	○	—	○			

※結核の無症状病原体保有者については、結核医療を必要としないと認められる場合は届出不要。

	疾患名	届出対象者			届出方法	
		患者	疑似症患者	無症状病原体保有者	届出別	時期
四 類	45 日本紅斑熱	○	—	○	全数	直ちに
	46 日本脳炎	○	—	○		
	47 ハンタウイルス肺症候群	○	—	○		
	48 Bウイルス病	○	—	○		
	49 鼻疽	○	—	○		
	50 ブルセラ症	○	—	○		
	51 ベネズエラウマ脳炎	○	—	○		
	52 ヘンドラウイルス感染症	○	—	○		
	53 発しんチフス	○	—	○		
	54 ボツリヌス症	○	—	○		
	55 マラリア	○	—	○		
	56 野兎病	○	—	○		
	57 ライム病	○	—	○		
	58 リッサウイルス感染症	○	—	○		
	59 リフトバレー熱	○	—	○		
	60 類鼻疽	○	—	○		
61 レジオネラ症	○	—	○			
62 レプトスピラ症	○	—	○			
63 ロッキー山紅斑熱	○	—	○			
指定感染症	—	—	—	—	—	

※令和4年10月25日現在、政令に基づく指定感染症なし。

2 五類感染症（全数把握）

	疾患名	届出対象者			届出方法			
		患者	疑似症患者	無症状病原体保有者	届出別	時期		
64	アメーバ赤痢	○	—	—	全数	7日以内		
65	ウイルス性肝炎 (E型肝炎及びA型肝炎を除く。)	○	—	—				
66	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	○	—	—				
67	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。)	○	—	—				
68	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)	○	—	—				
69	クリプトスポリジウム症	○	—	—				
70	クロイツフェルト・ヤコブ病	○	—	—				
71	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	○	—	—				
72	後天性免疫不全症候群	○	—	○				
73	ジアルジア症	○	—	—				
74	侵襲性インフルエンザ菌感染症	○	—	—				
75	侵襲性髄膜炎菌感染症	○	—	—			全数	直ちに
76	侵襲性肺炎球菌感染症	○	—	—			全数	7日以内
77	水痘（患者が入院を要すると認められるものに限る。)	○	—	—				
78	先天性風しん症候群	○	—	—				
79	梅毒	○	—	○				
80	播種性クリプトコックス症	○	—	—				
81	破傷風	○	—	—				
82	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	○	—	—				
83	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	○	—	—				
84	百日咳	○	—	—				
85	風しん	○	—	—				
86	麻しん	○	—	—	全数	直ちに		
87	薬剤耐性アシネトバクター感染症	○	—	—	全数	7日以内		

3 新型インフルエンザ等感染症

	疾患名	届出対象者			届出方法	
		患者	疑似症患者	無症状病原体保有者	届出種別	時期
116	新型インフルエンザ	○	○	○	全数	直ちに
117	再興型インフルエンザ	○	○	○		
118	新型コロナウイルス感染症	○	○	○		
119	再興型コロナウイルス感染症	○	○	○		

4 五類感染症（定点把握）

	疾患名	届出対象者			届出方法	
		患者	疑似症患者	無症状病原体保有者	届出種別 (定点)	時期
88	RSウイルス感染症	○	—	—	別表2参照	
89	咽頭結膜熱	○	—	—		
90	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	○	—	—		
91	感染性胃腸炎	○	—	—		
92	水痘	○	—	—		
93	手足口病	○	—	—		
94	伝染性紅斑	○	—	—		
95	突発性発しん	○	—	—		
96	ヘルパンギーナ	○	—	—		
97	流行性耳下腺炎	○	—	—		
98	不明発しん症 (都単独)	○	—	—		
99	川崎病 (都単独)	○	—	—		
100	インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)	○	—	—		
101	急性出血性結膜炎	○	—	—		
102	流行性角結膜炎	○	—	—		
103	性器クラミジア感染症	○	—	—		
104	性器ヘルペスウイルス感染症	○	—	—		
105	尖圭コンジローマ	○	—	—		
106	淋菌感染症	○	—	—		
107	膣トリコモナス症 (都単独)	○	—	—		
108	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	○	—	—		
109	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	○	—	—		
110	細菌性髄膜炎 (インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く)	○	—	—		
111	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	○	—	—		
112	マイコプラズマ肺炎	○	—	—		
113	無菌性髄膜炎	○	—	—		
114	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	○	—	—		
115	薬剤耐性緑膿菌感染症	○	—	—		

5 疑似症

	届出対象	届出対象者			調査単位 (期間)	時期
		患者	疑似症患者	無症状病原体保有者		
120	発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの。	—	○	—	別表3参照	

五類感染症（定点把握）の調査単位と報告時期

定点種別	疾患名	調査単位 (期間)	時 期
小児科定点 ※	RSウイルス感染症	週単位 (月曜日から日曜日。以下同じ。)	次の月曜日
	咽頭結膜熱		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		
	感染性胃腸炎		
	水痘		
	手足口病		
	伝染性紅斑		
	突発性発しん		
	ヘルパンギーナ		
	流行性耳下腺炎		
	不明発しん症 (都単独)		
	川崎病 (都単独)		
インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)			
内科定点※	インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)	週単位	次の月曜日
眼科定点	急性出血性結膜炎	週単位	次の月曜日
	流行性角結膜炎		
性感染症 定点	性器クラミジア感染症	月単位	翌月初日
	性器ヘルペスウイルス感染症		
	尖圭コンジローマ		
	淋菌感染症		
	臍トリコモナス症 (都単独)		
基幹 定点	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	週単位	次の月曜日
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)		
	細菌性髄膜炎 (インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く)		
	マイコプラズマ肺炎		
	無菌性髄膜炎		
	インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。入院患者のみ。)		
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
	薬剤耐性緑膿菌感染症		

※小児科定点と内科定点を合わせてインフルエンザ定点とする。

疑似症の調査単位と報告時期

定点種別	届出対象	調査単位 (期間)	時期
疑似症定点	発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの。	随時	直ちに

(注)

- 1 感染症法に規定する感染症によるものでないことが明らかである場合には、本届出の対象とはならない。
- 2 感染症法に規定する感染症によるものであることが明らかであり、かつ、いずれの感染症であるかが特定可能な場合には、当該感染症の届出基準に基づき届出を行うこととなるため、本届出の対象とはならない。
- 3 当該疑似症が発生した場合は直ちに報告するとともに、発生が無い場合についても週単位で報告する。

別記様式一覧表

別記様式	件名等	別記様式	件名等
1	感染症発生動向調査病原体定点検査票	39	Q熱発生届
2	五類感染症（定点把握対象）小児科患者定点報告票	40	狂犬病発生届
3	五類感染症（定点把握対象）インフルエンザ患者定点報告票	41	コクシジオイデス症発生届
4	五類感染症（定点把握対象）眼科患者定点報告票	42	サル痘発生届
5	五類感染症（定点把握対象）性感染症患者定点報告票	43	ジカウイルス感染症発生届
6-1 6-2	五類感染症（定点把握対象） 基幹患者定点報告票（週報告分）	44	重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属 SFTS ウイルスであるものに限る。）発生届
7	五類感染症（定点把握対象） 基幹患者定点報告票（月報告分）	45	腎症候性出血熱（HFRS）発生届
8	麻疹発生届	46	西部ウマ脳炎発生届
9	結核発生届	47	ダニ媒介脳炎発生届
10	梅毒発生届	48	炭疽発生届
11	風しん発生届	49	チクングニア熱発生届
12	エボラ出血熱発生届	50	つつが虫病発生届
13	クリミア・コンゴ出血熱発生届	51	デング熱発生届
14	痘そう発生届	52	東部ウマ脳炎発生届
15	南米出血熱発生届	53	鳥インフルエンザ（鳥インフルエンザ（H5N1及びH7N9）を除く。）発生届
16	ペスト発生届	54	ニパウイルス感染症発生届
17	マールブルグ病発生届	55	日本紅斑熱発生届
18	ラッサ熱発生届	56	日本脳炎発生届
19	急性灰白髄炎発生届	57	ハンタウイルス肺症候群（HPS）発生届
20	ジフテリア発生届	58	Bウイルス病発生届
21	重症急性呼吸器症候群（SARS）発生届	59	鼻疽発生届
22	中東呼吸器症候群（MERS）発生届	60	ブルセラ症発生届
23	鳥インフルエンザ（H5N1）発生届	61	ベネズエラウマ脳炎発生届
24	鳥インフルエンザ（H7N9）発生届	62	ヘンドラウイルス感染症発生届
25	コレラ発生届	63	発しんチフス発生届
26	細菌性赤痢発生届	64	ボツリヌス症発生届
27	腸管出血性大腸菌感染症発生届	65	マラリア発生届
28	腸チフス発生届	66	野兎病発生届
29	パラチフス発生届	67	ライム病発生届
30	E型肝炎発生届	68	リッサウイルス感染症発生届
31	ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎含む）発生届	69	リフトバレー熱発生届
32	A型肝炎発生届	70	類鼻疽発生届
33	エキノコックス症発生届	71	レジオネラ症発生届
34	黄熱発生届	72	レプトスピラ症発生届
35	オウム病発生届	73	ロッキー山紅斑熱発生届
36	オムスク出血熱発生届	74	侵襲性髄膜炎菌感染症発生届
37	回帰熱発生届	75	新型コロナウイルス感染症発生届
38	キャサナル森林病発生届		

各様式は東京都感染症情報センターに掲載（<https://idsc.tmph.metro.tokyo.lg.jp/survey/kobetsu/>）

梅 毒 発 生 届

都道府県知事（保健所設置市長・特別区長） 殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項（同条第8項において準用する場合を含む。）の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日 令和 年 月 日

医師の氏名 _____

従事する病院・診療所の名称 _____

上記病院・診療所の所在地(※) _____

電話番号(※) () - _____

(※病院・診療所に従事していない医師にあつては、その住所・電話番号を記載)

1 診断（検案）した者（死体）の種類	
・患者（確定例） ・無症状病原体保有者 ・感染症死亡者の死体	
2 性別	3 診断時の年齢（0歳は月齢）
男 ・ 女	歳（ か月）
病 型	
① 病型 1) 早期顕症梅毒(7、I期イ、II期) 2) 晩期顕症梅毒、 3) 先天梅毒、4) 無症候（無症状病原体保有者） ② HIV感染症合併の有無 1) 有 2) 無 3) 不明	1 1 感染原因・感染経路・感染地域 ① 感染原因・感染経路（確定・推定） 1 性的接触 (A. 性交 B. 経口) (ア. 同性間 イ. 異性間 ウ. 不明) (性風俗産業の従事歴（直近6か月以内） 1) 有 2) 無 3) 不明) (性風俗産業の利用歴（直近6か月以内） 1) 有 2) 無 3) 不明) 2 静注薬物使用 3 母子感染（ア. 胎内・出産時 イ. 母乳） 4 輸血・血液製剤 (輸血・血液製剤の種類・使用年月・状況：) 5 その他（ ） 6 不明 ② 感染地域（確定・推定） 1 日本国内（ 都道府県 市区町村） 2 国外 (国名： 詳細地域：) 3 不明 ③ 過去の治療歴 1) 1年より前 2) 1年以内 3) なし 4) 不明
4 症 状 ・初期硬結（性器、肛門、口唇、口腔咽頭、その他（ ）） ・硬性下疳（性器、肛門、口唇、口腔咽頭、その他（ ）） ・鼠径リンパ節腫脹（無痛性） ・梅毒性パラ疹 ・丘疹性梅毒疹 ・扁平コンジローマ ・ゴム腫 ・心血管症状 ・神経症状 ・眼症状 ・骨軟骨炎 ・実質性角膜炎 ・感音性難聴 ・Hutchinson 歯 ・その他（ ） ・なし	1 2 感染症のまん延の防止及び当該者の医療のために必要な事項として厚生労働大臣が定める事項 ・妊娠の有無 1) 有（ 週） 2) 無 3) 不明
5 診断方法 ① 患者（確定例）の場合 ・病変からの病原体の検出（染色法、PCR 検査） ・次の1)、2)の両方の抗体検査による血清抗体の検出 1) カルジオリピンを抗原とする検査 2) <i>T. pallidum</i> を抗原とする検査 ② 無症状病原体保有者の場合 ・次の1)、2)の両方の抗体検査による血清抗体の検出 1) カルジオリピンを抗原とする検査 (抗体価を記載、16倍相当以上が必要) 結果：(倍、R.U., U又はSU/ml) 2) <i>T. pallidum</i> を抗原とする検査 ・その他の検査方法（ ） 検体（ ） 結果（ ）	
6 初診年月日 令和 年 月 日 7 診断（検案(※)）年月日 令和 年 月 日 8 感染したと推定される年月日 令和 年 月 日 9 発病年月日（*） 令和 年 月 日 10 死亡年月日（※） 令和 年 月 日	

(1, 2, 4, 5, 11, 12 欄は該当する番号等を○で囲み、3, 6 から 10 欄は年齢、年月日を記入すること。

(※) 欄は、死亡者を検案した場合のみ記入すること。

(*) 欄は、患者（確定例）を診断した場合のみ記入すること。

4, 5 欄は、該当するものすべてを記載すること。)

以下の項目は、梅毒対策に役立てるため、感染症法第15条に基づく積極的疫学調査の一環として情報提供を求めるものです。本調査により、個人が特定されることはありません。患者の協力が得られた場合には御記入願います（数字を○で囲んでください）。
 ア. 国籍 1 日本 2 その他 3 不明
 イ. 居住地 1 日本（ 都道府県 市区町村） 2 国外（国名： ）

この届出は診断から7日以内に行ってください

※ 患者自身への対応や二次感染対策に役立てるため、患者（あるいは保護者）の同意がとれた場合、下記の事項を把握していましたが、可能な限り記入をお願いいたします。

I 受診のきっかけ

- 1 有症状のため
- 2 感染者（または感染が疑われる者）との性行為があったため
- 3 妊婦健診のため
- 4 職場健診
- 5 その他（ ）

II パートナー等の情報

- 1 特定のパートナー
- 2 性風俗業従事者（風営法に定められた性風俗関連特殊営業に従事している）
- 3 性風俗業利用者
- 4 金銭を対価とした関係（風営法に定められた性風俗関連特殊営業に従事していない）
- 5 その他（ ）

III 妊娠の有無が「有」の方について

- 1 自院でフォロー予定
- 2 自院以外の相談機関・医療機関を紹介（ ）
- 3 行政機関（居住地の区市町村や保健所）へ情報提供や、必要な支援の検討予定
- 4 その他（ ）

IV 保健所への連絡事項

（ ）

医療機関の方へ

必要に応じてパートナーの受診勧奨をお願いいたします。

感染症法第15条に基づき、疫学調査のため、保健所から連絡する場合があります。

調査にご協力をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症 発生届

都道府県知事(保健所設置市長・特別区長) 殿
 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項(同条第8項において準用する場合を含む。)の規定により、以下のとおり届け出る。

(*) 欄は、該当する番号を右側に記入
 報告年月日 2 0 年 月 日

医師の氏名	
従事する病院・診療所の名称	
上記病院・診療所の所在地(※1)	
電話番号(※1)	※1 病院・診療所に従事していない医師にあつては、その住所・電話番号を記入(電話番号はハイフンは含まない)

診断(検案)した者(死体)の類型(*)
 1. 患者(確定例)、2. 無症状病原体保有者、3. 疑似症患者(※2)、4. 感染症死亡者の死体、5. 感染症死亡疑いの死体
 ※2 疑似症患者について、入院を要しないと認められる場合は、発生届の提出は不要

フリガナ		性別(*)	1. 男、2. 女、3. その他
当該者氏名			
生年月日(西暦)	年	月	日
当該者所在地(※4)	〒 - ※3 月齢は0歳児のみ記入、右詰めに記入		
当該者電話番号(※5)	※4 届出時点で当該者が居住している住所を記入		
保護者氏名(※6)			
保護者電話番号(※5, 6)	※5 電話番号は、連絡が取れる番号(携帯電話番号を推奨)、左詰めに記入(ハイフンは含まない) ※6 保護者氏名および電話番号は、患者が未成年の場合のみ記入		

診断(検案)年月日	2	0	年	月	日
診断の根拠となった検体の採取年月日(※7)	2	0	年	月	日
発病年月日(有症状の場合)	2	0	年	月	日
死亡年月日(死亡者検案の場合)	2	0	年	月	日

※7 疑似症患者の検体採取年月日は、診断(検案)年月日を記入

ワクチン接種回数(※8)	回	直近の新型コロナウイルスワクチン接種年月日	2	0	年	月	日
直近に接種した新型コロナウイルスワクチン(*) (注)下記以外のワクチン接種の場合は6. その他に記入							
1. ファイザー、2. モデルナ、3. アストラゼネカ、4. ノババックス、5. 不明							
6. その他							

※8 ワクチン接種回数が0の場合は「0」と記入し、不明の場合は「不明」と記入

重症化のリスク因子となる疾病等の有無 (注)該当する番号の横に✓、下記以外のリスク因子があれば13. その他に記入												
1. 悪性腫瘍、2. 慢性呼吸器疾患(COPD等)(※9)、3. 慢性腎臓病、4. 心血管疾患、5. 脳血管疾患、6. 喫煙歴、7. 高血圧、8. 糖尿病、9. 脂質異常症、10. 肥満(BMI30以上)、11. 臓器の移植、免疫抑制剤、抗がん剤等の使用その他の事由による免疫機能の低下、12. 妊娠												
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13. その他

※9 慢性閉塞性肺疾患、間質性肺疾患、肺塞栓症、肺高血圧、気管支拡張症等

届出時点の重症度(「新型コロナウイルス感染症診療の手引き」による。)(*)	
1. 軽症、2. 中等症Ⅰ(呼吸不全なし)、3. 中等症Ⅱ(呼吸不全あり)、4. 重症、5. 無症状、	
届出時点の入院の必要性の有無(*)	届出時点の入院の有無(*)
1. 有、2. 無	1. 有、2. 無

下記の項目は、感染症法第15条に基づく調査として情報提供を求め、患者の療養調整や感染源の推定等に用いるものです。可能な限り、ご記入願います。

- ・当該者職業 ()
- ・当該者住所(所在地と異なる場合記載) () 電話: () - ()
- ・症状(該当に○、15は数値を記入): 1. 発熱、2. 咳、3. 咳以外の急性呼吸器症状、4. 肺炎像、5. 重篤な肺炎、6. 急性呼吸窮迫症候群、7. 多臓器不全、8. 全身倦怠感、9. 頭痛、10. 嘔気/嘔吐、11. 下痢、12. 結膜炎、13. 嗅覚・味覚障害、14. 咽頭痛、15. 酸素飽和度(室内気) _____%、16. その他()、17. 症状なし
- ・診断の根拠となった検査種別(該当に○): 1. 核酸増幅法、2. 抗原定性検査、3. 抗原定量検査、4. 分離同定
- ・感染経路(該当に○)(確定・推定・不明)(飛沫感染・接触感染・その他[])
- ・感染源・状況等 ()
- ・感染地域(該当に○)(確定・推定・不明)
 - 1 日本国内(都道府県 区市町村) 場所名称()
 - 2 国外(国:)、出/入国日(20 . . /20 . .)
- ・自医療機関における健康観察実施の有無(該当に○)(有・無)

この届出は診断後直ちに行ってください

新型コロナウイルス感染症患者総数日次報告

日報

調査日： 令和 年 月 日

医療機関名： _____

0歳	1~4歳	5~9歳	10~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70~79歳	80~89歳	90歳以上	不明	合計

【報告時の留意点等】

- 発生届対象の患者を含めた総患者数を報告してください。
- 新型コロナウイルス感染症の患者を診療しなかった日や休診日においては、報告していただく必要はありません。
- 報告は1日1回とし、報告を実施できなかった日の患者数は、翌日の報告数に合算して報告してください。
- 医療機関所在地を管轄する保健所に報告してください。

感染症発生動向調査事業報告書

令和4年（2022年）

令和5年7月

登録番号 (5) 4

編集・発行 東京都健康安全研究センター
〒169-0073 東京都新宿区百人町3-24-1
電話 (03) 3363-3231

印刷所 有限会社 雄久社
〒154-0017 東京都世田谷区世田谷1-24-7
電話 (03) 5451-7030



リサイクル適性[®](A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

